

平成26年版

消 防 年 報



鹿児島市消防局

表紙について

平成25年11月9日に実施した「ふれあいウォーク119」の様子です。

このイベントは、消防隊員と一緒にスタンプラリーを楽しみながら消防施設等を歩いて巡り、消防を身近に感じていただくとともに、防火防災意識の高揚を図るため、初めて実施したものです。

消防署や消防車両、鹿児島県ドクターヘリ（写真）等の見学や、応急手当講習、放水体験などを実施し、徒歩区間5kmを親子で「消防」とふれあいながら参加者全員ゴールすることができました。

は じ め に

- 1 この年報は、本市消防の現状と消防全般の事項について、平成25年中及び平成25年度中における各種統計を紹介するために編集しました。
- 2 統計は、平成26年4月1日現在で作成し、火災統計、救急統計、警防の状況等は主に暦年とし、その他については、会計年度で作成しました。

平成26年7月

鹿児島市消防局

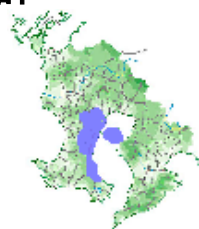
総 目 次

	一 目 統 計	1～4
	消 防 力 等		
総 務	総 記	5
	予 算	18
	職 員	19
	教 養	23
	音 楽 隊	25
警 防	総 記	26
	救 急	28
	救 助	42
	装 備	53
	警 防	59
	防 災	62
情報管理	総 記	78
	通 信	79
予 防	総 記	85
	予 防	86
	建 築	92
	危 険 物	95
	広 報	96
火災統計	火 災 統 計	102
消 防 団	消 防 団	133

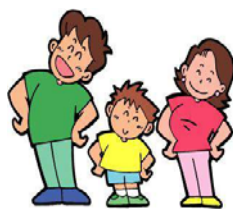
一 目 統 計

(平26. 4. 1)

面積・人口等 自然環境



面 積
547. 21 k m²



人 口
605, 695人



世 帯
271, 017世帯



気 象
年平均気温18. 9℃
年平均湿度70. 0%
(25年中)

消 防 予 算 構 成 ・ 人 員



消防予算
53億9335万3千円
(26年度)



署・所
1本部 3署 1 8分遣隊



職 員 数
定 数 4 9 7 人
現員数 4 9 1 人



団 員 数
定員 1, 5 2 1 人
実員 1, 4 8 6 人

機 械 ・ 施 設



ポンプ車等
ポンプ車 4 台
水槽付ポンプ車 2 2 台
(非常用 4 台を含む)



特殊車両等
梯子車 2 台、屈折梯子車 2 台
高所放水塔車 1 台、救助工作車 3 台
化学車 3 台、泡原液搬送車 2 台
照明電源車 2 台、支援車 1 台
水源車 1 台、資機材搬送車 2 台



救 急 車
救急車 1 5 台
(救急救命士運用13台)
非常用 5 台



水 利
消火栓 6, 679基
防火水槽 928基

火 救 救 災 急 助

(25年中)



火災件数
1 9 4 件



火災原因
1 位 たき火 39件
2 位 こんろ 26件
(うち食用油過熱着火 15件)
2 位 放火(疑い含む) 26件
4 位 たばこ 24件



救 急
出場件数 25, 754件
搬送人員 23, 694人



救 助
出動件数 131件
救助人員 96人

予 防



防火対象物数
17, 109件
(うち消防法8条4, 788件)



危険物数
製造所 6件
貯蔵所 808件
取扱所 418件



建築同意数
891件
(25年度中)



自主防火組織数
自衛防火協会 372事業所
危険物安全協会 193事業所
防火協定会 709防火協定会

鹿児島市の消防力

(平26. 4. 1)

○ 消防局


● 消防団

消防局	1本部 3署 18分遣隊	497名	
消防団	1団 71分団	1,521名	
水槽付消防ポンプ車 (うち非常用5台)	○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○		
	○○●●		24台
消防ポンプ車	○○○○● ●●●●● ●●●●● ●●●●● ●●●		22台
梯子車	④⑥②② 4台		
	SKSK		

高 所 放 水 塔 車	○	1 台
化 学 車	○○○	3 台
泡 原 液 搬 送 車	○○	2 台
小型動力ポンプ付水槽車 (水 源 車)	○	1 台
救 助 工 作 車	○○○	3 台
照 明 電 源 車	○○	2 台
支 援 車	○	1 台
資 機 材 搬 送 車 (資機材搬送車・作業車)	○○	2 台

ミニ消防車・防災車
(小型動力ポンプ積載) ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○○○○○ ○●● 23台

小型動力ポンプ積載車



6 4 台

指	揮	車	○ ○ ○ ○ ●	5 台
救	急	車	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
(うち非常用 5 台)			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	20 台

火 災 原 因 調 査 車	○	1 台
救 援 車	○○	2 台
予 防 指 導 車	○○○○○ ○○○	8 台
そ の 他	○○○○	4 台
災 害 用 二 輪 車	○○○	3 台

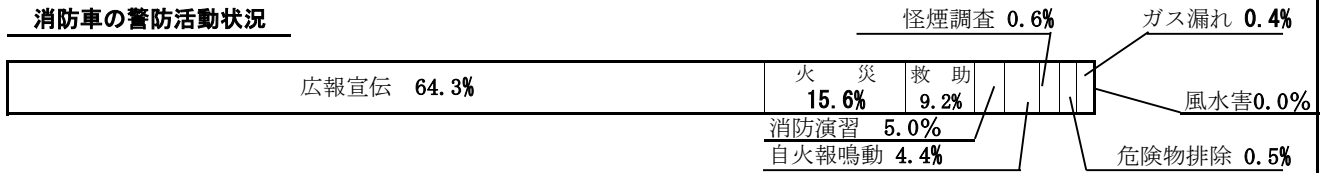
小型動力ポンプ | ○○○●●●●●●●● ●● 12台

種別 區別	ポン プ 車	積 載 車	救 急 車	特 殊 車	指 揮 車	そ の 他	合 計
○ 消防局	26	21	20	19	4	18	108
● 消防団	20	66			1		87
合 計	46	87	20	19	5	18	195
備 考	含 非 常 用	含ミニ 消防車・ 防災車	含 非 常 用	梯 子 車 等		災害 用二 輪車 等	予 防指 導車

各種活動等状況

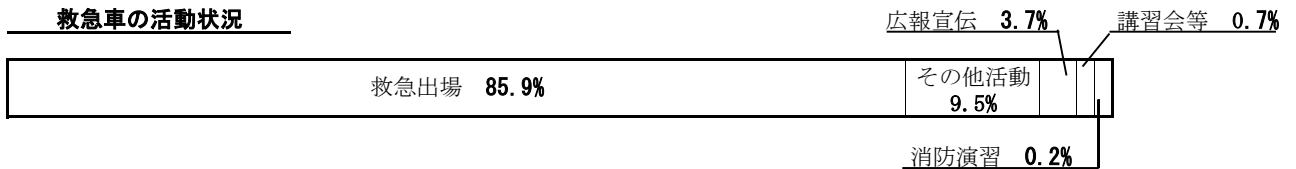
消防車の警防活動状況(回)	広報宣伝	火 災	救 助	消防演習	自火報鳴動	怪煙調査	危険物排除	ガス漏れ	風水害
計6,471 (平成25年)	4,159 64.3%	1,009 15.6%	598 9.2%	323 5.0%	282 4.4%	41 0.6%	35 0.5%	24 0.4%	0 0.0%

消防車の警防活動状況



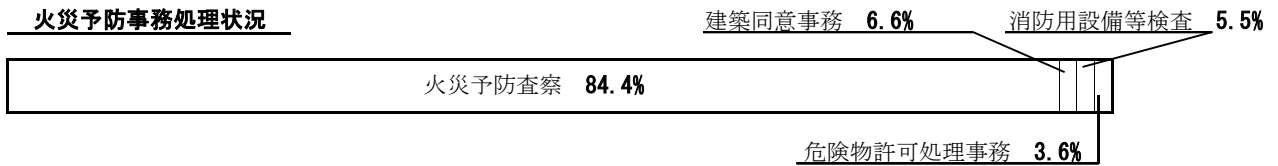
救急車の活動状況(回)	救急出動	その他活動	広報宣伝	講習会等	消防演習
計30,011 (平成25年)	25,754 85.9%	2,859 9.5%	1,121 3.7%	222 0.7%	55 0.2%

救急車の活動状況



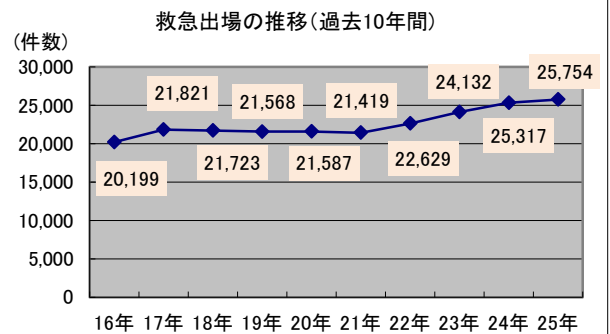
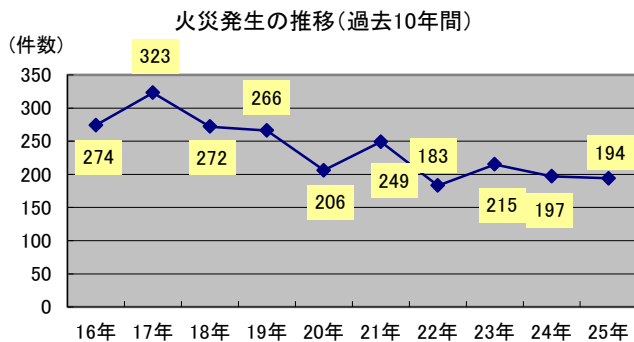
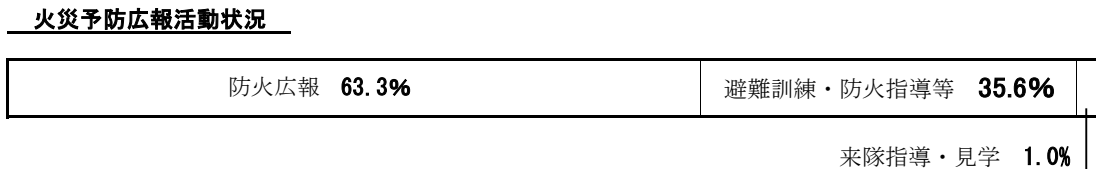
火災予防事務処理状況(件)	火災予防査察	建築同意事務	消防用設備等検査	危険物許可処理事務
計13,547 (平成25年度)	11,431 84.4%	891 6.6%	741 5.5%	484 3.6%

火災予防事務処理状況



火災予防広報活動状況(回)	防火広報	避難訓練・防火指導等	来隊指導・見学
計 8,222 (平成25年度)	5,205 63.3%	2,931 35.6%	86 1.0%

火災予防広報活動状況



平成25年度の主な事業

●消防車両等整備

水槽付消防ポンプ自動車	1台（明和分遣隊：更新）
消防ポンプ自動車	1台（生見分団：更新）
予防指導車	1台（予防課：鹿児島市自衛防火協会寄贈・新規）
小型動力ポンプ積載車	5台（武岡分団・宮川分団・城西分団・桜水分団・八重分団：更新）
ミニ消防自動車	2台（吉野分遣隊・喜入分遣隊：更新）
水防車	1台（総務課：更新）
軽作業車	1台（総務課）
災害用二輪車	3台（中央本署・西本署・南本署：新規）
小型動力ポンプ（B-3）	2台（喜入分遣隊・二俣分団：更新）
（C-1）	5台（福平分団・福平分団火の河原班・名山分団・黒神分団・中山分団：更新）

●消防拠点整備

喜入分遣隊庁舎建設工事完了（平成25年8月19日供用開始）
谷山北分遣隊庁舎建設工事着手

●救急業務高度化・救急拠点整備

高規格救急自動車	2台（郡山分遣隊・喜入分遣隊：更新）
高度救命処置用資機材	1式（郡山分遣隊：新規）
自動体外式除細動器	2台（郡山分遣隊・喜入分遣隊：更新）
総合観察装置	1式（郡山分遣隊：更新）

●消防分遣隊庁舎改修

執務環境改善に伴う庁舎改修（仮眠室の個室化等）	1箇所（名山分遣隊）
〃 庁舎改修実施設計	2箇所（明和分遣隊・脇田分遣隊）
ストックマネジメント計画に伴う庁舎改修（外壁診断）	1箇所（山下分庁舎）

●消防救急無線デジタル化

基地局の整備	5局
卓上型及び可搬型無線機の整備	25台
携帯型無線機の整備	40台

●消防緊急通信指令システム整備

安心ネットワーク119の再構築	1式
雨量観測システム雨量計の更新	3箇所
分遣隊指令端末用無停電電源装置の更新	5箇所

●応急手当普及啓発・救急ボランティア育成

普通救命講習Ⅰ	5,080人（受講）	救命入門コース	9,166人（受講）
救急基礎講習	8,692人（受講）		
ボランティア登録状況	【総登録数】		
団体～3事業所、個人～24人	団体～309事業所、個人～1,187人		

●住宅用火災警報器維持管理（安心安全マイホームの推進事業）

住宅火災の未然防止と火災による死者の抑制を図り、誰もが安心して暮らせる社会を確立する。（住宅用火災警報器維持管理カードの配付等）

●高齢者火災予防対策（火の用心！シルバーセーフティ事業）

高齢者の焼死者防止対策及び火災予防の教育、指導を行い、高齢者の死亡率の軽減を図り、地域に密着した防災リーダーの育成を目的として実施する。

●少年・少女期に対する火災予防啓発（火災予防思想「消防スケッチ大会」事業）

市内の小学4年生を対象に、消防車や消防隊員を描き、消防を身近に感じ、ふれあいを持つことにより、少年・少女期からの火災予防について意識の高揚を図る。

総務



総 記

鹿児島市のあらまし	5
市域の発展	5
消防の沿革	6～10
人口と消防職員（定員数）の推移	11
消防力総括表	12
鹿児島市消防組織図	13
本部・署・分遣隊配置及び管轄区域図	14
消防庁舎所在地・庁舎概況・管轄区域	15
消防局事務分掌	16
分遣隊毎の管轄面積・世帯・人口・消防車・隊員の状況	17

予 算

予算の比較	18
消防費と人口との比	18
消防費の内訳	18

職 員

職員の階級別配置状況	19
職員の階級別勤務年数	20
職員の階級別年齢	21
公務災害等の発生状況	22
消防吏員採用試験の状況	22
消防吏員採用の状況	22

教 養

消防職員教育訓練の状況	23
各種免許資格者の状況	24

音楽隊

消防音楽隊	25
-------------	----

鹿 児 島 市 の あ ら ま し

鹿児島市は、薩摩・大隅(鹿児島県)・日向(宮崎県南部)の三国を統治した島津氏の城下町として発展してきた。禄高77万石を有する天下第二の大藩、島津氏の城下町として、鹿児島市が藩政の中心となり、南九州の雄都の地位を占めるに至ったのは、第6代島津氏久が東福寺城(現鹿児島市清水町)を居城にした時に始まる。その後、第18代島津家久が鹿児島城(鶴丸城)を築城、城山の緑を背景とした屋形造りの居城を中心に、門割制度と郷中教育という独特の制度による島津氏の治世が続いた。この連綿たる島津氏の藩政に根ざし、鹿児島市は、南九州一の都市として着実に繁栄と進展の歴史をつくりあげたのである。

明治4年、廃藩置県とともに県庁の所在地となり、同22年4月には市制が施行された。

戦後は、観光・商工業の発展とともに市域は次第に拡大し、昭和42年4月29日には隣接の谷山市と合併して人口38万人の新鹿児島市が誕生、昭和55年7月には人口50万人を突破した。

一方、国際・国内親善を深めるため、昭和35年5月にイタリアのナポリ市と、昭和49年4月にはオーストラリアのパース市と姉妹都市の盟約を結び、昭和57年10月には中国の長沙市と友好都市盟約を締結し、さらに平成2年11月にはアメリカのマイアミ市と姉妹都市盟約を締結した。また、昭和44年11月には、山形県鶴岡市と兄弟都市の盟約を結び、以来、親善を深めている。

平成8年4月には、中核市へ移行し、よりきめ細かな市民サービスの提供と個性豊かな魅力あふれるまちづくりを積極的に進め、南の拠点都市としてさらなる飛躍を目指してきた。

その後、平成16年11月1日には、隣接する吉田町、桜島町、喜入町、松元町及び郡山町と合併、人口60万人の県都として新たな一步を踏み出し、新生鹿児島市の均衡ある発展と、それぞれの特性を生かした新しい魅力を持った鹿児島市の創造に取り組んでいる。

こうした中、平成23年3月には、九州新幹線鹿児島ルートが全線開通し、日本の南の交流拠点都市としての本市の都市機能は、より一層高まった。

一方、少子高齢化の進行や人口減少局面への移行、グローバル化の進展、さらには地球レベルでの環境問題の進行など、時代の潮流に的確に対応し、本市が将来に向けて持続可能な発展を遂げていくため、平成24年度から「人・まち・みどり みんなで創る 豊かさ 実感都市・かごしま」を都市像に掲げた第五次総合計画を策定し、その実現に向けて諸施策を推進している。

市 域 の 発 展

区 分	編入年月日	編 入 区 域	町数	面積(km ²)	人口(人)	人口密度 1km ² 当り(人)
市 制 施 行	明治22. 4. 1	鹿児島市	50	14. 03	57, 822	4, 121
埋 立 新 設	明治39. 11. 19	洲崎町	51	14. 11	59, 784	4, 237
第 一 次 編 入	明治44. 9. 30	草牟田町、武町	53	15. 91	73, 085	4, 594
第 二 次 編 入	大正 9. 10. 1	原良町、永吉町、玉里町	56	16. 73	103, 180	6, 167
墓 地 整 理	大正13. 7. 1	南林寺町	57	16. 73	125, 552	7, 505
分 離 新 設	昭和 9. 2. 10	天保山町	58	16. 73	147, 090	8, 792
第 三 次 編 入	昭和 9. 8. 1	旧中郡宇村、西武田村、吉野村	68	78. 25	176, 900	2, 261
第 四 次 編 入	昭和25. 10. 1	旧伊敷村、東桜島村	81	181. 54	229, 462	1, 264
新 設 合 併	昭和42. 4. 29	旧鹿児島市、旧谷山市	91	279. 15	385, 866	1, 382
国 勢 調 査	平成 7. 10. 1		248	289. 60	546, 282	1, 886
〃	平成12. 10. 1		265	289. 79	552, 098	1, 905
第 五 次 編 入	平成16. 11. 1	吉田町、桜島町、喜入町、 松元町、郡山町	322	546. 80	605, 308	1, 107
国 勢 調 査	平成17. 10. 1		323	546. 95	604, 367	1, 105
〃	平成22. 10. 1		342	547. 06	604, 959	1, 106
現在(推計人口)	平成26. 4. 1		354	547. 21	605, 695	1, 107

消 防 の 沿 革

種 別 年 月	経 歴	概 要
藩政時代の消防		<ul style="list-style-type: none"> 消防に対する概念乏しくその設備もなかった。火災の場合城下町民が消火に当たったが、人衆漸く、密なるに従い、上・下・西田3ヶ所に会所を設けた。会所に盤木をつるし非常の場合打鳴らしたが、消火器具としては刺、水桶等であった。
明治 10年 7月 〃 21年 5月 〃 23年 3月 〃 24年 〃 24年 10月 〃 32年	消防の発足	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島消防仮規則を定め、鹿児島警察署に組頭・ポンプ夫・平夫1組25人編制、消防夫2組 計50人を置く。 県令消防編成により上荷船組、通船組の73人による消防組発足 仲仕組合を以て消防組を設置 大工日雇等の組夫を以て大日消防組発足 鹿児島市消防規則を定め、上荷船、通船、陸運、大日の4消防組を置き、263人の人員とポンプ4台を置いた。 谷山村に消防組設立、組員約40人、内組頭1人、小頭4人で編成
明治 27年 2月 〃 34年 11月 大正 元年 10月	公設消防団の発足	<ul style="list-style-type: none"> 勅令消防組規則公布、上荷船、通船、仲仕、大日の4公設消防組発足 通 船消防組…第1番組 上荷船消防組…第2番組 大 日消防組…第3番組 仲 仕消防組…第4番組 鹿児島市水火防研究会を組織した。 谷山村公設消防組発足、定員組頭1人、小頭4人、消防手60人、手押ポンプ2台
明治 35年 11月 大正 8年 11月 〃 10年 4月 〃 12年 1月 4月 〃 15年 11月 昭和 3年 4月 9月 10月 〃 4年 4月 〃 8年 2月 5月 〃 9年 4月 〃 10年 2月 〃 13年 10月 〃 14年 4月 4月 〃 15年 10月 〃 20年 12月	常備消防の誕生	<ul style="list-style-type: none"> 常備消防の誕生 蒸気ポンプ2台を購入、機関員計4人を隔日勤務とした。 消防組を第1部から第6部に変更 市内に消火栓を布設（470個） 水管自動車購入（マックスウェル） ポンプ自動車購入（デニス式） 常備消防手2名増員 （大正12年から大正15年まで毎年2名ずつ増員） 水管自動車購入（ビック） 常備消防手2人増員 G・M・C式ポンプ車購入 公設消防組発足 常備消防手4人増員 レオ式ポンプ車購入 常備消防手1人増員 常備消防手1人増員 ダッジポンプ車購入、V8フォード三輪ポンプ車購入 V8フォードポンプ車購入 勅令警防団令公布され従来の消防組は解消し警防団として発足 （津曲貞助団長以下13分団・1,005人） 谷山町警防団発足 トヨタポンプ寄贈を受く。 警防団再編成（初代消防団長増田静以下15分団・631人）

種 別 年 月		経 歴	概 要
昭和	22 年 4 月	消 防 団 の 編 成	・ 「消防団令」が交付され、従来の警防団が消防団と改称された。
〃	23 年 8 月		・ 「消防団令」により自治体消防団としての鹿児島市消防団が組織された。 (増田静団長以下18分団672人)
〃	24 年 12 月		・ 谷山町消防団に改組、中央分団に常備部を置き12人をもって交代勤務
〃	25 年 10 月		・ 第2代消防団長 久保本吉就任 (1団17分団)
〃	29 年 4 月		・ 伊敷、東桜島村編入で3団となる。(団長～久保本吉、坂元虎八、保坂 与一) 29分団
〃	42 年 4 月		・ 3団を1団に統合 (団長～久保本吉) 32分団
〃	46 年 3 月		・ 旧谷山市と合併1団40分団となる。(団長～久保本吉)
〃	48 年 2 月		・ 消防庁長官から竿頭授が授与される。
〃	53 年 3 月		・ 第3代消防団長 濱島藤蔵就任
〃	56 年 1 月		・ 自治体消防発足30周年 (消防庁長官から消防団に表彰旗が授与される。)
〃	4 月		・ 第4代消防団長 高橋一就任
〃	62 年 4 月		・ 40分団を43分団に再編成
〃	63 年 12 月		・ 第5代消防団長 米満正治就任
平成	4 年 4 月		・ 43分団を44分団に再編成
〃	5 年 4 月		・ 第6代消防団長 京田朝夫就任
〃	11 月		・ 第7代消防団長 中山巽就任
〃	6 年 9 月		・ 44分団を45分団に再編成
〃	11 年 4 月		・ 第8代消防団長 上ノ下重信就任
〃	16 年 11 月		・ 建設大臣表彰 鹿児島市消防団 (8・6豪雨災害による水防功労)
〃	18 年 4 月		・ 総理大臣表彰 〃 (8・6豪雨災害による功労)
〃	19 年 12 月		・ 第9代消防団長 豊永義夫就任
〃	20 年 3 月		・ 周辺 5 町 (吉田町・桜島町・喜入町・松元町・郡山町) と合併し、組織の 改組を行なう。(1団、5方面隊、72分団、21班、1,521人)
〃	25 年 4 月		・ 組織の再編を行う。(1団、5方面隊、71分団、15班、1,521人)
〃	20 年 3 月		・ 女性消防団員 24 人を初任用
〃	25 年 4 月		・ 消防団協力事業所表示制度導入
〃	25 年 4 月		・ 第10代消防団長 古野満雄就任

種 別		経 歴	概 要
年 月			
昭和 22 年 12 月		消	・ 消防組織法公布
〃 23 年 7 月			・ 消防法公布
8 月			・ 消防本部・消防署設置、消防長事務取扱中村栄蔵就任（市助役）
〃 24 年 2 月			・ 消防本部を市庁舎3階に、消防署（現南林寺分遣隊）を南林寺町に、武消防出張所（現甲南分遣隊）を高麗町に新設（本部員6人、署員45人）
10 月			・ 初代消防長 本田斉就任
12 月			・ 南鹿児島消防出張所（現郡元分遣隊）を郡元町に、上町消防出張所（現上町分遣隊）を下竜尾町に新設
〃 26 年 4 月			・ 消防本部及び消防署を市庁舎横駐留軍兵舎に移転新築
〃 27 年 3 月			・ 草牟田分遣隊を草牟田二丁目3番3号に新設
7 月			・ 中央分遣隊（現中央本署）を山下町30番地に設置
〃 30 年 7 月			・ 消防本部を山下町30番地1号に設置
12 月		防	・ 第2代消防長 田中栄之丞就任
〃 32 年 4 月			・ 上町分遣隊を移転新築（大竜町7番1号）
7 月			・ 城西分遣隊を薬師一丁目7番7号に新設
〃 33 年 1 月			・ 消防音楽隊編成
11 月			・ 武分遣隊を甲南分遣隊に改称、現在地（上荒田町16番1号）に新設
12 月			・ 八幡分遣隊を下荒田町287番地2に新設
〃 34 年 3 月			・ 化学消防車を配備
8 月			・ 郡元分遣隊を改築（郡元町2，699番地）
〃 35 年 3 月			・ 谷山市消防本部発足、初代消防長に山下清秀就任
9 月			・ 南林寺分遣隊を増改築（南林寺町1番3号）
10 月		局	・ 消防長事務取扱 内倉良文就任（市助役）
12 月			・ 第3代消防長 石田信隆就任
〃 39 年 3 月			・ 救急業務開始
〃 40 年 5 月			・ 屈折梯子車を配備
6 月			・ 谷山市消防本部、消防庁舎を移転新築（上福元町4．360番地9）
9 月			・ 第4代消防長 福留岩見就任
〃 42 年 2 月			・ 東桜島機関員駐在所（現桜島東分遣隊）を新設（東桜島町588番地）
4 月			・ 市役所別館内に消防本部、消防庁舎竣工（山下町10番30号）
7 月			・ 旧鹿児島市と谷山市が合併し新鹿児島市が発足、谷山分遣隊を新設
8 月			・ 鹿児島市消防音楽隊10周年記念演奏会（県文化センター）
〃 43 年 3 月		署	・ 第5代消防長 井手上優就任
9 月			・ 上町分遣隊を増改築（大竜町7番1号）
〃 45 年 4 月			・ 梯子車（30M級）を配備
11 月			・ 脇田分遣隊を現在地（宇宿二丁目16番20号）に新設
〃 46 年 3 月			・ 二署制発足（中央消防署、南消防署）
4 月			・ 南署新設に伴い谷山分遣隊を南本署に改称
10 月			・ 消防庁長官から竿頭綬が授与される。
〃 47 年 4 月			・ 伊敷分遣隊を伊敷町3，163番地に新設
12 月			・ 第6代消防長 平原敏彦就任
〃 49 年 1 月			・ 消防本部を消防局に改称
3 月		〃	・ 救助隊発足
4 月			・ 救助工作車を配備
〃 50 年 2 月			・ 消防出初め式中止（オイルショックの為）
9 月			・ 望楼勤務廃止
〃 50 年 2 月		〃	・ 田上分遣隊を新設（田上町131番地4）、東桜島機関員駐在所を東桜島分遣隊に改称
4 月			・ 伊敷分遣隊を現在地（伊敷町3，087番地3）に移転新築
9 月			・ 吉野分遣隊を新設（吉野町2，902番地18）
〃 50 年 2 月			・ 第7代消防長 高山一郎就任

種 別		経 歴	概 要
年 月			
平成 11 年 1 月			・ 桜島町の消防事務受託に関して規約を締結
4 月			・ 女性消防吏員（2人）を初採用
9 月			・ 台湾地震災害へ国際消防救助隊員2人を派遣
12 月			・ 消防庁長官感謝状（台湾地震災害への国際消防救助隊員派遣）
〃 12 年 4 月			・ 第17代消防長 吉田一郎就任
〃 13 年 1 月	消		・ 本部庁舎を新築移転（山下町15番1号山下分庁舎）
			・ 新消防緊急通信指令システム運用開始
4 月			・ 桜島町との消防事務受託開始（桜島町分遣隊新設・桜島町藤野1439番地）
			・ 第18代消防長 鶴留靖典就任
			・ 鹿児島市消防総合訓練研修センターを新設（新栄町22番30号）
			・ 郡元分遣隊を移転新築（新栄町22番30号）
	防		・ 鹿児島市防災情報システム運用開始
			・ 煙火の消費許可事務を開始（権限移譲）
〃 14 年 4 月			・ 三署制発足（中央消防署、西消防署、南消防署）
			・ 西消防署（西本署）を新築（城西二丁目1番1号）及び草牟田・城西分遣隊を廃止
			・ 第19代消防長 渡邊眞一郎就任
〃 15 年 3 月	局		・ 吉野分遣隊を隣地に移転新築（吉野地区土地区画整理事業に伴う）
〃 16 年 3 月			・ 5町（吉田・桜島・喜入・松元・郡山町）の編入合併協定を締結
〃 16 年 11 月			・ 鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町が合併し、新生鹿児島市発足、吉田分遣隊（本名町838番地1）・桜島西分遣隊・喜入分遣隊（喜入町7000番地）を加える。（改称：桜島東分遣隊、桜島西分遣隊）
〃 17 年 4 月			・ 第20代消防長 隈元 一就任
〃 18 年 4 月	（		・ 松元分遣隊（上谷口町1481番地1）、郡山分遣隊（郡山町1413番地）を新設
〃 18 年 8 月			・ 安心ネットワーク 1 1 9 の運用開始
〃 19 年 2 月			・ 高度救助隊発足：愛称「スーパーレスキューかごしま」 中央消防署に配置（救助工作車Ⅲ型、高度救助資機材を整備）
〃 20 年 4 月			・ 第21代消防長 泊 隆夫就任
〃 20 年 8 月			・ 自治体消防制度60周年記念式典（市民文化ホール）
	署		・ 消防音楽隊発足50周年記念演奏会（市民文化ホール）
〃 20 年 12 月			・ 携帯電話・I P 電話等からの位置情報通知システム運用開始
〃 21 年 4 月			・ 第22代消防長 木佐貫 芳広就任
			・ 消防局に情報管理課を新設（消防局：4 課）
〃 23 年 3 月			・ 東日本大震災へ18人の緊急消防援助隊を派遣
〃 23 年 4 月			・ 第23代消防長 新地 茂樹就任
〃 23 年 11 月	）		・ 総務大臣表彰（東日本大震災への緊急消防援助隊派遣）
〃 24 年 12 月			・ 衛星通信システム（可搬型）運用開始
〃 25 年 4 月			・ 第24代消防長 藤崎 誠就任
〃 25 年 8 月			・ 喜入分遣隊移転新築（喜入町7005番地）
〃 25 年 11 月			・ 内閣総理大臣表彰（東日本大震災への緊急消防援助隊派遣の代表消防機関）
〃 26 年 4 月			・ 災害用二輪車を配置（各署 1 台）
〃 26 年 4 月			・ 第25代消防長 山下 裕二就任

人口と消防職員（定員数）の推移

年 月			人口（人）	消防職員 （定数）（人）	年 月			人口（人）	消防職員 （定数）（人）
昭和	23 年	8 月	175,837	52	平成	元 年	4 月	531,129	374
〃	24 年	10 月	187,928	84	〃	2 年	4 月	532,000	378
〃	25 年	4 月	194,653	103	〃	3 年	4 月	531,685	378
〃	26 年	4 月	233,332	142	〃	4 年	4 月	532,922	383
〃	27 年	4 月	240,799	142	〃	5 年	4 月	534,036	384
〃	28 年	4 月	248,392	142	〃	6 年	4 月	536,386	386
〃	29 年	4 月	257,241	142	〃	7 年	4 月	539,047	386
〃	30 年	4 月	265,942	142	〃	8 年	4 月	542,219	386
〃	31 年	4 月	271,570	148	〃	9 年	4 月	544,309	386
〃	32 年	4 月	273,207	173	〃	10 年	4 月	545,647	386
〃	33 年	4 月	277,510	186	〃	11 年	4 月	546,549	386
〃	34 年	4 月	282,888	186	〃	12 年	4 月	547,100	397
〃	35 年	4 月	287,660	191	〃	13 年	4 月	547,591	397
〃	36 年	4 月	287,236	198	〃	14 年	4 月	549,101	406
〃	37 年	4 月	303,638	204	〃	15 年	4 月	550,141	406
〃	38 年	4 月	313,521	204	〃	16 年	4 月	550,798	406
〃	39 年	4 月	320,795	220	〃	16 年	11 月	605,308	460
〃	40 年	4 月	329,444	224	〃	17 年	4 月	601,185	460
〃	41 年	4 月	332,961	229	〃	18 年	4 月	603,231	473
〃	42 年	4 月	338,768	263	〃	19 年	4 月	602,584	473
〃	43 年	4 月	392,923	273	〃	20 年	4 月	603,158	479
〃	44 年	4 月	394,952	277	〃	21 年	4 月	603,216	479
〃	45 年	4 月	400,592	292	〃	22 年	4 月	604,959	479
〃	46 年	4 月	404,855	310	〃	23 年	4 月	605,682	479
〃	47 年	4 月	414,038	310	〃	24 年	4 月	605,609	479
〃	48 年	4 月	424,980	326	〃	25 年	4 月	605,883	494
〃	49 年	4 月	435,395	351	〃	26 年	4 月	605,695	497
〃	50 年	4 月	445,531	351					
〃	51 年	4 月	458,815	361					
〃	52 年	4 月	469,455	361					
〃	53 年	4 月	479,003	361					
〃	54 年	4 月	486,269	361					
〃	55 年	4 月	494,253	361					
〃	56 年	4 月	503,489	361					
〃	57 年	4 月	509,472	361					
〃	58 年	4 月	531,906	364					
〃	59 年	4 月	519,612	364					
〃	60 年	4 月	524,228	364					
〃	61 年	4 月	526,567	369					
〃	62 年	4 月	527,794	369					
〃	63 年	4 月	530,487	374					

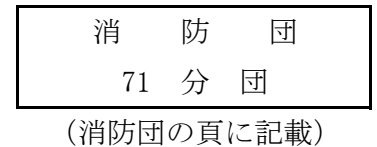
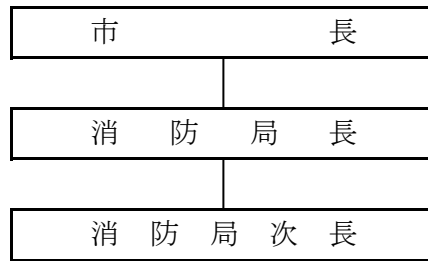
消防能力総括表

(平成26. 4. 1)

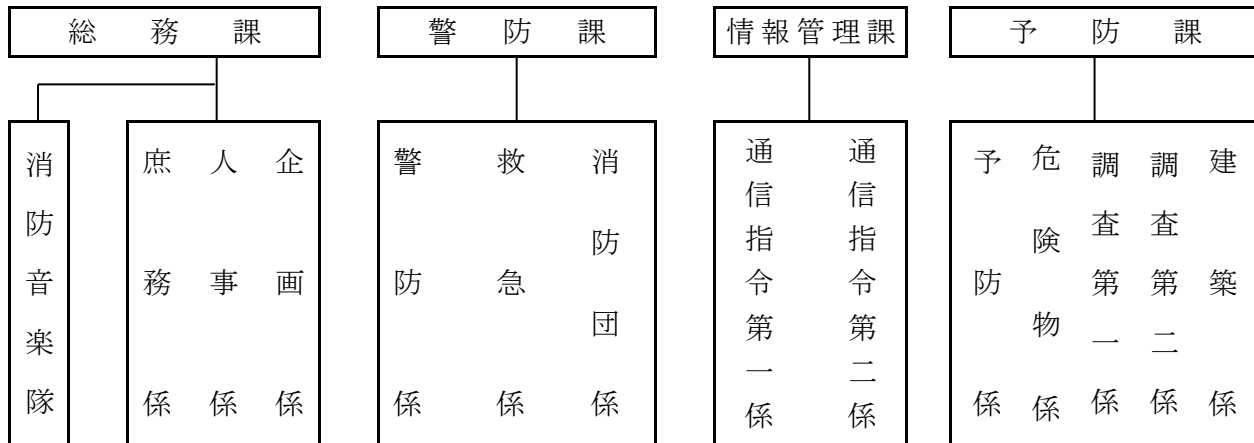
区分	総数	本部			中央消防署							西消防署					南消防署										
		総務課	警防課	情報管理課	予防課	庶務・警防・予防指導	中央本署	林寺	名山	上吉	吉野	田南	甲	桜島	桜島	西	伊敷	明田	松元	郡山	庶務・警防・予防指導	南谷	谷脇	山北	田元	入喜	
本部・遣隊	1本部・3署 18						1	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	1	
配置人数 消防吏員 その他の任用 休職	491 488 3 (6) 3	20 17 3	14 14 18	18 18 (2)	16 16	12 12	30 30	24 24	13 13	19 19	20 20	16 16	20 20	9 9	9 9	9 36	19 19	13 13	12 12	16 16	10 10	34 34	12 12	20 20	22 22	20 20	
									(2)									(2)									
配置車両 消防車 消防急車 その他	108 74 20 14	3 2 2 3			4 1 3	3 2 1	6 5 1	5 4 1	2 2 1	3 3 2	5 3 2	165 130	212 205	3 2 1	3 2 1	2 6 2	3 2 1				3 2 1	9 6 1	3 3 2	4 2 2	4 4 1	7 5 2	
消防水利 消防火栓 消防水槽	7,607 6,679 928					329 319 10	288 282 6	244 240 4	397 371 26	625 564 61	165 130 35	212 205 7	95 41 54	202 125 77	644 616 28	413 345 68	324 289 35	411 375 36	298 219 79	265 164 101	623 577 46	506 472 34	488 439 49	421 404 17	471 438 33	186 64 122	
消防分団 消防員 消防ク 消防ポンプ車 消防小型動力ポンプ 消防積載車(含三車) 消防指揮車	1 71 1,521 2 18 9 66 1		14				2 30	2 30	3 52	3 48	3 71	5 120	1 15	5 93	5 140	3 54	4 77	3 65	2 40	4 120	7 142	3 75	2 45	3 75	2 40	3 60	6 115

鹿 児 島 市 消 防 組 織 図

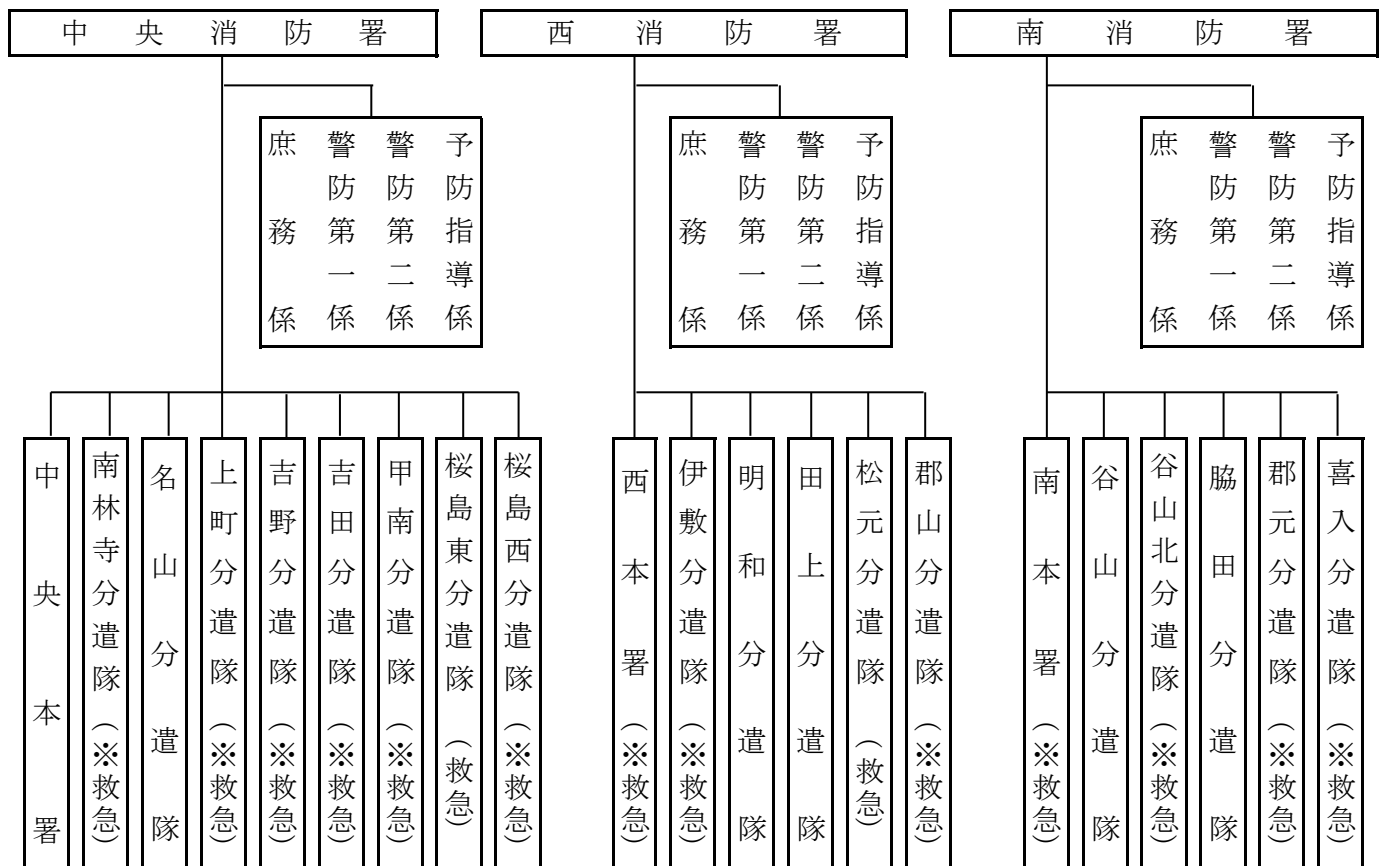
(平26. 4. 1)



(本 部)

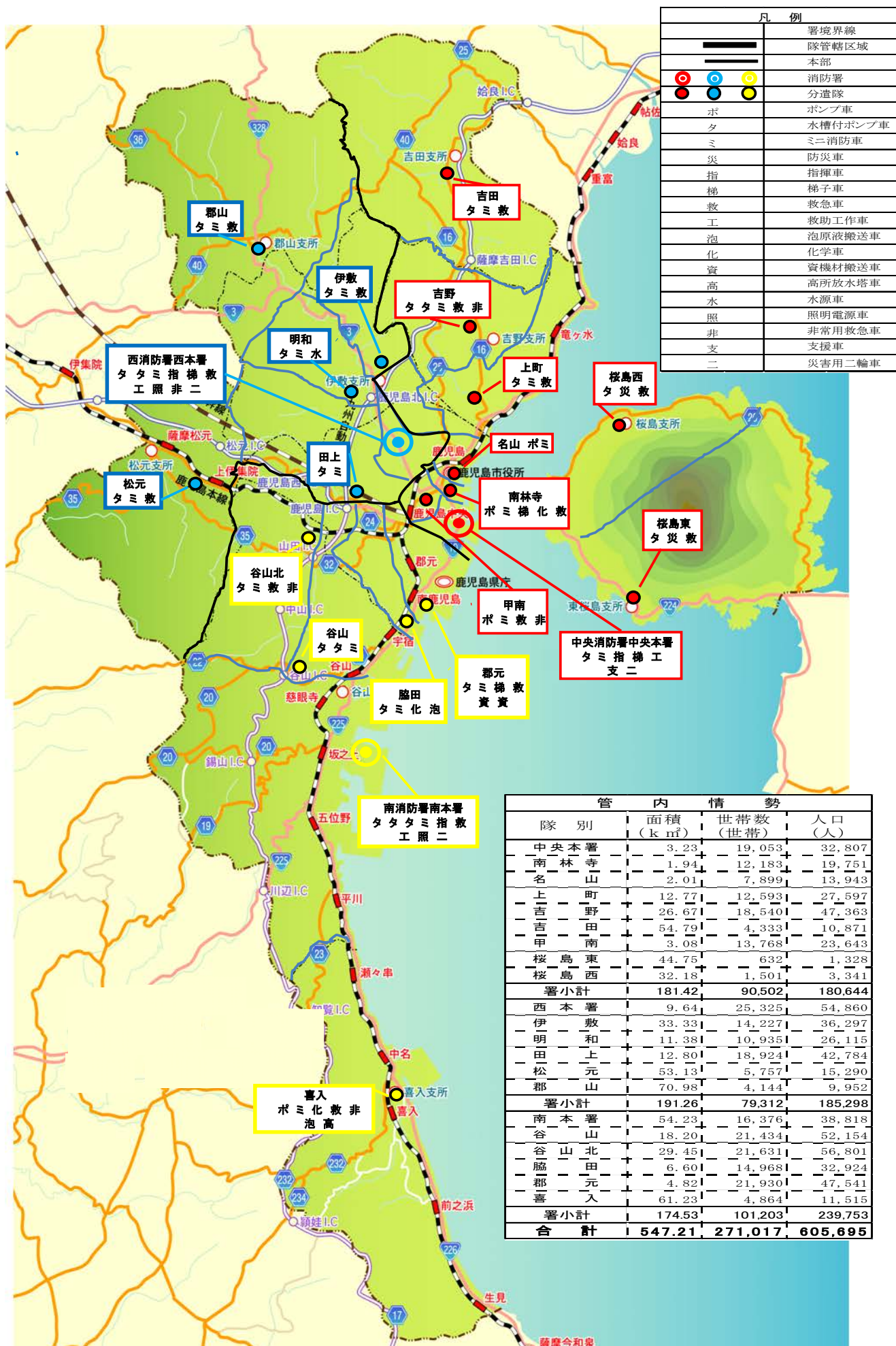


(署)



※印は高規格救急車

本部・署・分遣隊配置及び管轄区域図



消防庁舎所在地・庁舎概況・管轄区域

(平26. 4. 1)

区 分	所 在 地 敷 地 面 積	庁 舎 概 況 (建設年月日)	管 轄 区 域
消防本部 (昭23. 8)	山下町15番1号 (山下分庁舎) 2, 082. 27㎡(629. 88坪)	RC造地下1階地上6階建 8, 546. 59㎡(2, 585. 34坪) (1・2階使用)(平12. 12)	
中 央 本 署 消 防 署	中 央 本 署 (昭23. 8)	天保山町1番38号 864. 21㎡(261. 42坪)	RC造3階建 1, 471. 41㎡(445. 10坪) (昭59. 3)
	南林寺分遣隊 (昭24. 2)	南林寺町1番3号 393. 45㎡(119. 01坪)	RC造2階建 465. 90㎡(140. 93坪) (昭53. 12)
	名 山 分 遣 隊 (昭60. 4)	易居町1番26号 274. 94㎡(83. 16坪)	RC造2階建 216. 0㎡(65. 34坪) (昭60. 3)(平25. 12増築)
	上 町 分 遣 隊 (昭24. 4)	清水町7番5号 584. 39㎡(176. 77坪)	RC造一部2階建 356. 49㎡(107. 83坪) (平2. 3) (平20. 3増築)
	吉 野 分 遣 隊 (昭50. 4)	吉野町2, 902番地18 706. 04㎡(213. 57坪)	RC造2階建 679. 08㎡(205. 42坪) (平15. 3)
	吉 田 分 遣 隊 (平16. 11)	本名町838番地1 1, 989. 67 (601. 87坪)	R C 造平屋建 264. 35㎡ (79. 96坪) (平6. 9)
	甲 南 分 遣 隊 (昭24. 2)	上荒田町16番1号 330. 57㎡(99. 99坪)	RC造2階建 328. 20㎡(99. 28坪) (昭56. 3)
消 防 署	桜島東分遣隊 (昭41. 9)	東桜島町863番地1 (東桜島支所敷地内)	RC造2階建 319. 6㎡(96. 67坪) (昭56. 12)
	桜島西分遣隊 (平16. 1)	桜島藤野町1, 439番地 480. 80㎡(145. 44坪)	RC造2階建 393. 75㎡(119. 10坪) (平12. 11)
西 消 防 署	西 本 署 (平14. 4)	城西二丁目1番1号 1, 999. 99㎡(604. 99坪)	RC造3階建 1, 188. 39㎡(359. 48坪) (平14. 3)
	伊 敷 分 遣 隊 (昭46. 4)	伊敷五丁目12番20号 560㎡(169. 40坪)	RC造2階建 319. 19㎡(96. 55坪) (昭50. 2)(平24. 1増築)
	明 和 分 遣 隊 (昭63. 4)	明和一丁目27番1号 1, 239. 49㎡(374. 94坪)	RC造2階建 328. 35㎡(99. 32坪) (昭63. 3)
	田 上 分 遣 隊 (昭49. 4)	田上一丁目21番17号 406. 15㎡(122. 86坪)	RC造平屋建 218. 97㎡(66. 23坪) (昭49. 2)
	松 元 分 遣 隊 (平18. 4)	上谷口町1, 481番地1, 2 845. 46㎡ (255. 75坪)	RC造2階建 449. 81㎡(136. 06坪) (平18. 3)
	郡 山 分 遣 隊 (平18. 4)	郡山町1, 413番地 690. 00㎡ (208. 72坪)	RC造2階建 449. 81㎡(136. 06坪) (平18. 3)
南 消 防 署	南 本 署 (昭34. 8)	南榮五丁目1番地3 3, 915. 93㎡(1, 184. 56坪)	RC造3階建 1, 432. 20㎡(433. 24坪) (昭58. 3)
	谷 山 分 遣 隊 (昭58. 4)	上福元町5, 855番地2 646. 5㎡(195. 56坪)	RC造2階建 325. 93㎡(98. 59坪) (昭62. 3)
	谷山北分遣隊 (昭61. 4)	山田町683番地2 660㎡(199. 65坪)	RC造2階建 325. 93㎡(98. 59坪) (昭61. 3)
	脇 田 分 遣 隊 (昭45. 4)	宇宿二丁目16番20号 636. 20㎡(192. 45坪)	RC造2階建 351. 35㎡(106. 28坪) (昭62. 2)
	郡 元 分 遣 隊 (昭24. 10)	新栄町22番30号 (消防総合訓練研修センター敷地内)	SRC造2階建 1, 259. 54㎡(381. 01坪) (平13. 3)
	喜 入 分 遣 隊 (平16. 11)	喜入町7, 005番地 (移転新築)	RC造2階建 843. 91㎡ (255. 28坪) (平25. 8)
鹿児島市消防総合 訓練研修センター (平13. 4)	新栄町22番30号 11, 221. 62㎡(3, 394. 54坪)	・主塔 RC造一部鉄骨造10階建 954. 16㎡ ・副塔1 RC造2階建 352. 93㎡ ・副塔2 鉄骨造2階建 156. 87㎡ ・屋外訓練場 8, 264. 09㎡ ・消火栓 3基 ・放水訓練板(RC造/高4m・幅6m・奥行2m) (平13. 3)	

消 防 局 事 務 分 掌



分遣隊毎の管轄面積・世帯・人口・消防車・隊員の状況

(平26. 4. 1)

署別	隊別	面 積 (km ²)	世 帯 (世帯)	人 口 (人)	消防ポンプ車 (台)	消 防 車 1 台 当 た り		消 防 隊 員 (救急隊員含む) (人)	隊 員 1 人 当 た り		
						世帯(世帯)	人 口 (人)		世帯(世帯)	人 口 (人)	
市	内	547.21	271,017	605,695	35	7,743	17,306	392	691	1,545	
		中 央 本 署	3.23	19,053	32,807	2	9,527	16,404	30	635	1,094
		南 林 寺	1.94	12,183	19,751	3	4,061	6,584	24	508	823
		名 山	2.01	7,899	13,943	1	7,899	13,943	13	608	1,073
		上 町	12.77	12,593	27,597	1	12,593	27,597	19	663	1,452
		吉 野	26.67	18,540	47,363	2	9,270	23,682	20	927	2,368
		吉 田	54.79	4,333	10,871	1	4,333	10,871	16	271	679
		甲 南	3.08	13,768	23,643	1	13,768	23,643	20	688	1,182
		桜 島 東	44.75	632	1,328	1	632	1,328	9	70	148
		桜 島 西	32.18	1,501	3,341	1	1,501	3,341	9	167	371
西 署	西 本 署	9.64	25,325	54,860	3	8,442	18,287	36	703	1,524	
	伊 敷	33.33	14,227	36,297	1	14,227	36,297	19	749	1,910	
	明 和	11.38	10,935	26,115	2	5,468	13,058	13	841	2,009	
	田 上	12.80	18,924	42,784	1	18,924	42,784	12	1,577	3,565	
	松 元	53.13	5,757	15,290	1	5,757	15,290	16	360	956	
	郡 山	70.98	4,144	9,952	1	4,144	9,952	16	259	622	
南 署	南 本 署	54.23	16,376	38,818	3	5,459	12,939	34	482	1,142	
	谷 山	18.20	21,434	52,154	2	10,717	26,077	12	1,786	4,346	
	谷 山 北	29.45	21,631	56,801	1	21,631	56,801	20	1,082	2,840	
	脇 田	6.60	14,968	32,924	2	7,484	16,462	12	1,247	2,744	
	郡 元	4.82	21,930	47,541	2	10,965	23,771	22	997	2,161	
	喜 入	61.23	4,864	11,515	3	1,621	3,838	20	243	576	

予算

予算の比較

(平26. 4. 1)

年 度	一般会計当初予算(千円)	消防費当初予算(千円)	一般会計予算に対する割合(%)
平成26年度	236,900,000	5,393,353	2.3
平成25年度	225,344,000	6,320,684	2.8

消防費と人口との比

(平26. 4. 1)

区 分	消防費(円)	1世帯当たり(円)	1人当たり(円)
当初予算額	5,393,353,000	19,900	8,904

消防費の内訳

区 分			平成26年度当初予算額(千円)
常 備 消 防 費			4,265,267
	人 件 費		3,826,616
	旅 費		14,923
	需 用 費		170,115
	役 務 費		47,593
	委 託 料		134,548
	使 用 料 及 び 賃 借 料		17,961
	備 品 購 入 費		11,360
	負 担 金 、 補 助 及 び 交 付 金		25,726
	そ の 他		16,425
消 防 施 設 費			716,822
	委 託 料		44,258
	工 事 請 負 費		220,966
	備 品 購 入 費		340,730
	負 担 金 、 補 助 及 び 交 付 金		57,890
	そ の 他		52,978
非 常 備 消 防 費			411,264
合 計			5,393,353

職員の階級別配置状況

(平26. 4. 1)

階級 配置別				現 員 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	再 任 用	休 職
平	成	22	年	477	1	3	21	29	43	105	113	158	4	4	1
平	成	23	年	474	1	3	21	26	50	106	109	154	4	8	1
平	成	24	年	473	1	3	21	29	45	103	102	166	3	12	
平	成	25	年	489	1	3	21	29	37	109	107	179	3	6	2
平	成	26	年	491	1	1	23	27	42	103	101	190	3	6	3
消	防	局	長	1	1										
消	防	局	次長	1		1									
消	防	局	参事												
総	務	課		18			3	1	6	3	2		3		
課	庶	務	長	1			1								
人	事	係		8					3	2			3		
企	画	係		3			1		1	1					
企	総	務	課	3			1		2						
警	防	課		3				1			2				
課	警	防	長	14			3	3	3	4	1				
課	警	防	係	1			1								
救	急	係		3			1		1	1					
消	防	団	係	6				3	1	1	1				
情	報	管	理	4			1		1	2					
課	課	長		18			1	4	6	6	1			2	
情	報	管	理	1			1								
通	信	指	令	2				2							
通	信	指	令	8				1	3	3	1				
予	防	課		7				1	3	3				2	
課	課	長		16			3	3	5	5					
予	防	係		1			1								
危	険	物	係	3			1		1	1					
調	査	第	一・第二	3				1	1	1					
建	築	係		6				2	2	2					
中	央	消	防	3			1		1	1					
署	署	長		172			5	7	10	34	43	73		2	
署	副	署	長	1			1								
庶	務	係		1			1								
警	防	第	一・第二	1						1					
予	防	指	導	4			2	2							
本	本	署		5			1		2	2					
南	林	寺		30				1	2	5	8	14			
名	山			24				1		5	6	12			
上	町			13					1	2	2	8			
吉	野			19				2	1	2	4	10		2	
吉	田			20				1		5	4	10			
甲	南			16					1	4	5	6			
桜	島	東		20					1	4	6	9			
桜	島	西		9					1	2	4	2			
西	消	防	署	9					1	2	4	2			
署	署	長		121			4	5	5	24	29	54		2	
署	副	署	長	1			1								
庶	務	係		1			1								
警	防	第	一・第二	1						1					
予	防	指	導	4			2	2							
本	本	署		2				1		1					
伊	敷			36				1	1	6	8	20			
明	和			19				1		4	6	8			
田	上			13					1	2	3	7		2	
松	元			12					1	2	2	7			
郡	山			16					1	4	5	6			
南	消	防	署	16					1	4	5	6			
署	署	長		130			4	4	7	27	25	63			
署	副	署	長	1			1								
庶	務	係		1			1								
警	防	第	一・第二	1						1					
予	防	指	導	4			2	2							
本	本	署		3				1		2					
谷	山			34				1	2	5	8	18			
谷	山	北		12					1	2	2	7			
脇	田			20					1	4	5	10			
郡	元			12					1	2	2	7			
喜	入			22					1	5	6	10			
喜	入			20					1	6	2	11			

職員の階級別勤務年数

(平26. 4. 1)

階級 勤務年数	現 員 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	再 任 用	休 職
現 員 数	491	1	1	23	27	42	103	101	190	3	6	3
1 年 未 満	18								18		1	
1年以上 2年未満	35								35		1	
2年以上 3年未満	22								22		4	
3年以上 4年未満	19								19			
4年以上 5年未満	25								25			
5年以上 6年未満	14								14			
6年以上 7年未満	18								18			
7年以上 8年未満	8						1		7			
8年以上 9年未満	26						1		25			
9年以上 10年未満	2							1	1			
10年以上 11年未満	7						1	1	5			
11年以上 12年未満	6						2	4				
12年以上 13年未満	25						13	12				
13年以上 14年未満	15						10	5				
14年以上 15年未満	20						11	9				
15年以上 16年未満	6						3	3				1
16年以上 17年未満	8					1	5	2				
17年以上 18年未満	17					1	9	6		1		
18年以上 19年未満	6					1	1	4				
19年以上 20年未満	5					2	2	1				
20年以上 21年未満	12				1		8	3				
21年以上 22年未満	20				1	5	8	6				
22年以上 23年未満	9					2	3	3	1			
23年以上 24年未満	3					1	1	1				
24年以上 25年未満	9				1	2	2	4				
25年以上 26年未満	9				2	2	2	3				
26年以上 27年未満	12				3	4	2	3				
27年以上 28年未満	14				5	3	2	4				
28年以上 29年未満	11				2	3	3	3				
29年以上 30年未満	8			1	4	2	1					
30年以上 31年未満	9			3		1	3	1		1		1
31年以上 32年未満	17			2	1	5	1	7		1		
32年以上 33年未満	15			4	4	2	2	3				
33年以上 34年未満	5			1				4				1
34年以上 35年未満	5			2				3				
35年以上 36年未満	11			3	1	2	4	1				
36年以上 37年未満	4			1	1	1		1				
37年以上 38年未満	0											
38年以上 39年未満	4			1		2		1				
39年以上 40年未満	3		1				1	1				
40 年 以 上	9	1		5	1		1	1				
平均勤務年数	15.7	40.0	39.0	34.3	28.5	26.6	19.3	21.2	3.9	26.0		

職員の階級別年齢

(平26. 4. 1)

階級 年齢	現 員 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	再 任 用	休 職
現 員 数	491	1	1	23	27	42	103	101	190	3	6	3
18歳以上 19歳未満	3								3			
19歳以上 20歳未満	6								6			
20歳以上 21歳未満	6								6			
21歳以上 22歳未満	11								11			
22歳以上 23歳未満	11								11			
23歳以上 24歳未満	13								13			
24歳以上 25歳未満	18								18			
25歳以上 26歳未満	21								21			
26歳以上 27歳未満	22								22			
27歳以上 28歳未満	21								21			
28歳以上 29歳未満	22						1	1	20			
29歳以上 30歳未満	14								14			
30歳以上 31歳未満	8							6	2			
31歳以上 32歳未満	16						3	4	9			
32歳以上 33歳未満	15						2	5	8			
33歳以上 34歳未満	9						2	6	1			
34歳以上 35歳未満	13						9	2	2			
35歳以上 36歳未満	16						10	5	1			
36歳以上 37歳未満	19						10	9				1
37歳以上 38歳未満	12						10	2				
38歳以上 39歳未満	9					2	4	3				
39歳以上 40歳未満	11				1	1	8	1				
40歳以上 41歳未満	19					5	7	6		1		
41歳以上 42歳未満	6					2	3	1				
42歳以上 43歳未満	9				1	2	5	1				
43歳以上 44歳未満	8				1		3	4				
44歳以上 45歳未満	8					2	3	3				
45歳以上 46歳未満	10				1	2	2	4	1			
46歳以上 47歳未満	19				5	6	3	5				
47歳以上 48歳未満	9				4		1	4				
48歳以上 49歳未満	12			2	2	6		2				
49歳以上 50歳未満	9				2	1	2	4				
50歳以上 51歳未満	12			2	1	1	2	5		1		
51歳以上 52歳未満	7				3	2	2					1
52歳以上 53歳未満	10			2	1		1	5		1		1
53歳以上 54歳未満	13			5	1		3	4				
54歳以上 55歳未満	7				1	3	2	1				
55歳以上 56歳未満	2						1	1				
56歳以上 57歳未満	4			1		2		1				
57歳以上 58歳未満	9		1	3	1	1	1	2				
58歳以上 59歳未満	18	1		7	1	2	3	4				
59歳以上 60歳未満	4			1	1	2						
60 歳 以 上											6	
平 均 年 齢	36.9	58.0	57.0	54.7	48.8	47.4	40.6	41.9	25.8	47.3		

公 務 災 害 等 の 発 生 状 況

区 分	総 数	火 災 防 ぎ よ	通 勤 中	演 習 訓 練 中	救 急 救 助 活 動 中	作 業 中	外 勤 そ の 他	通 勤 災 害
過 去 10 年 合 計	20	2	2	7	4	1	2	2
平 成 16 年 度	2		1					1
平 成 17 年 度	4			3				1
平 成 18 年 度	2				1		1	
平 成 19 年 度	4			2	1		1	
平 成 20 年 度	4	1		2		1		
平 成 21 年 度	0							
平 成 22 年 度	2	1			1			
平 成 23 年 度	0							
平 成 24 年 度	1		1					
平 成 25 年 度	1				1			
平成25年度の内訳								
程 度 別	1 週 間 未 満	0						
	1 月 未 満	0						
	1 月 以 上	1			1			
所 属 別	本 部	0						
	中央消防署	1			1			
	西 消 防 署	0						
	南 消 防 署	0						

消 防 吏 員 採 用 試 験 の 状 況

区 分	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 者 の 内 訳			
			大 卒	短大卒	高 卒	辞 退 者
平 成 16 年 度	※					
平 成 17 年 度	650(23)	31(2)	12	3(1)	13	3(1)
平 成 18 年 度	525(29)	13(1)	5	2(1)	5	1
平 成 19 年 度	354	19	7	5	7	3
平 成 20 年 度	354	19	8	3	8	3
平 成 21 年 度	458(6)	29(1)	17	4(1)	8	4
平 成 22 年 度	200(6)	22(2)	13	2(2)	7	3
平 成 23 年 度	210(7)	24(2)	14	3(1)	7(1)	2
平 成 24 年 度	251(7)	38(1)	23	4(1)	11	3
平 成 25 年 度	219(5)	20	10	2	8	3

() 内は、女性の内数である。

※ 平成16年度採用試験実績なし

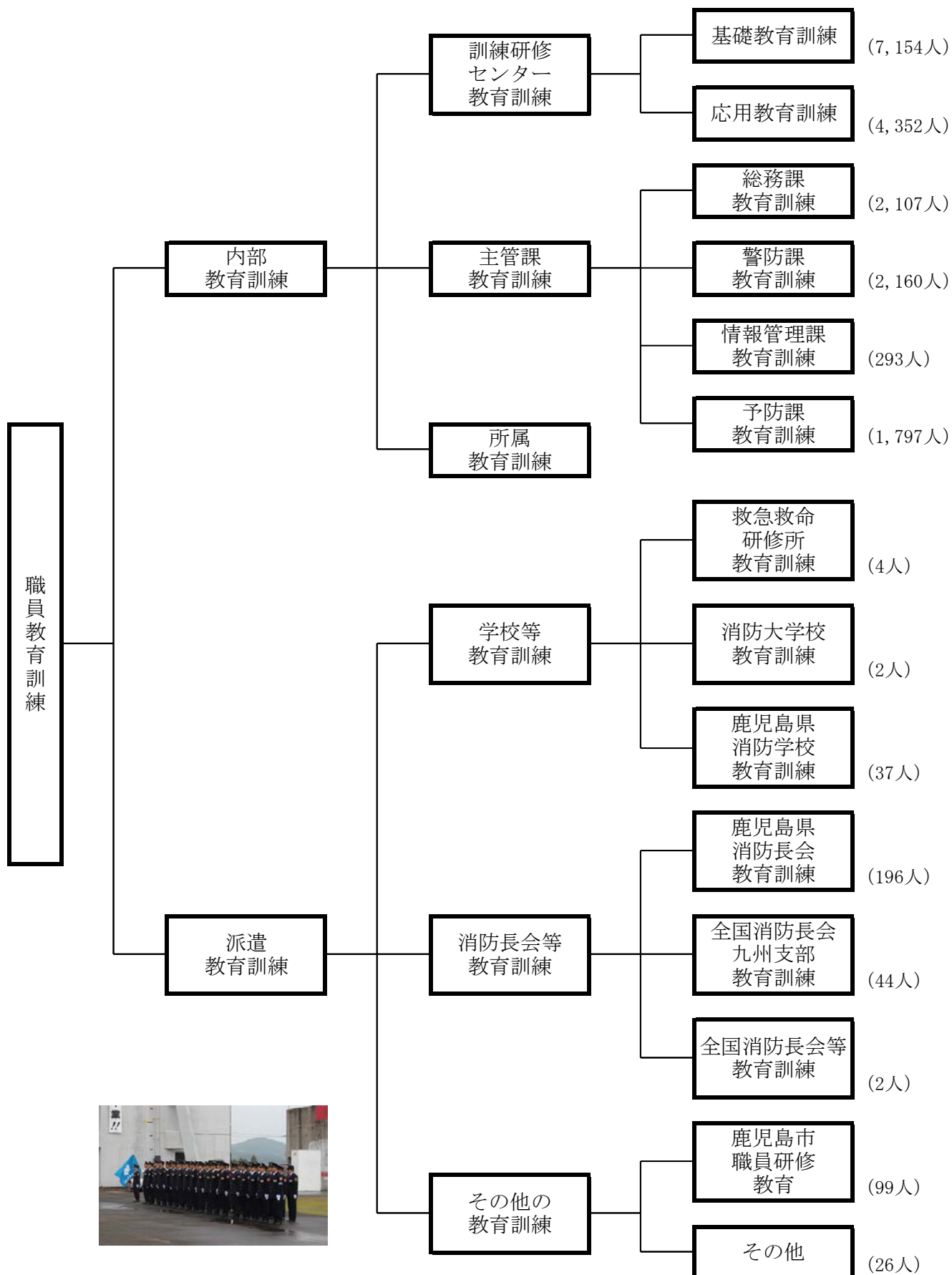
消 防 吏 員 採 用 の 状 況

区 分	採 用 者 数	採 用 者 の 内 訳		
		大 卒	短 大 卒	高 卒
平 成 17 年 度	2			2
平 成 18 年 度	29(1)	13	3(1)	13
平 成 19 年 度	9(1)	4	2(1)	3
平 成 20 年 度	18	7	4	7
平 成 21 年 度	15	6	2	7
平 成 22 年 度	24(1)	15	3(1)	6
平 成 23 年 度	20(2)	11	3(2)	6
平 成 24 年 度	21(2)	12	3(1)	6(1)
平 成 25 年 度	38(1)	23	4(1)	11
平 成 26 年 4 月	15	8	2	5

() 内は、女性の内数である。

消防職員教育訓練の状況

() 内は平成25年度実績



各種免許資格の状況

(平26.4.1)

種 別			階 級 等	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	再 任 用	総 数	%
総 数				1	1	23	27	42	105	102	190	3	(6)	494	
自動車運転免許	一 種	大 型	1		18	26	35	87	63	71		(5)	301	60.9%	
		中 型					1	2	5	30			38	7.7%	
		中 型 （ 8 t 限 定 ）		1	5	1	6	16	34	35	3	(1)	101	20.4%	
		普 通							53			53	10.7%		
		大 型 特 殊					1	4	2			7	1.4%		
		自 動 二 輪	1	1	19	26	33	85	80	89	2	(6)	336	68.0%	
	け ん 引					1	1	4	2			8	1.6%		
	二 種	大 型					3	4	1				8	1.6%	
普 通												0	0.0%		
整備士	ガ ソ リ ン 2 級									1				1	0.2%
	ガ ソ リ ン 3 級						1	1						2	0.4%
	デ ィ ー ゼ ル 2 級									1				1	0.2%
	デ ィ ー ゼ ル 3 級													0	0.0%
	自 動 車 シ ャ ー シ						1							1	0.2%
危 険 物 取 扱 者				1	1	2	8	25	91	77	131		(2)	336	68.0%
消 防 設 備 士						1	2	3	10	7	15			38	7.7%
予 防 技 術 検 定（消 防 設 備）						17	23	38	46	4	11			139	28.1%
予 防 技 術 検 定（防 火 査 察）						17	23	37	57	15	46			195	39.5%
予 防 技 術 検 定（危 険 物）						17	23	39	48	4	5			136	27.5%
第 1 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士						7	5	8	7	3			(2)	30	6.1%
第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士						3	1	3	3	5	8		(1)	23	4.7%
第 3 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士							2	10	70	54	1		(1)	137	27.7%
ア マ チ ュ ア 無 線 技 士				1		3	6	6	12	13	1		(3)	42	8.5%
水 上 安 全 救 助 員									13	10	5			28	5.7%
小 型 船 舶 操 縦 士						6	5	5	12	12	9		(2)	49	9.9%
潜 水 免 許								2	14	12	8			36	7.3%
衛 生 管 理 者							1							1	0.2%
2 級 建 築 士														0	0.0%
電 気 工 事 士							3		3	6	4			16	3.2%
高 圧 ガ ス 2 種 販 売 主 任														0	0.0%
2 級 ボ イ ラ ー 技 士											3			3	0.6%
ガ ス 溶 接 士							1	4	5	7	5			22	4.5%
玉 掛 ・ 小 型 ク レ ー ン 運 転 技 能								6	29	15	6			56	11.3%
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任							2	5	9	15	3		(1)	34	6.9%
救 急 救 命 士							4	4	16	22	17		(1)	63	12.8%
救 急 科 （ 救 急 標 準 課 程 ）								5	22	34	24			85	17.2%
救 急 II 課 程						6	2	7	6	5			(1)	26	5.3%
救 急 I 課 程						1			2				(2)	3	0.6%

※再任用 () 数については、含まないものとする。

消 防 音 楽 隊

○ 沿 革

種別 年月	概 要
昭和32年 7月1日	職員厚生会クラブ活動として発足
昭和42年 7月	鹿児島県文化センターに於いて10周年記念演奏会を開催
昭和46年 7月	鹿児島市消防音楽隊設置規則により、消防局総務課の所管となる。(隊員26人)
昭和52年10月	鹿児島県文化センターに於いて20周年記念演奏会を開催
昭和63年 7月	鹿児島市民文化ホールに於いて30周年記念演奏会を開催
平成10年 8月	鹿児島アリーナに於いて40周年記念演奏会を開催
平成14年 4月	鹿児島市消防音楽隊規程の一部改正により音楽隊の定員が34人となる。
平成14年 5月	「ふれあいコンサート事業」がはじまる。(第1回：みなと大通り公園)
平成20年 1月	鹿児島市消防音楽隊規程の一部改正により消防団員の入隊が可能となる。
平成20年 8月	鹿児島市民文化ホールに於いて50周年記念演奏会を開催

○ 編 成

(平26. 4. 1)

指揮者(1)／クラリネット(4)／ピッコロ・フルート(2)／アルトサックス(2)／テナーサックス(2)
 バリトンサックス(1)／フレンチホルン(2)／ユーホニウム(2)／トランペット(6)
 トロンボーン(4)／バス・チューバ(2)／パーカッション(5)

○ 人 員 (実員33人)

(平26. 4. 1)

隊 長	副隊長	楽 長	副楽長	隊 員					
司 令	司 令	司 令	士 長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	消防団員
1	1	1	1	3	2	3	9	7	5
勤 務 形 態			年 齢 構 成						
毎日勤務	隔日勤務	消防団員	10代	20代	30代	40代	50代	60代	平均年齢
4	24	5	0	5	9	12	7	0	40.2

○ 活動状況(平成25年度)

消 防 関 係 行 事	市 関 連 行 事	そ の 他
消 防 出 初 式 1	おはら祭・谷山ふるさと祭 3	駅伝大会(スタート・コール) 3
ふれあいコンサート 4	外国船寄港歓迎式 0	プロスポーツキャンプ歓迎式 3
式典その他 5	式典その他 7	式典その他 0
10	10	6

○ ふれあいコンサート

平成14年度より市内各地で開催しているコンサート事業です。(年4～5回開催)

消防音楽隊が市内各地に出向き、演奏を通じて市民とのふれあいの中で、火災予防や応急手当ての普及啓発など、消防広報の効果を高めるとともに、市民により身近な消防行政の推進を図ることを目的に実施しています。

警 防



総 記	26・27
救 急	
救急業務の沿革	28・29
救急一目統計	30
救急車の活動状況	31
医療機関の状況	31
医療機関別搬送状況(人員).....	31
救急業務概要(統計).....	32
救急隊別活動状況	33
傷病程度別搬送状況.....	34
曜日・月別出場状況	35
年齢別搬送状況	36
時間別出場状況	36
診療科目別搬送状況.....	37
覚知別出場状況	37
年別救急業務取扱状況.....	38・39
市町村等応援協定	40
応援協定による出場状況.....	41
鹿児島市におけるドクターヘリ運航状況	41
救 助	
救助業務の沿革	42
救助活動状況	42
事故種別発生場所別救助者数.....	42
国際消防救助隊	43・44
緊急消防援助隊	44～46
過去の特種事故概要.....	47～49
ガス漏洩事故発生状況	50
平成5年8・6豪雨災害	51・52

装 備

各隊特殊機材等保有状況	53・54
救急資器材保有状況	55
各隊別ホース保有状況	55
ボンベ保有状況	55
消防車両等装備一覧	56～58

警 防

消防車警防活動状況	59・60
消防水利の推移	61
消防的見地から見た重点特殊建築物各隊状況	61
中高層建物各隊状況	61

防 災

化学消火剤備蓄状況	62
化学消火剤等保有機関	62
水位観測のための量水標の位置	63
雨量計設置場所	63
水防倉庫(器具資材置場)	63
風水害等警戒区域	63
風水害等警戒区域各隊別状況	64
風水害被害状況(年別)	64
過去の主な風水害記録	65
各種証明発行状況(年度別)	65
鹿児島市気象概要	66
桜島の噴火記録	67～73
桜島大正噴火の概況	74
桜島大正噴火から100年	75
桜島地区の避難施設の現況	75
桜島火山爆発回数	76
爆発回数(年)	76
市内各地での降灰量	76
桜島の各河川土石流発生状況	77

◎ 警 防 行 政

近年の災害は、都市化の進展や市街地の拡大、社会情勢の変化とともに複雑多様化し消防活動の困難性が高まり、より高度な警防活動が要求されている。このような中、災害が発生した場合、特に人命危険が高く、消防活動上困難が予想される建物、地域及び事業所等について消防計画に基づいて警防調査を行い、警備計画を樹立するとともに、関係機関等と連携協力し、総合的な消防防災訓練を行い、火災等の警防対策の強化を図っている。

また、隊員の警防技術の向上を図るため、消防総合訓練研修センターの各種訓練施設を活用し、部隊連携訓練や人命救助訓練などの警防訓練に取り組むとともに、研修施設においては市民に対する普通救命講習や消防防災に関する研修や広報活動を実施している。

風水害対策として、土砂災害警戒区域や宅地造成地又桜島火山噴火に伴う土石流災害発生予想箇所など風水害危険箇所について、梅雨期前に調査を行い現状把握に努めるとともに、地域住民や関係機関と合同で情報伝達や避難の防災訓練を実施している。

その他、近年の全国的な地震災害やBC災害、危険物施設等における企業災害といわれる特殊事故・災害を踏まえ、これらに対応する活動体制の整備や防災関係機関との連携強化、さらに緊急消防援助隊制度を基軸とした広域消防応援体制の充実強化などに取り組んでいる。

消防活動を支える資機材、消防施設等の整備においては、火災やガス漏れ現場等における隊員の活動性の向上と負担の軽減を図るため軽量空気ボンベの整備、また武力攻撃事態等や緊急対処事態(テロ)時において生物剤や化学剤その他有害化学物質等から隊員を保護するため、化学防護服等を整備するとともに、消防水利対策として、耐震性を有する防火水槽の整備や、市街地をはじめ宅地造成などの開発区域への消火栓の充実などを行っている。

◎ 救 急 業 務

本市の救急業務は、昭和35年12月に業務を開始し、現在は、救急車20台(うち高規格救急車13台、非常用救急車5台)を保有している。

救命率の向上を図るため平成3年8月に「救急救命士法」が施行、「救急隊員の行う応急処置等の基準改正」により、救急隊員の実施できる応急処置が拡大された。

これらを受けて、本市では平成3年から救急救命士の養成を行い、平成4年5月に本市から県内初の救急隊員の救急救命士が誕生し、これを皮切りに毎年2人ずつの計画で救急救命士の養成に取り組み、平成26年4月現在、55人の救急救命士が13台の高規格救急車で活動を行っている。

平成15年4月には、医師の包括的指示の下での除細動を開始し、また平成16年7月に非医療従事者によるAEDの使用が認められたことを受け、平成17年度には全ての救急車及び救急隊のない分遣隊の消防車に除細動器を配置した。

平成16年7月から特定行為に加わった気管チューブによる気道確保については、平成25年度末までに47人の救急救命士が認定を受け、同じく平成18年4月から加わった薬剤投与については、平成25年度末までに50人の救急救命士が所定の講習と病院実習を修了し、薬剤(アドレナリン)の投与ができる救急救命士として認定を受けた。

平成25年度の市民に対する「応急手当普及啓発活動」については、5,189人に対して普通救命講習を実施するとともに、救急現場に居合わせたとき救急車が到着するまでの間、応急手当や傷病者の介護並びに119番通報などを積極的に行ってもらい「救急ボランティア」の育成を行い、平成25年度には、この事業に賛同をいただいた市内の3事業所と24人の個人を「救急ボランティア」に認定した。

この「救急ボランティア」の育成は、平成14年度から事業を開始し、平成26年3月末現在、309の事業所と1,187人の個人を認定している。

◎ 救 助 業 務

救助業務は、消防機関が実施する災害の防除活動の中でも基本的かつ重要な業務であり、あらゆる災害や事故において、救助活動が最も優先されるべきである。

このようなことから、本市においては昭和47年4月に救助隊が発足するとともに特別救助隊を組織した。昭和62年1月「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」が施行されて以来、隊員の配置、装備及び救助資機材を整備し充実させている。

平成14年4月1日から新たに西消防署が発足したことに伴い、同年11月から西消防署に救助工作小隊を配置し運用を開始した。これにより中央、西、南の3消防署に救助工作小隊が配置され救助業務体制の充実が図られた。

また、国際的な災害の救助活動に対処すべく、平成元年3月国際消防救助隊に加盟し、定期的に訓練や研修を実施するとともに平成14年度には、鹿児島市において九州ブロックの国際消防救助隊合同訓練を開催し、参加本部との連携強化及び救助技術の向上を図るなどして有事に備えている。

一方、国内で発生した大規模災害に速やかに対応するため平成7年6月30日に「緊急消防援助隊」が発足し、緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練に積極的に参加し、九州の各登録本部との連携による救出訓練等を行い技術の向上を図っている。

これまでの主な救助業務は、平成5年8月6日に発生した「8・6豪雨災害」の最中、市内の38箇所で人命救助を伴う生き埋め災害が発生し、46人の尊い命が奪われたが、救助工作小隊、消防車小隊及び救急小隊の連携により、43人を救出した。

平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」には、1月19日から28日まで12人の応援隊員を神戸に派遣し、人命救助及び火災防ぎょ活動等に活躍した。

平成9年7月10日に発生した「出水針原地区の土石流災害」には、初めて鹿児島県消防相互応援協定に基づき、代表消防機関として県内消防本部間の調整を図りながら、18消防本部、延べ112人の消防隊員が行方不明者の捜索・救出に活躍した。（当局関係分 消防車両延べ7台、隊員18名が災害派遣された。）

平成11年9月21日に発生した「台湾地震災害」には、初めて鹿児島市国際消防救助隊員2人が国際消防救助隊の一員として派遣され、人命救助活動を行った。

平成19年2月1日、大規模かつ多様化する災害や事故に迅速に対応するため、中央消防署の救助工作車をクレーン等を装備した救助工作車Ⅲ型に更新し、地震警報器など6品目の高度救助資機材等を装備した、高度救助隊を発足させ、救助体制の強化を図った。

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」には、被災地である宮城県石巻市に緊急消防援助隊鹿児島県隊が出動し、3月14日から23日まで行方不明者の捜索や救助活動等を実施した。（鹿児島市出動隊 5隊、隊員18人）



救 急 業 務 の 沿 革

昭和35年12月	救急車1台（ジュピター、無線付217万円）、救急隊員4人を警防課に配置し救急業務を開始
昭和38年4月	救急業務は法的な根拠もなく、サービスの任意業務であったが、消防法の一部改正により救急業務が法令化された
昭和39年3月	救急隊を署（本署）に移管
昭和39年4月	救急病院等を定める省令の施行により、51の医療機関が告示された
	救急車2台（本署、八幡）隊員8人
昭和43年3月	救急車3台（本署、八幡、谷山）隊員14人
昭和45年4月	救急車5台（本署、八幡、谷山、脇田、非常用1台）隊員20人
昭和46年4月	救急車6台（中本、八幡、伊敷、南本、脇田、非常用1台）隊員24人
昭和49年4月	郡元分遣隊に救急隊を配置、救急車8台（中本、甲南、伊敷、東桜島、南本、郡元、非常用2台）隊員29人
昭和50年4月	吉野分遣隊の発足に伴い救急車を配置、救急車8台（中本、甲南、伊敷、吉野、東桜島、南本、郡元、非常用1台）隊員32人
昭和51年12月	郡元分遣隊の救急隊を脇田分遣隊へ移管
昭和54年8月	救急車9台（中央署5台、南署2台、非常用2台）
昭和57年4月	自治省令で定める救急業務に関する資格者 34人配置
昭和58年4月	南消防署が南栄5丁目に移転 隊員36人
昭和59年4月	中央消防署が天保山町へ移転、中央本署の救急隊を南林寺分遣隊へ移管
昭和63年1月	救急統計事務を電算化
平成2年4月	谷山北分遣隊に救急隊を配置、救急車10台（南林寺、吉野、伊敷、甲南、東桜島、南本署、谷山北、脇田、非常用2台）隊員42人（うち併任6人）
平成4年4月	救急車10台（南林寺、吉野、伊敷、甲南、東桜島、南本署、谷山北、脇田、非常用2台）隊員42人（うち併任6人）
平成5年3月	拡大応急処置9項目業務開始
平成5年4月	救急車10台（南林寺、吉野、伊敷、甲南、東桜島、南本署、谷山北、脇田、非常用2台）隊員50人（うち併任8人）
平成5年12月	高規格救急車運用開始（南林寺に配置）、市内全域のCPA患者に対する出場体制確立
平成6年4月	鹿児島市立病院と救急救命士の救急救命処置に対する「医師の具体的な指示」に関する協定を締結
平成6年12月	高規格救急車2台目の運用開始（南本署に配置）
	鹿児島市医師会病院と救急救命士の救急救命処置に対する「医師の具体的な指示」に関する協定を締結
平成8年4月	高規格救急車3台目の運用開始（伊敷に配置）
平成8年6月	国立南九州中央病院と救急救命士の救急救命処置に対する「医師の具体的な指示」に関する協定を締結
平成9年4月	高規格救急車4台目の運用開始（吉野に配置）
	応急手当普及啓発活動の開始
平成12年3月	指示病院のうち、国立南九州中央病院との協定を解除
平成12年4月	今給黎総合病院、植村病院（伊敷）と救急救命士の救急救命処置に対する「医師の具体的な指示」に関する協定を締結
平成13年1月	桜島町分遣隊に救急車を配置、救急車11台（南林寺、吉野、伊敷、甲南、東桜島、桜島町、南本署、谷山北、脇田、非常用2台）隊員58人（うち併任16人）

平成 13 年 4 月	脇田分遣隊の救急隊を郡元分遣隊へ移管
平成 14 年 4 月	高規格救急車5台目の運用開始（西本署に配置）救急車12台（南林寺、吉野、甲南、東桜島、桜島町、西本署、伊敷、南本署、谷山北、郡元、非常用2台）隊員64人（うち併任16人）
平成 14 年 6 月	救急ボランティアの育成普及啓発開始
平成 15 年 4 月	鹿児島市立病院と救急隊員の「救急活動の事後検証」について協定を締結 救急救命士の救急救命処置の見直しにより「医師の包括的指示下」による除細動の実施を開始
平成 16 年 9 月	気管挿管（気管チューブによる気道確保）を行うことのできる九州初の救急救命士誕生
平成 16 年 11 月	周辺5町との合併、救急車17台（南林寺、吉野、吉田、甲南、桜島東、桜島西、西本署、西本署2、伊敷、南本署、谷山北、郡元、喜入、非常用4台）隊員84人（うち併任16人） 高規格救急車6台目の運用開始（喜入に配置） 鹿児島赤十字病院と救急救命士の救急救命処置に対する「医師の具体的な指示」に関する協定を締結
平成 16 年 12 月	高規格救急車7台目の運用開始（谷山北に配置）
平成 17 年 4 月	高規格救急車8台目の運用開始（甲南に配置）
平成 18 年 4 月	薬剤投与（アドレナリン）を行うことのできる県内初の救急救命士誕生 松元分遣隊、郡山分遣隊に救急車を配置、救急車19台（南林寺、吉野、吉田、甲南、桜島東、桜島西、西本署、伊敷、松元、郡山、南本署、谷山北、郡元、喜入、非常用5台）隊員84人（うち併任12人）
平成 18 年 12 月	鹿児島海上保安部との消防に関する業務協定を締結（救急業務について新たに加え協定を締結） 鹿児島市医師会との救急業務の協力に関する協定を締結
平成 19 年 4 月	鹿児島生協病院と救急救命士の救急救命処置に対する「医師の具体的な指示」に関する協定を締結 救命講習講師ボランティアとの協働による応急手当普及啓発活動の開始
平成 19 年 9 月	患者等搬送事業所の認定（6事業所）
平成 20 年 4 月	高規格救急車9台目の運用開始（上町に配置）、救急車20台（南林寺、上町、吉野、吉田、甲南、桜島東、桜島西、西本署、伊敷、松元、郡山、南本署、谷山北、郡元、喜入、非常用5台）隊員90人（うち併任12人）
平成 20 年 12 月	高規格救急車10台目の運用開始（郡元に配置）
平成 23 年 6 月	高規格救急車11台目の運用開始（桜島西に配置）
平成 24 年 4 月	救急救命士の救急救命処置に対する「医師の具体的な指示」に関する協定を締結 鹿児島大学医学部・歯学部病院、南風病院、中央病院、鹿児島徳洲会病院、今村病院分院
平成 24 年 6 月	高規格救急車12台目の運用開始（吉田に配置）
平成 25 年 4 月	高規格救急車13台目の運用開始（郡山に配置）



救 急 一 目 統 計

救 急 隊	15 隊	(うち救急救命士運用隊 13隊)
救 急 車	20 台	(うち非常用救急車 5台)
救 急 隊 員	90 人	(うち救急救命士 52人)
救急告示医療機関 (市内)	35 箇所	(病院 32 診療所 3)
人 口	605,695 人	

※上記の項目については平成26年4月1日現在

(平成25年中)

出 場 件 数	25,754 件	(平成24年	25,317 件)
搬 送 件 数	23,518 件	(平成24年	22,787 件)
搬 送 人 員	23,694 人	(平成24年	22,977 人)

一日の平均出場件数	70.6 件	(平成24年	69.2 件)
一日の平均搬送人員	64.9 人	(平成24年	62.8 人)
一日の最多出場件数	107 件	(平成24年	101 件)
一日の最少出場件数	42 件	(平成24年	31 件)

救急車の出場割合は 20分間 に 1 回

救急車の搬送割合は 市民26人 に 1 人

救急出場の多い月は	1 月	(少ない月は	9月)
救急出場の多い曜日は	土 曜 日	(少ない曜日は	水曜日)
救急出場の多い時間帯は	10～11 時	(少ない時間帯は	3～4 時)
救急出場の多い事故種別は	急病	15,059件	(58.5%)
救急要請の多い覚知別は	119番通報	24,046件	(93.4%)

救急業務応援協定による出場 64件 (うち1件本土内搬送)

鹿児島県ドクターヘリ運航事業における
救急車搬送に関する相互応援協定による出場状況 335件

九州縦貫自動車道における出場 12件 (うち11人搬送)

救 急 車 の 活 動 状 況

(平成25年中)

		火災出場		火災以外 の救急活動		虚誤報出場		広報宣伝		消防演習		その他 (講習会含む)	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
中 央 署	南林寺救急	22	66	3,146	9,438	15	45	24	72	5	15	114	342
	上町救急	5	15	2,060	6,180	7	21	60	180	2	6	66	198
	吉野救急	6	18	1,670	5,010	8	24	104	312	10	30	53	159
	吉田救急	5	15	731	2,193	9	27	106	318	5	12	301	903
	甲南救急	3	9	3,331	9,993	26	78	58	174	2	6	81	243
	桜島東救急			147	441	4	12	215	226	5	7	567	999
	桜島西救急	3	9	205	615	1	3	170	220	3	5	458	841
	中央署予備			1	3			10	26			32	84
	計	44	132	11,291	33,873	70	210	747	1,528	32	81	1,672	3,769
西 署	西本署救急	10	30	2,665	7,995	14	42	20	60	5	15	198	579
	伊敷救急	10	30	1,780	5,340	10	30	13	39			77	229
	松元救急	2	6	656	1,968	4	12	9	27	1	3	366	1,089
	郡山救急	3	9	592	1,776	4	12	106	318	4	12	198	594
	計	25	75	5,693	17,079	32	96	148	444	10	30	839	2,491
南 署	南本署救急	6	18	2,629	7,887	16	48	27	81	4	12	181	540
	谷山北救急	9	27	2,422	7,266	7	21	47	141			24	72
	郡元救急	13	39	2,791	8,373	13	39	38	114	3	9	30	90
	喜入救急	4	12	649	1,947			85	255	4	12	299	894
	南署予備	1	3	39	117			29	33	2	4	36	47
	計	33	99	8,530	25,590	36	108	226	624	13	37	570	1,643
合 計		102	306	25,514	76,542	138	414	1,121	2,596	55	148	3,081	7,903

医 療 機 関 の 状 況

(平成26. 4. 1鹿児島市保健所調)

救急告示医療機関						その他の医療機関						合 計
国立	公立	公的	私 的		計	国立	公立	公的	私 的		計	
			病院	診療所					病院	診療所		
2	1	3	26	3	35	4	11	6	67	518	606	641

医 療 機 関 別 搬 送 状 況(人員)

(平成25年中)

救急告示医療機関						その他の医療機関						その他の 場所	合 計
国立	公立	公的	私 的		計	国立	公立	公的	私 的		計		
			病院	診療所					病院	診療所			
1, 509	3, 195	528	15, 911	398	21, 541	24	250	0	881	995	2, 150	3	23, 694

救 急 業 務 概 要 (統 計)

区分 事故 種別	平 成 25 年					平 成 24 年					比 較 (増 減)				
	出 場 件 数 (件)	搬 送 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)			出 場 件 数 (件)	搬 送 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)			出 場 件 数 (件)	搬 送 件 数 (件)	搬 送 人 員 (人)		
			計	男	女			計	男	女			計	男	女
合 計	100% 25,754	23,518	23,694	11,838	11,856	100% 25,317	22,787	22,977	11,450	11,527	437	731	717	388	329
火 災	0.4% 102	18	18	7	11	0.5% 127	23	30	13	17	△ 25	△ 5	△ 12	△ 6	△ 6
自 然 害	0					0.0% 1					△ 1				
水 難	0.1% 14	3	3	3		0.1% 21	15	16	11	5	△ 7	△ 12	△ 13	△ 8	△ 5
交 通 故	9.0% 2,328	2,139	2,283	1,335	948	9.1% 2,299	2,066	2,204	1,265	939	29	73	79	70	9
労 働 害	0.7% 173	171	171	143	28	0.6% 154	150	151	125	26	19	21	20	18	2
運 動 技	0.6% 150	143	145	117	28	0.5% 135	135	137	110	27	15	8	8	7	1
一 般 傷	13.0% 3,353	3,144	3,154	1,359	1,795	12.9% 3,263	3,005	3,016	1,339	1,677	90	139	138	20	118
加 害	0.6% 146	124	126	82	44	0.5% 123	103	108	62	46	23	21	18	20	△ 2
自 行 損 為	1.2% 321	227	227	82	145	1.2% 315	222	221	79	142	6	5	6	3	3
急 病	58.5% 15,059	13,934	13,945	6,935	7,010	57.9% 14,660	13,436	13,454	6,683	6,771	399	498	491	252	239
その他	16.0% 4,108	3,615	3,622	1,775	1,847	16.7% 4,219	3,632	3,640	1,763	1,877	△ 111	△ 17	△ 18	12	△ 30

注： 上段は合計に対する百分率(%) △は減

救 急 隊 別 活 動 状 況

(平成25年中)

事故種別 区 分				合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他
出 場 搬 送 人 員	数 件 数 員	数 件 数 員	数 件 数 員	25,754	102	0	14	2,328	173	150	3,353	146	321	15,059	4,108
				23,518	18	0	3	2,139	171	143	3,144	124	227	13,934	3,615
				23,694	18	0	3	2,283	171	145	3,154	126	227	13,945	3,622
出 場 件 数	中 央 署	南 上 吉 甲 桜 予	林 町 野 田 南 東 西 備	3,183	22	0	4	276	20	10	379	41	41	1,687	703
				2,072	5	0	1	154	8	7	248	5	20	1,035	589
				1,684	6	0	0	104	7	9	230	6	17	1,141	164
				745	5	0	0	69	7	9	91	3	5	435	121
				3,360	3	0	1	305	20	15	487	27	57	1,891	554
				151	0	0	0	7	1	1	15	0	1	94	32
	西 署	西 伊 松 郡	本 署 敷 元 山	209	3	0	1	8	1	2	25	0	3	158	8
				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
				2,689	10	0	0	252	11	12	358	16	35	1,580	415
				1,800	10	0	0	135	8	11	259	5	24	1,164	184
				662	2	0	0	62	7	9	84	2	6	413	77
				599	3	0	0	48	6	5	96	2	6	372	61
	南 署	南 谷 郡 喜 予	本 署 北 元 入 備	2,651	6	0	3	266	33	20	306	14	32	1,626	345
				2,438	9	0	0	237	15	16	335	10	41	1,525	250
				2,817	13	0	2	325	25	21	354	13	31	1,515	518
				653	4	0	2	70	4	3	81	2	2	402	83
				40	1	0	0	10	0	0	5	0	0	20	4
搬 送 件 数	中 央 署	南 上 吉 甲 桜 予	林 町 野 田 南 東 西 備	2,747	4	0	1	249	19	7	334	37	28	1,477	591
				1,927	1	0	0	137	8	7	241	5	15	962	551
				1,552	1	0	0	93	7	9	218	5	11	1,061	147
				674	0	0	0	65	7	9	85	2	4	399	103
				2,969	1	0	0	266	20	14	450	21	45	1,709	443
				138	0	0	0	7	1	1	14	0	0	87	28
	西 署	西 伊 松 郡	本 署 敷 元 山	185	0	0	0	8	1	1	25	0	3	143	4
				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
				2,460	1	0	0	239	11	12	332	16	25	1,458	366
				1,666	1	0	0	125	8	11	247	4	11	1,097	162
				616	0	0	0	57	7	9	76	1	3	390	73
				548	0	0	0	46	6	5	92	2	3	337	57
	南 署	南 谷 郡 喜 予	本 署 北 元 入 備	2,515	1	0	1	249	32	19	294	12	28	1,566	313
				2,281	4	0	0	222	15	16	325	9	27	1,446	217
				2,596	3	0	0	306	25	20	329	9	23	1,403	478
				606	0	0	1	62	4	3	77	1	1	379	78
				37	1	0	0	8	0	0	5	0	0	19	4
搬 送 人 員	中 央 署	南 上 吉 甲 桜 予	林 町 野 田 南 東 西 備	2,758	4	0	1	257	19	7	334	37	28	1,479	592
				1,940	1	0	0	147	8	7	243	5	15	963	551
				1,563	1	0	0	102	7	9	218	5	11	1,062	148
				682	0	0	0	72	7	9	85	2	4	400	103
				2,983	1	0	0	278	20	14	450	21	45	1,710	444
				138	0	0	0	7	1	1	14	0	0	87	28
	西 署	西 伊 松 郡	本 署 敷 元 山	185	0	0	0	8	1	1	25	0	3	143	4
				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
				2,479	1	0	0	255	11	12	333	16	25	1,460	366
				1,673	1	0	0	131	8	12	247	4	11	1,097	162
				621	0	0	0	62	7	9	76	1	3	390	73
				553	0	0	0	51	6	5	92	2	3	337	57
	南 署	南 谷 郡 喜 予	本 署 北 元 入 備	2,546	1	0	1	275	32	20	295	14	28	1,566	314
				2,301	4	0	0	235	15	16	328	9	27	1,449	218
				2,621	3	0	0	327	25	20	332	9	23	1,403	479
				613	0	0	1	68	4	3	77	1	1	379	79
				37	1	0	0	8	0	0	5	0	0	19	4

傷 病 程 度 別 搬 送 状 況

(平成25年中)

事故種別 区 分		合 計 (人)	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計		23,694	18		3	2,283	171	145	3,154	126	227	13,945	3,622
性 別	男	11,838	7		3	1,335	143	117	1,359	82	82	6,935	1,775
	女	11,856	11			948	28	28	1,795	44	145	7,010	1,847
死 亡	男	6							1		1	4	
	女	4										4	
重 症	男	810			3	64	13	2	51	1	25	399	252
	女	732	2			33	1	1	94	1	16	376	208
中等症	男	6,862	3			423	89	44	539	28	31	4,201	1,504
	女	7,079	8			281	15	9	1,024	14	85	4,030	1,613
軽 症	男	4,154	4			848	41	70	768	53	25	2,327	18
	女	4,031	1			634	12	18	677	29	42	2,596	22
その他	男	6						1				4	1
	女	10									2	4	4

曜 日 ・ 月 別 出 場 状 況

(平成25年中)

事故種別 曜日・月		合 計 (件)	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計		25,754	102		14	2,328	173	150	3,353	146	321	15,059	4,108
曜 日 別	日	3,702	18		1	252	15	55	506	31	41	2,361	422
	月	3,787	14		1	328	21	15	509	23	58	2,185	633
	火	3,728	18		2	364	27	6	460	21	49	2,168	613
	水	3,489	16		3	329	24	7	443	18	46	2,006	597
	木	3,562	14		3	353	34	15	416	16	46	2,075	590
	金	3,675	13		4	358	23	17	484	15	38	2,079	644
	土	3,811	9			344	29	35	535	22	43	2,185	609
月 別	1	2,404	14		2	157	9	9	315	11	26	1,496	365
	2	2,050	3		1	169	10	9	252	15	27	1,227	337
	3	2,140	7			177	20	9	289	13	32	1,221	372
	4	2,015	10		1	197	10	15	276	13	23	1,120	350
	5	2,068	11		1	222	10	15	267	13	28	1,162	339
	6	2,020	4		1	206	16	13	259	17	35	1,157	312
	7	2,307	9			215	16	20	284	9	29	1,360	365
	8	2,269	10		2	185	20	10	278	6	32	1,399	327
	9	1,923	10		1	200	14	6	229	6	21	1,151	285
	10	2,010	7		1	198	15	21	270	11	25	1,136	326
	11	2,176	8		3	209	10	21	328	14	24	1,217	342
	12	2,372	9		1	193	23	2	306	18	19	1,413	388

年 齢 別 搬 送 状 況

(平成25年中)

事故種別 年 齢	合 計 (人)	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	23,694	18		3	2,283	171	145	3,154	126	227	13,945	3,622
生後28日未満	41							2			4	35
0～ 6歳	1,109				57			246			723	83
7～10歳	253				65		5	56	1		104	22
11～17歳	568				128	1	71	62	6	7	258	35
18～30歳	2,171	2			637	29	22	104	23	68	1,075	211
31～49歳	2,998	3			516	55	32	229	49	93	1,649	372
50～64歳	3,926	3			432	57	10	403	28	35	2,412	546
65～79歳	5,598	5		3	333	27	5	817	13	19	3,416	960
80歳以上	7,030	5			115	2		1,235	6	5	4,304	1,358

時 間 別 出 場 状 況

(平成25年中)

事故種別 時 間	合 計 (件)	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	25,754	102		14	2,328	173	150	3,353	146	321	15,059	4,108
～ 1	676	1		2	32	3		74	11	10	472	71
1 ～ 2	577				28	1		63	10	9	410	56
2 ～ 3	511	1			25	2		53	7	10	365	48
3 ～ 4	462	2			25	2		46	8	2	346	31
4 ～ 5	496	2			24	5		42	4	7	372	40
5 ～ 6	499	1		1	27		1	55	5	15	362	32
6 ～ 7	674	5			78	1		95	6	12	434	43
7 ～ 8	962	2		1	170	6		126	5	11	599	42
8 ～ 9	1,241	6			180	10	3	182	3	16	727	114
9 ～ 10	1,581	7		1	136	21	12	201	2	17	863	321
10 ～ 11	1,610	6		1	126	14	17	212	2	15	788	429
11 ～ 12	1,447	4		1	118	16	17	180	4	12	742	353
12 ～ 13	1,467	6		1	113	14	13	151	4	9	774	382
13 ～ 14	1,451	4		1	124	18	11	194	2	20	754	323
14 ～ 15	1,234	1			95	11	17	192	3	17	643	255
15 ～ 16	1,430	7		1	123	12	17	192	4	17	732	325
16 ～ 17	1,345	6		1	127	10	15	198	1	14	679	294
17 ～ 18	1,438	9			192	9	8	187	9	10	737	277
18 ～ 19	1,425	7		1	178	11	1	194	4	25	809	195
19 ～ 20	1,225	10		1	118		4	186	7	14	766	119
20 ～ 21	1,172	2			96		9	171	7	14	764	109
21 ～ 22	1,062	4		1	93	1	3	134	7	18	704	97
22 ～ 23	954	4			60	1	2	116	15	15	663	78
23 ～ 24	815	5			40	5		109	16	12	554	74

診 療 科 目 別 搬 送 状 況

(平成25年中)

事故種別 診療科目	合 計 (人)	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	23,694	18		3	2,283	171	145	3,154	126	227	13,945	3,622
歯 科	13							6	1		5	1
内 科	10,551	3		2	25	1	18	124	2	155	8,566	1,655
内 科 一 般	6,567				15		17	52	1	43	5,804	635
服 毒 ・ 中 毒	294					1		17	1	88	177	10
循 環 器 系	2,532	1		2	10		1	25		23	1,811	659
呼 吸 器 系	1,158	2						30		1	774	351
小 児 科	1,054				21		1	117			796	119
外 科	10,816	14		1	2,224	169	120	2,850	121	67	3,782	1,468
外 科 一 般	2,020	3		1	326	31	16	459	31	44	629	480
熱 ・ 火 傷	37	11				3		11				12
脳 外 科	4,644				358	31	32	776	51	5	2,709	682
整 形 外 科	3,938				1,519	75	69	1,519	28	13	440	275
形 成 外 科	177				21	29	3	85	11	5	4	19
泌 尿 器 科	326				1			2			279	44
皮 膚 科	13					1		5	1		5	1
産 婦 人 科	395				7			3			135	250
耳 鼻 咽 喉 科	180						1	18			142	19
眼 科	25						2	11	1		8	3
神 經 精 神 科	128							3		4	107	14
そ の 他	193	1			5		3	15		1	120	48

覚 知 別 出 場 状 況

(平成25年中)

事故種別 覚知別	合 計 (件)	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	25,754	102		14	2,328	173	150	3,353	146	321	15,059	4,108
専 用 (119)	24,046	90		3	1,927	164	150	3,212	116	285	14,625	3,474
加 入 電 話	589	6		3	37	1		26	1	4	106	405
警 察 電 話	573	2		7	275			57	27	30	120	55
駆 け 込 み	121				8	5		26			77	5
現 認	40				29	1		4			5	1
そ の 他	385	4		1	52	2		28	2	2	126	168

年 別 救 急 業 務 取 扱 状 況

年 別	出 場 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別 (搬送人員)											出 場 率 (%)		人 口 1 万 人 当 り 搬 送 人 員 (人)
				火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	交 通 事 故	急 病	
昭和 35	17	12	13				8	3			1		1		53	6	—
36	713	448	554	26		3	247	27	7	38	20	59	96	31	43	17	18.4
37	759	527	569	14	3	6	219	17	9	53	31	58	144	15	37	23	18.5
38	798	567	630	11	2	3	269	32	4	40	27	41	159	42	42	24	20.0
39	1,169	823	934	26	6	3	319	52	18	70	47	79	251	63	37	25	28.8
40	1,348	926	1,016	22	7	4	382	34	8	76	26	67	342	48	41	29	30.9
41	1,448	1,093	1,214	37	12	15	406	58	8	125	46	96	347	64	37	27	36.2
42	1,823	1,308	1,439	25	1	7	542	82	25	162	43	84	373	95	39	35	50.0
43	2,033	1,527	1,675	24	4	10	636	69	16	193	57	68	447	151	38	25	42.4
44	2,514	1,943	2,192	32	28	6	839	92	19	220	43	89	573	251	38	26	54.7
45	2,850	2,281	2,603	41		11	1,028	102	23	226	37	98	733	304	37	28	64.5
46	3,564	3,056	3,361	35	3	9	1,135	111	32	297	64	121	1,094	460	32	33	81.6
47	4,163	3,653	4,030	25	2	17	1,429	113	42	360	58	145	1,352	487	32	35	98.6
48	4,938	4,421	4,864	45	2	23	1,464	187	57	474	95	128	1,833	556	26	40	112.2
49	5,184	4,634	5,058	48		11	1,336	146	63	489	116	133	2,149	567	22	45	113.9
50	5,793	5,275	5,692	45		22	1,368	128	98	624	134	148	2,500	625	20	46	124.6
51	6,323	5,622	5,912	32	7	8	1,326	150	92	689	117	123	2,592	776	20	44	128.8
52	6,704	5,832	6,154	39	2	7	1,300	175	104	786	134	132	2,644	831	18	43	131.1
53	6,844	5,809	6,134	30		3	1,440	163	90	740	114	119	2,594	841	20	43	128.1
54	7,240	6,302	6,726	34		4	1,542	165	103	779	114	129	2,693	1,163	23	44	135.1
55	8,285	7,241	7,574	49		11	1,667	148	118	743	147	102	3,143	1,446	19	42	149.6
56	8,426	7,421	7,817	50	1	7	1,839	134	122	766	115	104	3,190	1,489	21	42	152.2
57	8,774	7,705	8,081	37	1	2	1,909	144	117	826	115	80	3,212	1,638	21	40	156.2
58	8,763	7,599	7,895	17		3	1,975	128	75	800	113	111	3,183	1,490	22	41	152.0
59	8,774	7,644	7,942	25	1	11	1,825	149	91	816	113	95	3,289	1,527	20	41	150.4
60	9,217	7,998	8,296	18	15	5	1,842	180	93	867	115	86	3,525	1,550	20	42	156.1
61	9,388	8,252	8,522	28	17	4	1,819	127	106	830	136	93	3,679	1,683	19	43	160.6
62	9,283	8,195	8,468	27		11	1,877	150	92	824	100	90	3,694	1,603	20	44	158.3
63	9,548	8,318	8,610	27	6	4	1,977	149	110	828	103	74	3,883	1,449	21	45	162.4
平成 元	9,846	8,651	8,958	19	1	2	2,152	143	113	900	113	83	3,918	1,514	22	44	167.1

年 別 救 急 業 務 取 扱 状 況

年 別	出 場 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員	事 故 種 別 (搬送人員)											出 場 率 (%)		人 口 1 万 人 当 り 搬 送 人 員 (人)
				火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	交 通 事 故	急 病	
平成 2	10,010	8,999	9,335	29		5	2,181	141	93	902	108	98	4,329	1,449	21	47	173.8
3	10,199	9,143	9,513	23	4	8	2,211	107	73	916	118	97	4,434	1,522	21	47	177.0
4	10,676	9,544	9,897	18		5	2,286	150	90	858	102	117	4,652	1,619	21	47	183.7
5	11,402	10,298	10,772	32	63	4	2,214	154	84	1,040	142	105	5,011	1,923	19	47	200.8
6	11,474	10,341	10,651	29	1	6	2,156	160	101	1,068	146	118	5,145	1,721	20	48	198.5
7	12,235	11,031	11,337	27		1	2,085	147	109	1,187	134	124	5,766	1,757	17	51	207.6
8	12,639	11,372	11,763	34	7	2	2,218	168	96	1,202	161	140	5,955	1,780	17	51	214.6
9	13,034	11,751	12,086	30	1	2	2,131	163	86	1,244	176	159	6,324	1,770	16	53	219.7
10	13,741	12,374	12,670	19	1	4	2,100	159	97	1,314	171	156	6,831	1,818	15	54	229.9
11	14,587	13,209	13,504	24	8	10	2,066	132	77	1,424	158	180	7,449	1,976	14	51	250.1
12	15,376	13,936	14,275	21		8	2,354	141	109	1,549	190	160	7,584	2,159	15	53	259.5
13	16,975	15,358	15,665	20		4	2,394	130	128	1,773	146	215	8,337	2,518	14	54	284.8
14	17,803	15,992	16,335	28	3	3	2,413	170	136	1,847	170	202	8,795	2,568	13	54	292.2
15	19,161	17,143	17,479	18	1	14	2,431	136	140	2,005	183	231	9,599	2,721	13	54	312.2
16	20,199	18,067	18,414	19	9	5	2,414	185	152	2,172	162	263	10,239	2,794	12	55	304.0
17	21,821	19,543	19,881	36		6	2,562	147	155	2,367	133	240	11,380	2,855	12	52	328.7
18	21,723	19,409	19,740	35	4	9	2,458	169	161	2,360	138	296	11,107	3,003	11	56	326.4
19	21,568	19,302	19,615	28	1	12	2,454	164	163	2,473	120	252	10,974	2,974	11	56	324.1
20	21,587	19,377	19,655	24		5	2,304	158	143	2,458	117	294	11,104	3,048	11	56	325.0
21	21,419	19,377	19,628	29		5	2,247	121	135	2,481	124	279	11,208	2,999	10	57	324.0
22	22,629	20,424	20,656	26		7	2,319	147	168	2,618	149	289	11,884	3,049	10	57	340.2
23	24,132	21,805	22,032	35		8	2,237	132	156	2,882	105	286	12,918	3,273	9	58	362.8
24	25,317	22,787	22,977	30	0	16	2,204	151	137	3,016	108	221	13,454	3,640	9	58	378.0
25	25,754	23,518	23,694	18		3	2,283	171	145	3,154	126	227	13,945	3,622	9	59	389.8

市 町 村 等 応 援 協 定

(平26. 4. 1)

市 町 村 等	消防相互応援協定	救急業務応援協定	協 定 名
	締結年月日	締結年月日	
鹿児島県消防相互応援協定	H18. 10. 25	—	相互応援協定
鹿児島県消防・防災ヘリコプター	H10. 6. 26	—	
九州縦貫自動車道消防相互応援協定	S56. 9. 17	S56. 9. 17	相互応援協定
一般国道自動車専用道路南九州西回り自動車道	H19. 3. 2	H19. 3. 2	相互応援協定
鹿児島県ドクターヘリ	—	H23. 12. 22	相互応援協定
姶良市	H22. 3. 23	H22. 3. 23	相互応援協定
垂水市	S50. 3. 10	S50. 3. 10	相互応援協定
指宿南九州消防組合	H25. 4. 1	H25. 4. 1	相互応援協定
薩摩川内市	H16. 11. 1	H16. 11. 1	相互応援協定
日置市	H17. 12. 7	H17. 12. 7	相互応援協定
南さつま市	H25. 4. 1	H25. 4. 1	相互応援協定
大島地区消防組合 西之表市 中種子町 南種子町 徳之島町 天城町 伊仙町 和泊町 知名町 与論町 三島村 十島村	—	H18. 3. 20	応援協定
屋久島町	—	H19. 10. 1	

○消防組合の構成市町村状況

- (1) 指宿南九州消防組合 指宿市、南九州市
- (2) 大島地区消防組合 奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町

○九州縦貫自動車道消防相互応援協定の構成状況

伊佐湧水消防組合、姶良市消防本部、霧島市、宮崎市、都城市、宮崎県西諸広域行政事務組合

○一般国道自動車専用道路南九州西回り自動車道消防相互応援協定の構成状況

日置市、いちき串木野市、薩摩川内市

○鹿児島県消防・防災ヘリコプターによる本土内搬送にかかる救急業務応援協定の構成状況

鹿屋市 他23市町 (平成26年4月1日現在)

○鹿児島県ドクターヘリ運航事業における救急車搬送に関する相互応援協定の構成状況

鹿屋市 他29市町村 (平成26年4月1日現在)

応援協定による出場状況

(平成25年中)

協 定 名	出場件数 (件)	搬送件数 (件)	搬送人員 (人)	備 考
救急業務応援協定（離島からの搬送）	63	63	63	搬送手段 ヘリコプター 50件 船舶 13件
救急業務応援協定（本土内搬送）	1	1	1	
鹿児島県ドクターヘリ運航事業における 救急搬送に関する相互応援協定	335	335	335	応援要請 29市町村
救急業務相互応援協定（救急車）	4	2	2	
九州縦貫自動車道消防相互応援協定	12	10	11	交通事故 9件 急病 1件 一般負傷 1件 その他 1件
一般国道自動車専用道路南九州西回り 自動車道消防相互応援協定	8	7	7	交通事故 6件 急病 2件
指宿有料道路	12	8	9	交通事故 10件 急病 1件 自損行為 1件

鹿児島市におけるドクターヘリ運航状況

(平成25年中)

要請件数 (1) + (2)	搬送種別							
	出場件数(1)			未出場件数(2)				
	現場搬送	施設間搬送	出動後 キャンセル	出場前 キャンセル	時間外要請	天候不良	重複要請	その他
220	145	1	36	14	3	12	9	0

※平成23年12月26日運用開始

救 助 業 務 の 沿 革

昭和23年 8月	・消防本部、消防署の設置に伴い、救助業務は消防活動の一環として包括的に行われてきていたが、昭和35年12月救急業務の開始や昭和39年9月屈折梯子車の配備などに伴い、もっとも重要な任務として実施してきた。
昭和47年 4月	・救助隊発足
昭和47年 5月	・鹿児島市消防救助業務規程を定め、鹿児島市消防特別救助隊を編成
昭和47年12月	・中央消防署に救助工作車を配備
昭和52年 7月	・南消防署に救助工作車を配備
昭和61年10月	・「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」制定公布
平成14年11月	・西消防署に救助工作車を配備
平成18年 3月	・救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令の一部を改正する省令公布。中核市は高度救助隊を設置することとされた。
平成19年 2月	・中央消防署の救助工作車を救助工作車Ⅲ型に更新、地震警報器など6品目の高度救助資機材等を整備し、高度救助隊「愛称～スーパーレスキューかごしま」発足
平成20年 4月	・鹿児島市消防救助業務規程全部改正

救 助 活 動 状 況

(平成25年中)

事故種別	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害 事故	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他	合 計
救助出動件数	2	51	10		2	12	3		51	131
救助活動件数	2	38	8		1	11	2		40	102
救助者数	1	46	7		1	9	1		31	96

事 故 種 別 発 生 場 所 別 救 助 者 数

(平成25年中)

発生場所		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自然 災害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他	合 計
屋 内	住 居	1					5	1		6	13
	そ の 他 の 屋 内						3			1	4
屋 外	道 路	高速自動車道国道									2
		そ の 他 の 道 路								7	50
	水 面	内 水 面			1						1
		外 水 面			5					1	6
	そ の 他 の 屋 外			1	1		1	1		16	20
地 下											0
そ の 他											0
合 計		1	46	7	0	1	9	1	0	31	96

国 際 消 防 救 助 隊

〔任 務 等〕

海外の地域、特に開発途上国において大規模な自然災害が発生した場合、被災国が自ら対応に困窮し、他国に救援を求めなければならない状況下にあるとき、被災国政府等からの要請により救助活動、医療活動、災害復旧活動などを行うため、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」に基づき構成される国際緊急援助隊の一翼として発足したのが国際消防救助隊である。

〔登録状況等〕

平成25年4月1日現在、全国の消防本部のうち国際消防救助隊の登録本部数は77、登録隊員は599人である。

〔沿革等〕

昭和62年 9月16日	・「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」（法律第93号）制定。
昭和62年 9月19日	・「国際消防救助隊出動体制の基本を定める要綱」（消防救第118号）制定。
平成元年 3月	・隊員11人をもって、国際消防救助隊に登録加盟。
平成 7年 1月 19日～28日	・「阪神・淡路大震災」の発生に伴い、鹿児島市国際消防救助隊員を含む計12人が神戸市消防局長田消防署長の指揮下に入り、人命救助、火災防ぎょ、防火水槽補給等に従事した。
平成11年 9月 21日～28日	・平成11年9月21日午前1時47分（日本時間2時47分）台湾中央部付近で発生した地震災害の救助活動のため国際緊急援助隊が構成され、その中の国際消防救助隊員（11消防本部46人）として鹿児島市国際消防救助隊員2人が派遣され、マンション倒壊現場、ホテル倒壊現場、ビル座屈現場等において人命救助活動を行った。
平成11年10月 20日～21日	・第8回九州地区国際消防救助隊合同訓練が長崎市や島原市で大規模な地震を想定して行われ6登録本部47人の隊員が参加し、踏破訓練や埋没家屋からの救助訓練等を通じ、他本部との連絡連携や救助技術の向上を図った。
平成14年11月 7・8日	・第9回九州地区国際消防救助隊合同訓練を鹿児島市と桜島町で開催し、大規模な地震を想定、6登録本部31人が踏破訓練や埋没家屋から救出訓練等を実施し、各本部との連携を図り、救助技術の向上を図った。
平成16年10月 7・8日	・第10回九州地区国際消防救助隊合同訓練が熊本市や阿蘇町で大規模な地震を想定して行われ、6登録本部73人の隊員が参加し、山岳踏破訓練や橋梁落下救助訓練等を通じ、他本部との連絡連携や救助技術の向上を図った。
平成18年10月 21・22日	・第11回九州地区国際消防救助隊合同訓練が北九州市で大規模な地震発生を想定して行われ、6登録本部45人の隊員が参加し、車両埋没救助救出訓練やビル倒壊現場救助救出訓練等を通じ他本部との連絡連携や救助技術の向上を図った。
平成20年11月 22・23日	・第12回九州地区国際消防救助隊合同訓練を佐世保市で行った。大規模な地震が発生したとの想定で、6登録本部58人の隊員が埋没車両からの救助救出訓練やビル倒壊現場救助救出訓練等を実施し、他本部との連絡連携や救助技術の向上を図った。
平成22年10月 9・10日	・第13回九州地区国際消防救助隊合同訓練を鹿児島市で行った。大規模な地震が発生したとの想定で、9登録本部1海上保安部49人の隊員が埋没車両からの救助救出訓練やビル倒壊現場救助救出訓練等を実施し、他本部との連絡連携や救助技術の向上を図った。
平成24年11月 18・19日	・第14回九州地区国際消防救助隊合同訓練を熊本県消防学校で行った。大規模な地震が発生したとの想定で、9登録本部45人の隊員が座屈建物へのブリーチング、CSR訓練、都市型検索救助訓練等を実施し、他本部との連絡連携や救助技術の向上を図った。



鹿児島市消防局国際消防救助隊訓練・研修記録

年 月 日	内 容	場 所	人 員	備 考
平成18年9月21日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修	消防総合訓練研修センター 及び鹿児島市真砂町	22人	鉄筋コンクリート造りの建物を使用
平成19年8月 20・21日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修	鹿児島市大明丘三丁目 及び小野町	22人	鉄筋コンクリート造りの解体建物を使用
平成21年1月 15・16日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修	鹿児島市三和町及び小野町	21人	鉄筋コンクリート造りの建物及び産廃施設を使用
平成22年1月 14・15日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修	鹿児島市大明丘三丁目 及び小野町	22人	鉄筋コンクリート造りの建物及び産廃施設を使用
平成22年9月21日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修	枕崎市県防災航空センター及び 鹿児島市有村町有村採石場	21人	ヘリ降下研修訓練及びショアリング・CSR 訓練
平成24年1月25日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修	鹿児島市東坂元四丁目	10人	解体建物（RC造）を使用した高度救助 資機材取扱い・ブリーチング訓練
平成24年9月3日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修	枕崎市県防災航空センター	8人	ヘリ降下研修訓練
平成24年9月 14・15日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修 訓練テーマ「長時間の転 戦活動による体力限界への挑戦」	鹿児島市三和町 鴨池新町鹿児島県庁 東俣町郡山総合運動公園 郡山町森山建設処分場	18人	中層建物座屈現場の救助、防災ヘリ隊員 輸送及び偵察訓練、徒歩訓練、山岳救 助、CSR救助、建物崩壊現場からの救 助、給食訓練
平成25年9月3日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修	枕崎市県防災航空センター 格納庫及び空港公園場外	7人	ヘリ降下研修訓練
平成25年9月 25・26日	鹿児島市消防局 国際消防救助隊研修 訓練テーマ「地震災害対 応能力のさらなる向上」	谷山救難用ヘリ広場 鹿児島市三和町及び小野町	18人	防災ヘリとの連携訓練、中層建物座屈現 場の救助、建物多数崩壊現場からの救 助、給食訓練

緊 急 消 防 援 助 隊

〔任 務 等〕

緊急消防援助隊は、国内における大規模災害又は特殊災害（当該災害が発生した市町村の属する都道府県内の消防力をもってしてもこれに対処できない災害）の発生に際し、消防長官の求めに応じ、又は指示に基づき、被災地の消防の応援等を行うことを任務とする。

緊急消防援助隊は、指揮支援部隊、都道府県隊指揮隊、消火部隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊、航空部隊、水上部隊、特殊災害部隊、特殊装備部隊から構成される。

〔沿 革 等〕

平成7年6月30日	・東京都「全国都市会館」において、全国から95本部300人の救助隊員、救急隊員が参加して「緊急消防援助隊」発足式が挙行された。（鹿児島市から救助、救急隊員3人が参加）
平成7年10月30日	・「緊急消防援助隊要綱」制定
平成8年4月1日	・中央消防署に支援車配備
平成12年12月25日	・「緊急消防援助隊要綱の全部改正」
	・追加登録1,785隊 約26,000人
平成15年5月1日	・追加登録2,210隊 約29,000人
平成15年6月18日	・消防組織法の一部改正（法律第48号）緊急消防援助隊が法制化された。
	・上記法律施行
平成16年4月1日	・消防庁登録2,821隊
	・鹿児島市登録11隊（県隊指揮隊1隊、消火部隊3隊、救助部隊1隊、救急部隊1隊、後方支援部隊2隊、特殊災害部隊1隊、特殊装備部隊2隊）
平成23年3月 14日～23日	・緊急消防援助隊鹿児島県隊が「東日本大震災」の被災地である宮城県石巻市へ出動し、行方不明者の捜索や救助活動等を実施した。
	・鹿児島市出動隊 5隊、隊員18人 （県隊指揮隊1隊、救助部隊1隊、救急部隊1隊、後方支援部隊2隊）
平成24年4月1日	・消防庁登録4,546（4,429）隊 ※（ ）部分は重複登録を除いた数
	・鹿児島市登録12隊（県隊指揮隊1隊、消火部隊3隊、救助部隊1隊、救急部隊3隊、後方支援部隊2隊、特殊災害部隊1隊、特殊装備部隊1隊）
平成25年4月1日	・消防庁登録4,594（4,479）隊 ※（ ）部分は重複登録を除いた数
	・鹿児島市登録12隊（県隊指揮隊1隊、消火部隊3隊、救助部隊1隊、救急部隊3隊、後方支援部隊2隊、特殊災害部隊1隊、特殊装備部隊1隊）
平成26年4月1日	・消防庁登録4,806（4,694）隊 ※（ ）部分は重複登録を除いた数
	・鹿児島市登録12隊（県隊指揮隊1隊、消火部隊3隊、救助部隊1隊、救急部隊3隊、後方支援部隊2隊、特殊災害部隊1隊、特殊装備部隊1隊）

〔全国合同訓練〕

平成 7年11月 28・29日	・ 於：東京都江東区都洲（98本部、隊員1,500人、車両等135隊参加） （鹿児島市から救急隊員1人参加）
平成12年10月 23・24日	・ 於：東京都江東区有明（47都道府県 221隊 1,330人） 鹿児島市（県隊長、救助部隊、救急部隊）2台 5人参加
平成17年6月 10・11日	・ 於：静岡県静岡市清水区三保（47都道府県 386隊 1,953人） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、後方支援部隊）2台 7人参加
平成22年6月 4・5日	・ 於：愛知県知多市新舞子地先 名古屋港南5区（46都道府県 411隊 約2,138人） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、後方支援部隊）2台 7人参加

〔九州ブロック合同訓練〕

平成18年10月 20・21日	・ 於：福岡県北九州市（74消防本部、127隊、530人参加） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊）4台14人参加
平成19年10月 12・13日	・ 於：大分県中津市（68消防本部、132隊、539人参加） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊）4台14人参加
平成20年11月 21・22日	・ 於：長崎県佐世保市（77消防本部、134隊、547人参加） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、救助部隊、後方支援部隊）3台11人参加
平成21年10月 9・10日	・ 於：佐賀県佐賀市及び神埼市（71消防本部、120隊、521人参加） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊）4台14人参加
平成22年10月 8・9日	・ 於：鹿児島県薩摩川内市及び薩摩郡さつま町（72消防本部、119隊、445人参加） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、救助部隊、後方支援部隊）4台 12人参加
平成23年11月 4・5日	・ 於：宮崎県宮崎市及び児湯郡高鍋町（75消防本部、141隊、535人参加） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、消火部隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊）5台 21人参加
平成24年11月 17・18日	・ 於：熊本県八代市（99消防本部、192隊、747人参加） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、消火部隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊）6台 24人参加
平成25年11月 27・28日	・ 於：沖縄県那覇市、糸満市摩文仁、中城湾港マリンタウン周辺及び沖縄県消防学校（72消防本部、102隊、410人参加） 鹿児島市（県隊長、県隊指揮隊、消火部隊、救助部隊、救急部隊、後方支援部隊）5台 22人参加



【登録状況】(平26.4.1)

○ 鹿児島市の登録部隊 (12隊)

- ・鹿児島県隊指揮隊 1隊 ・消火部隊 3隊 ・救助部隊 1隊 ・救急部隊 3隊 ・後方支援部隊 2隊
- ・特殊災害部隊(毒劇物等対応隊) 1隊 ・特殊装備部隊(その他の特殊装備隊〔はしご車〕) 1隊

○ 鹿児島県登録状況

消 防 本 部 名	隊 数								
	(全隊)	県大隊 指揮隊	消火 小隊	救助 小隊	救急 小隊	後方支援 小隊	特殊災害 小隊	特殊装備 小隊	航空 小隊
鹿 児 島 市 消 防 局	12	1	3	1	3	2	1	1	
薩 摩 川 内 市 消 防 局	17	1	4	1	3	2	4	2	
霧 島 市 消 防 局	5		1	1	1	2			
いちき串木野市消防本部	2		1		1				
日 置 市 消 防 本 部	2		1		1				
指宿南九州消防組合	4		1	1	2				
始 良 市 消 防 本 部	3		1		1	1			
南さつま市消防本部	3		1	1	1				
阿久根地区消防組合	3		1		1	1			
伊 佐 湧 水 消 防 組 合	2		1		1				
出 水 市 消 防 本 部	2		1		1				
大隅曾於地区消防組合	6		1	1	2	1	1		
大隅肝属地区消防組合	6		1	1	1	2		1	
さ つ ま 町 消 防 本 部	2		1		1				
沖永良部与論地区広域事務組合	1				1				
徳之島地区消防組合	1				1				
熊 毛 地 区 消 防 組 合	1		1						
大 島 地 区 消 防 組 合	1		1						
枕 崎 市 消 防 本 部	3		1	1	1				
垂 水 市 消 防 本 部	1		1						
鹿児島県防災航空センター	1								1
合 計	78	2	23	8	23	11	6	4	1

○ 九州ブロック及び全国登録状況

	指揮 支援隊	県大隊 指揮隊	消火 小隊	救助 小隊	救急 小隊	後方支援 小隊	特殊災害 小隊	特殊装備 小隊	航空 小隊	水上 小隊	合 計
九州ブロック合計	6	18	163	50	135	83	31	37	8	2	533
全 国 合 計	42	112	1,649	423	1,057	761	272	376	75	18	4,785

(重複登録を含む)

過 去 の 特 殊 事 故 概 要

(昭和44年以降)

年月日	時 分	場 所	死傷者数	事 故 概 要	出動台数・人員
昭和44年 6月30日 （自然災害） 7月5日 （自然災害）	7時01分 13時53分	田上自動車学校下9人 武町 2人 吉野町平松 2人 実方 2人 小野町 1人 田上町 1人 犬迫町 1人	死 亡 18人 重 症 7人 軽 症 38人 計 63人 住全壊 50棟 住半壊 39棟	6月29日から降り出した雨は1日で127mmに達し、30日7時には220mmになり、特に7時～9時の3時間に93mmの降雨で各地に被害が続発したもの 田上自動車学校下では二次災害事故で4人の犠牲者が発生	消防車両 57台 人員1,067人 〔消防局251人〕 〔消防団816人〕
昭和45年 11月24日 （列車事故）	10時30分	鳥越トンネル （稻荷町側）	死 亡 2人 重 症 7人 軽 症 26人 計 35人	県道を吉野方向へ走行中のダンプカーが日豊本線軌道敷内に転落、宮崎発山川行き急行錦江1号（5両編成）と衝突し、列車が脱線転覆したもの	消防車両14台 救急車6台 人員102人
昭和49年 10月9日 （電車事故）	10時02分	加治屋町交差点	中等症 2人 軽 症 25人 計 27人	加治屋町交差点で、西駅側より直進の電車（502号車・乗客40人）と高見馬場より西駅へ直進の電車（607号車・乗客12人）が交差点ポイント（自動切替）が切替り、607号車が伊敷方向へ右折し衝突したもの	消防車両3台 救急車3台 人員17人
昭和50年 11月13日 （バス事故）	14時35分	下福元町国道225号 南日本自動車学校前	中等症 6人 軽 症 49人 計 55人	路線バスがバス停で停車したところ、後ろを走っていた修学旅行中のバス2台のうち、2台目が急ブレーキが間に合わず前のバスに追突したもの	消防車両8台 救急車3台 人員40人
昭和51年 6月25日 （自然災害）	5時50分	宇宿町 三州脇田ヶ丘病院	死 亡 9人 重 症 1人 中等症 2人 軽 症 1人 計 13人	紫原三丁目南側崖が高さ40m、幅40mにわたり崩壊し、住家5棟、非住家1棟全壊、非住家1棟を半壊、2世帯13人が生埋めとなったもの（4人は救出）	消防車両49台 〔消防局28台〕 〔消防団21台〕 救急車2台 人員386人 〔消防局141人〕 〔消防団245人〕
昭和51年 6月25日 （自然災害）	7時06分	鴨池町 鹿大果樹園上	死 亡 4人	紫原台地北側の崖が高さ25m、幅20mにわたり崩壊し、住家1棟、アパート1棟が全壊し、4人が生き埋めとなったもの	消防車両25台 〔消防局21台〕 〔消防団4台〕 救急車1台 人員157人 〔消防局109人〕 〔消防団48人〕 （自衛隊派遣）
昭和51年 12月3日 （感電事故）	10時26分	田上町 寺ノ下 J R 踏切	重 症 1人 軽 症 1人 計 2人	庭木を積載したトラックが、踏切を通過しようとして荷台上から2万ボルトのローリ線を竹棒で突き上げようとして2人が感電したもの	救急車1台 人員3人
昭和52年 6月24日 （自然災害）	10時48分	吉野町日豊本線 竜ヶ水駅付近裏山	死 亡 9人 重 症 1人 軽 症 1人 計 11人	吉野町国鉄日豊本線竜ヶ水駅付近の高さ300mの裏山が頂上付近（吉野台地上ノ原地区の一角、県道寺山線沿い）から地すべりを起こして大きく崩れ、巨大な岩石混じりの土砂約30,000m ³ が、谷をつたって激しい勢いで流出し、山裾の集落13棟の住家を押しつぶしたもの	消防車両178台 〔消防局118台〕 〔消防団60台〕 救急車20台 人員1,055人 〔消防局624人〕 〔消防団431人〕 （自衛隊派遣）
昭和53年 9月23日 （転落事故）	11時42分	小川町桜島栈橋	死 亡 1人 中等症 2人 計 3人	フェリー用可動橋を利用してフェリーに乗り移ろうとしていた普通乗用車（乗員3人）が、船が接岸していなかった為に10m下の海中に転落したもの	消防車両3台 救急車1台 人員18人
昭和54年 1月30日 （ガス自殺の 巻き添え）	8時32分	荒田二丁目 道添アパート	死 亡 2人 重 症 1人 軽 症 1人 計 4人	店舗付共住（3階建）の1階で女性が都市ガスを放出し自殺、2階の男1人が巻き添えにより死亡、1階隣室の2人もCO中毒で重・軽症を負ったもの	消防車両2台 救急車3台 人員18人
昭和55年 5月7日 （ガス事故）	9時55分	荒田一丁目 ビューティーサロン さおり	死 亡 2人 重 症 1人 計 3人	店舗付共住（2階建）の1階台所で都市ガス用ゴムホースをネズミが食い破り、入浴中の3人がガス中毒となったもの	消防車両5台 救急車2台 人員30人

過 去 の 特 殊 事 故 概 要 （つづき）

年月日	時 分	場 所	死傷者数	事 故 概 要	出動台数・人員
昭和56年 2月22日 (交通事故)	15時01分	吉野町国道10号	中等症 3人 軽 症 9人 計 12人	マイクロバスと普通乗用車の衝突事故	救急車2台 人員6人
昭和56年 4月3日 (火災)	23時07分	永吉町鶴尾公園	重 症 1人 軽 症 4人 計 5人	都市ガス配管のパッキン取替中、漏洩したガスに引火	消防車両16台 〔 消防局12台 〕 〔 消防団4台 〕 救急車1台 人員84人 〔 消防局50人 〕 〔 消防団34人 〕
昭和58年 7月13日 (酸欠事故)	16時10分	七ツ島一丁目	重 症 1人 中等症 1人 軽 症 2人 計 4人	船底塗装作業中の酸欠事故	消防車両4台 救急車2台 人員19人
昭和58年 10月23日 (交通事故)	4時18分	七ツ島一丁目	死 亡 4人 重 症 1人 中等症 1人 計 6人	普通乗用車が電柱に衝突したもの	消防車両4台 救急車2台 人員22人
昭和59年 5月11日 (ガス事故)	14時55分	紫原一丁目 市営住宅	死 亡 6人	都市ガス瞬間湯沸器の不完全燃焼による一酸化炭素中毒事故	消防車両4台 救急車1台 人員17人
昭和59年 8月30日 (火災)	18時35分	宇宿二丁目 共石L P G 基地	重 症 11人 軽 症 1人 計 12人	液化石油ガス（ブタン）球形タンク上部バルブフランジ部のパッキン取替中、インパクトレンチのスイッチ火花が漏洩したガスに引火したもの	消防車両21台 救急車1台 人員89人 〔 消防局62人 〕 〔 消防団27人 〕
昭和61年 7月10日 (自然災害) 生理事故 同時8箇所	15時57分 ） 20時23分	平之町 5人 上竜尾町 5人 三船 2人 新照院町 2人 長田町 2人 武二丁目 1人 田上町 1人	死 亡 18人 重 症 5人 軽 症 10人 計 33人 ※救出者 11人	最大時間降水量83mm、総降水量（約7時間）約300mmというきわめて局地性の強い集中豪雨が市街地中心部を襲い、田上～武岡～城山～三船の線上に停滞して降雨が続き、8箇所で生理事故が発生して、18人の犠牲者が出たもの 住家の全半壊94棟、新川の溢水により住家の床上浸水も263棟を数えた	消防車両111台 〔 消防局61台 〕 〔 消防団50台 〕 救急車11台 人員769人 〔 消防局423人 〕 〔 消防団346人 〕 (自衛隊派遣)
昭和61年 11月23日 (自然災害)	16時02分	古里町1078 桜島グランドホテル 山下家	重 症 2人 中等症 2人 軽 症 2人 計 6人	桜島南岳の噴火爆発により噴石が落下、ホテルの一部を破損し従業員及び宿泊客が負傷したもの	消防車両7台 救急車1台 人員57人 〔 消防局14人 〕 〔 消防団43人 〕
昭和63年 8月23日 (自然災害)	0時10分	高免町	死 亡 1人 中等症 1人 軽 症 2人 計 4人	最大時間降水量55mm、総降水量5時間で約213mmという局地的集中豪雨により高免町の集落の背後地の崖が崩れたもの 住家全壊1棟、住家半壊1棟、住家一部壊3棟の被害	消防車両6台 救急車1台 人員47人 〔 消防局5人 〕 〔 消防団42人 〕
平成元年 3月17日 (土砂崩壊)	15時10分	下福元町 鹿児島ゴルフ場 造成地	死 亡 2人	ゴルフ場造成中の土砂（約1,500m ³ ）が崩壊し、作業員2人が生き埋めとなったもの	消防車両11台 救急車1台 人員55人 〔 消防局33人 〕 〔 消防団22人 〕 (警察60人)
平成5年 8月6日 (自然災害)	17時頃～	市内北西部を中心とした各所	死 亡 46人 重 症 8人 中等症 24人 軽 症 12人 行方不明 1人 計 91人 ※救出者 43人	最大時間降水量63.5mm、最大日降量259.5mmという局地的集中豪雨により、市内北西部を中心としたいたる所で、崖崩れによる家屋の全壊、生き埋め、河川等の氾濫による床上浸水などの人的及び物的被害が発生、史上まれにみる大惨事となったもの（詳細～別紙）	(消防局) 198隊 984人 (消防団) 62隊 484人
平成7年 4月11日 (交通事故)	10時14分	吉野町 国道10号下り線	死 亡 1人 重 症 5人 中等症 6人 軽 症 11人 計 23人	三船園のマイクロバス（入園者16人、職員5人、運転手1人乗車）が大型トラックと衝突し、マイクロバスが横転して運転手を含む23人の死傷者が発生したもの	消防車両7台 救急車6台 人員40人 〔 消防局34人 〕 〔 消防団2人 〕 〔 病院関係者4人 〕

過 去 の 特 殊 事 故 概 要 （つづき）

年月日	時 分	場 所	死傷者数	事 故 概 要	出動台数・人員
平成15年 3月18日 (交通事故)	9時53分	武岡五丁目 市道水上坂横井線	重 症 1人 中等症 1人 軽 症 19人 計 21人	マイクロバスと大型トラックの正面 衝突事故	消防車両7台 救急車4台 人員46人 〔 消防局39人 消防団7人 〕
平成15年 4月11日 (爆発火災)	13時27分	西別府町2660番地 南国花火製造所	死 亡 10人 中等症 1人 軽 症 3人 計 14人	花火製造中に何らかの原因により爆 発が発生し、14人の死傷者が発生する と共に、敷地内の31棟や周囲の91棟、 41台の車両が爆風などにより被害を受 けたもの	消防車両35台 救急車4台 人員239人 〔 消防局148人 消防団91人 〕
平成17年 4月9日 (中毒事故)	16時16分	武岡一丁目4街区 武岡団地北公園 南東側斜面洞窟内	死 亡 4人	洞窟内で遊んでいた中学生4人が、一 酸化炭素中毒で死亡したもの	消防車両5台 救急車4台 人員31人
平成18年 7月18日 (交通事故)	14時31分	宇宿町 ふるたクリニック前	軽 症 11人	マイクロバス（幼稚園児送迎用バ ス）と普通トラック及び普通乗用車の 追突事故	消防車両2台 救急車3台 人員15人
平成20年 5月28日 (交通事故)	15時03分	七ツ島一丁目	死 亡 2人 重 症 3人 中等症 1人 軽 症 1人 計 7人	大型トラックとワゴン車の衝突事故	消防車両3台 救急車6台 人員31人

ガス漏洩事故発生状況

(1. 1～12. 31)

種別 災種		都市ガス		液化石油ガス		その他ガス		合計	
年別		24年	25年	24年	25年	24年	25年	24年	25年
火 災	原因								
	件数								
	死者								
	傷者								
爆 発	原因								
	件数								
	死者								
	傷者								
中 毒 ・ 酸 欠	原因								
	件数								
	死者								
	傷者								
漏 え い 等	原因	・ガスコンロの立消え ・配管の腐食 ・車が接触し配管が損傷 ・地中埋設配管の損傷 ・不明	・配管の腐食	・調整器の不良	・ガス栓の閉め忘れ ・バルブの緩み	・冷媒用アンモニアガス			
	件数	6	1	1	2	1		8	3
	死者								
	傷者								
合 計	件数	6	1	1	2	1		8	3
	死者								
	傷者								

※()は自損行為

平成 5 年 8 ・ 6 豪 雨 災 害

【概 要】

鹿児島地方気象台は、平成5年5月17日に梅雨入りし、当初7月9日に梅雨明けと発表したが、8月31日に至り特定の日を梅雨明けとすることは難しく「はっきりしない」と訂正した。7月9日までの降水量は、1,441.5mmと平均値（637.1mm）の2倍強で、7月中においては1,054.5mmと平均値8月6月までの総降水量は2,252.5mmとなり記録的な雨量を記録した。

このような記録的な降雨が続くなか、8月5日22時10分鹿児島地方に大雨洪水警報が発表されたが、さほどの降雨はなく特に被害の発生もなかった。

しかし、その後8月6日16時頃から次第に雨足が強くなり始め時間雨量28mm、17時から19時までの2時間に106.5mm、さらに16時から20時までの4時間の間に173.5mm記録し、降雨量の増加とともに折からの満潮（21時23分）や甲突川上流の郡山町等での大雨とも重なり各地に被害が発生しはじめた。

一方、8月6日の17時から24時までの119番通報は936件、8月7日の760件を加えると1,696件となり、この災害で平常時（1日約78件）の12倍を受理している。

8月6日の降水量は259.5mmで、8月としては上記同様第1位の最大降水量を、また、18時30分から19時30分までの63.5mmは、8月としては1902年観測開始以来第1位の最大1時間降水量を記録し、「百年に一度」とも言われる未曾有の大規模な豪雨災害となった。

この豪雨で、崖崩れによる生き埋めや甲突川、稻荷川等の氾濫による護岸の決壊に伴う家屋の全壊や床上浸水等人的、物的被害は史上希にみる大惨事となった。国道3号や10号の幹線道路が崖崩れや河川の氾濫による冠水（草牟田付近で約2m）により寸断され救急、救助活動や火災活動に大きな障害となった。

さらに、8月9日の台風7号災害に続き、9月3日には瞬間最大風速63.4m（消防局気象観測装置）を記録した戦後最大級の台風13号が襲来し、災害対策に追い打ちをかけた。

このように、これまでかつて経験したことのない、広範囲にわたる同時多発の豪雨災害に対して、消防隊はその組織の全力をあげ、市民の生命と財産を守るために昼夜を問わない、不眠不休の献身的な必死の活動を行った。

【被害状況】

1 人的被害（吉田・桜島・松元・郡山地域を含む）

死者47人、行方不明1人、負傷者52人、救助した者43人、その他増水等により家屋等に孤立した者など280余名の救出及び避難誘導を実施したほか、竜ヶ水地区からは4,000人を超える人々を船舶の協力を得て救出した。消防職、団員の被害なし。

2 建物被害（吉田・桜島・松元・郡山地域を含む）

住家全壊：284棟、住家半壊：183棟、住家一部壊：541棟
住家床上浸水：9,091棟、住家床下浸水：1,999棟、浸水（非住家等）：3,792棟

合計 15,890棟

3 火災被害

発生件数5件（非火災1件含む） 全焼：住家4棟・非住家1棟、部分焼：非住家2棟



国道3号線(河頭地区)の被害状況



国道3号線(河頭地区)の被害状況(通称:グランドキャニオン)



国道10号線(花倉地区)の活動状況

各 隊 特 殊 機 材

-53-

等保有状況表

(平26. 4. 1)

(120.1.1)																																					
酸素呼吸器	送排風機	発電機・投光器	化学防護服	耐電手袋	耐電長靴	耐電ズボン	耐電ヘルメット	耐電マット	耐電シート	耐熱服	放射線防護消火服	塩素ガス吸収剤散布器	有毒ガスボンベ処理筒	救命胴衣	救命浮環	浮標	救命ボート	救命ボート(船外機対応)	船外機	バスケットシュート担架	ジェットシュートター	背負い式動力ポンプ	東消式フオグガン	高発砲装置	ユニット式ポンププロポーションナー	防炎シート	AED	車両移動器具	画像探索機Ⅰ型	画像探索機Ⅱ型	地中音響探索機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	地震警報器			
2	4	2	1	5	5	2	2	5	1	2	1	1	12	4	1	1	1	1	1	2				1		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
			1		3	3	2	2	3	1				4	1		1						1	1													
2			1							4				5	1		1						2		1		1										
			1							2				5	1		1				2	3	1	2			1										
			1											4	1							3	1				1										
2			1							1				4	1							1	1				1										
			2							2				4	2		1					2	2														
			1											10	2			1	1		3	1															
10	2	14	5	11	11	6	6	11	1	2	12	2	1	0	58	15	1	4	2	2	2	14	0	12	2	1	2	5	1	1	1	1	1	1	1	1	
			1											2	4	1					4		2														
2		1												4	1						4		2														
2	2	3	5	5	5	2	2	5		1	2	2		12	2	1				2						1		1		1							
2		1		3	3	2	2	3	1	1	2			4	1						2		2					1									
		1												4	1								1					1									
		1												4	1								1					1									
1		1												4	1								1					1									
		1												4	1		1				3	1					1										
		1												4	1					3	1						1										
7	2	12	5	8	8	4	4	8	1	2	4	2	0	0	38	8	1	1	0	0	2	12	0	8	0	0	1	5	1	0	1	0	0	0	0	0	
														2	5	1					5		1														
2		1																																			
		2																																			
7	2	3	5	5	5	2	2	5		1		2	1	1	7	4	1		1		2						1		1		1		1				
2		1																																			
2		1																																			
		1																																			
		1																																			
		1																																			
		1																																			

救 急 資 器 材 保 有 状 況

(平25.4.1)

資器材名 車 両 名	観 察 用					呼 吸 ・ 循 環 管 理 用										外傷等保護用			搬送用		その他		
	体	血	聴	総	携	自	酸	吸	喉	経	気	輸	薬	シ	自	自	副	創	脊	メ	各	分	在
	温	圧	診	合	帯	動	素	引	頭	鼻	道	液	剤	ョ	動	動	子	傷	柱	イ	種	娩	宅
	計	計	器	置	計	式	式	式	鏡	エ	等	セ	（	・	サ	細		保	固	ン	担	セ	療
						一	一	一		イ		ト	ナ	パ	ー	動		護	定	ス	架	ツ	法
						一	一	一		エ			リ	ン	ジ	器	子	セ	用	レ			続
						一	一	一		イ					器	器	子	ト	器	ッ			用
						一	一	一		イ					器	器	子	ト	具	ャ			資
						一	一	一		イ					器	器	子	ト	具	ャ			材
南 林 寺 救 急 車	3	3	3	1	1	1	1	2	3	15	36	9	6	2	1	1	9	1	2	1	3	1	1
上 町 救 急 車	2	2	3	1	1	1	1	1	3	7	42	7	7	1		1	7	1	1	1	4	1	1
吉 野 救 急 車	2	3	3	1	1	2	1	1	4	5	36	6	5	2	1	1	6	1	1	1	4	1	1
吉 田 救 急 車	2	2	1	1	1	1	1	1	1	6	16	5	3	2		1	4	1	4	1	2	1	
甲 南 救 急 車	2	2	3	1	1	1	1	1	4	11	15	6	6	1	1	1	4	1	1	1	4	1	1
桜 島 東 救 急 車	2	2	2	1	1	1	1	1	2	5					1	1	3	1	1	1	4	1	1
桜 島 西 救 急 車	2	2	2	1	1	1	1	1	4	5	20	5	5		1	1	5	1	2	1	3	1	1
中央本署救急予備車		2	2	1	1	1		1	2		0					1				1	3		
吉 野 救 急 予 備 車	1	1	3	1	1		1	1	1		6					1	1	1	1	1	3	1	1
甲 南 救 急 予 備 車		2	2			1	1	1	1								2	1	2	1	2	1	
西 本 署 救 急 車	2	2	2	1	1	1	2	1	2	6	25	8	5	1	1	1	5	1	2	1	4	1	1
伊 敷 救 急 車	2	2	3	1	1	1	2	1	3	6	13	6	2	1	1	1	6	1	1	1	3	1	1
松 元 救 急 車	2	2	3	1	1	1	1	1	2	20				1		1	6	1	2	1	4	1	1
郡 山 救 急 車	2	2	3	1	1	1	1	1	2	19	19	4	3	1	1	1	6	1	2	1	4	1	1
南 本 署 救 急 車	2	3	3	1	1	1	1	1	3	7	19	6	5	1	1	1	6	1	2	1	2	1	1
谷 山 北 救 急 車	2	2	2	1	1	1	1	1	3	5	19	3	2		1	1	6	1	2	1	3	1	1
郡 元 救 急 車	4	2	2	1	1	1	1	1	4	10	41	7	4		1	1	4	1	2	1	4	1	1
喜 入 救 急 車	3	2	1	1	1	1	1	1	2	10	12	4	3		1	1	10	1	3	1	3	1	1
谷 山 北 救 急 予 備 車	1	2	2	1	1	1	1	1	1	3					1	1	3	1	1	1	3		
喜 入 救 急 予 備 車	2	1	1	1	1	1	1	2	1	8						1	4	1	2	1	3	1	
合 計	38	41	46	19	19	20	21	22	48	148	319	76	56	13	13	19	97	19	34	20	65	18	15

各 隊 別 ホ ー ス 保 有 状 況

(平26.4.1) (本)

種別	隊	中央本署	南林寺	名山	上町	吉野	吉田	甲南	桜島東	桜島西	西本署	伊敷	明和	田上	松元	郡山	南本署	谷山	谷山北	脇田	郡元	喜入	総計
65mm		61	61	51	51	66	51	51	41	41	76	51	61	51	51	51	66	66	51	61	76	76	1,211
50mm		23	23	23	23	23	21	23	21	20	24	23	22	22	18	18	23	23	21	21	24	24	463
合 計		84	84	74	74	89	72	74	62	61	100	74	83	73	69	69	89	89	72	82	100	100	1,674

ボ ン ベ 保 有 状 況

(平26.4.1)

空気ボンベ		酸素ボンベ		アセチレンボンベ		窒素ボンベ		プロパンボンベ	
種別	本数	種別	本数	種別	本数	種別	本数	種別	本数
1 ℓ	2	1.5 ℓ	54	3.7 ℓ	2	10 ℓ	2	5 k	2
8 ℓ	443	2 ℓ	46					8 k	3
8.4ℓ 軽量	225	3 ℓ	32						
4.6ℓ 軽量(30MPa)	28	7 ℓ	2						
6.7ℓ 軽量(30MPa)	2	10 ℓ	50						
9.0ℓ 軽量(30MPa)	6								
合 計	706	合 計	184	合 計	2	合 計	2	合 計	5

総本数 899 本

消 防 車 両 等 装 備 一 覧

(平26. 4. 1) No.1

No.	車 両 名	車両番号	車 名	購入年月日	購入価格 (千円)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	ポンプ級別	水槽容量 (%)	消火原液 容量(%)	エアホーム ノズル(本)	
1	西本署予備車	鹿児島 88す6107	いすゞ	H 7.11. 9	15,553.0	8,220	7	7,815	672	230	280	日本機械工業	A-2	2,000	20×5缶	200型 1
2	谷山予備車	鹿児島 88す7267	いすゞ	H 8.12.19	15,563.3	8,220	7	7,865	665	220	265	モリタ	A-2	2,000	20×5缶	200型 1
3	南本署 2号車	鹿児島 88す7609	いすゞ	H 9. 3.21	15,450.0	8,220	7	7,955	680	220	264	吉谷機械製作所	A-2	2,000	20×5缶	200型 1
4	南本署予備車	鹿児島 88す8685	いすゞ	H10. 3.10	16,779.0	8,220	7	7,655	673	220	263	GMいちはら	A-2	1,500	20×5缶	200型 1
5	吉野予備車	鹿児島 88す9802	日野	H11. 3.18	16,642.5	7,960	7	7,825	726	230	274	日本ドライケミカル	A-2	1,500	20×5缶	200型 1
6	上町 1号車	鹿児島800さ1324	三菱	H12. 3.23	17,167.5	8,200	7	7,845	701	228	269	日本機械工業	A-2	2,000	20×5缶	200型 1
7	桜島西 1号車	鹿児島800さ2409	三菱	H12.12. 7	13,650.0	8,200	7	7,545	645	211	273	モリタ	A-2	1,500	20×5缶	200型 1
8	郡元 1号車	鹿児島800さ2719	いすゞ	H13. 2.28	11,022.9	8,220	7	7,965	694	220	270	モリタ	A-2	2,000	20×5缶	200型 1
9	西本署 1号車	鹿児島800さ3861	日野	H13.12.25	15,632.4	7,960	7	7,995	688	220	271	モリタ	A-2	2,000	20×5缶	200型 1
10	谷山1号車	鹿児島800さ8793	日野	H18. 1.31	18,690.0	6,400	7	7,995	704	222	271	吉谷機械製作所	A-2	1,800	20×5缶	200型 1
11	郡山1号車	鹿児島800さ8935	いすゞ	H18. 3.15	20,895.0	7,160	7	7,995	685	220	276	モリタ	A-2	1,500	20×5缶	200型 1
12	松元1号車	鹿児島800さ8936	いすゞ	H18. 3.15	20,895.0	7,160	7	7,995	685	220	276	モリタ	A-2	1,500	20×5缶	200型 1
13	田上 1号車	鹿児島800す 506	日野	H19.11.15	19,887.0	6,400	7	7,915	689	220	276	モリタ	A-2	1,700	20×5缶	200型 1
14	伊敷 1号車	鹿児島800す 507	日野	H19.11.15	19,887.0	6,400	7	7,915	689	220	276	モリタ	A-2	1,700	20×5缶	200型 1
15	谷山北 1号車	鹿児島800す 804	三菱	H20. 3.14	19,950.0	7,540	7	7,995	685	215	272	ナカムラ消防化学	A-2	1,700	20×5缶	200型 1
16	中央本署 1号車	鹿児島800は1118	三菱	H20.12.16	22,732.5	7,540	7	10,565	707	232	287	ナカムラ消防化学	A-2	2,200	20×5缶	200型 1
17	吉田1号車	鹿児島800は1128	日野	H21. 3. 3	24,570.0	6,400	7	10,335	710	232	297	モリタ	A-2	2,200	20×5缶	200型 1
18	脇田 1号車	鹿児島800は1162	日野	H21.10.22	25,515.0	6,400	7	10,155	712	232	295	モリタ	A-2	2,200	20×5缶	200型 1
19	吉野 1号車	鹿児島800は1163	日野	H21.10.22	25,515.0	6,400	7	10,155	712	232	295	モリタ	A-2	2,200	20×5缶	200型 1
20	桜島東1号車	鹿児島800は1255	日野	H22. 9. 1	25,410.0	6,400	7	9,905	710	229	289	日本機械工業	A-2	2,200	20×5缶	200型 1
21	南本署1号車	鹿児島800は1256	日野	H22. 9. 1	25,410.0	6,400	7	9,815	710	229	289	日本機械工業	A-2	2,200	20×5缶	200型 1
22	明和 1号車	鹿児島800は1583	いすゞ	H26.2.26	34,387.5	5,190	6	8,830	655	230	290	日本機械工業	A-2	1,500	20×5缶	200型 1
23	南林寺 1号車	鹿児島800す3781	日野	H24. 3. 5	26,775.0	4,000	5	6,725	575	190	290	モリタ	A-2	800	20×5缶	200型 1
24	名山 1号車	鹿児島800す3782	日野	H24. 3. 5	26,775.0	4,000	5	6,725	575	190	290	モリタ	A-2	800	20×5缶	200型 1
25	喜入 1号車	鹿児島800す3857	日野	H24. 3.27	29,400.0	4,000	5	6,495	582	192	280	ナカムラ消防化学	A-2	700	20×5缶	200型 1
26	甲南 1号車	鹿児島800す4576	いすゞ	H25. 2.28	24,675.0	3,000	5	6,815	576	192	286	GMいちはら	A-2	700	20×5缶	200型 1
27	南本署救助工作車	鹿児島800さ4278	日野	H14. 3.29	24,570.0	7,960	6	7,580	755	230	319					
28	西本署救助工作車	鹿児島800さ5560	いすゞ	H15. 3.20	26,040.0	8,220	6	7,970	750	230	315					
29	中央本署救助工作車	鹿児島800は 972	三菱	H19. 1.29	48,825.0	7,540	6	10,440	765	229	316					
30	西本署照明電源車	鹿児島 88す2836	三菱	H 4. 2.28	18,952.0	4,210	3	4,265	482	190	290					
31	南本署照明電源車	鹿児島 88す6403	三菱	H 8. 3. 7	18,890.0	4,560	3	4,345	480	189	278					
32	西指揮車	鹿児島800さ4133	三菱	H14. 3.14	3,570.0	2,970	5	2,345	468	169	224					
33	中央指揮車	鹿児島800さ8494	ニッサン	H17.10.26	3,780.0	2,490	5	2,515	483	179	208					
34	南指揮車	鹿児島800す 551	三菱	H19.12. 5	3,591.0	2,350	5	2,105	473	179	205					
35	鹿児島県指揮隊車	鹿児島800す4008	トヨタ	H24. 6.20	9,000.0相当	2,690	8	2,890	538	190	249					総務省より貸与
36	桜島西防災車	鹿児島800さ2441	トヨタ	H12.12.15	5,754.0	3,370	8	2,480	479	182	261	シバウラ	C-1			
37	桜島東防災車	鹿児島800す3795	トヨタ	H24. 3.14	4,746.0	2,980	9	3,185	470	169	216	ラビット	C-1			

消 防 車 両 等 装 備 一 覧

(平26. 4. 1) №2

No.	車 両 名	車両番号	車 名	購入年月日	購入価格 (千円)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	ポンプ級別	水槽容量 (リットル)	消火原液 容量(リットル)	エアホーム ノズル(本)
38	喜入放水塔車(25. 8m)	鹿児島 88ゆ1828	日野	H 6. 12. 19	90, 640. 0	19, 680	6	18, 260	1, 197	249	354	モリタ	A-1		3000型 1
39	南林寺SK車(20. 3m)	鹿児島 88ゆ2087	日野	H 8. 2. 26	75, 190. 0	7, 960	6	13, 080	866	242	365	日本機械工業	A-2		
40	喜入化学車	鹿児島 88ゆ2262	三菱	H 9. 3. 5	55, 620. 0	16, 030	7	12, 835	842	249	298	モリタ	A-1	2, 000	400型 2
41	喜入原搬車	鹿児島 88ゆ2263	日野	H 9. 3. 6	19, 364. 0	7, 960	3	10, 885	694	245	285			4, 000	
42	南林寺化学車	鹿児島 88ゆ2271	三菱	H 9. 3. 19	44, 959. 5	16, 030	6	14, 180	806	248	298	吉谷機械製作所	A-2	1, 600	800型2・400型4
43	南救援1号車(緊急車)	鹿児島800さ7559	三菱	H11. 7. 3	5, 459. 0	4, 890	28	5, 520	698	205	278				
44	中央本署はしご車(46. 1m)	鹿児島800は 248	日野	H13. 2. 7	152, 145. 0	20, 780	6	21, 490	1, 085	249	359	モリタ	A-2		
45	脇田原搬車	鹿児島800は 262	いすゞ	H13. 3. 1	9, 975. 0	8, 220	3	10, 535	732	239	290			4, 000	
46	明和水源車	鹿児島800は 637	三菱	H16. 3. 3	23, 625. 0	7, 540	3	11, 895	693	230	305	シバウラ	B-2	5, 000	
47	西本署SK車(25. 1m)	鹿児島800は1129	日野	H21. 3. 12	124, 845. 0	8, 860	6	16, 760	902	249	362	モリタ	A-1		3000型 1
48	郡元はしご車(40. 0m)	鹿児島800は1174	日野	H21. 11. 17	156, 240. 0	8, 860	6	20, 570	1, 126	249	350	モリタ	A-2		
49	脇田化学車	鹿児島800は1248	日野	H22. 7. 28	47, 880. 0	8, 860	6	15, 080	868	249	325	モリタ	A-1	2, 000	3000型1・400型4
50	鹿児島県支援車	鹿児島800は1470	いすゞ	H25. 2. 21	60, 000. 0相当	9, 830	10(26)	19, 940	1, 098	249	356				総務省より貸与
51	田上ミニ車	鹿児島 80あ1250	三菱	H12. 7. 13	1, 207. 5	650	2	1, 180	339	147	196	シバウラ	C-1		
52	谷山ミニ車	鹿児島 80あ1251	三菱	H12. 7. 13	1, 207. 5	650	2	1, 180	339	147	196	シバウラ	C-1		
53	南本署ミニ車	鹿児島 80あ1359	三菱	H13. 7. 30	1, 258. 9	650	2	1, 230	339	147	198	ラビット	C-1		
54	伊敷ミニ車	鹿児島 80あ1360	三菱	H13. 7. 30	1, 258. 9	650	2	1, 230	339	147	198	シバウラ	C-1		
55	西本署ミニ車	鹿児島 80あ1605	三菱	H15. 7. 10	1, 227. 4	650	2	1, 330	339	147	196	トーハツ	C-1		
56	谷山北ミニ車	鹿児島 80あ1606	三菱	H15. 7. 10	1, 227. 4	650	2	1, 330	339	147	196	トーハツ	C-1		
57	郡山ミニ車	鹿児島880あ 161	ニッサン	H18. 3. 27	1, 627. 5	650	2	1, 150	339	147	198	ラビット	B-3		
58	松元ミニ車	鹿児島880あ 162	ニッサン	H18. 3. 27	1, 627. 5	650	2	1, 150	339	147	198	ラビット	B-3		
59	吉田ミニ車	鹿児島880あ 236	スバル	H18. 10. 6	1, 522. 5	650	2	1, 490	339	147	197	シバウラ	C-1		
60	脇田ミニ車	鹿児島880あ 454	スバル	H20. 1. 21	1, 501. 5	650	2	1, 470	339	147	196	シバウラ	C-1		
61	南林寺ミニ車	鹿児島880あ 927	三菱	H23. 3. 23	1, 858. 5	650	2	1, 150	339	147	197	トーハツ	C-1		
62	甲南ミニ車	鹿児島880あ 926	三菱	H23. 3. 23	1, 858. 5	650	2	1, 150	339	147	199	トーハツ	C-1		
63	明和ミニ車	鹿児島880あ 925	三菱	H23. 3. 23	1, 858. 5	650	2	1, 150	339	147	199	ラビット	C-1		
64	中央本署ミニ車	鹿児島880あ1032	三菱	H23. 12. 13	1, 987. 7	650	4	1, 180	339	147	197	ラビット	C-1		
65	名山ミニ車	鹿児島880あ1031	三菱	H23. 12. 13	1, 987. 7	650	4	1, 180	339	147	197	トーハツ	C-1		
66	上町ミニ車	鹿児島880あ1201	三菱	H25. 1. 10	1, 995. 0	650	2	1, 150	339	147	196	ラビット	C-1		
67	郡元ミニ車	鹿児島880あ1202	三菱	H25. 1. 10	1, 995. 0	650	2	1, 150	339	147	196	ラビット	C-1		
68	吉野ミニ車	鹿児島880あ1353	三菱	H25. 12. 18	2, 046. 5	650	2	1, 160	339	147	195	シバウラ	C-1		
69	喜入ミニ車	鹿児島880あ1354	三菱	H25. 12. 18	2, 136. 8	650	2	1, 180	340	147	195	トーハツ	B-3		
70	資機材搬送車	鹿児島800は1484	三菱	H25. 3. 25	21, 493. 5	7, 540	3	10, 945	818	229	298				
71	作業車(緊急車)	鹿児島 88す9108	三菱	H10. 7. 31	2, 415. 0	2, 830	3	3, 505	467	172	249				
72	中央予防指導1号車	鹿児島800さ2176	ニッサン	H12. 10. 2	1, 743. 0	1, 760	5	1, 815	465	169	167				
73	西予防指導車	鹿児島800さ3992	ニッサン	H14. 2. 20	1, 769. 2	1, 760	5	1, 820	465	169	167				
74	警防課1号車	鹿児島800さ6205	三菱	H15. 10. 1	2, 493. 7	2, 370	7	2, 135	475	179	188				
75	火災原因調査車	鹿児島800す2275	トヨタ	H22. 3. 5	3, 990. 0	2, 690	5	3, 275	484	188	228				

消 防 車 両 等 装 備 一 覧

(平26. 4. 1) No.3

No.	車 両 名	車両番号	車 名	購入年月日	購入価格 (千円)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備 考
76	南予防指導 2 号車	鹿児島800す4287	ニッサン	H24. 11. 9	2, 719. 5	1, 790	5	1, 785	439	169	168	
77	総務課 2 号車(緊急車)	鹿児島800す5016	三菱	H25. 10. 10	2, 984. 1	2, 970	7	2, 435	490	184	204	
78	中央署災害用二輪車	1鹿児島た3447	ヤマハ	H26. 1. 15	1, 844. 9	250	1	160	210	88	129	
79	西署災害用二輪車	1鹿児島た3448	ヤマハ	H26. 1. 15	1, 844. 9	250	1	160	210	88	129	
80	南署災害用二輪車	1鹿児島た3450	ヤマハ	H26. 1. 15	1, 844. 9	250	1	160	210	88	129	
81	南救援 2 号車	鹿児島 22す1372	三菱	H 6. 2. 9	12, 772. 0	8, 200	29	7, 905	699	230	301	H17. 1. 26保管転換
82	予防課 2 号車	鹿児島500さ1182	トヨタ	H11. 5. 26	2, 278. 5	1, 490	5	1, 515	427	169	149	
83	南予防指導車	鹿児島500ち6611	トヨタ	H12. 10. 19	2, 325. 0	1, 490	5	1, 495	431	169	149	
84	総務課 1 号車	鹿児島300み6518	トヨタ	H23. 12. 26	2, 572. 5	2, 690	10	2, 500	484	188	210	
85	中央予防指導 2 号車 (軽)	鹿児島580そ5667	スズキ	H19. 11. 7	650. 8	650	4	950	339	147	150	
86	予防課 3 号車 (軽)	鹿児島580つ2551	スズキ	H20. 6. 5	649. 9	650	4	950	339	147	150	
87	総務課 3 号車 (軽)	鹿児島480ち3853	スズキ	H25. 6. 3	710. 9	650	4	1, 350	339	147	187	
88	予防課 1 号車 (軽)	鹿児島581き1887	トヨタ	H25. 8. 1	1, 102. 0相当	650	4	950	339	147	150	寄贈 (鹿児島市自衛防火協会)
89	谷山北救急予備車	鹿児島800さ3923	トヨタ	H14. 1. 24	16, 779. 0	3, 370	7	2, 935	562	180	248	
90	吉野救急予備車	鹿児島800さ4087	ニッサン	H14. 2. 28	39, 679. 5	3, 490	7	3, 305	578	190	246	資機材込み
91	甲南救急予備車	鹿児島800さ4928	トヨタ	H14. 10. 15	17, 400. 0相当	3, 370	7	2, 815	539	180	245	寄贈 (フミ&テイ子姉妹号) 資機材込み
92	西本署救急予備車	鹿児島800さ4929	トヨタ	H14. 10. 15	17, 400. 0相当	3, 370	7	2, 815	539	180	245	寄贈 (フミ&テイ子姉妹号) 資機材込み
93	松元救急車	鹿児島800す7929	トヨタ	H17. 3. 23	28, 170. 0	3, 370	7	2, 975	563	180	249	資機材込み
94	喜入救急予備車	鹿児島800さ8900	トヨタ	H18. 3. 9	11, 707. 5	3, 370	7	2, 765	539	180	245	
95	桜島東救急車	鹿児島800さ8901	トヨタ	H18. 3. 9	11, 707. 5	3, 370	7	2, 765	539	180	245	
96	吉野救急車 (高規格車)	鹿児島800さ8957	トヨタ	H18. 3. 23	16, 884. 0	3, 370	7	3, 095	562	180	252	
97	上町救急車 (高規格車)	鹿児島800す 802	トヨタ	H20. 3. 13	15, 642. 9	2, 690	7	3, 235	564	189	253	
98	郡元救急車 (高規格車)	鹿児島800す1269	トヨタ	H20. 11. 21	15, 550. 5	2, 690	7	3, 195	564	189	253	
99	南本署救急車 (高規格車)	鹿児島800す2007	トヨタ	H21. 11. 17	15, 309. 0	2, 690	8	3, 130	562	189	253	
100	西本署救急車 (高規格車)	鹿児島800す2361	トヨタ	H22. 3. 24	15, 729. 0	2, 690	7	3, 175	562	189	252	
101	谷山北救急車 (高規格車)	鹿児島800す2879	トヨタ	H23. 1. 6	25, 700. 0相当	2, 690	8	3, 170	562	189	251	寄贈 (J A 号) 資機材込み
102	甲南救急車 (高規格車)	鹿児島800す2969	トヨタ	H23. 2. 2	15, 477. 0	2, 690	8	3, 160	562	189	250	
103	南林寺救急車 (高規格車)	鹿児島800す3089	ニッサン	H23. 3. 24	15, 645. 0	3, 490	7	3, 215	564	192	251	
104	桜島西救急車 (高規格車)	鹿児島800す3710	トヨタ	H24. 2. 29	14, 952. 0	2, 690	8	3, 120	562	189	251	
105	吉田救急車 (高規格車)	鹿児島800す4415	トヨタ	H24. 12. 17	14, 962. 5	2, 690	7	3, 175	562	189	250	
106	伊敷救急車 (高規格車)	鹿児島800す4416	トヨタ	H24. 12. 17	14, 962. 5	2, 690	7	3, 175	562	189	250	
107	郡山救急車 (高規格車)	鹿児島800す5178	ニッサン	H25. 12. 10	14, 910. 0	3, 490	7	3, 335	564	190	249	
108	喜入救急車 (高規格車)	鹿児島800す5179	ニッサン	H25. 12. 10	14, 910. 0	3, 490	7	3, 335	564	190	249	

No.	ポンプ名	ポンプ級別	購入年月日	購入価格 (千円)
1	南署用小型ポンプ	シバウラ	H11. 11. 25	1, 306
2	喜入小型ポンプ	ラビット	H12. 2. 16	1, 207
3	中央署用小型ポンプ	トーハツ	H12. 7. 13	1, 312

署	車名	区分	合計		火 災 出 動												
					建物		車両		林野		船舶		その他火災		誤報		
			出動 回数	出動 人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
	総計	1,989	5,786	761	2,181	25	71	7	14	0	0	170	440	46	131		
中央署	中央指揮車		99	218	34	72	1	2		1	3			4	8	1	3
	中央本署1号車		63	236	34	123	1	4					3	12	2	7	
	中央救助工作車		119	469	46	182	1	4					3	8	2	9	
	中央本署梯子車		15	28	14	27									1	1	
	支援車		0	0													
	ミニ車(中本)		3	5	1	2											
	南林寺1号車		155	598	39	139	1	4					3	12	2	8	
	南林寺SK車		22	38	20	35									2	3	
	南林寺化学車		0	0													
	ミニ車(南林寺)		4	4	3	3											
	名山1号車		65	234	34	123	1	4					3	12	1	4	
	ミニ車(名山)		4	4	2	2							1	1			
	上町1号車		59	179	23	71	1	3					6	18	1	3	
	ミニ車(上町)		7	7	2	2							1	1	1	1	
	吉野1号車		40	118	14	41				1	3			7	19		
	吉野予備車		0	0													
	ミニ車(吉野)		10	10	5	5				1	1			4	4		
	吉田1号車		33	88	10	27				1	2			8	22		
	ミニ車(吉田)		11	14	5	7								5	6		
	甲南1号車		73	222	37	114								1	3	3	9
	ミニ車(甲南)		0	0													
桜島東1号車		8	14	3	6	1	2						1	2			
桜島東防災車		1	1														
桜島西1号車		7	14	3	6								1	2			
桜島西防災車		0	0														
小計		798	2,501	329	987	7	23	4	9	0	0	51	130	16	48		
西署	西指揮車		65	133	21	43							4	9	1	2	
	西本署1号車		80	236	34	93	1	3					3	10	1	3	
	西本署救助工作車		120	434	36	127	1	3					3	9	2	10	
	西本署SK車		5	9	5	9											
	西照明電源車		52	52	15	14	1	1					3	3			
	西本署予備車		0	0													
	ミニ車(西本署)		1	1	1	1											
	伊敷1号車		42	122	20	54	1	3					8	24			
	ミニ車(伊敷)		0	0													
	明和1号車		52	181	25	84	1	4	1	2			7	20			
	水源車		16	30	9	17			1	2			5	9			
	ミニ車(明和)		4	6	2	3			1	1							
	田上1号車		56	220	35	137							5	19	1	4	
	ミニ車(田上)		6	6	5	5											
	松元1号車		22	46	5	10							6	12			
	ミニ車(松元)		13	12	4	4							5	4			
	郡山1号車		24	52	6	12	1	2					7	16			
ミニ車(郡山)		14	14	6	6							6	6				
小計		572	1,554	229	619	6	16	3	5	0	0	62	141	5	19		
南署	南指揮車		96	229	25	63	1	2					7	15	3	7	
	南本署1号車		71	215	13	40	4	11					15	46	1	3	
	南本署救助工作車		93	330	28	95							1	3	3	9	
	南本署2号車		0	0													
	南照明電源車		43	44	16	19							1	1	3	3	
	南救援1号車		1	1													
	ミニ車(南本署)		4	5	1	2	1	1					1	1			
	谷山1号車		59	223	20	78	2	7					6	22	3	12	
	谷山予備車		0	0													
	ミニ車(谷山)		9	10	2	3	1	1					2	2	1	1	
	谷山北1号車		44	137	17	53	2	7					6	20	1	3	
	ミニ車(谷山北)		1	3	1	3											
	脇田1号車		64	234	27	103							6	23	3	9	
	脇田化学車		0	0													
	脇田原液搬送車		0	0													
	ミニ車(脇田)		26	26	9	9							1	1	3	3	
	郡元1号車		59	164	29	78	1	3					1	3	3	10	
	郡元梯子車		6	12	6	12											
	郡元予備車		0	0													
	資機材搬送車		1	2													
	作業車		4	7													
	南救援2号車		7	11	1	2											
	ミニ車(郡元)		4	5	3	4											
	喜入1号車		22	67	4	10							8	29	1	4	
喜入化学車		0	0														
喜入高所放水塔車		0	0														
喜入原液搬送車		1	1									1	1				
喜入予備車		0	0														
ミニ車(喜入)		4	5	1	1							1	2				
小計		619	1,731	203	575	12	32	0	0	0	0	57	169	25	64		

活動状況

(平成25年中)

救助活動		風水害出動		ガス漏れ出動		危険物排除作業		自火報鳴出動		怪煙調査		演習訓練		広報宣伝	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
598	1,692	0	0	24	71	35	102	282	969	41	115	323	868	4,159	12,140
57	127			1	3							19	50		
6	23					3	12	14	55			11	39	69	257
64	255			3	11							12	44	75	299
												5	10	1	2
												1	2	3	6
1	1			1	2							5	8	6	7
11	43			1	4			97	384	1	4	15	51	185	709
												10	20	16	33
												2	4		
1	1											5	6	8	8
8	28					1	4	16	55	1	4	12	43	242	857
1	1											1	1	22	27
17	50					1	4	8	24	2	6	13	38	145	439
2	2					1	1					4	5	9	11
5	16					1	3	8	24	4	12	3	9	147	438
												1	1	4	4
6	13							6	18	2	6	9	27	288	586
										1	1	6	6	4	4
7	21					1	3	23	69	1	3	3	11	230	585
2	2							1	2			3	6	192	384
1	1											2	2	7	7
3	6											5	10	162	315
												2	5	3	3
192	590	0	0	6	20	8	27	173	631	12	36	149	398	1,818	4,981
38	77			1	2							12	27		
8	25					2	6	30	93	1	3	3	8	129	398
77	282			1	3							8	34	65	259
												1	2		
32	33			1	1							1	1	9	14
												1	1		
7	21							6	20			8	23	134	417
												4	4	7	8
8	32					2	7	4	16	4	16	11	39	136	499
						1	2					1	2	19	38
1	2											2	3	4	8
5	20			1	4			7	28	2	8	10	31	102	327
1	1											3	3	12	12
3	6			1	3	4	9			3	6	1	2	288	576
1	1									3	3				
4	9					3	6	1	2	2	5	3	6	171	341
								1	1	1	1			2	2
185	509	0	0	5	13	12	30	49	160	16	42	69	186	1,078	2,899
56	132			3	8					1	2	17	43		
16	48			1	2	4	12	13	39	4	14	4	13	157	469
57	208			3	12					1	3	15	61	55	196
												1	2		
22	20									1	1	1	2	6	10
				1	1									2	13
1	1													3	3
14	55			1	4	3	9	8	32	2	4	10	37	177	647
												2	6	36	116
1	1					1	1	1	1			4	5	22	30
7	19			1	4	3	9	4	13	3	9	1	3	208	624
												1	1	11	11
13	46					2	8	12	41	1	4	5	19	242	921
												2	4	10	25
												2	4		
6	6							7	7			2	2	21	25
9	24			2	5	1	3	13	38			10	31	114	341
												5	10		
				1	2									3	7
												1	1		
4	7											1	1	12	28
6	9													18	340
1	1											1	1	2	2
6	14					1	3	2	7			6	16	155	439
												3	5	1	2
												6	11		
												2	3		
2	2											3	3	8	11
221	593	0	0	13	38	15	45	60	178	13	37	105	284	1,263	4,260

消 防 水 利 の 推 移

(各年4. 1)

種別 年	総 数	消火栓	防 火 水 槽			
			小計	100 t	40 t	40 t 未満
平成 11 年	5,851	5,364	487	18	103	366
平成 12 年	5,912	5,414	498	19	113	366
平成 13 年	5,976	5,469	507	20	119	368
平成 14 年	6,020	5,502	518	21	126	371
平成 15 年	6,160	5,633	527	22	132	373
平成 16 年	6,196	5,667	529	22	134	373
平成 17 年	7,332	6,434	898	22	482	394
平成 18 年	7,407	6,499	908	22	486	400
平成 19 年	7,416	6,528	888		488	400
平成 20 年	7,476	6,561	915	22	493	400
平成 21 年	7,507	6,589	918	22	496	400
平成 22 年	7,521	6,600	921	22	500	399
平成 23 年	7,556	6,631	925	22	504	399
平成 24 年	7,585	6,659	926	22	505	399
平成 25 年	7,592	6,664	928	22	506	400
平成 26 年	7,607	6,679	928	22	506	400

消防の見地から見た重点特殊建築物各隊状況

(平26. 4. 1)

隊名 種別	総数	中 央 署									西 署						南 署					
		本署	南林寺	名山	上町	吉野	吉田	甲南	桜島東	桜島西	本署	伊敷	明和	田上	松元	郡山	本署	谷山	谷山北	脇田	郡元	喜入
総 数	237	19	27	23	11	21	2	12	1	0	16	15	5	5	2	3	15	14	10	17	14	5
病 院	40	2	4	2	6	4					4	2		1			1	1	2	6	5	
旅館・ホテル	23	3	8	4				4	1		1						1				1	
養 護 施 設	94	1		2	4	17	2				8	13	4	4	2	2	6	12	8	1	3	5
そ の 他	80	13	15	15	1			8			3		1			1	7	1		10	5	

中 高 層 建 物 各 隊 状 況

(平26. 4. 1)

隊名 種別	総数	中 央 署									西 署						南 署					
		本署	南林寺	名山	上町	吉野	吉田	甲南	桜島東	桜島西	本署	伊敷	明和	田上	松元	郡山	本署	谷山	谷山北	脇田	郡元	喜入
総 数	6,713	896	1,118	802	263	76	3	679	4	1	655	133	160	250	12	7	125	288	216	282	737	6
4 階	2,956	420	421	296	143	32	1	261	1	1	300	64	34	146	12	6	73	148	64	160	368	5
5 階	1,975	258	296	181	45	39	2	189	2		197	57	122	45		1	16	85	150	81	208	1
6 階	577	59	136	113	18	3		64	1		61	6		23			20	16		16	41	
7 階	359	44	59	62	22	2		60			40	4		13			6	14	1	3	29	
8 階	287	34	77	44	11			39			19	2	2	8			6	13		8	24	
9 階	145	17	38	27	7			19			9			4				4		6	14	
10 階	162	21	45	31	5			15			6		2	4			3	5	1	4	20	
11 階	72	13	21	9	4			7			8			2			1	2		1	4	
12 階	31	8	3	8	1			2			3			2						1	3	
13 階	41	7	8	9	2			6			3									1	5	
14 階	74	7	8	14	4			12			7			2							20	
15 階	27	6	4	7	1			4			2			1				1		1		
16 階	1		1																			
17 階	2		1					1														
18 階	0																					
19 階	2	1		1																		
20 階	2	1																			1	

化学消火剤備蓄状況

(平26. 4. 1)

署	種別 車別	積 載				倉 庫 備 蓄					備 考 (ℓ)
		たん白泡 (ℓ)	水溶性系 AGF-3 (ℓ)			たん白泡 (ℓ)	水溶性系 AGF-3 (ℓ)	界面活性剤系 (ℓ)		水成膜系 (ℓ)	
		タンク	携行缶	タンク		ドラム等	ドラム	携行缶	ドラム	携行缶	
中 央 署	中央本署1号車		100		南 本 署	24,700					たん白泡系 計 42,500
	南林寺1号車		100								
	南林寺化学車			1,600							
	名山1号車		100								
	上町1号車		100								
	吉野1号車		100								
	吉野予備車		100								
	吉田1号車		100								
	甲南1号車		100								
	桜島東1号車		100								
	桜島西1号車		100								
	西 署	西本署1号車		100							
西本署予備車			100								
伊敷1号車			100								
明和1号車			100								
田上1号車			100								
松元1号車			100								
郡山1号車			100								
南 署		南本署1号車		100		脇 田			320	1,600	
	南本署2号車		100								
	南本署予備車		100								
	原液搬送車			4,000							
	谷山1号車		100								
	谷山予備車		100								
	谷山北1号車		100								
	脇田化学車			1,600							
	脇田1号車		100								
	郡元1号車		100								
	喜入1号車		100								
	喜入化学車	2,000									
	喜入原搬車	4,000									
	合計		6,000	2,600	7,200						

水位観測のための量水標の位置

(平26. 4. 1)

河川名	観測所名	設置位置	水移計種別	電話	管理者
甲 突 川	武 之 橋	下荒田一丁目武之橋	普 通		鹿 児 島 市 長
"	岩 崎 橋	下伊敷町岩崎橋下流180m	テレメータ電話応答式	229-2000	鹿児島地域振興局建設部長
"	原 良 橋	城西二丁目原良橋下流100m	テレメータ		"
"	塚 田 橋	小山田町塚田橋下流	テレメータ電話応答式	238-2220	"
"	宮 山 橋	郡山町宮山橋上流50m	"	298-2955	"
新 川	新 川 橋	東郡元町新川橋	普 通		鹿 児 島 市 長
"	堀 之 内 橋	田上七丁目堀之内橋	自 記		鹿児島地域振興局建設部長
"	田 上 橋	田上一丁目26番1号先	テレメータ電話応答式	285-6100	"
"	唐 湊 地 区	唐湊一丁目	"	250-2231	"
稲 荷 川	つ づ ら 橋	清水町つづら橋	普 通		鹿 児 島 市 長
"	一 ツ 橋	池之上町26番地先	テレメータ電話応答式	248-3163	鹿児島地域振興局建設部長
脇 田 川	田 平 橋	宇宿町田平橋	普 通		鹿 児 島 市 長
"	広 木 橋	田上町広木橋	テレメータ		鹿児島地域振興局建設部長
永 田 川	春 日 橋	東谷山三丁目18番11号地先	普 通		鹿 児 島 市 長
"	宮 下 橋	中山町宮下橋橋脚	"		"
"	宮 下 橋 下 流	中山町宮下橋下流20m	テレメータ		鹿児島地域振興局建設部長
長井田川	高 速 下	伊敷五丁目高速下	"		"
木之下川	J R 橋	谷山中央六丁目	"		"
和 田 川	慈 眼 寺 橋	慈眼寺町	"		"
思 川	長 隆 寺 橋	東佐多町長隆寺橋	普 通		鹿 児 島 市 長
八 幡 川	大 正 橋	喜入町大正橋	自 記		鹿児島地域振興局建設部長

雨 量 計 設 置 場 所

(平26. 4. 1)

1	消 防 局	7	南 本 署	13	都市農業センター
2	中 央 本 署	8	谷 山 北 分 遣 隊	14	桜島西分遣隊
3	吉 野 分 遣 隊	9	中 山 平 治	15	喜入分遣隊
4	伊 敷 分 遣 隊	10	郡 山 常 盤	16	松元分遣隊
5	田 上 分 遣 隊	11	吉 田 分 遣 隊		
6	桜島東分遣隊	12	北 部 清 掃 工 場		

水 防 倉 庫 (器 具 資 材 置 場)

(平26. 4. 1)

位 置	棟数	備 考	位 置	棟数	備 考
薬師一丁目16番12号	1	68m ²	伊 敷 分 団 舎 横	1	20m ²
田上一丁目18番1号	1	33m ²	吉 野 支 所 内	1	20m ²
谷 山 支 所 内	1	52m ²	東 桜 島 支 所 内	1	33m ²
中 山 町 799 番 地	1	10m ²	黒神校区公民館隣	1	20m ²
喜入町 6154 番 地	1	48m ²			

風 水 害 等 警 戒 区 域

(平26. 4. 1)

種別			年別	平成25年		平成26年	
				箇所数	警戒区域数	箇所数	警戒区域数
崖地等	土砂災害警戒区域	特 別 警 戒 区 域	0	188	0	188	
		急 傾 斜 地 の 崩 壊	2,742		2,743		
		土 石 流	685		690		
		地 す べ り	0		0		
	そ の 他 の 崖		4		4		
	造 成 地		2		2		
	浸 水 地		11		11		
河 川 筋			54	68	54	68	
海 岸 筋			5	5	5	5	
合 計			3,503	261	3,509	261	

風 水 害 等 警 戒 区 域 各 隊 別 状 況

(平26.4.1)

種別 隊別		総 数	中 央 署									西 署						南 署					
			本 署	南 林 寺	名 山	上 町	吉 野	吉 田	甲 南	桜 島 東	桜 島 西	本 署	伊 敷	明 和	田 上	松 元	郡 山	本 署	谷 山	谷 山 北	脇 田	郡 元	喜 入
警 戒 区 域 総 数		261																					
崖地等警戒区域数		188	1	1	2	19	8	9	5	6	11	16	9	13	9	12	12	10	13	10	10	6	6
崖 地 等 箇 所 数		3,450	1	2	6	134	262	353	21	51	95	49	399	100	149	238	562	307	114	277	54	19	257
崖地等内訳	土砂災害警戒区域 特別警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	土砂災害警戒区域 急傾斜地の崩壊	2,743	0	0	6	101	251	244	21	40	75	36	333	79	120	209	418	255	97	228	51	16	163
	土砂災害警戒区域 土石流	690	0	0	0	32	11	108	0	11	20	13	66	21	28	29	144	52	12	49	0	0	94
	土砂災害警戒区域 地すべり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 崖	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	造 成 地	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	浸 水 地	11	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	2
河 川 筋		68	2	1	1	2	0	5	3	0	0	4	7	1	2	0	9	1	7	1	2	2	18
海 岸 筋		5	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2

風 水 害 被 害 状 況 （ 年 別 ）

年別 区分		平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	
人的被害		死 者				1							
		傷 者	1	8	7	4	2						
住家	全壊	棟 数			2								
		世帯数			2								
		り災人員			2								
	半壊	棟 数		4	1							1	
		世帯数		4	1							1	
		り災人員		13	2							1	
	一部壊	棟 数		145	58	7	1	4		2		7	6
		世帯数		145	58	7	1	4		2		7	6
		り災人員		412	156	16	3	7		10		16	10
非住家	全 壊 棟 数		2	1								2	
	半 壊 棟 数		2	2	2								
	一 部 壊 棟 数	1	24	9	2	2	2		3		3		
床上浸水		棟 数	87	46	60	8	2		1		1		
		世 帯 数	94	46	62	8	2		1		1		
		り災人員	213	102	131	25	5		1		3		
床下浸水		棟 数	235	685	498	39	12	2	5				
		世帯数	244	694	525	40	14	2	6				
		り災人員	599	1,645	1,094	131	32	4	11				

過 去 の 主 な 風 水 害 記 録

年 別	被害種別	人		住 家		非住家 全半壊	家屋浸水	
		死者	傷者	全壊	半壊		床上	床下
昭 和 26 年キジア台風				1	4	6		
昭 和 26 年ルース台風		13	116	1,345	2,447	1,664	4,500	6,800
昭 和 29 年 5 号 台 風				7	16	9	185	3,087
昭 和 30 年 22 号 台 風		3	18	246	321	448		
昭 和 32 年 10 号 台 風				4	6	12	30	416
昭 和 39 年 14 号 台 風				1	1	12	8	65
昭 和 39 年 20 号 台 風		1	7	15	13	46		2
昭 和 40 年 15 号 台 風		2	10	3	9	27	1	631
昭 和 42 年 8 月 彦 四 郎 川							7	178
昭 和 43 年 16 号 台 風			4	22	8		453	1,994
昭 和 44 年 6 月 30 日 豪 雨		18	118	116	93		723	2,400
昭 和 46 年 19 号 台 風				4	6	25		
昭 和 51 年 6 月 25 日 豪 雨		14	9	18	11	17	27	204
昭 和 52 年 6 月 10 日 豪 雨							2	566
昭和52年6月24日竜ヶ水地		9	2	13	1	6	1	3
昭和55年7月11日麓城霊園				2	1	1		
昭 和 58 年 6 月 21 日 豪 雨				2	3	18		19
昭 和 60 年 13 号 台 風		1	20	28	79	303	4	1
昭 和 61 年 7 月 10 日 豪 雨		18	15	66	28	33	263	694
昭 和 63 年 8 月 23 日 豪 雨		1	8	3	3	15	6	147
平 成 元 年 11 号 台 風			9	2	21	70	4	148
平 成 3 年 19 号 台 風			5		1	17		
平 成 4 年 7 月 15 日 豪 雨			1			9	69	347
平 成 5 年 8 月 6 日 豪 雨		46(1)	44	234	170	192	9,014	1,926
平 成 5 年 13 号 台 風			24	13	117	70	480	914
平 成 7 年 8 月 11 日 豪 雨				1			294	671
平 成 8 年 6 号 台 風			10	1	6	※		11
平 成 8 年 12 号 台 風			2	11	4	※	39	210
平 成 9 年 19 号 台 風			1	1		5	22	486
平 成 10 年 10 月 7 日 豪 雨							33	156
平 成 10 年 10 号 台 風							1	65
平 成 11 年 18 号 台 風			7			5		
平 成 15 年 7 月 29 日 豪 雨			1				79	233
平 成 16 年 16 号 台 風			3		2	2	24	444
平 成 16 年 18 号 台 風			1			1		
平 成 16 年 21 号 台 風			4		2	1	22	236
平 成 17 年 14 号 台 風			7	2	1	3	59	479
平 成 18 年 7 月 5 日 豪 雨						2	8	38
平 成 19 年 4 号 台 風		1	1					
平 成 19 年 5 号 台 風			1					

※ () は行方不明者

※ 平成8年台風6号・12号の被害数については、災害対策本部調査のため住家被害は、非住家被害を含む。

各 種 証 明 発 行 状 況 (年度別)

年 度 別	災害証明 (件)	事 実 証 明	
		救 急 (件)	そ の 他 (件)
平 成 15 年 度	37	44	
平 成 16 年 度	174	28	
平 成 17 年 度	32	35	
平 成 18 年 度	11	30	
平 成 19 年 度	4	42	
平 成 20 年 度	3	30	2
平 成 21 年 度	1	20	
平 成 22 年 度	5	12	1
平 成 23 年 度	2	15	
平 成 24 年 度	8	19	
平 成 25 年 度	5	13	

鹿 児 島 市 気 象 概 要

平成25年 (鹿児島地方気象台)

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成25年中	平成24年中
天 気 別	天 気 別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別	天気別
	快 晴 日 数	(日)	2	3	4	2	0	1	1	2	7	5	4	33	20
	曇 天 日 数	(日)	5	11	7	9	22	12	6	7	9	8	6	115	158
	雨 天 日 数	(日)	6	12	8	10	7	20	8	6	8	15	14	122	146
	10mm以上雨が降った日数	(日)	2	8	3	5	2	10	0	4	5	3	3	48	77
日 数	降 雪 日 数	(日)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	11
	日 照 率	(%)	49	47	49	56	51	55	55	60	52	51	46	49	39
	降 水 量	(mm)	70.0	199.5	80.5	120.5	54.5	426.0	93.0	343.5	154.0	114.5	105.0	1,777.5	2,895.0
	日 平 均	(℃)	7.9	10.3	14.1	16.3	21.4	24.6	29.4	26.8	22.5	14.6	9.3	18.9	18.2
	日 最 高	(℃)	12.5	14.9	19.6	21.5	26.2	27.7	33.8	30.9	26.8	19.2	13.8	23.5	22.5
気 温	日 最 低	(℃)	3.9	6.1	9.5	11.5	17.5	22.2	26.5	23.5	18.9	10.6	5.5	15.2	14.7
	平 均 風 速	(m/s)	3.4	3.5	3.2	3.6	3.3	2.9	3.3	3.6	4.3	3.0	3.4	3.4	3.4
	最 多 風 向	(16方位)	北北西	北北西	北北西	北北西	北北西	北北東	西	北北西	北北西	北北西	北北西	北北西	北北西
	最 大 風 速	(m/s)	11.2	11.7	9.9	13.3	9.5	11.7	9.5	16.5	12.5	10.4	12.8	16.5	19.2
	最大風速時の風向	(16方位)	北北西	西南西	西北西	北西	東南東	西南西	南西	南東	北北西	北西	北北東	南東	南南東
風 速	最大瞬間風速	(m/s)	18.9	18.4	16.0	20.8	14.7	20.9	15.6	25.4	19.8	16.4	18.8	25.4	28.8
	最大瞬間風速時の風向	(16方位)	北北西	西南西	西北西	西北西	南南西	西	西南西	南東	北北西	北西	北北東	南東	南南東
	平 均 湿 度	(%)	65	67	69	65	68	82	74	68	68	72	70	70	73
	最 小 湿 度	(%)	23	13	22	22	22	49	32	28	24	22	29	13	11
	湿度														

(参考) 1 快晴は1日平均曇量15%以下 3 雨天は降水量0.5mm以上

2 曇天は " 85%以上 4 降水量は降雪量1mm以上の露霜を含む

5 値) : 準正常値 観測結果にやや疑問がある、または統計を行う対象資料が許容範囲内で欠けている値です。

桜島の噴火記録

1 噴火年表

桜島は、約1万3千年前に生成されたと推定されている。いわば若い火山である。

桜島火山は、約2万2千年前の激しい噴火によって形成された始良カルデラの南端に位置し、北岳、中岳及び南岳の中央火口群といくつかの寄生火山からできている。

過去の火山活動の様子は、古文書等の記録から約1,300年程度さかのぼって窺い知ることができる。その間の活動の特徴は、溶岩流出を伴う山腹噴火と降灰をもたらす山頂噴火の繰り返しといえる。

桜島の噴火年表は次のとおりである。

年 数	記 事	備 考
708年 (和銅元年)	隅州向島湧出（向島は桜島の旧名）	鹿児島図幅説明書桜島の土
718年 (養老2年)	向島湧出、霊亀4年向島湧出す。 (霊亀4年は養老2年)	池田新兵衛所蔵事代記 薩藩名勝考
764年 (天平宝字8年12月)	桜島湾内の海底より噴火し、遂に三島をなす。翌々年になっても振動やまず民家62戸が埋没した。	続日本記（日本地震資料） ※天平宝字噴火
1468年 (応仁2年)	向島の山上に火を發し・・・	福昌寺旧記薩摩名勝考 鹿児島図幅説明書
1471年 (文明3年9月12日)	向島黒神村に噴火、又向島、野尻村に噴火又桜島の地中により火を發して大石を飛ばし、砂を降らした。	文明記、名勝記島陰集 地理拾遺集等 ※文明噴火
1473年 (文明5年4月)	桜島噴火する。	地学協会報告
1475年 (文明7年8月15日)	向島黒神村に噴火、向島野尻村に噴火又野尻村で火を發し砂、石を降らし、焼石が累々・・・	薩藩地理拾遺集 薩藩名勝考地理参考
1476年 (文明8年9月12日)	大隅の国桜島岳噴火し、岩石破裂して人畜の死亡多く、数日の間降灰あり、数里の土地を埋めた。	鹿児島名勝考西薬野史
1478年 (文明10年)	大隅桜島岳噴火して灰を降らし、福山の原野四里は砂漠となった	地学協会報告
1642年 (寛永19年3月7日)	向島神火燃える。	玉竜山年代記薩藩名勝考
1678年 (延宝6年1月9日)	桜島噴火	地学協会報告
1705年 (宝永2年12月)	桜島噴火	〃
1743年 (寛保2年3月2日)	桜島噴火	〃
1748年 (寛延2年8月)	向島野尻村の上太平山焼ける。	桜島池田新兵衛所蔵年代記
1756年 (宝暦6年8月15日)	向島横山温泉湧出 大隅の国桜島噴火	桜島上山年代記 大日本災異誌
1766年 (明和3年4月13日)	桜島噴火	日本災異誌
1779年 (安永8年10月1日)	9月14日頃より地震頻発したり又噴火当日早朝には井水沸騰、海水紫色に変わる等前兆現象を残して午後2時、黒神の上方御岳の下、脇、有村、及び高免白浜の間、高免の海中の4ヶ所より噴火し猛烈を極めた。 噴煙120,000米降灰江戸に至り、死者140余人に達し、翌9月10日まで前後8回小島を湧出した。新島はその一つである。	(記録多し) ※安永噴火
1780年 (安永9年8月11日)	桜島噴火（海中噴火、津波）	日本災異誌
1781年 (安永10年3月18日)	大隅の国桜島岳大噴火（出来島より噴火死者行方不明15名）	地学協会報告
1782年 (天明元年10月4日)	桜島火を發す、又向島炎上	松本氏蔵記録、勝目氏記録及び上山年代記

年 数	記 事	備 考
1782年 (天明元年12月5日)	向島炎上（高免沖より噴火）	玉竜山年代記及び上山年代記
1785年 (天明5年10月19日)	向島炎上、桜島岳燃出どろどろと鳴動 (燃跡付近より小噴出灰石を降らす)	上山年代記藤崎市桜島炎上覚書
1790年 (寛政2年6月18日)	向島炎上（桜島鳴動降灰により西瓜たばこ被害）	桜島上山年代記
1791年 (寛政3年8月14日)	向島炎上	〃
1792年 (寛政4年8月26日)	向島炎上及び桜島岳噴火	桜島上山年代記地学協会報告
1794年 (寛政6年)	向島炎上及び桜島岳噴火	桜島上山年代記玉竜山総年代記
1797年 (寛政9年)	向島炎上及び桜島岳噴火（灰が降り、甘藷収穫なし）	上山年代記地学協会報告
1799年 (寛政11年2月22日)	桜島岳噴火（噴煙降り、麦作に被害3月7日にやむ）	〃
1860年 (万延元年2月)	桜島岳噴火	日本災異誌
1914年 (大正3年1月12日)	（別記別項のとおり）	※大正噴火
1939年 (昭和14年10月26日)	7月頃より噴煙多くなり、注意をひいていたが、10月26日2時30分、南岳東側海拔750mの地点に新噴火口を作り噴火した。溶岩の噴出はなく、かなりの黒煙（噴石、灰を含む）を噴出、漸次少なくなり11月12日まで続いた。	九州噴火史
1941年 (昭和16年4月28日)	4月28日早朝より噴煙等活発であったが21時10分、14年の火口から噴火した。以前よりやや火口が拡大したが、溶岩の流出はなく、赤熱した噴石をかなり多量に出した。爆発は1回のみで30日と5月1日にやや多量の黒煙があった。	〃
1942年 (昭和17年7月16日)	前兆はなく、14年噴火口と推定される地点より噴火、溶岩の流出なく、噴石、降灰量ともに少なく爆発は1回で終わった。	〃
1946年 (昭和21年1月より)	1月30日に灰を含む大噴火があり、以降2月中は、毎日噴煙多量に噴出、有村、黒神方面では赤熱噴出も観測した。続いて3月9日、10日、11日と降灰、噴石を交えた大噴火があり、11日には多量の溶岩を噴出し、4月、5月には黒神、有村方面の海岸に達した。又噴火活動は5月末頃まで活発で、以降漸次弱くなった。	〃
1950年 (昭和25年6月29日より)	6月29日をはじめとし、7月、8月、9月初め頃まで時には灰を交えて多量の噴煙を噴出した。これはA火口から大部分、C火口から少量出た模様。	〃
1955年 (昭和30年10月13日)	南岳旧噴火口から灰を交えた噴煙を多量に噴出、5,000mにまで達した。この噴火は17日まで8回にわたり爆発したが、前兆も伴わず溶岩の流出もなかった。この噴火により死者1人、負傷者9人の人的被害と果樹類等の農作物に被害を与えた。	桜島爆発速報
1960年 (昭和35年1月19日)	夕方から夜にかけ連続的に爆発し、引之平頂上に牛身大の火山弾（重さ約5トン）、火口から2.5kmの東桜島町および古里町では人頭大以上の噴石が多数落下した。また降灰は黒神町の大正溶岩から東桜島中にかけて最も多く、1.5kg/m ² に達した所もあった。	〃
1960年 (昭和35年10月2日)	南岳2合目の東桜島町焼野の安永溶岩丘陵上（A火口から3km）にまで、こぶし大の噴石が多量落下し、数ヶ所で山火事が起こった。	〃
1961年 (昭和36年3月6日)	東桜島町の民家の火口に面している窓ガラスが多数割れ、3合目まで人頭大の噴石を多量に飛ばした。	〃
1963年 (昭和38年2月12日)	東桜島町の民家付近まで、こぶし大の噴石が飛び火口から3.5kmの同町湯之の大根畑では巨大な噴石のため、直径3m、深さ1m位の大穴が数箇所できた。また、古里町の旅館の多数の窓ガラス及びとびらのガラス（厚さ3mm）を破損した。	〃
1963年 (昭和38年11月6日)	南岳3合目まで巨大な噴石が多量に落下し、東桜島町湯之、持木町などで10数箇所山火事が発生した。続く爆発では有村町の人家の近くで4箇所山火事が起こり、2箇所は手のほどこしようもないくらいであった。また、古里町の旅館の窓ガラスが軒なみ多数破損した。	〃
1964年 (昭和39年2月3日)	登山禁止の中岳に登山していた高校生11人のうち7人が落下した噴石で重軽傷を負った。	桜島火山対策ハンドブック

年 数	記 事	備 考
1972年 (昭和47年10月21日)	火口から3km南の古里海岸にホテルの屋根を飛びこえ、巨大噴石が落下、また火口から2.5kmの古里東の畑には巨大噴石の落下による直径4mくらいの大穴があちこちでみられた。3～4合目一帯に山火事が起こり、古里文学碑の上では2時間以上燃え続けた。	桜島爆発速報
1973年 (昭和48年6月1日)	南岳B火口からの爆発で噴煙高度5,000m、湯之から桜島口までの国道沿いに、こぶし大の噴石や火山礫多量落下、軽傷者1名、車両56台のフロントガラスを破損した。	〃
1976年 (昭和51年5月13日)	南岳から南3kmの古里温泉や東南東7kmに海潟の協和小学校の窓ガラスが割れ、有村展望所では子供のこぶし大までの噴石があり、砂、礫のため車両48台の窓ガラスを破損した。	〃
1976年 (昭和51年5月17日)	古里温泉のホテル4軒のドアガラスや東南東7kmの海潟の協和小学校で窓ガラスを破損した。	桜島東分遣隊被害報告書
1977年 (昭和52年11月30日)	古里温泉のホテル4軒のドアガラス9枚、民家11棟の窓ガラス31枚、公共建物2軒の窓ガラス2枚及び走行中の車両1台のフロントガラスを破損した。また、山火事が3箇所で発生した。	〃
1977年 (昭和52年12月8日)	爆発時の空振及び噴石で風下の古里方面で被害が出る。大型窓ガラス破損8枚、車両1台のフロントガラスを破損した。	〃
1978年 (昭和53年1月19日)	爆発の空振で古里旅館街のガラスドア等3枚を破損。北風にのった噴石で牛根方向の車両のフロントガラスが多数破損した。	〃
1978年 (昭和53年3月28日)	爆発の空振で古里旅館街の窓ガラスや大型ガラスドアを破損。被害に地形的な指向性あり、旅館街のドアは必ず同じ場所が壊されている。 ・大型ガラス等破損19枚 ・什器類破損30個	〃
1978年 (昭和53年7月31日)	南岳の爆発で噴石が、台風8号の影響で藤野、武方面の車両や屋根瓦に多くの損害を与え、吉野では多数の噴石が落下、竜ヶ水では車両のフロントガラスを破損した。	〃
1979年 (昭和54年11月10日 14時頃)	南岳の爆発による降灰は、最近に見られない多量なもので、古里、有村方面では、厚さ2～5cmにも達し、この降灰に加えて折りからの降雨で有村、湯之間の国道はスリップ危険状態となり3時間にわたり通行不能となった。また、古里の、有村方面では、送電線のガイシに土砂まじりの降灰が堆積したため6時間にわたって送電不能となり停電が続いた。	〃
1980年 (昭和55年7月31日)	黒神町塩屋ケ元で親指大の火山礫が落下、野尻から有村への4合目以上に山火事数箇所発生する。 ・爆発音～中 ・噴煙量～多量 ・噴煙の高さ～3,000m ・被害なし	〃
1980年 (昭和55年11月8日 10時51分)	有村桜島荘一帯に、折りからの北西の強風に乗った親指大の火山礫が落下し、同付近の展望台駐車場の車両5台がフロントガラスを破損する。噴石は6合目まで落下した。 ・爆発音～大 ・噴煙量～多量 ・噴煙の高さ～2,500m	〃
1980年 (昭和55年11月28日 21時21分)	噴石は4合目まで落下、空振宮崎県までおよぶ、噴煙高不明。古里町桜島グランドホテルの網入ガラス2枚を破損した。 ・爆発音～大 ・空振～中	〃
1980年 (昭和55年12月3日)	黒神町塩屋ケ元に砂礫がパラパラと落下する。 ・爆発音～中 ・噴煙量～中量 ・噴煙高度～1,800m	〃
1981年 (昭和56年1月20日 16時31分)	有村町墓地100m(2合目)の畑に直径1mの噴石が落下し、雑木40㎡を焼失する。その他2合目から4合目に噴石が落下し、山火事多発する。 ・爆発音～大 ・空振～大 ・噴煙量～多量噴 ・煙高～2,100m	〃
1983年 (昭和58年1月26日 10時59分)	南岳爆発、多量の降灰火山礫が、有村町方面に落下、桜島口国道上において走行中の車両数台のフロントガラスを破損した。 ・爆発音～大 ・噴煙量～多量 ・噴煙高度～3,000m	〃
1983年 (昭和58年2月18日 13時26分)	有村町一帯に巨大な噴石が多量に落下し直径2m～3mの大穴があちこちでみられ、有村町湯之の上では農業用倉庫に噴石が落下同倉庫40㎡を全焼した。・爆発音～無し ・噴煙～観測できず。	〃
1983年 (昭和58年2月21日 10時43分)	西北西の風にのって古里町、有村方面に親指大の火山礫が落下、溶岩展望所から桜島口に向けて走行中の車両3台及び駐車中の車両3台がフロントガラスを破損した。 ・爆発音～無し ・噴煙量～多量 ・噴煙高度～2,000m	〃

年 数	記 事	備 考
1983年 (昭和58年5月23日 12時55分)	12時37分桜島南岳が爆発、噴煙高度4,000mに達し、12時55分頃黒神町塩屋ケ元及び宇土地区上空で火山雷が発生、黒神小、黒神中の電線回路、電話器、テレビ等を破損した他、住家のテレビ13台、電話器8台、クーラー1台を損傷した。	桜島東分遣隊被害報告書
1983年 (昭和58年5月26日 9時59分)	桜島南岳爆発により、東桜島町、持木町一帯に直径40mmの火山礫が落下、東桜島中学校体育館のスレート屋根亀裂破損及び、車両21台のフロントガラス等を破損した。	〃
1983年 (昭和58年8月14日 16時14分)	桜島南岳爆発により、北東の風33m/Sの強風に煽られ野尻町持木町方面に直径70mmの噴石が落下、住家2戸の窓ガラス、太陽熱温水器及び車両17台のフロントガラスを破損した。	〃
1983年 (昭和58年8月16日 1時53分)	桜島南岳爆発により、東桜島町一帯に直径30mmの火山礫落下、太陽熱温水器4台及び車両23台のフロントガラスを損壊した。また、路面に大豆粒位の火山火山礫が敷き詰められ一時通行困難の状態となる。	〃
1983年 (昭和58年10月10日 13時52分)	桜島南岳爆発により、野尻町、持木町、東桜島町一帯に火山礫落下、車両2台のフロントガラスを破損した。	〃
1983年 (昭和58年12月13日 10時28分)	桜島南岳爆発の空気振動により、古里温泉街の窓ガラス9ヶ所破損及び黒神小学校の衝立式プラスチック製画版1部を破損した。	〃
1984年 (昭和59年1月10日 14時57分)	空気振動により、黒神小の窓ガラス1枚を破損した。	〃
1984年 (昭和59年1月11日 21時40分)	空気振動により、東桜島町の民家2戸の窓ガラスを破損した。	〃
1984年 (昭和59年2月8日 7時24分)	火山礫落下により、有村町展望所付近で車両1台のフロントガラスを破損した。	〃
1984年 (昭和59年4月10日 9時41分)	空気振動により、桜島グランドホテルの窓ガラス2枚、黒神小の窓ガラス1枚を破損した。	〃
1984年 (昭和59年4月29日 18時)	空気振動により、対岸の鴨池二丁目の民家で窓ガラスを破損した。	郡元分遣隊被害報告書
1984年 (昭和59年5月8日 13時52分)	空気振動により、東桜島小職員室の天井（石こうボード製40cm四方）が落下、桜島病院（野尻町）の窓ガラス1枚を破損した。	桜島東分遣隊被害報告書
1984年 (昭和59年6月7日 21時57分)	高免町一帯に最大5cm（直径）大の噴石が落下し、住家3戸の窓ガラス太陽熱温水器1台、車両16台のフロントガラスを破損した。	〃
1984年 (昭和59年7月21日 15時02分)	有村町一帯に拳大から直径30cm大の噴石が民家に落下し、屋根瓦、板壁を突き破り11件の火災が発生、民家13戸の瓦340枚、スレート35枚を損壊、電話ケーブル、高圧電線を直撃し切断。民家近くの山手側に直径2mの噴石落下。また、直径10mのものをはじめ大小20数個の噴石落下痕が散在していた。	〃
1984年 (昭和59年12月20日 18時20分)	有村町展望所から桜島ロにかけて親指大の火山礫が落下し、車両1台のフロントガラスやリヤガラスを破損した。	〃
1984年 (昭和59年12月26日 17時50分)	有村町展望所付近で火山礫落下により車両1台のボディーに傷が生じた。	〃
1984年 (昭和59年12月31日 21時32分)	空気振動により、古里温泉街のホテルの窓ガラス11枚を破損した。	〃
1985年 (昭和60年1月29日 7時13分)	空気振動により、古里町桜島グランドホテルのロビーガラス戸1枚損壊他に火山礫によるスリップ事故を起し、車両1台前部を破損した。	〃
1985年 (昭和60年2月24日 10時30分)	有村町市桜島荘から桜島ロ一帯にかけ火山礫落下車両5台のフロントガラスを破損した。	〃
1985年 (昭和60年3月31日 13時46分)	有村町市桜島荘から桜島ロ一帯にかけ火山礫落下車両1台のフロントガラスを破損した。	〃

年 数	記 事	備 考
1985年 (昭和60年4月13日 7時22分)	古里町一帯に火山礫が落下し、車両1台のフロントガラスが損壊他にスリップ事故1件発生。負傷者なし。	桜島東分遣隊被害報告書
1985年 (昭和60年6月8日 13時16分)	旧東桜島分遣隊横入口から直線約1km市道特大湯之登山道字石神桜島解体南側三差路中央に直径1mの噴石が落下し、市道アスファルト舗装3㎡を破損した。	〃
1985年 (昭和60年6月13日 0時11分)	野尻町桜島病院の駐車場内に駐車していた車両3台が、火山礫によりフロント及びリヤウインドガラスを破損した。	〃
1985年 (昭和60年6月16日 11時47分)	東桜島町出口ビワ畑に噴石(45cm×40cm)が落下、被害なし。	〃
1985年 (昭和60年6月30日 11時21分)	野尻町、持木町、東桜島町方面噴石火山礫が落下、東桜島町の畑、湯之持木の登山道に直径0.3m～1mの噴石3個落下他に火山礫による牛舎、豚舎のスレート瓦の一部、車両11台のフロント及びリヤウインドガラスを破損した。	〃
1985年 (昭和60年7月6日 17時20分)	有村・古里町方面に噴石落下、有村町5番地竹之下キク方に直径1mの噴石が屋根を突き抜けて落下し、非住家1棟が半壊、住家ガラス戸の一部が損壊した。	〃
1985年 (昭和60年7月10日 14時14分)	有村町に噴石落下、有村町7番地竹之下熊夫方北側土手に噴石が落下し、噴石、破片及び土砂により住家1棟の屋根、板壁を損壊した。	〃
1985年 (昭和60年7月21日 5時20分)	空振により上福元町の飲食店、高麗町鹿児島女子大附属高等学校の窓ガラス計6枚を破損した。	中央本署、谷山分遣隊被害報告書
1985年 (昭和60年12月3日 1時03分)	空振により鹿児島市役所のかんぬき2本折損、他に山下町、東桜島町、上町、磯、竜ヶ水方面、城西方面で官庁、病院、学校、ホテル等の出入口及び窓ガラス計184枚を破損した。	中央本署、名山、上町、桜島東、城西各分遣隊被害報告書
1985年 (昭和60年12月5日 12時39分)	黒神町塩屋ケ元一帯に火山礫が落下し、車両1台のフロントガラスを破損した。	桜島東分遣隊被害報告書
1985年 (昭和60年12月16日 8時52分)	有村町一帯に火山礫が落下、車両1台のフロントガラスを破損した。	〃
1985年 (昭和60年12月19日 8時01分)	有村町7番地竹之下郁男敷地内畑に直径0.3m(推定)の噴石落下、人畜、家屋には被害なし。	〃
1986年 (昭和61年1月1日 11時58分)	有村町一帯に火山礫落下し、走行中の車両4台のフロントガラスを破損した。	〃
1986年 (昭和61年2月6日 1時28分)	空気振動により黒神小学校、改新小学校の窓ガラス計5枚を破損した。	〃
1986年 (昭和61年4月16日 5時37分)	噴石落下により野尻川5号ダムの補助ダムに設置してある土石流用の検知線ケーブルを損壊する。空気振動により東桜島小学校の玄関ドア網入りガラス半分破損する。有村町市保養所、桜島荘の窓ガラスを破損する。	〃
1986年 (昭和61年4月22日 12時07分)	黒神口に火山礫(2～3cm)が落下し、車両1台のフロントガラスを破損した。	〃
1986年 (昭和61年6月10日 11時00分)	持木町に火山礫が落下し走行中2台、停車中1台の車両のフロント及びリヤガラスを破損した。	〃
1986年 (昭和61年6月24日 9時12分)	黒神町、高免町に噴石落下(最大10cm平均2～3cm)12棟のスレート屋根タキロン屋根を損壊した。牛舎16棟及び8台の車両のフロント、リヤ、サイドガラスを損壊した。	〃
1986年 (昭和61年10月30日 11時50分)	有村町展望台から桜島口にかけて火山礫(3～7cm)落下し、車両3台のフロントガラスを破損した。	〃

年 数	記 事	備 考
1986年 (昭和61年11月23日 16時02分)	古里町グランドホテル山下家に直径約2mの噴石が落下し、1階床を貫通して約3mの穴をあけ地下倉庫に落下した。噴石破片によりロビー、じゅうたん、地下倉庫で小火が発生した。宿泊客1人従業員5人の計6人が骨折打撲火傷等を受傷した。(重傷2人、中等傷2人、軽傷2人) 古里町燃際の千草舎(鉄骨タキロン造35㎡)1棟に噴石落下し、その破片により出火し、全焼、耕運機1台、運搬車1台も焼失した。	桜島東分遣隊被害報告書
1986年 (昭和61年12月30日 9時16分)	桜島口から黒神町にかけて噴石(3～5cm)が落下し車両2台のフロントガラスを破損した。	〃
1987年 (昭和62年3月)	有村町22戸51人が五ヶ別府町や、外に移転する。	〃
1987年 (昭和62年11月14日 15時50分)	桜島口から有村避難港一帯にかけて米粒大の火山礫が落下し、普通乗用車1台のフロントガラスが破損した。	〃
1987年 (昭和62年11月17日 20時56分)	東桜島町字石神、桜島解体廃車置場に直径約2mの噴石が落下し、廃車10台を焼損した。黒神町奥山産業付近から西宇土にかけて直径1～3cmの火山礫が多量に落下し、黒神町等で8棟のタキロン、ガラスを破損した。	〃
1987年 (昭和62年11月28日 11時19分)	爆発空気振動により古里町のホテル2軒の窓ガラス、玄関自動ドアを破損した。	〃
1988年 (昭和63年1月30日 22時06分)	爆発空気振動により古里町のホテルの玄関ドア、窓ガラス46枚を破損した。	〃
1988年 (昭和63年2月3日 12時52分)	爆発空気振動によりホテル窓ガラス1枚破損した。	〃
1988年 (昭和63年2月9日 18時52分)	桜島口から有村展望台にかけ5mmの火山礫が落下走行中の普通乗用車1台のフロントガラスを破損した。	〃
1988年 (昭和63年2月10日 12時18分)	有村町一帯に米粒大の火山礫が落下し走行中の普通トラック1台フロントガラスを破損した。	〃
1988年 (昭和63年3月27日 12時52分)	桜島口付近に火山礫が落下し、走行中のタクシーと普通乗用車各1台のフロントガラスを破損した。また、空気振動により古里町のホテルの窓ガラス2枚を破損した。	〃
1989年 (平成元年1月28日 17時58分)	古里町有村方面に火山礫が落下し、走行中及び駐車中の普通乗用車8台のフロントガラスを破損した。	〃
1990年 (平成2年5月1日 13時35分)	爆発空気振動により官公署、病院の窓ガラス12枚を破損した。	〃
1990年 (平成2年5月2日 3時15分)	爆発空気振動により官公署の玄関かんぬき、店舗の窓ガラス1枚を破損した。	〃
1990年 (平成2年8月28日 2時30分)	野尻町から東桜島町にかけ、火山礫が落下し、駐車中の車両5台のフロント・リア・ガラスを破損した。	〃
1990年 (平成2年11月30日 8時30分)	有村展望台一帯にかけ、火山礫が落下し、走行中1台、駐車中11台作業中1台の車両及び建設機械のフロント・リア・ガラスを破損した。また、休憩所、工事詰所の窓ガラス4枚を破損した。	〃
1990年 (平成2年11月30日 15時04分)	有村展望台一帯にかけ、火山礫が落下し、走行中2台、駐車中5台の車両のフロント・リア・ガラスを破損した。また、休憩所、工事詰所の窓ガラス4枚、民家のドアーガラス1枚、テラスタキロン15枚を破損した。	〃
1990年 (平成2年12月25日 10時19分)	桜島口から塩屋ケ元にかけ、火山礫が落下し、走行中の車両1台のフロントガラスを破損した。	〃
1991年 (平成3年5月10日 12時06分)	爆発空振により官公署のガラス2枚を破損した。	〃

年 数	記 事	備 考
1991年 (平成3年6月29日 23時45分)	黒神町方面に火山礫が落下し、民家のテラスタキロン8枚、倉庫牛舎の屋根スレート31枚、温室のガラス1枚、駐車中の車両2台のフロント・リアガラス及びサイド・リアガラスを破損した。また、簡易水道配管2本を破損した。	桜島東分遣隊被害報告書
1991年 (平成3年8月20日 8時51分)	持木方面に火山礫が落下し、車両1台のフロント・リアガラスを破損した。	〃
1991年 (平成3年11月18日 12時45分)	黒神町方面に火山礫が落下し、走行中の車両1台のフロント・リアガラスを破損した。	〃
1992年 (平成4年1月2日)	持木方面に火山礫が落下して走行中の車両1台のフロントガラスを破損した。	〃
1992年 (平成4年2月1日)	古里町・有村町方面に火山礫が落下して駐車中の車両9台のフロントガラス等を破損した。	〃
1992年 (平成4年2月2日)	黒神方面に火山礫が落下し、走行中の車両1台、駐車中の車両1台、計2台のフロントガラス等を破損した。	〃
1992年 (平成4年2月3日)	有村町3戸5人が星ヶ峯団地へ移転する。	〃
1993年 (平成5年4月7日)	有村方面に火山礫が落下して走行中の車両1台のフロントガラスを破損した。	〃
1994年 (平成6年2月2日)	桜島口付近に火山礫が落下して走行中の軽貨物1台、普通乗用車1台、計2台のフロントガラス等を破損した。	〃
2000年 (平成12年10月7日 16時42分)	袴腰付近に火山礫が落下して車37台のガラスを破損した。 ・噴煙高度～5,000m以上	〃
2006年 (平成18年6月4日)	南岳山頂火口とは異なる南岳東斜面の昭和火口で58年ぶりの新たな噴火が始まった。	〃
2011年 (平成23年)	年間の爆発回数が996回に達した。 (平成22年の896回を上回る過去最多の年間爆発回数を観測)	鹿児島地方気象台 発表
2013年 (平成25年9月4日 11時02分頃)	噴火警戒中の桜島西1号が、古里町古里旅館街付近にて火山礫を視認、付近を調査したところ車両18台のガラス等の破損を確認した。 ・583回目の爆発 ・噴煙高度～2,800m(流行南西)	桜島西分遣隊被害報告書
2013年 (平成25年9月25日 12時42分頃)	有村方面に火山礫が落下し、走行中の車両1台のフロントガラスを破損した。	桜島東分遣隊被害報告書



噴煙を上げる桜島



大正3年の噴火で埋没した黒神鳥居

2 桜島大正噴火の概況

(1) 大噴火の前兆現象

大正3年の大噴火に際し、種々の前兆現象が発生したが、その状況は次のとおりであった。

ア 地震の状況

大正3年1月5日と7日に鹿児島測候所の地震計は、微震を記録し、続いて10日には桜島内において頻繁に地震がおこり、翌11日には、一層激しくなり、この日一日で238回(無感127回・有感111回)の地震が記録された。

翌12日は、早朝の1時頃から3時頃までの間、一時的に地震回数は半減したが、その後次第に回数は増加し、8時頃最も激しく大噴火の起こった午前中まで、前日までの分を含めて合計417回(微震348回・弱震以上33回)におよび、地震の発生を記録した。

また、西桜島、東桜島村の報告によると、1月9日16時頃から弱い地震を時々感じており11日に入り強く激しくなり、地鳴りを伴った。さらに14時頃以降一層激しくなり、回数も1時間70～80回を数えるようになり、これが12日の噴火時まで続いた。

特に12日の5時頃からは、上下の激しい大地震が頻発し、女子、子供達は悲鳴をあげ、避難しようとして海岸に集まった。

イ 温泉および地下水の異常

西桜島村では、数ヶ月前から村内の各井戸が減水の傾向にあったが、噴火当日の12日早朝には水量が増加して平日の数倍となり、海岸の各所で湧き水が湧出した。

また、東桜島村の有村温泉では、噴火の3日ぐらい前より温泉は冷却を続けたが、12日には熱湯が水柱となり噴出、海岸一帯では、各所に温泉が湧出し一面湯煙が立ちこめた。

さらに、8時30分頃には、温泉の浴槽に臭気のある泥水が噴出しはじめた。

このほか、各地で井戸水の異常が見られ、加治木の温泉では7日頃から温度が上昇し始め、国分、加治木方面の井戸水は増加し、鹿児島市では、西田、新照院、武付近の井戸水が濁り、枯渴したということである。

ウ その他の異常

(ア) 地熱

噴火の数日前より黒神、瀬戸方面では土地の温度が上昇し、住民は家に居ることができず、皆海岸に集まった。また、地熱の上昇に耐えかねて蛇、蛙、みみずの類は地上に出てきた。

(イ) 煙

11日より各地で桜島に煙の昇るのが発見されている。即ち11日には、鹿児島市から御岳の8合目付近より白煙の昇るのが見え、同3時頃には小池部落の上方「三木株東方湯」の根現付近に一条の白煙が立ち昇った。(西桜島村報告)

12日には、7時から9時までの間に南岳の旧噴火口から数回にわたり白煙の立ち昇るのが望みされた。

(2) 地震の状況

1月12日10時29分の大爆発以来、その勢いがますますさかんになるにつれて、鹿児島市民の多くは異変を恐れて市外に避難し、人影少なく、暮れゆかんとする夕刻の18時29分、鹿児島地方に突然強烈な大地震が発生した。(鹿児島測候所の地震計破壊、震度5～6といわれる。)

振巾(6cm)大音響とともに万物は揺れ動き、全市の電灯は消え、家屋は前後左右に揺れ、家屋の倒壊、屋根瓦の飛散、土壁の崩落、石垣、煙突の倒壊等が各所に起こり、人畜の死傷は多数にのぼった。

また、海岸一帯には、大波が襲来、港の石段に大亀裂を生じ、稲荷川筋の避難船は一部破壊された。さらに、鹿児島本線(現日豊本線)の重富～鹿児島駅間及び川内線(現鹿児島本線)の武駅(西鹿児島駅)～伊集院駅間の鉄道線路は、各所で決壊して不通、道路も同様亀裂を生じ車馬の交通は不能、電信、電話も不通となり、一時鹿児島市周辺の通信、交通機関は全て途絶状態となった。

特に、鹿児島郡西武田村、田上、天神ヶ瀬戸の県道では、高さ約3.6m、長さ約54mにわたり崩壊し、避難者20数名が生き埋めとなり、軍隊をはじめ青年団、警察官、村当局が協同して発掘にあたり、24日までに10遺体を発掘した。

噴火並びに地震による被害は、死者58人、負傷者112人、焼失戸数2,148戸、住家全壊120戸、同半壊195戸、厩舎全壊45戸、同半壊3戸であった。(鹿児島県災異誌昭27.4)

3 桜島大正噴火から100年

20世紀最大の噴火と言われた桜島大正噴火から100年の節目にあたり、平成26年1月12日桜島総合体育館において「桜島大正噴火防災100年式典」が開催され、その後、桜島溶岩グラウンドにおいて「総合防災訓練」が実施された。

式典では、防災関係者をはじめ、島内の住民ら約750人の参加のもと、長年の教訓継承・啓発に多大なる功労のあった消防職・団員OBの方々などへの表彰のほか、井口京都大学教授の防災講演などが行われ、火山防災に関する意識の啓発が図られた。

防災訓練では、消防、警察、自衛隊、DMAT、日赤鹿児島県支部、九州電力、日本ガスなど各防災関係機関の単独又は合同による被害状況調査、救出・救護、消火及び災害復旧訓練などが行われ、各防災関係機関相互の連携強化等が図られたところである。



桜島地区の避難施設の現況

(平26.4.1)

町名	避難壕	避難舎	避難港
野尻町	1	1	1
持木町	2	1	1
東桜島町	2	2	1
古里町	1	2	2
有村町	1	1	1
黒神町	2	2	2
高免町	4	3	3
桜島赤水町	2	1	1
桜島赤生原町	1	1	1
桜島小池町	1	1	1
桜島西道町	1	1	1
桜島白浜町	2		1
桜島武町	3	1	1
桜島藤野町	1	1	1
桜島二俣町	2	1	1
桜島松浦町	2	1	1
桜島横山町	4		
計	32	20	20

桜島火山爆発回数

(単位:回数)

年(1月～12月)	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
桜島火山爆発回数	110	59	17	11	12	15	10	29	548	896	996	885	835

25 年 中 爆 発 回 数

(単位:回数)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
桜島火山爆発回数	96	119	61	14	58	17	83	118	110	87	50	22	835

市 内 各 地 で の 降 灰 量

(単位:g/m²)

計量場所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
気象台	11	24	8	0	74	4	2	59	906	720	7	18	1,833
高免	1,272	2,841	1,192	222	352	719	2,907	690	1,884	851	699	119	13,748
園山	979	1,880	1,681	338	672	1,169	2,783	1,259	1,768	1,612	1,112	370	15,623
黒神	1,488	927	5,300	432	1,926	2,484	11,735	4,215	1,156	1,024	1,627	562	32,876
有村	6,781	10,426	3,899	941	1,289	57	2,320	1,712	2,485	1,903	5,531	4,917	42,261
湯之	149	243	613	155	706	102	107	359	4,257	8,961	176	216	16,044
持木	80	146	293	27	744	160	20	291	4,752	9,772	209	174	16,668
吉野公園	85	416	115	55	269	12	22	667	726	593	104	40	3,104
坂元	34	41	37	34	324	19	13	677	406	1,130	20	9	2,744
市役所	49	79	22	17	208	19	7	544	843	1,402	11	13	3,214
東開町	14	17	16	16	213	51	15	17	356	610	52	29	1,406
丸岡	6	97	17	15	67	2	3	133	150	122	28	4	644
広木	8	9	7	14	101	13	5	128	884	522	13	10	1,714
谷山	5	5	7	5	59	15	6	9	292	364	16	10	793
城南山	45	60	30	38	225	25	15	586	732	1,043	29	16	2,844
桜島小池	138	138	121	73	945	82	21	1,523	1,426	1,879	67	22	6,435
桜島湯之平	283	499	322	47	2,413	202	63	3,671	2,603	2,577	216	83	12,979
桜島武	258	872	604	608	864	79	119	1,573	2,988	5,505	346	179	13,995
桜島藤野	329	1,577	750	244	491	12	1,590	1,745	1,372	669	431	213	9,423
桜島二俣上	1,666	4,414	2,263	793	1,148	67	1,688	1,570	2,657	1,404	1,739	470	19,879
桜島二俣	809	2,584	1,293	548	551	29	788	1,447	1,209	866	1,317	478	11,919
桜島赤水	101	94	142	54	888	124	21	922	4,579	4,432	81	107	11,545

桜島の各河川土石流発生状況

(各年1～12月中 単位：回)

年 河川名	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年	11 年	12 年	13 年	14 年	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	合 計
野尻川	11	10	10	3	10	7	8	8	9	6	10	6	6	7	2	4	18	10	21	12	178
春松川	3	4	1	1	2			2										1	1		15
持木川	5	5	3	1	2	4	2	2		1	1	2	2	1	2	1	7	7	11	8	67
第2古里川	1	2			1	1												2	3	2	10
第1古里川	2	3	2	2	1													2	3	3	15
有村川	13	16	5	2	7	8	8	3	2		2	2	3	2	2	2	6	6	9	5	103
黒神川	7	12	5	2	8	10	4	2	6	2	2	2	2	2	7	5	12	3	7	4	104
引ノ平川	—	—	—	—	4	1	2														7
金床川	—	—	—	—	—	—															0
古河良川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—									0
合 計	42	52	26	11	35	31	24	17	17	9	15	12	13	12	13	12	43	31	55	34	499

※引ノ平川H10、金床川H12、古河良川H18より観測開始

(国土交通省大隅河川国道事務所 砂防調査調べ)

情報管理



総 記	78
通 信	
消防情報通信の沿革	79・80
消防緊急通信指令システム構成図	81
消防緊急通信指令システム設備	82
気象情報・消防対策室設備	82
消防無線保有状況	82
指令台収容回線	82
緊急通報受理状況	83
火災・救急以外の災害の緊急通報受理状況	84
火災等の出動指令数	84
救急車の出場指令数	84

◎ 情 報 管 理 行 政

情報通信技術の進展により、消防を取り巻く環境は大きく変化し、そのスピードは今後さらに加速することが予想され市民の情報化に対するニーズも確実に高度化・多様化してきている。このような中、本市においても、災害発生時の情報通信体制の強化のため、情報システムの管理や災害情報の収集、発信及び連絡体制の充実強化に努めている。

また、通信指令システムをはじめとする各種消防防災情報システムの中には、市民の個人情報数が数多く保存されていることから、このような情報が漏洩、流出することのないようにシステムを管理・運用する職員の情報の適正処理技術の向上と、高いセキュリティ意識の高揚に取り組んでいる。

◎ 通 信 指 令 業 務

通信指令業務は、市民からの119番通報の受理や消防隊への出動指令をはじめ、気象情報オンラインシステムによる気象情報の収集、防災関係機関との通信、防災行政同報無線を活用した市民への情報提供、防災情報システムや支援情報システムの運用のほか、119番通報の中で最も件数の多い、救急要請受理時における傷病内容に応じた応急処置の口頭指導の実施など、年々重要度を増している。

市民からの119番などの緊急通報は、平成25年中41,433件あり、市民の約15人に1人が通報したことになる。

平成13年1月に整備した本市の消防緊急通信指令システムは、以下のような機能の充実を図り、市民サービスの向上と信頼維持に努めている。

【119番通報に迅速に対応するためのシステム】

①位置情報通知システム（携帯電話、固定電話、IP電話）

119番通報受理時、通話と同時に通報者の位置情報が地図上に表示される。慌てて住所などを言えない場合や意識を失った場合などでも現場の特定が可能となり、消防車、救急車をより早く現場に出動させることができる。

②音声合成装置

コンピュータで合成した音声により指令を行うシステムで、これにより指令員は通報者と会話を続けながら出動指令を行う事ができ、通報受理から現場到着までの時間短縮につながっている。

③車両動態位置管理システム

消防車や救急車の位置をGPSシステムで管理し、災害現場に一番近い車両を出動させることができる。

【FAX及びメールによる119番通報】

聴覚、音声、言語機能に障害を持つ市民から、FAX及びパソコンや携帯電話のメールによる緊急通報に対応することができる。

【緊急通報システム】

高齢者宅等に設置された専用の通報装置やペンダント型発信機からの緊急通報に対応することができる。

【市民への情報提供システム】

①災害状況案内装置

災害の発生時に「0180-999-009」に電話すると、災害発生町名と災害の種類を案内する。

②安心ネットワーク119

事前に登録した市民や防災関係者に対し、市内の災害発生状況、気象情報、市民発令情報、避難情報をメールで配信すると同時に、ホームページに公開する。

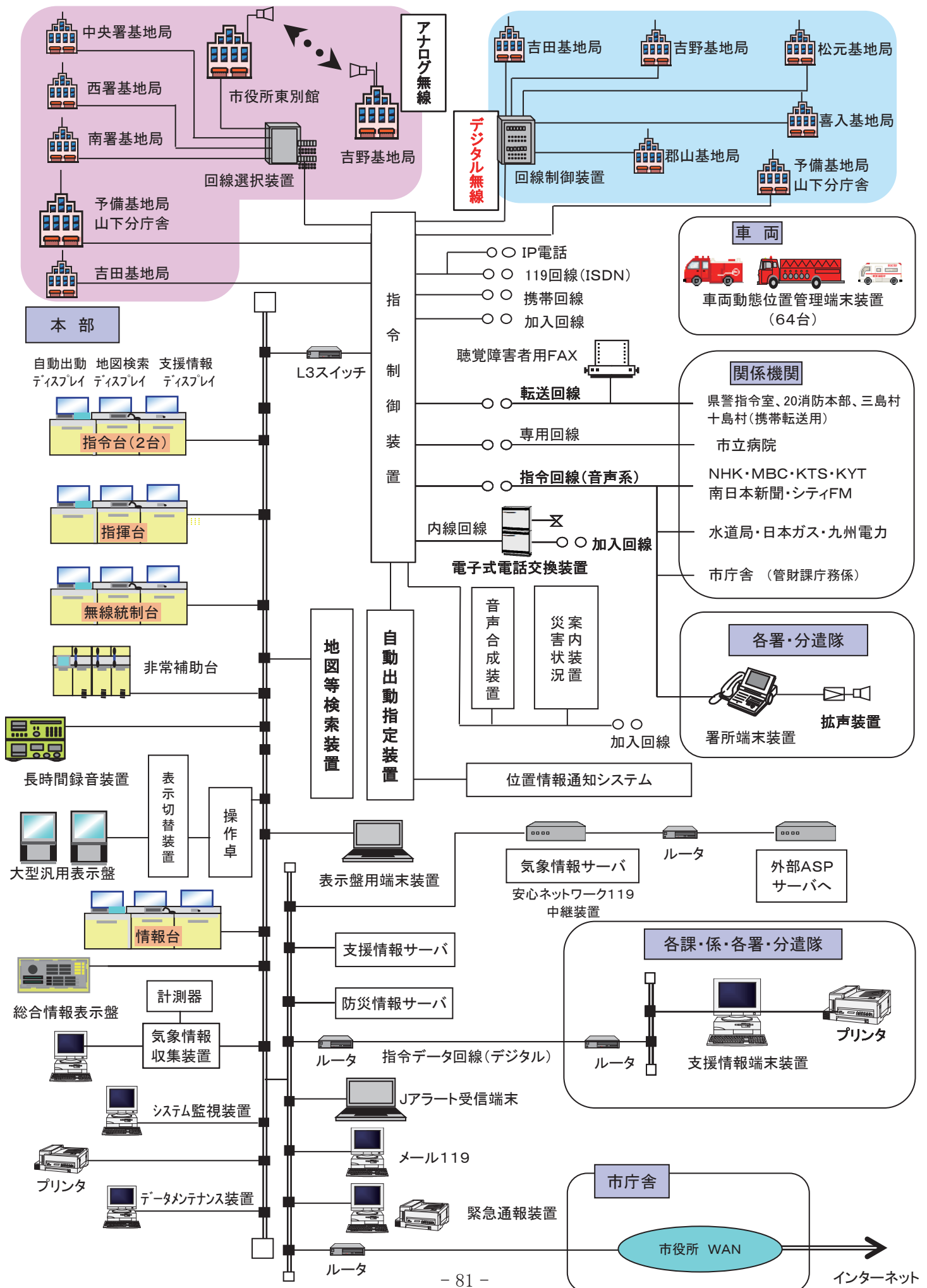
【防災情報システム】

インターネット上で災害情報をはじめ、避難やライフライン等の情報を得ることができる防災情報システムを運用し、災害情報の一元化を図るとともに、市民への情報提供を行う。

消 防 情 報 通 信 の 沿 革

昭和 27年 5月	総務課通信係発足 係員5人 共電対磁石式交換機1台 一斉指令電話7回線新設
昭和 30年 2月	中短波無線装置新設 基地局1 移動局4
昭和 31年 3月	共電式交換機(共電式連1号型40回線)更新整備
昭和 31年 5月	係員6人を女子職員にかえる。
昭和 33年 5月	鹿児島電話局自動化、火災通報「火事番」から「119番」へ
昭和 35年10月	警防課通信係となる。
昭和 37年 3月	超短波無線装置新設 基地局1 移動局6
昭和 39年 4月	係員を男子職員にかえる。
昭和 40年 1月	消防指令台新設及び共電式交換機を更新整備
昭和 47年 3月	救急指令装置A型新設
昭和 47年 4月	係名を通信指令室に変更(室長以下11人)
昭和 48年 3月	救急無線装置(複信方式)新設、基地局1、予備基地局1、移動局5、なお、基地局を紫原六丁目移動無線センターに設置
昭和 49年 4月	消防用無線の狭帯域化及び周波数変更に伴い、消防用無線装置(単信2CH無線中継方式)基地局を紫原六丁目移動無線センターに設置
昭和 50年 8月	消防通信強化のため室長以下13人となる。
昭和 51年 8月	通信指令第一係、同第二係の2係制となる。(12人)
昭和 52年 3月	報知回線増加に伴い、指令台に副台を設置
昭和 53年 3月	交換機を自動交換設備に更新整備 代表電話(26-5811)に変わる。
昭和 53年 8月	災害状況案内装置(テレホンガイド)「22-7161」新設
昭和 56年 4月	新消防指令台設置及び救急指令台改良整備並びに録音機更新整備、風力計新設
昭和 57年 2月	消防車等運用表示装置設置
昭和 58年 2月	緊急情報現示システム設置
昭和 59年 3月	雨量警報装置設置
昭和 59年 7月	自動車電話119番2回線増設
昭和 59年10月	市防災行政無線制御器設置
昭和 60年 6月	ファクシミリシステム設置(通信指令室と日本気象協会鹿児島支部)
昭和 61年 6月	ファクシミリネットワーク設置(局、署、隊)
昭和 62年 2月	災害状況案内装置(テレホンガイド)の電話番号(24-5000)に変更
昭和 62年 4月	通信指令管制システム整備に伴い通信指令室を4階に移設し、有線・無線系施設の整備を行うとともに基地局を吉野町「鹿児島市立少年自然の家」敷地内に移設した。
昭和 62年12月	衛星通信119番2回線設置
昭和 63年 4月	通信指令管制システム(コンピュータ系)整備
平成 元年10月	総合気象観測装置設置
平成 2年 4月	気象台、気象情報同報装置(同報FAX)設置
平成 4年 3月	新地図入替(ゼンリン92年版)
平成 4年 6月	県防災行政無線電話、FAX装置設置(端末局)
平成 4年10月	自動災害情報連絡装置設置(3回線)
平成 6年 1月	緊急通報システム運用開始
平成 6年 4月	通信指令第一係、同第二係、各1人増員となる(14人)
平成 6年 4月	気象情報室設置
平成 6年12月	全分団車両に車載携帯兼用無線機設置

平成 7年 3月	市波3増設
平成 7年11月	局・署・分遣隊の加入電話「局番－0119」に統一(代表電話222－0119)
平成 8年 3月	気象情報オンラインシステム及び雨量観測システムのモニター画面を通信指令室に分岐設置
平成 8年 6月	画像伝送システム運用開始に伴い、監視カメラのモニター及び遠隔装置を通信指令室に分岐設置
平成 9年 3月	中央消防署・南消防署に無線基地局を設置
平成 9年10月	鹿児島シティFM開局と同時に緊急放送を開始
平成 10年 4月	市域外からの携帯電話での通報に対し、119番通報の転送を開始(ブロック内の消防本部へ)
平成 13年 1月	消防庁舎移転に伴い、通信指令室を山下町15番1号 山下分庁舎2階に移転 消防緊急通信指令システム及び防災情報システム運用開始 新発信地表示システム導入 災害状況案内装置(テレドーム)「0180－999－009」を新設
平成 14年 4月	西消防署発足に伴い、同署に無線基地局を設置
平成 14年11月	基地局を吉野町「寺山ふれあい公園入口」に移転、これに併せて無線装置の更新(市波1・2、 県内波、救急波)、移設(市波3)及び新設(全国共通波1・2・3)を行った。
平成 16年11月	市町村合併に伴い、中央消防署吉田分遣隊(吉田基地局)・高野南中継局(喜入基地局)に 無線基地局を設置及び市波4(予備基地局、南署基地局、喜入基地局及び指定された移動局)増設
平成 17年 8月	IP電話からの119番通報受理開始(6社)
平成 17年 9月	「メール119」運用開始
平成 17年10月	携帯電話を用いた119番通報が直接受信方式へ移行
平成 18年 2月	画像伝送システムデジタル化へ移行
平成 18年 8月	「安心ネットワーク119」運用開始
平成 20年12月	携帯電話・IP電話等からの119番緊急通報に係る位置情報通知システムを運用開始
平成 21年 4月	情報管理課通信指令第一係、同第二係となる(16人)
平成 21年10月	「安心ネットワーク119」の配信区分を9から14へ細分化及び一部地域名称の変更
平成 22年 2月	消防緊急通信指令システムのコンピュータ系の中間更新・整備
平成 22年 2月	「新発信地表示システム」と「携帯電話・IP電話等からの119番緊急通報に係る位置情報通知シス テム」を統合し、位置情報通知システム(統合型)を運用開始
平成 22年 4月	情報管理課職員1人増員となる(17人)
平成 23年 4月	防災情報システム再構築
平成 24年 3月	消防緊急通信指令システムのオーバーホール
平成 24年12月	衛星通信(画像伝送)システム再整備
平成 25年 4月	情報管理課職員1人増員となる(18人)
平成 25年 9月	「安心ネットワーク119」再構築
平成 26年 3月	消防救急無線デジタル化に伴う基地局整備工事完了(吉野基地局、吉田基地局、郡山基地局、 松元基地局、喜入基地局)及びデジタル無線の一部運用開始



消防緊急通信指令システム設備

(平26. 4. 1)

番 号	機 器 名	数 量	番 号	機 器 名	数 量
1	指令装置		12	無線設備	1式
	(1) 指令台サーバ	2台	13	高所監視カメラモニターテレビ	1式
	(2) 自動出動指定装置	5式	14	高所監視カメラ操作卓	1式
	(3) 地図検索装置	5式	15	県防災情報ネットワークシステム	1式
	(4) 支援情報ディスプレイ端末	5式	16	防災情報提供装置(気象台)	1台
2	大型汎用表示盤	2面	17	メール119システム	1式
3	システム監視装置	1台	18	安心ネットワーク119システム	1式
4	音声合成装置	2台	19	位置情報通知システム	1式
5	非常補助台	8台	20	構内交換機設備	1式
6	無停電電源装置	1式	21	全国瞬時警報システム(Jアラート)受信端末	1式
7	緊急通報システム	1式			
8	聴覚障害者用ファックス	1台			
9	気象情報収集装置	1式			
10	支援情報システム	1式			
11	災害状況案内装置	1式			

気 象 情 報 ・ 消 防 対 策 室 設 備

番 号	機 器 名	数 量	番 号	機 器 名	数 量
1	大型汎用表示盤	1面	6	OAボード	1台
2	情報台	1式	7	気象情報オンラインシステム	1式
3	画像伝送システム	1式	8	雨量観測オンラインシステム	1式
4	同報無線操作卓	6式	9	防災情報システム	1式
5	テレビ会議システム	1式	10	デジタル防災行政無線操作卓	1式

消 防 無 線 保 有 状 況

番号	機 器 名	数 量	番号	機 器 名	数 量
1	固定局(アナログ)	7	4	基地局(デジタル)	6
2	基地局(アナログ)	6		移動局(デジタル)	65
	移動局(アナログ)	279	5	(1) 卓上型	(3)
3	(1) 車載型	(109)		(2) 可搬型	(22)
	(2) 携帯型	(78)		(3) 携帯型	(40)
	(3) 消防団	(92)			

指 令 台 収 容 回 線

回 線 名	回線数	回 線 名	回線数
119報知受付回線	14	アナログ無線回線	9
指令回線	34	庁内放送回線	1
局線	4	内線	2
専用回線	2	デジタル無線回線(活動波:6、主運用波:1、統制波:3)	10

緊急通報受理状況

(平成25年中)

種別 年別	火 災				救 急				火災・救急 以外の災害				病 院 案 内	問 合 せ	い た ず ら	誤 報	そ の 他	試 験	合 計
	一 一 九 番	警 察 電 話	そ の 他	小 計	一 一 九 番	警 察 電 話	そ の 他	小 計	一 一 九 番	警 察 電 話	そ の 他	小 計							
平成20年	326	1	4	331	20,704	828	568	22,100	700	54	88	842	750	4,397	406	3,486	308	4,430	37,050
平成21年	289	3	3	295	20,576	434	408	21,418	771	46	82	899	1,020	4,582	330	3,504	249	4,538	36,835
平成22年	311	3	4	318	21,659	448	576	22,683	720	58	59	837	730	4,268	208	3,501	371	4,823	37,739
平成23年	317	7	10	334	23,183	410	558	24,151	726	69	88	883	754	4,308	219	3,535	301	4,554	39,039
平成24年	261	3	5	269	23,819	547	1,128	25,494	813	96	206	1,115	737	4,132	254	4,062	259	4,908	41,230
平成25年	199	3	11	213	24,188	543	1,161	25,892	657	93	362	1,112	647	4,315	232	3,930	262	4,830	41,433
1月	30	0	1	31	2,266	69	115	2,450	63	10	25	98	84	364	55	364	16	266	3,728
2月	21	0	0	21	1,949	47	82	2,078	51	11	17	79	59	266	16	295	11	319	3,144
3月	20	2	0	22	2,004	54	114	2,172	59	9	26	94	37	300	22	321	7	472	3,447
4月	16	1	2	19	1,902	59	67	2,028	49	12	27	88	31	310	11	297	28	301	3,113
5月	9	0	2	11	1,909	40	102	2,051	55	9	20	84	44	306	19	323	32	416	3,286
6月	3	0	0	3	1,901	37	94	2,032	49	10	36	95	38	344	16	323	42	398	3,291
7月	25	0	0	25	2,161	44	107	2,312	56	1	27	84	50	420	13	382	23	312	3,621
8月	17	0	2	19	2,139	36	103	2,278	63	5	33	101	70	451	14	337	25	300	3,595
9月	16	0	4	20	1,801	38	81	1,920	57	5	33	95	68	410	8	340	17	445	3,323
10月	15	0	0	15	1,884	38	97	2,019	47	8	33	88	54	394	18	324	15	436	3,363
11月	13	0	0	13	2,034	45	95	2,174	56	8	37	101	51	363	25	303	24	664	3,718
12月	14	0	0	14	2,238	36	104	2,378	52	5	48	105	61	387	15	321	22	501	3,804

火災・救急以外の災害の緊急通報受理状況

(平成25年中)

種 別 月	ガス漏れ	風 水 害	救 助 作 業	自火報鳴動	怪 煙 調 査	そ の 他	合 計
1 月	0	0	17	43	5	33	98
2 月	0	0	9	40	5	25	79
3 月	0	0	5	23	6	60	94
4 月	0	0	17	30	4	37	88
5 月	0	0	24	25	3	32	84
6 月	3	0	8	38	3	43	95
7 月	0	0	12	27	0	45	84
8 月	1	0	16	31	8	45	101
9 月	0	1	8	36	4	46	95
10 月	1	0	17	18	3	49	88
11 月	2	0	13	30	2	54	101
12 月	0	0	14	27	5	59	105
合計	7 (0.6%)	1 (0.1%)	160 (14.4%)	368 (33.1%)	48 (4.3%)	528 (47.5%)	1112(100%)

火 災 等 の 出 動 指 令 数

(平成25年中)

種別 月	火 災	ガス漏れ	風 水 害	救 助 作 業	自火報鳴動	怪 煙 調 査	そ の 他	合 計
1月	17	0	0	16	38	5	32	108
2月	6	0	0	13	38	5	25	87
3月	11	0	0	6	22	7	49	95
4月	11	0	0	18	29	5	37	100
5月	14	0	0	30	21	3	37	105
6月	3	3	0	8	38	3	43	98
7月	11	0	0	10	27	0	50	98
8月	11	1	0	16	29	8	46	111
9月	13	0	1	8	32	4	50	108
10月	9	5	0	18	17	3	52	104
11月	14	2	0	19	29	2	56	122
12月	7	0	0	13	24	5	57	106
合計	127 (10.2%)	11 (0.9%)	1 (0.1%)	175 (14.1%)	344 (27.7%)	50 (4.0%)	534 (43.0%)	1242(100%)

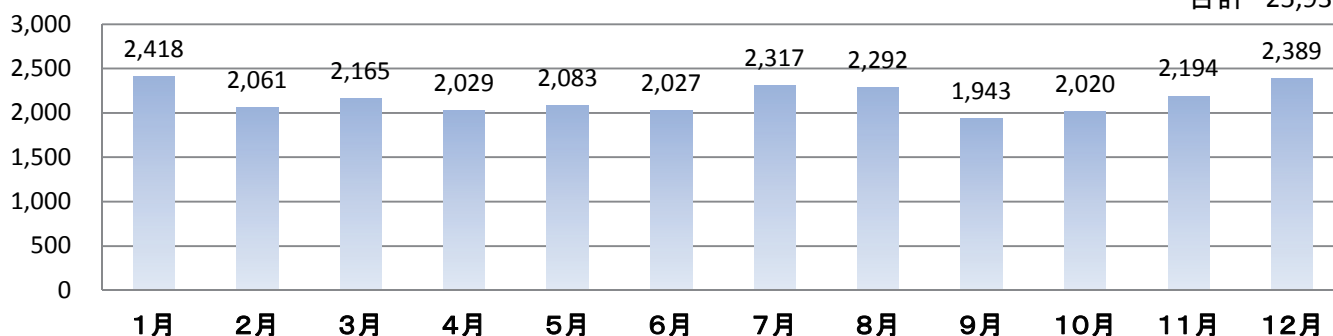
※火災指令数には、第2出動指令、第3出動指令を含む

※その他指令とは、枯草火災、車両火災、その他火災等をいう

救 急 車 の 出 動 指 令 数

(平成25年中)

合計 25,938



防 予



総 記	85
予 防	
防火対象物の現況	86・87
予防査察実施状況	88・89
防火管理講習会実施状況	88
自主防火組織の状況	89
防火対象物階層別状況（棟数）	90・91
建 築	
建築同意事務処理状況	92・93
各種証明書発行状況	94
消防用設備等点検結果報告を必要とする対象物数	94
防火対象物点検結果報告を必要とする防火対象物数	94
危 険 物	
危険物施設等の現況及び許可等処理状況	95
煙火消費許可申請及び許可状況	95
広 報	
広報活動状況	96
防火協力会	97
鹿児島市防火協力会連合会	97
鹿児島市自衛防火協会	98
鹿児島市危険物安全協会	98
幼年消防クラブ	99
少年消防クラブ	99
婦人防火クラブ	100
火災予防運動全国統一防火標語一覧	101

◎ 予防行政

本市における火災の発生状況は、建物火災の6割を住宅火災が占めていることから、住宅火災及び逃げ遅れによる死者の低減を図るため、平成23年6月1日からすべての住宅に設置することが義務付けられた住宅用火災警報器は、本市において9割を超える高い設置率にある。

しかしながら、高齢化社会の進展に伴い全国的に火災による死者の高齢者の割合は、年々増加傾向にあることから、各種広報イベント及び地域防火協力会と連携した総合的な住宅防火対策の推進に努めた。また事業所における防火安全性の確保を図るため、計画的に実施する火災予防査察において、防火・防災管理者の育成指導や消防用設備等の適正な設置及び維持管理等の指導に努め、防火・防災管理業務の充実を図った。

特に近年の火災発生傾向を踏まえ、病院・診療所、小規模社会福祉施設や雑居ビル等の関係者に対し、防火思想の普及啓発を図るとともに地域防火協力会や各種事業所と連携し、市民防火の日や火災予防運動等、あらゆる機会を通じ市民の防火意識の高揚に努めた。

◎ 予防広報

町内会や事業所に対する防火指導、防火協力会などを活用した消防ページェントの開催、消防車による広報、ポスターや防火チラシの作成配布、市の広報誌「市民のひろば」への掲載、電光掲示板や定例ラジオ番組「50ニュース」、「消防ホットライン」による火災・救急情報の提供、その他新聞等のマスコミを活用しての効果的な広報に努めた。

また、住宅用火災警報器については、企業協力による電子看板の広告等により、全戸設置に向けての動機付けを行うとともに、既に設置済みの世帯に対し適正維持管理指導を行った。

◎ 危険物規制事務

定期的に製造所等の立入検査を実施し、適正な危険物の貯蔵・取扱いの指導に努めるとともに、危険物施設の設置・変更許可の申請に伴う審査、現場調査等を行った。

◎ 煙火の消費許可等に関する事務

煙火の消費許可申請に伴う審査、関係機関への通報及び消費場所の立入検査を実施するとともに、許可後の現場における安全管理について指導を行った。

◎ 建築同意事務

建築同意事務は防火対象物に対する予防行政の出発点であり、また、予防行政の重要なポイントとなるため、建築物の防火に関する規定及び消防用設備等の設置について、計画、設計の段階から工事期間中を通じ綿密な指導を行うとともに、更に完成後の防火対象物使用開始届や消防用設備等検査時において十分なチェックを行い、建築物の防火、避難及び初期消火対策の確立を図った。

◎ 検査事務

消防用設備等については、着工届、工事計画書の審査を行い、これに基づいて設置届に伴う検査を実施し、検査済証を交付した。

一方、条例に基づく各種届出に対し、審査及び検査等を行い、承認等を行った。

区 分			総 数	(一)		(二)				(三)		(四)	(五)		(六)					
				イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ		
				劇場・映画館	演芸場・観覧場	公会堂・集会場	キャバレー	ナイトクラブ	遊技場	ダンスホール	風俗営業店舗等	カラオケボックス等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	物品販売業・展示場	旅館・ホテル・宿泊所	寄 宿 舎 ・ 住 宅	共 同 住 宅	病院・診療所・助産所
法 第 八 条 及 び 第 八 条 の 二 （ 防 火 管 理 者 を 必 要 と す る も の ）	平成20年		4,579	8	153	1	45		3	310	331	95	687	265	254		69			
	21年		4,633	8	164	1	46		5	3	305	332	97	706	259	138	146	69		
	22年		4,692	8	168	1	47		5	3	314	329	96	709	252	148	166	67		
	23年		4,743	8	170		44		4	2	321	330	91	711	250	167	173	62		
	24年		4,744	8	173		41		5	1	322	327	84	720	237	176	186	61		
	25年		4,788	8	172		40		4	1	328	328	81	723	231	190	192	61		
	対 象 物 数	中 央 署	2,405	3	57		17		1		176	132	59	317	104	62	67	20		
		西 署	894	2	51		9		1	1	30	55	7	178	49	51	46	18		
		南 署	1,489	3	64		14		2		122	141	15	228	78	77	79	23		
法 消 防 用 設 備 を 必 要 と す る も の （ 上 記 以 外 ）	20年		11,906		69	8	1		1	22	238	27	4,509	206	80		6			
	21年		11,918		66	7			1	21	238	21	4,582	202	26	68				
	22年		12,077		69	7			1	24	246	22	4,642	209	12	90				
	23年		12,170		69	6			1	35	273	22	4,694	211	6	108				
	24年		12,288		69	6			1	34	313	18	4,765	219	5	117				
	25年		12,321		69	6				1	38	324	17	4,837	219	5	133			
	中央署総数		4,487		27	6				1	28	125	11	1,499	66	2	47			
	西 署 総 数		2,836		30						5	63	4	1,176	67	2	32			
	南 署 総 数		4,998		12						5	136	2	2,162	86	1	54			

物の現況

(平26. 4. 1)

(七)	(八)	(九)		(十)	(十一)	(十二)		(十三)		(十四)	(十五)	(十六)		(十六) の二	(十七)	(十八)
		イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ			
学 校	博 図 物 書 館 館・ 美術 館	特 殊 浴 場	そ の 他 の 公 衆 浴 場	停 車 場 船 舶 の 発 着 場 等	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	工 場 ・ 作 業 場	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	車 庫 ・ 駐 車 場	格 納 庫	倉 庫	前 各 号 に 該 当 し な い 場	一 九 複 合 用 途 対 象 物 の 存 在 す る 物	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物	地 下 街	重 要 文 化 財	ア ー ケ ー ド
203	16	5	31	3	68	88				25	340	1,294	282		2	
196	15	5	30	3	72	84				24	339	1,302	282		2	
198	16	5	30	3	73	83				25	330	1,334	280		2	
195	16	5	29	4	74	81				25	329	1,375	275		2	
195	16	5	28	4	75	82				27	334	1,363	272		2	
194	17	4	27	5	77	82				30	334	1,385	272		2	
61	10	3	9	4	38	16				7	188	902	151		1	
63	3	1	12		18	8				11	46	184	49		1	
70	4		6	1	21	58				12	100	299	72			
11	1	2	6	7	41	925	3	118		746	870	771	3,221		3	14
10	1	2	5	7	42	915	3	112		742	876	754	3,201		2	14
10	1	2	5	7	42	920	3	109		734	907	764	3,233		4	14
9	1	1	5	6	40	911	3	109		726	922	774	3,224		2	14
8	1	2	5	5	38	898	3	108	1	718	932	787	3,219		2	14
11	1	1	5	4	38	881	3	106	1	701	929	782	3,194		1	14
7	1	1	4	2	16	193	1	55	1	155	420	410	1,394		1	14
3					12	173	2	16		149	209	161	732			
1			1	2	10	515		35		397	300	211	1,068			

予 防 査 察

区 分			(一)		(二)			(三)		(四)	(五)			(六)				(七)	(八)	(九)		
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ		ロ	イ	ロ	共	イ	ロ	ハ			ニ	イ	ロ
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キヤートバレー	ダンスホール	風俗営業店舗等	カラオケボックス等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	物品販売業・展示場	旅館・ホテル・宿泊所	寄宿舎・下宿	共同住宅	病院・診療所・助産所	社会福祉施設等	社会福祉施設等	社会福祉施設等	幼稚園・特別支援学校	学校	図書館・美術館
対象物数 第十七条	法八条	第1種対象物	4	22		9		1		4	127	67		62	73	27						
		第2種対象物	4	90		30		2	1	112	163	13	1	164	100	44	6			11	1	1
		第3種対象物		60		1		1		212	38	1	722	5	17	121	55	194		6	3	26
		小 計	8	172		40		4	1	328	328	81	723	231	190	192	61	194		17	4	27
	第十七条	第4種対象物		12				1	14	210	10	1489	142	5	48		11		1	1	1	
		第5種対象物		57	6					24	114	7	3348	77		85		0				4
		小 計		69	6				1	38	324	17	4837	219	5	133		11		1	1	5
	合 計		8	241	6	40		4	2	366	652	98	5560	450	195	325	61	205		18	5	32
査察延回数		8	168		24		5	2	256	369	127	2,632	477	231	327	66	749		11	1	20	
査察結果	良 好	5	101		14		1	1	62	174	64	972	225	131	180	28	133		6		8	
	指導勸告		51		8			1	218	197	38	1082	109	21	28	12	78				11	
	改善結果	5	54		10		1	1	79	97	15	594	91	28	28	13	52				5	
指 示 書									3	3	1											

防 火 管 理 講 習 会 等 実 施 状 況

(平成25年度)

種 別	防火管理講習	防災管理講習	甲種防火管理再講習
回 数	甲種3回	1 回	2回
受 講 者 数	487人	49人	85人

実 施 状 況

(平成25年度)

(十)	(十一)	(十二)		(十三)		(十四)	(十五)	(十六)		(十六) の二 地	(十七) 重 要 文 化 財	(十八) ア ー ケ ー ド	合 計
		イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ				
停車場船舶の発着場等	神社・寺院・教会等	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	車庫・駐車場	格納庫	倉庫	前各号に該当しない事業場	一、九、複 四、イ、合 五、イ、用 六、イ、途 の、存 対 象 物	イ以外の複合用途対象物				
								187					583
3	6	1				1	141	981	90				1,966
2	71	81				29	193	217	182		2		2,239
5	77	82				30	334	1385	272		2		4,788
2	17	379	3	46	1	378	307	405	663		1	14	4,161
2	21	502		60		323	622	377	2531				8,160
4	38	881	3	106	1	701	929	782	3194		1	14	12,321
9	115	963	3	106	1	731	1263	2167	3466		3	14	17,109
6	72	626	1	135	1	603	842	1,315	1,499		8	6	10,587
3	30	255	1	22	1	196	284	406	600		4	2	3,909
3	29	293		18		215	185	1,425	889			10	4,921
1	17	139		16		121	107	494	458		1	1	2,428
		1						8					16

第 6 種 対 象 物

1,232

844

799

45

16

—

[一般査察件数 16,976 件]

自 主 防 火 組 織 の 状 況

(平26. 4. 1)

名 称	自 衛 防 火 協 会	危 険 物 安 全 協 会	防火協力会連合会
組 織	一 般 事 務 所	危険物取扱事業所	地域防火協力会 (町内会単位等)
会 員 数	372 事 業 所	193 事 業 所	709 防 火 協 力 会

防 火 対 象 物

区 分	総 数	(一)		(二)				(三)		(四)	(五)		(六)					
		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	共	イ	ロ	ハ	ニ	
		劇場・映画館	演芸場・観覧場	公会堂・集会場	キヤイトパーク	ナインスタジオホール	遊ダンスホール	風俗営業店舗等	カラオケボックス等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	物品販売業・展示場	旅館・ホテル・宿泊所	寄宿舎・下宿住宅	病院・診療所・助産所	社会福祉施設等	（介護福祉施設等）
地上 4 階	2,956	1	5		1				18	20	9	934	69	13	7	4		
地上 5 階	1,975		2		2				9	8	18	1,028	32	7	8			
地上 6 階	577		2		1			1	5	6	11	143	22	5	4			
地上 7 階	359									1	2	131	16	1				
地上 8 階	287										10	144	6					
地上 9 階	145										3	76	4					
地上 10 階	162									1	6	100						
地上 11 階	72										2	51						
地上 12 階	31										2	24						
地上 13 階	41										2	32						
地上 14 階	74										5	65						
地上 15 階	27											25						
地上 16 階	1																	
地上 17 階	2																	
地上 18 階																		
地上 19 階	2											1			1			
地上 20 階	2											1						
地上 21 階以上																		
計	6,713	1	9		4	0	0	1	32	36	70	2,755	149	26	20	4		
地階を有するものの計	958	2	10		3				23	23	15	148	53	9	16	5		
地下 1 階	917	2	10		3				23	22	15	147	47	9	15	5		
地下 2 階	37									1		1	6		1			
地下 3 階	4																	

階層別状況（棟数）

（平26. 4. 1）

(七)	(八)	(九)		(十)	(十一)	(十二)		(十三)		(十四)	(十五)	(十六)		(十七)	一般・工事中・対象外
		イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ		
学	博 図 物 書 館 館 ・ 美 術 館 館	特 殊 浴 場	そ の 他 の 公 衆 浴 場	停 車 場 船 舶 の 発 着 場 等	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	工 場 ・ 作 業 場	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	車 庫 ・ 駐 車 場	格 納 庫	倉 庫	前 各 号 に 該 当 し な い 場	一 九 複 合 用 途 対 象 物	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物	重 要 文 化 財	
188	3				6	30	2	9		21	146	465	645		360
33		2			2	9		4		5	80	298	363		65
13	1	1				6		3		2	38	151	151		11
9						4		2			9	87	96		1
3						2		1			20	53	48		
											8	30	23		1
											7	22	25		1
											2	8	9		
											1	2	2		
												7			
												4			
												2			
												1			
												2			
											1				
246	4	3			8	51	2	19		28	312	1, 132	1, 362		439
27	8		3		22	7	1	8		11	126	335	103		
23	8		3		21	7	1	7		11	114	324	100		
4					1			1			10	10	2		
											2	1	1		

建 築 同 意 事

区 分 \ 年 度		平成25年度			平成24年度
		取扱件数	同意件数	不同意等 取扱件数	
件 数		891	891		821
各種別対象物の合計		470	470		515
(1)	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	3	3		0
	ロ 公会堂・集会場	8	8		5
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ	0	0		0
	ロ 遊技場、ダンスホール	2	2		2
	ハ 風俗営業等	0	0		0
	ニ カラオケボックス等	0	0		0
(3)	イ 待合・料理店	0	0		0
	ロ 飲食店	11	11		16
(4)	百貨店、マーケット、物品販売業、展示場	42	42		73
(5)	イ 旅館・ホテル・宿泊所	1	1		0
	ロ 寄宿舍、下宿、共同住宅	127	127		123
(6)	イ 病院・診療所・助産所	20	20		12
	ロ 社会福祉施設等（介護施設等）	20	20		28
	ハ 社会福祉施設等（非介護施設等）	31	31		33
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	2	2		4
(7)	学校	22	22		27
(8)	図書館、博物館、美術館	1	1		0
(9)	イ 特殊浴場	0	0		0
	ロ その他の公衆浴場	0	0		1
(10)	停車場、船舶の発着場等	1	1		1
(11)	神社・寺院・教会等	4	4		3
(12)	イ 工場、作業場	19	19		23
	ロ 映画・テレビスタジオ	0	0		0
(13)	イ 車庫・駐車場	3	3		6
	ロ 航空機の格納庫	0	0		2
(14)	倉庫	17	17		19
(15)	前各項に該当しない事業場	36	36		65
(16)	イ 1～4、5イ、6、9イの存する複合用途対象物	69	69		53
	ロ イ以外の複合用途対象物	29	29		19
(16の2)	地下街	0	0		0
(16の3)	準地下街	0	0		0
(17)	重要文化財等	0	0		0
(18)	アーケード	1	1		0
その他	危険物、ガス施設				
	工作物	1	1		0
一 般 住 宅 等		421	421		306
一 般 住 宅 （ 通 知 ）		2,629			2,417

務 処 理 状 況

同 意 件 数							
平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
789	754	726	727	890	1,074	1,101	984
454	383	371	424	557	688	803	661
0	1	1	4	0	2	0	0
5	8	4	6	7	9	7	7
0	0	0	0	0	0	0	1
0	1	1	0	1	2	3	4
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
14	10	11	9	15	11	13	13
47	19	31	34	45	47	39	38
0	1	4	5	8	7	4	3
81	102	105	136	193	228	298	212
9	24	21	15	18	35	19	28
11	22	14	28	32	38	76	45
30	30	1					
4	0	37	0	3	2	5	0
11	13	13	14	24	22	26	17
0	0	1	1	1	1	1	1
0	0	0	0	1	0	1	0
0	0	0	1	1	3	0	0
1	0	0	0	1	2	2	1
4	2	2	10	7	5	9	7
14	26	13	12	26	36	32	41
0	0	0	0	0	0	0	0
5	3	3	2	8	14	4	7
0	0	0	0	0	0	2	0
42	11	19	19	21	38	34	26
102	33	34	59	51	59	97	93
45	55	37	31	53	65	47	55
29	23	18	34	34	53	69	57
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	2	5	0	2	2
0	0	1	1	2	9	13	3
335	371	355	303	333	386	298	323
2,407	2,165	2,022	2,030	2,261	2,363	2,460	2,446

各 種 証 明 書 発 行 状 況

年度別	消防用設備等検査済証(件)	火災証明(枚)	意見書・通知書(件)
平成20年度	642	318	14
平成21年度	431	365	15
平成22年度	429	301	16
平成23年度	374	471	14
平成24年度	473	448	11
平成25年度	741	374	5

消防用設備等点検結果報告を必要とする対象物数

(平26.4.1)

総 数 (棟 数)	特 定		非 特 定	
	1,000㎡以上	1,000㎡未満	1,000㎡以上	1,000㎡未満
18,272	1,066	2,920	3,151	11,135
	3,986		14,286	

防火対象物点検結果報告を必要とする防火対象物数

(平26.4.1)

総数 (棟数)	特定防火対象物で 収容人員が300人以上	1 階段防火対象物 収容人員が30人以上300人未満	点検報告済・特例認定 防火対象物数
720	419	301	327

危険物施設等の現況及び許可等処理状況

(平26. 4. 1)

製造所区分		製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク	貯蔵所	地下タンク	貯蔵所	移動タンク	貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所		販売取扱所		一般取扱所	移送取扱所	その他	合計
											営業	自家	一種	二種				
平成21年度		6	91	182	26	220	302	70			194	141	4	7	106	9		1,358
平成22年度		6	89	176	26	217	291	69			184	139	4	7	104	9		1,321
平成23年度		6	91	175	25	205	286	68			180	139	4	6	101	9		1,295
平成24年度		6	90	172	25	195	283	41			175	141	4	6	96	9		1,243
平成25年度		6	88	171	24	192	292	41			169	137	4	6	93	9		1,232
中央消防署	本署				2	11					7	2			3			25
	南林寺		1		3	12	9				6	4			2			37
	名山		1		9	16	1				9	2		1	3			42
	上町		6	3	1	5	1	1			7	4			3			31
	吉野		1	3		7	15				12	2			4			44
	吉田		3	7		18	3	1			4	12			2			50
	甲南		6	1	1	9					3	1			2			23
	桜島東					1	5				3	2						11
	桜島西			1		5	4				5	4						19
小計		18	15	16	84	38	2				56	33		1	19			282
西消防署	本署					7					8	2						17
	伊敷		2			10	3	1			9	5	1		8			39
	明和					4	1				3	5			1			14
	田上		3	1	1	9	6	2			12	12			5			51
	松元		3	3		9	1				6	4			1			27
	郡山		1	5		6	2				7	5			5			31
	小計		9	9	1	45	13	3			45	33	1		20			179
南消防署	本署	5	41	72	6	26	163	33			15	45	1		29	4		440
	谷山					4	1				11	5	1		2			24
	谷山北		2				4				11	4			2			23
	脇田	1	8			14	14				12	5	1	5	6			66
	郡元		2	2	1	14	57				13	6			6			101
	喜入		8	73		5	2	3			6	6			9	5		117
	小計	6	61	147	7	63	241	36			68	71	3	5	54	9		771

許可処理別	設置					6	12				1	1			3			23
	変更		1	45	1	2	23				45	7			6	9		139
	水張・水圧			9							12	3					62	86
	基礎・地盤																	
	溶接部			2														2
	完成			22	1	3	35				47	10			9	9		136
	仮使用			14	1	2					43	3			6	9		78
	仮貯蔵・仮取扱																11	11
	保安検査			9														9
合計			1	101	3	13	70				148	24			24	27	73	484

煙火消費許可申請及び許可状況

(平26. 4. 1)

署名	中央消防署								西消防署						南消防署						合計	
隊名	本署	南林寺	名山	上町	吉野	吉田	甲南	桜島東	桜島西	本署	伊敷	明和	田上	松元	郡山	本署	谷山	谷山北	脇田	郡元		喜入
平成21年度			2(2)	2(2)	1(1)	2(2)	1(1)		1(1)		1(1)	1(1)		1(1)	2(2)	4(4)		3(3)	1(1)	1(1)	1(1)	24(24)
22年度			3(3)	2(2)	1(1)	2(2)	1(1)		1(1)		1(1)	1(1)		1(1)	2(2)	6(6)	1(1)	3(3)		1(1)	1(1)	27(27)
23年度			1(1)	2(2)	1(1)	2(2)	1(1)		3(3)	1(1)	1(1)	1(1)		1(1)	2(2)	4(4)	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	26(26)
24年度			2(2)	2(2)	1(1)	2(2)	1(1)		1(1)	1(1)	1(1)	1(1)		1(1)	2(2)	4(4)	1(1)	3(3)	1(1)	1(1)	1(1)	26(26)
25年度			1(1)	1(1)		2(2)	1(1)		2(2)		1(1)	1(1)		1(1)	2(2)	2(2)	3(3)	3(3)		1(1)	1(1)	22(22)

()内は許可数

広 報 活 動 状 況

(平成25年度)

件 名	対 象	回 数	備 考
消 防 訓 練 ・ 防 火 指 導	事業所・防火協力会等	2,931	
消 防 演 習	〃	98	
来 隊 指 導 ・ 見 学	学校・幼稚園・一般	86	
法 令 講 習 会	事 業 所 等	9	
防 火 広 報	〃	5,205	
ポスター・チラシ・防火資料配布等	〃	－	80,900枚
防 災 だ よ り 発 行	各 事 業 所	2	1,300部
市 民 の ひ ろ ば 掲 載	市 民 一 般	12	
火 災 予 防 運 動 ・ そ の 他	〃	3	春季・秋季の火災予防運動 年末防火運動
く ら し の 防 火 展 等	〃	2	山下分庁舎1,2階
幼 年 消 防 ク ラ ブ の 活 動	幼年消防クラブ (幼稚園・保育園)	43	12クラブ
少 年 消 防 ク ラ ブ の 活 動	少年消防クラブ (小・中学校)	17	4クラブ
婦 人 防 火 ク ラ ブ の 活 動	婦人防火クラブ(婦人)	9	18クラブ
音 楽 隊 演 奏 会	市 民 一 般	38	
新 聞 報 道	〃	89	
テ レ ビ 放 送	〃	43	
ラ ジ オ	〃	388	



防 火 協 力 会

1 発 足 昭和41年2月9日

昭和40年10月13日 深夜3時ごろ、東桜島町の宮元地区で火災が発生、海岸の丘陵地帯に寄り添うように立ち並ぶ住宅街が、折からの浜風にあおられ瞬くまに火の海となり住宅54棟が焼失する大火となった。住む家を失った人々は、着の身着のまま焼け跡に立ちすくみ、火災の恐ろしさを身をもって知り、「自分たちのまちは、自分たちで守ろう。それには消防行政に協力することだ。」として、住民が消防局と一緒に、日頃から自主的な防火活動を行う「防火協力会」を結成したのがはじまりである。

2 目的及び事業

本会は、地域における防火思想の普及に努めるとともに、町内居住者相互の連携を保ち火災予防の徹底を図ることを目的として、次の自主防火活動を行うものである。

- (1) 毎月9日の「市民防火の日」の推進に努める。
- (2) 各種会合の機会を利用して、防火懇談会等を開催し、防火思想の普及徹底に努める。
- (3) ガス、電気及び石油を使用する機器等の取り扱いの注意心を喚起し、火災の未然防止に努める。
- (4) 台所や風呂場、煙突などの火気使用箇所の点検を行う。
- (5) 火災発生時の消防機関への通報、初期消火及び避難要領の研修や訓練を行う。

鹿 児 島 市 防 火 協 力 会 連 合 会

(平26. 4. 1)

1 加入団体 鹿児島市防火協力会 709防火協力会 151,893世帯

2 発 足 昭和44年4月1日

鹿児島市では、戦後、戦災復興とともに、人口が増加し、又急増の木造住宅が立ち並び昭和40年代ごろまで、市内各地で木造密集地での大火が相次いだ。このような中、東桜島地区の防火協力会の結成を機に、「自分たちが血と汗を流し、営々として築いてきた大切な財産をこれ以上火災で失ってはならない。自分たちのまちは自分たちで守る」という機運と自立自助の精神が市民の間に高まり、その後次々と市内各地に防火協力会が結成され、昭和44年4月1日に地域の防火協力会が共に火災予防に取り組もうとして「鹿児島市防火協力会連合会」が結成され今日に至っている。(発足当時 83防火協力会)

会 長	上 村 勝 行
副会長	米 盛 孝 一
〃	定 榮 一 郎
〃	庵 地 俊 憲

3 目的及び事業

消防機関と協力し防火思想の普及徹底及び火災の予防に努め、無火災鹿児島市の実現を図り、市民協同の福祉増進に寄与することを目的として次の事業を行う。

- (1) 防火思想の普及宣伝及び消防広報の徹底
- (2) 消防施設改善強化への協力
- (3) 家庭防火に関する技術的指導
- (4) 防火週間行事等消防機関に対する協力
- (5) 消防協力者の表彰
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

鹿児島市自衛防火協会

(平26. 4. 1)

1 会員事業所数 372事業所

2 発 足 昭和28年9月24日

市内の事業所が火災予防対策の研究を行い、消防思想の普及高揚及び防火施設の拡大強化に寄与し、併せて会員相互の融和親睦を図ることを目的とした自衛防火事業所団体として昭和28年9月24日に従業員30名以上の会社、工場、官公署の防災責任者が中心となり37事業所による「鹿児島市防災研究会」が発足、その後昭和40年5月13日に参加124事業所をもって「鹿児島市自衛防火協会」と改称し、今日に至っている。また、平成25年には、発足60周年を機に鹿児島市へ軽自動車及び電光掲示板の寄贈を行っている。

会 長	池 田 司
副会長	伊 萩 寿 一
〃	坂 元 正 和

3 目的及び事業

災害予防対策の研究及び消防思想の普及発展に寄与することを目的とし、併せて会員相互の連絡、親睦を厚くし次の事業を行う。

- (1) 消防思想の普及高揚及び災害発生時における会員相互の応援業務
- (2) 防火、消防諸施設の視察研究
- (3) 自衛消防の強化促進
- (4) 科学消防及び消防機関の技術の実施研究
- (5) 各種災害の予防対策の研究
- (6) 消火器の維持管理の指導及び検査
- (7) 優良会員の表彰
- (8) その他本会の目的達成上必要と認めた事業

鹿児島市危険物安全協会

(平26. 4. 1)

1 会員事業所数 193事業所

2 発 足 昭和27年12月4日

エネルギー源が石炭から石油に変わる過渡期で危険物保安対策上の知識及び取扱技術向上が必要とされた昭和27年12月4日に62事業所151名の危険物取扱者が危険物保安対策の研究、消防思想の普及、防火施設の強化拡充及び会員の融和親睦を図ることを目的に発足した。平成24年には発足60周年を機に鹿児島市へ自動体外式除細動器の寄贈を行っている。

会 長	向 鶴 篤 雄
副会長	上 村 眞 一
〃	上 野 康 志

3 目的及び事業

危険物保安対策の研究、消防思想の普及宣伝及び防火施設の拡充強化に寄与し、会員相互の融和親睦を図るため、次の事業を行う。

- (1) 消防関係諸法規の周知徹底に関すること
- (2) 消防思想の普及宣伝に関すること
- (3) 危険物に対する防火及び消防諸施設の視察並びに研究に関すること
- (4) 危険物取扱者の研修に関すること
- (5) 優良事業所及び優良従業員の表彰に関すること
- (6) その他本会の目的達成上必要と認めた事業

幼 年 消 防 ク ラ ブ

1 クラブの目的

何にでも興味をもち始める幼年期に火の大切さや火の取り扱いを間違えたときの恐ろしさ等を教え多発している子供の火遊び等の防止をはかり、また災害時の身の守り方を身につけさせるなど、正しい防火意識を幼年期から持たせることを目的とする。

2 クラブ活動の内容

クラブ員が、防火について学び訓練するなかで、楽しみや興味を持ち続け、健全な育成と防火思想の高揚をめざす活動で、次に掲げるものとする。

- ①防火教室 ③防火映画（含むビデオ） ⑤避難訓練 ⑦その他必要な事項
- ②規律訓練 ④施設見学 ⑥防火の宣誓

3 クラブの結成状況

(平26. 5. 1)

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数
仁田尾保育園幼年消防クラブ	昭60. 7. 13	104人
喜入保育園幼年消防クラブ	昭60. 8. 1	68人
瀬々串保育園幼年消防クラブ	昭60. 8. 1	66人
生見保育園幼年消防クラブ	昭60. 11. 1	20人
中名保育園幼年消防クラブ	昭63. 10. 24	23人
宇宿幼稚園幼年消防クラブ	平元. 1. 25	46人
はなぶさ幼稚園幼年消防クラブ	〃	252人
前之浜保育園幼年消防クラブ	平6. 11. 7	57人
よしだルンビニー幼稚園幼年消防クラブ	平7. 7. 11	26人
こまつばら幼稚園幼年消防クラブ	平7. 9. 25	153人
むれが岡保育園幼年消防クラブ	平7. 11. 20	43人
滝の神保育園幼年消防クラブ	平23. 12. 1	43人
合 計	12 クラブ	901人

少 年 消 防 ク ラ ブ

1 目 的

消防の仕事や防火・防災に関心をもつ少年少女が、様々な訓練や研修等を通じ、少年期からの防火・防災に対する意識を高く持ち、将来の安心安全な街づくりの一翼を担うことを目的とする。

2 活動内容

- (1) 消防の目的及び組織に関する研修
- (2) 規律訓練
- (3) 火災の原因等に関する研修
- (4) 応急手当法の習得
- (5) 各種災害事例に関する研修

3 活動校（結成日）

(平26. 5. 1)

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数
市立坂元中学校少年少女消防クラブ	昭54. 4. 1	30人
市立前之浜小学校少年消防クラブ	昭54. 4. 8	18人
市立中名小学校少年消防クラブ	平8. 7. 11	10人
市立喜入小学校少年消防クラブ	平12. 7. 1	9人
合 計	4 校	67人

婦 人 防 火 ク ラ ブ

1 クラブの目的

「防火の基本は、家庭から」を合言葉に結成され、防火に関する広報活動やクラブ員の防火研修等を通じ、家庭や地域の防火思想の高揚を図ることを目的とする。

2 クラブの事業

- (1) 婦人防火教室の開催
- (2) 防火懇談会、消防訓練等に対する積極的参加
- (3) 消防機関が企画する研修会への参加
- (4) お年寄り、子供に対する防火指導
- (5) クラブ員相互の親睦を図るための催しの開催

3 クラブ結成状況

(平26. 5. 1)

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
田上台・前ヶ迫婦人防火クラブ	S51. 6. 1	520人
栄 門 婦 人 防 火 ク ラ ブ	S55. 6. 11	50人
下伊敷住宅陸会婦人防火クラブ	S58. 1. 18	55人
日 当 平 婦 人 防 火 ク ラ ブ	〃	80人
中 福 良 婦 人 防 火 ク ラ ブ	〃	200人
日当平市住第1婦人防火クラブ	S58. 9. 18	100人
日当平市住第2婦人防火クラブ	S55. 5. 1	60人
日当平市住第3婦人防火クラブ	S60. 5. 10	100人
日当平市住第4婦人防火クラブ	S60. 5. 10	100人
吉野町西菖蒲谷婦人防火クラブ	〃	91人
〃 東菖蒲谷婦人防火クラブ	〃	300人
〃 中別府婦人防火クラブ	〃	43人
〃 上之原婦人防火クラブ	〃	50人
〃 中ノ町婦人防火クラブ	S63. 6. 25	550人
宇宿町中間婦人防火クラブ	S63. 7. 10	65人
岩 崎 婦 人 防 火 ク ラ ブ	H 2. 4. 1	300人
吉野町帯迫婦人防火クラブ	H 3. 11. 4	20人
吉 田 地 区 婦 人 防 火 ク ラ ブ	H17. 9. 11	54人
合 計	18クラブ	3, 108人

火災予防運動全国統一防火標語一覧

年 度	標 語
〃 45 〃	防火三百六十五日
〃 46 〃	いま燃えようとしている火がある
〃 47 〃	火を使う人ならできる火の始末
〃	不始末を真っ赤な舌で火が笑う
〃	慣れた火に新たな注意
〃 48 〃	隣にも声かけあってよい防火
〃 49 〃	生活の一部にしよう火の点検
〃 50 〃	幸せを明日につなぐ火の始末
〃 51 〃	火災は人災 防ぐはあなた！
〃 52 〃	使う火を消すまで離すな目と心
〃 53 〃	それぞれの持場で生かせ火の用心
〃 54 〃	これくらいと思う油断を火が狙う！
〃 55 〃	あなたです！火事を出すのも防ぐのも！
〃 56 〃	毎日が防火デーです ぼくの家
〃 57 〃	火の用心 心で用心 目で用心
〃 58 〃	点検は防火のはじまり しめくくり
〃 59 〃	“あとで”より“いま”が大切火の始末
〃 60 〃	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
〃 61 〃	防火の大役 あなたが主役
〃 62 〃	消えたかな！気になるあの火もう一度
〃 63 〃	その火 その時 すぐ始末
平成元年度	おとなりにあげる安心 火の始末
〃 2 〃	まず消そう 火への鈍感 無関心
〃 3 〃	毎日が 火の元警報 発令中
〃 4 〃	点検を重ねて築く “火災ゼロ”
〃 5 〃	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
〃 6 〃	安心の暮らしの中心 火の用心
〃 7 〃	災害に 備えて日頃の 火の用心
〃 8 〃	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
〃 9 〃	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
〃 10 〃	気をつけて はじめはすべて 小さな火
〃 11 〃	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
〃 12 〃	火をつけた あなたの責任 最後まで
〃 13 〃	たしかめて。火を消してから 次のこと
〃 14 〃	消す心 置いてください 火のそばに
〃 15 〃	その油断 火から炎へ 災いへ
〃 16 〃	火は消した？ いつも心に きいてみて
〃 17 〃	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
〃 18 〃	消さないで あなたの心の 注意の火。
〃 19 〃	火は見てる あなたが離れる そのときを
〃 20 〃	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
〃 21 〃	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
〃 22 〃	「消したかな」あなたを守る 合言葉
〃 23 〃	消したはず 決めつけしないで もう一度
〃 24 〃	消すまでは 出ない行かない 離れない
〃 25 〃	消すまでは 心の警報 ONのまま
〃 26 〃	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

火災統計



火災統計

火災統計の概要	102
火災概況	103
火災発生比較表（全国・鹿児島県・鹿児島市）	104
年別・月別火災発生状況	105・106
時間帯別火災発生状況	107
曜日別火災発生状況	107
火元建物等用途別火災概況	108
火元建物等構造別火災概況	108
覚知別火災発生状況	109・110
署・隊管轄区域別火災発生状況	109・110
管轄隊・町別火災発生状況	111～114
防火地域内及び準防火地域内の建物火災発生状況	114
出火原因別火災発生状況	115・116
過去10年間の原因別火災発生状況	117
過去10年間の出火原因種別構成比	117
過去10年間の中高層建物火災発生状況	118
高齢者等宅からの火災発生状況	118
気象と火災	119
死者を生じた火災	120
過去10年間の死傷者数	120
火災による負傷者の状況	121
負傷者の避難状況	121
負傷者の年齢・性別	122
負傷者の受傷原因	122
初期消火実施状況	123
初期消火を実施した者	123
住宅用火災警報器の感知による奏功事例	123
出火原因「こんろ」のうち食用油の過熱着火による火災発生状況	124・125
本市の主な火災の歴史	126～130
自治体消防発足以後の火災概況	131・132

1 火災の概要

平成25年中は出火件数が194件、焼損棟数が147棟、焼損床面積が3,559㎡、り災世帯が100世帯、り災人員が231人、損害額が1億6,829万2千円、死者が5人、負傷者が26人で、人口1万人あたりの出火率は3.2である。

2 出火件数は減少、1日当たり0.53件発生 建物火災は全火災の55%、うち住宅火災は61%

出火件数は194件で、前年の197件に比べると3件減少しており、1日当たり0.53件の火災が発生している。

火災の発生状況を火災種別ごとにみると、建物火災が107件（55%）で最も多く、次いで、その他の火災が72件（37%）、車両火災が14件（7%）、林野火災が1件（1%）の順となっている。なお、船舶火災及び航空機火災は発生していない。これらを前年に比べると建物火災が27件減少、その他の火災が26件増加、車両火災が3件減少、林野火災が1件増加、船舶火災、航空機火災が増減なしとなっている。

専用住宅、併用住宅、共同住宅及び長屋の住宅火災は65件で、建物火災の61%を占めており、前年に比べると32件減少している。

3 焼損棟数・損害額ともに減少

焼損棟数は147棟で、前年に比べると40棟減少している。

損害額は1億6,829万2千円で、前年に比べると4,156万6千円減少している。

4 火災による死者数は5人

火災による死者は5人、負傷者は26人である。これらを前年に比べると死者が6人減少、負傷者が10人減少している。

死者の内訳を死亡に至った経過別にみると、逃げ遅れ等によるもの2人、着衣着火によるもの1人、放火自殺によるもの2人である。放火自殺者を除く3人は、全て65歳以上の高齢者である。

5 出火原因は「たき火」が第1位

火災の発生状況を出火原因別にみると、「たき火」が39件（20.1%）で最も多く、次いで「こんろ」と「放火（疑い含む）」が各26件（13.4%）、「たばこ」が24件（12.4%）、「電気関係」が23件（11.9%）の順となっている。

6 その他

(1) 火災の覚知は119番通報

出火件数194件のうち119番通報によるものが137件で、全体の71%と最も多く、事後聞知によるものを除くと全体の90.1%を占めている。

(2) 初期消火の成功率は64.4%

出火件数194件のうち初期消火を実施した火災は132件で、全体の68%である。そのうち85件が成功しており、実施件数に対する成功率は64.4%である。

火 災 概 況

年 別 区 分		平成25年 A	平成24年 B	増 減 A－B C	増 減 率 C／B × 100(%)
出 火 件 数 (件)		194	197	△ 3	△ 1.5
火災種別 (件)	建 物 火 災	107	134	△ 27	△ 20.1
	住 宅 火 災	65	97	△ 32	△ 33.0
	林 野 火 災	1		1	—
	車 両 火 災	14	17	△ 3	△ 17.6
	船 舶 火 災				—
	航 空 機 火 災				—
	そ の 他 の 火 災	72	46	26	56.5
焼損棟数 (棟)	計	147	187	△ 40	△ 21.4
	全 焼	26	34	△ 8	△ 23.5
	半 焼	9	9		
	部 分 焼	26	32	△ 6	△ 18.8
	ぼ や	86	112	△ 26	△ 23.2
爆 発 損 害 棟 数 (棟)			2	△ 2	△ 100.0
建 物 焼 損 床 面 積 (㎡)		3,559	3,981	△ 422	△ 10.6
建 物 焼 損 表 面 積 (㎡)		125	199	△ 74	△ 37.2
林 野 焼 損 面 積 (a)		1		1	—
り 災 世 帯 (世帯)	計	100	136	△ 36	△ 26.5
	全 損	17	26	△ 9	△ 34.6
	半 損	3	8	△ 5	△ 62.5
	小 損	80	102	△ 22	△ 21.6
り 災 人 員 (人)		231	330	△ 99	△ 30.0
死 者 (人)		5	11	△ 6	△ 54.5
負 傷 者 (人)		26	36	△ 10	△ 27.8
損害額 (千円)	計	168,292	209,858	△ 41,566	△ 19.8
	建 物 火 災	163,646	205,317	△ 41,671	△ 20.3
	林 野 火 災	60		60	—
	車 両 火 災	3,663	4,379	△ 716	△ 16.4
	船 舶 火 災				—
	航 空 機 火 災				—
	そ の 他 の 火 災	923	79	844	1,068.4
	爆 発		83	△ 83	△ 100.0
出 火 率 (出 火 件 数 / 人 口 1 万 人)		3.2	3.2	—	—
死 者 発 生 率 (死 者 数 / 人 口 10 万 人)		0.82	1.81	—	—

※死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡したものを含む。

※△は負数を表す。

火 災 発 生 比 較 表

区 分 \ 対 象		全 国	鹿 児 島 県	鹿 児 島 市
出火件数 (件)		44,189	786	194
火 災 種 別	建物火災 (件)	25,583	360	107
	林野火災 (件)	1,178	44	1
	車両火災 (件)	4,549	52	14
	船舶火災 (件)	87	4	
	航空機火災 (件)	1		
	その他の火災 (件)	12,791	326	72
焼 損 棟 数 (棟)		35,427	570	147
建物焼損床面積 (㎡)		1,138,178	21,726	3,559
建物焼損表面積 (㎡)		118,599	1,185	125
林野焼損面積 (a)		37,187	1,899	1
り 災 世 帯 (世帯)		22,422	325	100
り 災 人 員 (人)		52,487	688	231
死 者 (人)		1,721	20	5
負 傷 者 (人)		6,826	91	26
損 害 額 (千円)		89,699,000	959,712	168,292
出 火 率(出火件数/人口1万人)		3.5	4.7	3.2
死者発生率(死者数/人口10万人)		1.36	1.19	0.82

※ 全国の数値は、平成25年版消防白書により平成24年分を掲載。県の数値は、平成25年中の概数を掲載。

区 分 \ 年		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出火件数 (件)	全 国	52,394	51,139	46,620	50,006	44,189
	鹿 児 島 県	922	1,045	761	831	702
	鹿 児 島 市	206	249	183	215	197
死 者 (人)	全 国	1,969	1,877	1,738	1,766	1,721
	鹿 児 島 県	36	33	35	31	36
	鹿 児 島 市	7	6	7	8	11
出火率	全 国	4.1	4.0	3.7	3.9	3.5
	鹿 児 島 県	5.3	6.1	4.4	4.9	4.2
	鹿 児 島 市	3.4	4.1	3.1	3.5	3.2
死 者 発 生 率	全 国	1.55	1.48	1.37	1.39	1.36
	鹿 児 島 県	2.07	1.91	2.03	1.81	2.13
	鹿 児 島 市	1.20	1.00	1.17	1.32	1.81

年 別 ・ 月 別

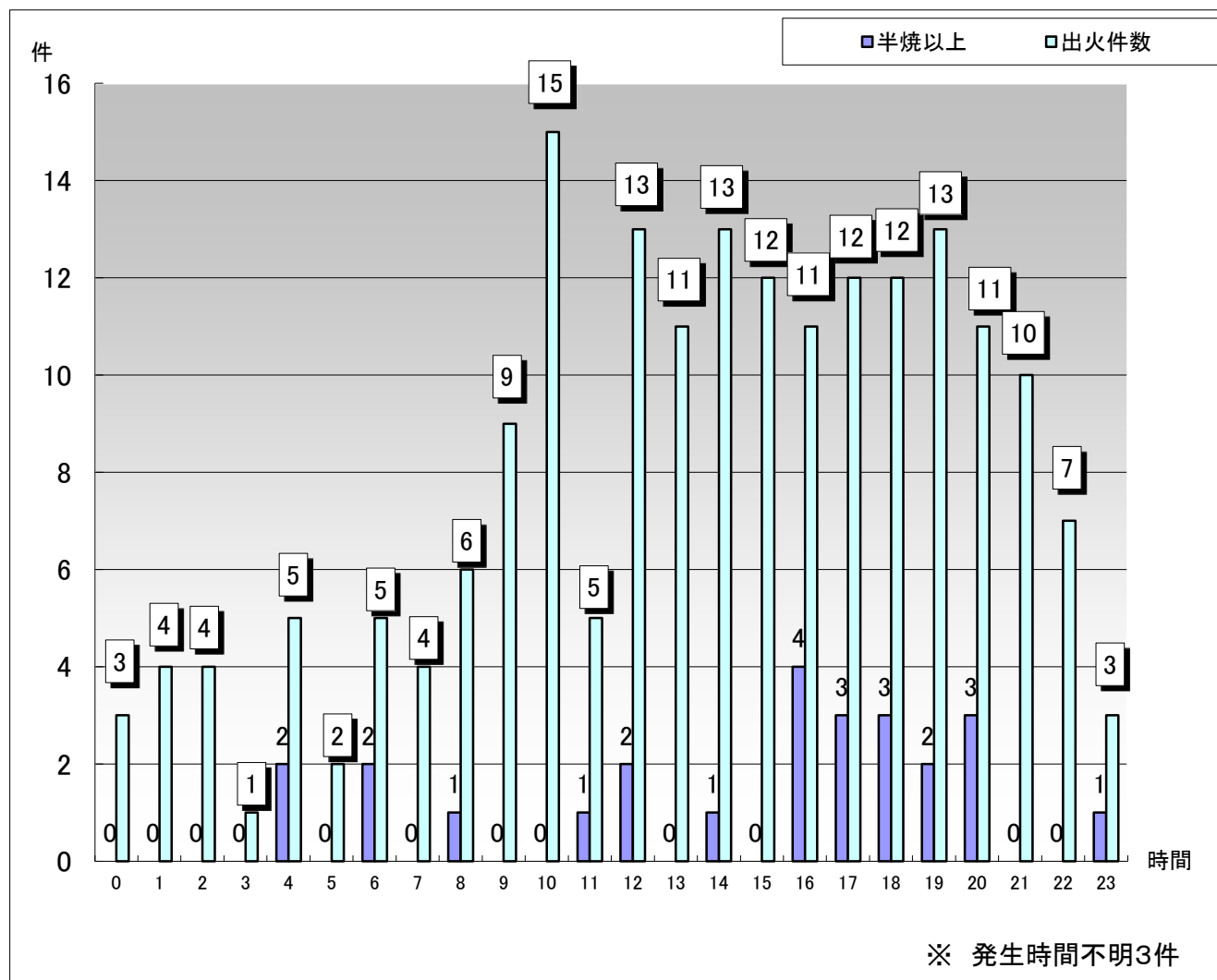
年・月別 区 分	出火件数 (件)	火災種別毎の件数(件)						り災世帯(世帯)				り 災 人 員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	焼 損				
		建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	計	全 損	半 損	小 損				計	住 家			
																全	半	部	ぼ
平成16年	(2) 274	(2) 156	1	23	1		93	(2) 148	21	5	(2) 122	(4) 381	6	(1) 28	191	15	4	19	98
平成17年	(1) 323	(1) 177	11	25	1		109	170	39	6	125	409	10	43	240	23	9	22	105
平成18年	272	157	2	30	1		82	149	27	10	112	376	6	42	178	13	10	20	95
平成19年	266	146	2	30	3		85	158	31	2	125	408	9	31	200	22	5	9	116
平成20年	206	125		22	1		58	115	28	2	85	245	7	25	157	20	5	13	75
平成21年	(1) 249	(1) 135	2	22	1		89	(1) 146	26	6	(1) 114	(1) 343	6	32	169	18	7	15	89
平成22年	(1) 183	(1) 130		13	1		39	(38) 179	(3) 32		(35) 143	(53) 353	(2) 7	34	166	18	3	18	87
平成23年	(1) 215	(1) 136	1	19			59	(1) 124	22	9	(1) 93	(1) 272	8	45	174	13	7	20	82
平成24年	197	134		17			46	(2) 124	26	8	(2) 102	(4) 330	11	36	187	22	7	22	89
平成25年	194	107	1	14			72	100	17	3	80	231	5	26	147	10	5	19	62
1月	18	12		1			5	17	4	2	11	43	2	5	15	2	1	3	5
2月	10	8					2	10	1		9	17		1	16	1		2	8
3月	19	10		1			8	8	1		7	20			15	1		2	7
4月	19	9		1			9	8	1		7	22		2	10	1			5
5月	16	8		2			6	5	1		4	9		3	10			3	4
6月	6	3		1			2	3			3	6		2	3			1	1
7月	17	10		3			4	12	2		10	38		2	23	1	1	2	9
8月	24	11		1			12	13	2		11	21	1	2	11	1		2	7
9月	18	5	1	1			11	5	3		2	9	1	2	6	2	1	1	1
10月	12	7					5	4	1	1	2	13			11		2	1	2
11月	17	14		1			2	7			7	19	1	3	15			1	6
12月	18	10		2			6	8	1		7	14		4	12	1		1	7

火 災 発 生 状 況

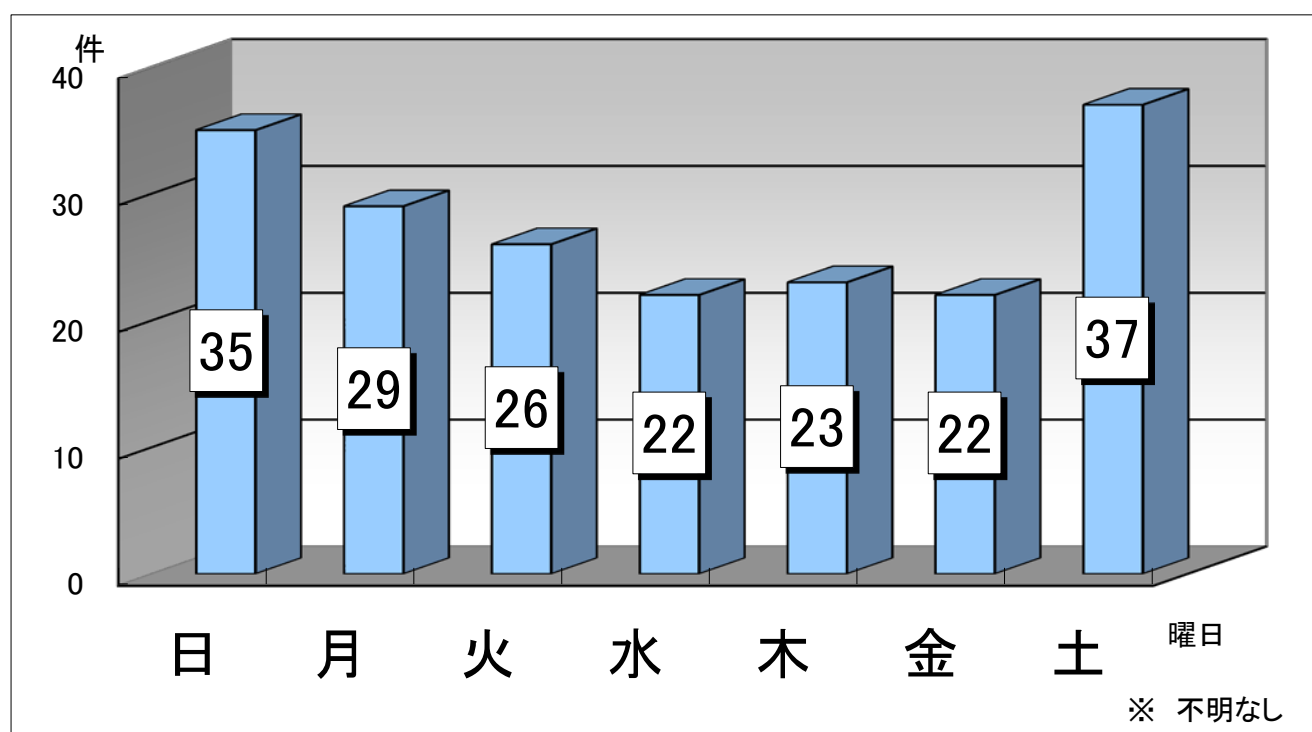
棟 数 (棟)				爆 発 に よ る 損 害 棟 数 (棟)	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	林 野 焼 損 面 積 (a)	損 害 額 (千円)							
非 住 家								計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	爆 発
全 焼	半 焼	部 焼	ぼ や												
11	1	8	35	2	2,437	89	9	166,578	163,957		1,910	500		121	90
11	7	13	50	1	4,832	138	79	253,338	249,823	40	2,873	30		562	10
5	2	5	28		2,994	12	5	207,248	193,722	80	4,686	190		8,570	
11		6	31		5,099	94	13	306,677	282,220		19,187	4,310		960	
10	3	6	25		2,860	141		171,656	168,059		3,330	70		197	
13	1	5	21	1	3,009	134	249	153,250	150,439		1,644	5		1,139	23
8		5	27	8	3,311	31		163,424	156,978		2,204	50		125	4,067
12	4	8	28	1	3,226	58		219,689	214,923		4,425			339	2
12	2	10	23	2	3,981	199		209,858	205,317		4,379			79	83
16	4	7	24		3,559	125	1	168,292	163,646	60	3,663			923	
		3	1		396	17		23,536	23,457		78			1	
1			4		133	26		5,015	5,014					1	
2			3		279	16		7,359	7,209		90			60	
			4		472			4,054	4,010		13			31	
	2		1		178	8		9,962	9,691		270			1	
			1		4			354	350		4				
6	1	1	2		390	4		38,742	37,300		1,385			57	
			1		227	4		21,206	20,914		50			242	
		1			283	4	1	28,070	27,851	60	34			125	
4		1	1		397	14		13,242	12,842					400	
3	1		4		612	30		10,184	9,984		200				
		1	2		188	2		6,568	5,024		1,539			5	

※ () 内は爆発の内数

時間帯別火災発生状況



曜日別火災発生状況



火元建物等用途別火災概況

区 分 用 途	件 数 (件)	構 成 比 (%)	焼 損 棟 数 (棟)					爆 発 棟 数 (棟)	焼損面積 (㎡)		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	り 災 世 帯 (世帯)	り 災 人 員 (人)	損 害 額 (千円)	延 焼 (件)	不 延 焼 (件)
			計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や		床 面 積	表 面 積							
専 用 住 宅	44	41.1	57	8	3	9	37		1,177	20	3	9	56	140	92,346	8	38
共 同 住 宅	15	14.0	15			4	11		143	11		3	23	45	16,911		15
併 用 住 宅	6	5.6	10	3	1		6		729			3	7	18	20,069	2	4
飲 食 店	4	3.7	5	1			4		310			1			4,752		4
物 品 販 売 店 舗	1	0.9	1				1					1			1		1
工 場	3	2.8	2	1	1				234	30		1			4,195	1	2
倉 庫	4	3.7	7	2		2	3		309	5			4	9	7,118	3	1
旅 館	1	0.9	2		1		1		20				1	2	212	1	
複合用途(特定)	13	12.1	13			2	11		7			1	2	4	669		13
複合用途(非特定)	5	4.7	5			2	3		35	17		2	5	6	3,303		5
そ の 他 の 用 途	11	10.3	30	11	3	7	9		595	42	1		2	7	14,070	1	8
合 計	107	-	147	26	9	26	86		3,559	125	4	21	100	231	163,646	16	91

火元建物等構造別火災概況

区 分 構 造	件 数 (件)	構 成 比 (%)	焼 損 棟 数 (棟)					爆 発 棟 数 (棟)	焼損面積 (㎡)		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	り 災 世 帯 (世帯)	り 災 人 員 (人)	損 害 額 (千円)	延 焼 (件)	不 延 焼 (件)
			計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や		床 面 積	表 面 積							
木 造	23	21.5	39	16	2	6	15		1,652	15	3	5	18	46	34,357	8	15
防 火 造	33	30.8	49	7	5	8	29		1,189	24	1	6	46	117	94,866	5	28
準 耐 火 造	8	7.5	10	2	1		7		420	30		4	3	7	4,245	2	6
耐 火 造	38	35.5	38			9	29		188	28		6	31	54	20,881		38
その他の建築物	5	4.7	8	1	1	1	5		110	24			1	4	9,297	1	4
合 計	107	-	147	26	9	26	86		3,559	125	4	21	100	231	163,646	16	91

火 災 別 知 覚

区 分 覚 知 別	出 火 件 数 (件)	構 成 比 (%)	火 災 種 別 (件)						焼 損 棟 数 (棟)					爆 発 損 害 棟 数 (棟)	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)
			建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			
専 用 電 話	137	71	70	1	13			53	110	26	9	25	50		3,555	125
事 後 聞 知	42	22	33					9	33				33			
警 察 電 話	12	6	2		1			9	2				2			
駆 け 付 け 通 報	1	1	1						1			1			4	
加 入 電 話	2	1	1					1	1				1			
そ の 他																
合 計	194	—	107	1	14			72	147	26	9	26	86		3,559	125

署 ・ 隊 管 轄 区 域 別

署 別	隊 別	出 火 件 数 (件)	建 物 火 災		林 野 火 災		車 両 火 災		船 舶 火 災	
			件数 (件)	損 害 額 (千円)	件数 (件)	損 害 額 (千円)	件数 (件)	損 害 額 (千円)	件数 (件)	損 害 額 (千円)
中 央 署	本 署	11	9	3,595						
	南 林 寺	13	10	352			1	4		
	名 山	6	4	604						
	上 町	10	5	9,683			1	100		
	吉 野	11	4	771						
	吉 田	9	6	28,549	1	60		80		
	甲 南	6	4	7,255						
	桜 島 東	2	1	25			1	75		
	桜 島 西	3	2	9,079						
	小 計	71	45	59,913	1	60	3	259		
西 署	本 署	7	7	8,250						
	伊 敷	11	6	8,175			1	71		
	明 和	8	4	4,992			1	1,200		
	田 上	9	5	17				1		
	松 元	10	4	2,474						
	郡 山	10	3	5,625			1	34		
	小 計	55	29	29,533			3	1,306		
南 署	本 署	22	10	26,342			4	1,725		
	谷 山	4	3	3,660			1	13		
	谷 山 北	10	3	33,049			2	350		
	脇 田	6	3	7,857						
	郡 元	11	9	3,237			1	10		
	喜 入	15	5	55						
	小 計	68	33	74,200			8	2,098		
合 計		194	107	163,646	1	60	14	3,663		

発 生 状 況

り災世帯（世帯）				り 災 人 員 （人）	死 者 （人）	負 傷 者 （人）	損 害 額（千円）							1 件 当 た り		
計	全 損	半 損	小 損				合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発	焼 損 床面積 （㎡）	損害額 （千円）
77	17	3	57	179	4	13	168,157	163,527	60	3,649			921		51	1,227
21			21	49	1	13	82	80		1			1			2
1			1	2			28	14		13			1			2
							23	23							4	23
1			1	1			2	2								1
100	17	3	80	231	5	26	168,292	163,646	60	3,663			923		-	-

火 災 発 生 状 況

航 空 機 火 災		そ の 他 の 火 災		爆 発		損 害 額 合 計 （千円）	焼 損 棟 数 （棟）	爆 発 損 害 棟 数 （棟）	焼 損 床 面 積 （㎡）	焼 損 表 面 積 （㎡）	死 者 （人）	負 傷 者 （人）
件数 （件）	損 害 額 （千円）	件数 （件）	損 害 額 （千円）	件数 （件）	損害額 （千円）							
		2				3,595	9		38	6		3
		2				356	11		24	11		1
		2	1			605	4		4			
		4	300			10,083	6		46	2	1	4
		7	105			876	9		201	5		1
		2	62			28,751	9		648	30		
		2				7,255	10		109	6		1
						100	1		2			1
		1				9,079	3		179	10	2	
		22	468			60,700	62		1,251	70	3	11
						8,250	9		181	14		1
		4	1			8,247	8		227			
		3	7			6,199	5		186			
		4	1			19	5					3
		6				2,474	9		195		1	1
		6	219			5,878	4		535			1
		23	228			31,067	40		1,324	14	1	6
		8	171			28,238	15		592	33		5
						3,673	3		80			
		5	55			33,454	10		231			
		3				7,857	3		40			2
		1				3,247	9		41	8		
		10	1			56	5				1	2
		27	227			76,525	45		984	41	1	9
		72	923			168,292	147		3,559	125	5	26

管轄隊・町別火災発生状況

管 轄 隊	区 分	町 名	出 火 件 数 (件)	火 災 種 別 (件)						爆 発 件 数 (件)	焼 損 棟 数 (棟)	爆 発 損 害 棟 数 (棟)	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	り 災 世 帯 (世帯)	り 災 人 員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)
				建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災										
中央本署		荒 田 一 丁 目	2	2							2		34	6	2	2		1	3,238
		下 荒 田 一 丁 目	2	2							2		4		3	3		1	349
		下 荒 田 二 丁 目	1					1											5
		下 荒 田 三 丁 目	4	3				1			3				2	2			3
		与 次 郎 一 丁 目	2	2							2							1	3
		計	11	9				2			9		38	6	7	7		3	3,595
南 林 寺		加 治 屋 町	1					1											
		千 日 町	4	4							4		3		2	4			59
		大 黒 町	1	1							1								3
		松 原 町	1	1							1				1	1			
		新 屋 敷 町	1	1							1								1
		南 林 寺 町	1	1							1		1	11	2	3			76
		城 南 町	3	1		1		1		1	1				1	5		1	5
		甲 突 町	1	1							2		20		1	2			212
	計	13	10		1		2			11		24	11	7	15		1	356	
名 山		東 千 石 町	1	1							1				1	1			
		平 之 町	2	2							2		4						603
		照 国 町	2	1				1		1	1								1
		山 下 町	1					1											1
		計	6	4				2			4		4		1	1			605
上 町		吉 野 町	1	1							1		46		1	2		1	9,383
		坂 元 町	2					2									1		
		西 坂 元 町	1	1							1				1	2		1	3
		東 坂 元 三 丁 目	1	1							1				1	3		2	20
		長 田 町	2			1		1		1	1		2		1	3			373
		柳 町	1	1							1								2
		春 日 町	1					1											300
		稲 荷 町	1	1							1				2	4			2
	計	10	5		1		4			6		46	2	6	14	1	4	10,083	
吉 野		吉 野 町	5	3				2		6		67	5	4	10			1	426
		大 明 丘 二 丁 目	1					1											100
		下 田 町	2					2											
		岡 之 原 町	3	1				2		3		134							350
		計	11	4				7		9		201	5	4	10			1	876
吉 田		西 佐 多 町	2	1				1		3		211		2	6				6,760
		本 城 町	1					1											
		本 名 町	2	2						3		238	30						4,218
		宮 之 浦 町	2	1	1					1		199		1	2				17,752
		牟 礼 岡 一 丁 目	1	1							1				1	1			1
		牟 礼 岡 二 丁 目	1	1							1				1	4			20
		計	9	6	1			2		9		648	30	5	13				28,751
甲 南		中 央 町	2	2						2				1	2				1
		上 荒 田 町	1					1											
		唐 湊 一 丁 目	1					1											
		唐 湊 三 丁 目	2	2						8		109	6	8	13		1		7,254
		計	6	4				2		10		109	6	9	15		1		7,255

管轄隊・町別火災発生状況(つづき)

管 轄 隊	区 分	町 名	出 火 件 数 (件)	火 災 種 別 (件)						爆 発 件 (件)	焼 損 棟 数 (棟)	爆 発 損 害 棟 数 (棟)	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	り 災 世 帯 (世帯)	り 災 人 員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)
				建	林	車	船	航	そ										
				物 火 災	野 火 災	両 火 災	舶 火 災	空 機 火 災	他の 火 災										
桜 島 東	野 尻 町	1			1														75
	東 桜 島 町	1	1							1		2		1	1		1		25
	計	2	1		1					1		2		1	1		1		100
桜 島 西	桜 島 小 池 町	1	1							1		104		1	1	1			6,119
	桜 島 武 町	1						1											
	桜 島 二 俣 町	1	1							2		75	10	1	1	1			2,960
	計	3	2					1		3		179	10	2	2	2			9,079
西 本 署	草 牟 田 二 丁 目	1	1							1		2		1	2		1		15
	若 葉 町	1	1							1				1	4				
	城 西 一 丁 目	1	1							1				1	4				2
	城 西 二 丁 目	1	1							1									1
	原 良 二 丁 目	1	1							1				1	4				1
	原 良 三 丁 目	1	1							1				1	2				2
	原 良 四 丁 目	1	1							3		179	14	1	4				8,229
	計	7	7							9		181	14	6	20		1		8,250
伊 敷	伊 敷 町	1						1											
	伊 敷 二 丁 目	1	1							3		147		2	3				4,052
	伊 敷 六 丁 目	1						1											
	伊 敷 台 七 丁 目	1						1											
	西 伊 敷 二 丁 目	2	1		1					1				1	5				71
	西 伊 敷 六 丁 目	1	1							1		3		1	1				71
	西 伊 敷 七 丁 目	1	1							1		19		1	4				1,532
	千 年 二 丁 目	2	2							2		58							2,521
	犬 迫 町	1						1											
計	11	6		1			4		8		227		5	13				8,247	
明 和	武 岡 二 丁 目	1						1											
	武 岡 四 丁 目	1	1							1				2	6				2
	武 岡 五 丁 目	1	1							2		186		2	4				4,990
	明 和 一 丁 目	1	1							1				1	2				5
	明 和 四 丁 目	1	1							1									
	小 野 町	2			1			1											1,202
	小 野 四 丁 目	1						1											
	計	8	4		1			3		5		186		5	12				6,199
田 上	武 一 丁 目	1	1							1				1	1				2
	武 二 丁 目	1	1							1							1		
	田 上 七 丁 目	1	1							1				1	4				1
	田 上 八 丁 目	1						1											
	田 上 台 一 丁 目	2						2											
	田 上 台 二 丁 目	1	1							1				1	2				2
	田 上 台 三 丁 目	1	1							1				1	2				12
	田 上 町	1						1									2		2
計	9	5					4		5				4	9		3		19	

管轄隊・町別火災発生状況(つづき)

管轄隊	区分	町名	出火件数 (件)	火災種別(件)						爆発 発生 (件)	焼損 棟数 (棟)	爆発 損害 棟数 (棟)	焼損 床面積 (㎡)	焼損 表面積 (㎡)	り災 世帯 (世帯)	り災 人員 (人)	死者 (人)	負傷 者 (人)	損害 額 (千円)
				建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他の 火災										
松元	上谷口町	3							3										
	福山町	1							1										
	直木町	1	1								1		66				1		988
	春山町	1	1								1				1	1			1
	石谷町	3	1						2		1		34		1	7		1	1,450
	平田町	1	1								6		95						35
	計	10	4						6		9		195		2	8	1	1	2,474
郡山	郡山町	1				1													34
	花尾町	2	1						1		1		63					1	1,624
	東俣町	1							1										
	小山田町	6	2						4		3		472		2	3			4,220
	計	10	3			1			6		4		535		2	3		1	5,878
南本署	南栄二丁目	1	1								1								1
	南栄五丁目	2	1						1		4		52	24					1,740
	谷山港三丁目	1	1								1								
	七ツ島一丁目	1	1								1							1	
	平川町	4				1			3										5
	錦江台一丁目	1	1								1		74	7	6	14		1	5,542
	下福元町	4	2			1			1		4		443	2	1	3		1	18,655
	光山一丁目	2				1			1										201
	光山二丁目	1							1										
	坂之上一丁目	1	1								1				1	1		1	2
	坂之上二丁目	1	1								1		23		1	3		1	2,041
	坂之上三丁目	1				1													50
	坂之上七丁目	1	1								1				1	3			1
	坂之上八丁目	1							1										
	計	22	10			4			8		15		592	33	10	24		5	28,238
谷山	下福元町	1				1													13
	上福元町	1	1								1		80		1	3			3,655
	谷山中央二丁目	1	1								1				1	2			5
	谷山中央六丁目	1	1								1								
	計	4	3			1					3		80		2	5			3,673

管轄隊・町別火災発生状況(つづき)

管轄隊	区分	町名	出火件数 (件)	火災種別(件)						爆発 発生 (件)	焼損 棟数 (棟)	爆発 損害 棟数 (棟)	焼損 床面積 (㎡)	焼損 表面積 (㎡)	り災 世帯 (世帯)	り災 人員 (人)	死者 (人)	負傷 者 (人)	損害 額 (千円)
				建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空機 火災	その他の 火災										
谷山北	星ヶ峯二丁目	1				1													180
	星ヶ峯四丁目	1							1										
	星ヶ峯六丁目	1	1								1								2
	自由ヶ丘二丁目	1							1										
	山田町	2	1			1					8		231		6	22			33,271
	中山町	3	1						2		1								1
	五ヶ別府町	1							1										
計		10	3			2			5		10		231		6	22			33,454
脇田	日之出町	2	1						1		1				1	1			15
	宇宿一丁目	1							1										
	宇宿三丁目	1	1								1				1	4		1	2
	宇宿四丁目	1	1								1		40		2	5		1	7,840
	東開町	1							1										
	計	6	3						3		3		40		4	10		2	7,857
郡元	三和町	3	3								3			4	1	2			33
	鴨池新町	2	1			1					1		25	4	5	10			3,160
	真砂町	2	2								2		16		2	7			51
	紫原一丁目	1	1								1				1	1			1
	紫原七丁目	2	1						1		1								1
	新栄町	1	1								1								1
	計	11	9			1			1		9		41	8	9	20			3,247
喜入	喜入瀬々串町	3	1						2		1				1	4		1	7
	喜入中名町	3							3										
	喜入町	5	2						3		2				1	2			46
	喜入前之浜町	2	1						1		1							1	1
	喜入生見町	2	1						1		1				1	1	1		2
	計	15	5						10		5				3	7	1	2	56

防火地域内及び準防火地域内の建物火災発生状況

年	防火地域		準防火地域		合計	
	出火件数	内、延焼した件数	出火件数	内、延焼した件数	出火件数	内、延焼した件数
平成21年	3		20	3	23	3
平成22年	13		20		33	
平成23年	16		21	1	37	
平成24年	3	1	18	2	21	3
平成25年	11		11	2	22	2

出 火 原 因 別

原 因	区 分	出 火 件 数 (件)	火 災 種 別 毎 の 件 数 (件)						り 災 世 帯 (世帯)	り 災 人 員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
			建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災				
	たばこ	24	10					14	18	36		4
こ ん ろ	電 気 こ ん ろ	2	2						2	2		1
	ガ ス こ ん ろ	24	24						18	49		8
か ま ど	そ の 他 の こ ん ろ											
	か ま ど											
風 呂 か ま ど	火 の 粉											
	ガ ス 燃 料	1	1						1	2		
	石 油 燃 料											
	薪 ・ 炭 等 の 燃 料											
炉	火 の 粉											
	火 の 粉											
	焼 却 炉	1			1							
ス ト ー ブ	電 気 料	6	6						7	14	1	1
	ガ ス 燃 料											
	石 油 燃 料	1	1						1	4		
	薪 ・ 炭 等 の 燃 料											
ボ イ ラ ー	火 の 粉											
	ガ ス 燃 料											
煙 突	石 油 燃 料											
	薪 ・ 炭 等 の 燃 料											
電 気 関 係	電 気 機 器	2			2							
	電 気 装 置	4	4		2				5	13		2
	電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	8	7					1	5	10		1
	配 線 器 具	7	6		1				10	32		
内 燃 機 関	火 あ そ び	4	2					2	2	11		
	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	2	2						1	1		
溶 接	た き 火	39	1	1	1			36				3
	ガ ス 溶 接 切 断 機											
灯 火	電 気 溶 接 切 断 機											
	火 の 花	2	2						2	2	1	1
衝 取	突 の 火	1			1							
	灰	1	1						1	2		
火 入 れ	火											
	放 火	19	11					8	4	8	2	2
そ の 他	放 火 の 疑 い	7	4					3	1	1		
	電 気 に よ る 発 熱 体	1	1						1	3		
	交 通 機 関 内 配 線	3	1		2				1	3		1
	ガ ス ・ 油 類 を 燃 料 と す る 装 置 等	7	6					1	3	9		2
	高 温 の 固 体	1	1						1	2		
	自 然 発 火 ・ 再 燃											
不 明 ・ 調 査 中	天 災	1	1						1	1		
	そ の 他	10	2		1			7	2	2		
合 計		194	107	1	14			72	100	231	5	26

火 災 発 生 状 況

焼 損 棟 数 (棟)					爆 発 損 害 棟 数	焼 損 床 面 積	焼 損 表 面 積	林 野 焼 損 面 積	損 害 額 (千円)							
計	全	半	部	ぼ					計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	爆 発
	焼	焼	焼	や	(棟)	(㎡)	(㎡)	(a)								
10			2	8		99	11		8,708	8,706		1			1	
2			1	1		34	6		3,225	3,225						
24		1	3	20		53	4		9,866	9,866						
1				1					5	5						
1				1					171	1		170				
6			2	4		59			9,389	9,389						
1				1					1	1						
									1,382			1,380			2	
5		1	3	1		45	15		4,077	4,077						
2				2					90	46		44				
9	1	2	3	3		284	30		7,123	7,121					2	
14	4			10		442			39,942	39,712		115			115	
2		1		1		34			1,452	1,452						
2				2					1	1						
2			2			4	2	1	1,560	24	60	1,470			6	
2	1		1			106			6,144	6,144						
									50			50				
1	1					199			17,692	17,650		40			2	
11	1	3	1	6		269			9,420	8,830					590	
5	1			4		472			4,035	4,005					30	
2	1		1			133			12,438	12,318					120	
2			1	1			2		378	274		104				
9	2		1	6		377	5		5,189	5,189						
1				1												
1				1					1	1						
2				2					64	1		13			50	
30	14	1	5	10		949	50		25,889	25,608		276			5	
147	26	9	26	86		3,559	125	1	168,292	163,646	60	3,663			923	

過去10年間の原因別火災発生状況

(単位:件)

※ () 内は爆発の内数

年別 原因別	たばこ	こま	かま	風呂 かまど	焼却 炉	ストーブ	こたつ	ポイラ	煙突・煙道	排気管	電気関係				内燃機	火あそび	マッチ・ライター	たき火	溶接機・切断機	灯火	衝突の火花	取入れ	火入	放火	放火の疑い	その他の	不明・調査中	合計	食・用油の過熱・着火中
											電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	配線器具															
16年	30	(1) 47		3	1	1	(1) 12			5	2	3	14	4		17	5	45	5	3		3		12	20	31	11	(2) 274	29
17年	30	50		5		3	8		2	4	1	3	21	4	1	13	3	73	4	5		1		20	23	(1) 37	12	(1) 323	36
18年	31	53	3	5	1	3	10			3	3	2	16	1		10	4	46	4	8		2		19	12	28	8	272	37
19年	24	57	1	5		4	7		1	4	4	4	7	2	1	8	2	50	6	5	1	3		17	12	31	10	266	44
20年	21	33	1	2	1	6	12	1			5	2	10	3		8	4	26	4	4		2	2	8	9	26	16	206	19
21年	34	(1) 38	1		1	8	7			3		2	7	6		19	3	36		6	1	4	1	24	17	21	10	(1) 249	20
22年	17	(1) 40	1	5			7		1	2	2	6	13	3		9	4	20	1	6	2	1	1	14	7	14	7	(1) 183	29
23年	32	40		3		4	(1) 5			4	6	6	18	4		9	1	23	2	7	1	1	3	16	5	19	6	(1) 215	28
24年	17	37		4		1	6	1	1	2	6	2	16	7		8	2	22	2	1		1	1	24	6	21	9	(2) 197	21
25年	24	26		1		1	7			2	4	4	8	7		4	2	39		2	1	1		19	7	23	12	194	15
平均	26	42	1	3	0	3	8	0	1	3	3	3	13	4	0	11	3	38	3	5	1	2	1	17	12	25	10	238	28

過去10年間の出火原因種別構成比

	出火件数 (件)	失火		放火 (含む疑い)		自然発火・再燃		天災		不明・調査中	
		件数 (件)	構成比(%)	件数 (件)	構成比(%)	件数 (件)	構成比(%)	件数 (件)	構成比(%)	件数 (件)	構成比(%)
16年	274	230	83.9	32	11.7	1	0.4			11	4.0
17年	323	261	80.8	43	13.3	6	1.9	1	0.3	12	3.7
18年	272	233	85.7	31	11.4					8	2.9
19年	266	226	85.0	29	10.9	1	0.4			10	3.8
20年	206	171	83.0	17	8.3	2	1.0			16	7.8
21年	249	198	79.5	41	16.5					10	4.0
22年	183	153	83.6	21	11.5	2	1.1			7	3.8
23年	215	187	87.0	21	9.8	1	0.5			6	2.8
24年	197	157	79.0	30	15.2			1	0.5	9	4.6
25年	194	155	79.9	26	13.4			1	0.5	12	6.2
平均	237.9	197.1	83.2	29.1	12.1	1.3	0.5	0.3	0.1	10.1	4.2

過去10年間の中高層建物火災発生状況 （単位：件）

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
4 階	8	14	6	5	8	7	13	8	6	5
5 階	21	12	13	13	10	15	12	14	15	7
6 階	2	2	2	4	1	2	2	5	1	3
7 階	1	2	7	7	2	1	3	2	2	4
8 階	2		1		1	1	5	3	4	
9 階	2	1	1		1	2	2	1	1	1
10 階	2	3	1			2	1	2	1	2
11 階		2	2				2	2	1	3
12 階	1	1				1				
13 階			1				1	1		
14 階	2	1		1	1	2	1	1	2	
15 階					1		1		1	
16 階							1			
17 階 以 上	1									
合 計 (A)	42	38	34	30	25	33	44	39	34	25
建 物 火 災 (B)	156	177	157	146	125	135	130	136	134	107
(A)/(B) (%)	27	21	22	21	20	24	34	29	25	23

高齢者等宅からの火災発生状況

項 目 年 齢	出 火 件 数 (件)	火元者宅の状況										焼 損 棟 数				爆 発 損 害 棟 数 (棟)	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)
		独居 (人)		同居 有 り (人)	焼 損 程 度 (棟)				爆 発 損 害 棟 数 (棟)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	全 焼	半 焼	部 焼	ぼ や				
					全 焼	半 焼	部 焼	ぼ や											
		男	女																
65 歳 未 満																			
65 ～ 69 歳	3	1		2			1	2						1	2		3	74	
70 ～ 74 歳	4		1	3	1	1		2			1	2	1		3		257	16, 144	
75 ～ 79 歳	3		2	1	2			1			1	2			2		671	21, 725	
80 歳 以 上	8	1	5	2	2		1	5		3	2	2		2	5		181	9, 114	
合 計	18	2	8	8	5	1	2	10		3	4	6	1	3	12		1,112	47,057	

※ 高齢者（65歳以上）の1人暮らし、高齢者のみの世帯、身体障害者等の1人暮らし、身体障害者等との同居世帯が対象。

気 象 と 火 災

1 天候と火災

(単位：件)

天 候	出火件数	半焼以上	天 候	出火件数	半焼以上	天 候	出火件数	半焼以上
快 晴	13	1	地ふぶき			雪		
晴	109	19	霧			あられ		
曇	53	4	霧 雨	1	1	ひょう		
煙 霧			雨	16		雷 雨		
砂じんあらし			みぞれ	1		不 明	1	
						合 計	194	25

2 風向と火災

(単位：件)

風 向	出火件数	半焼以上	風 向	出火件数	半焼以上	風 向	出火件数	半焼以上
北	9	3	南 東	14	1	西	8	1
北 北 東	6	1	南 南 東	14	1	西 北 西	26	4
北 東	10		南	5		北 西	37	6
東 北 東	8	1	南 南 西	2		北 北 西	18	3
東	11	1	南 西	1		無 風		
東 南 東	19		西 南 西	5	3	不 明	1	
						合 計	194	25

3 風速と火災

(単位：件)

風 速	出 火 件 数	半 焼 以 上
3 メートル未満	117	11
3メートル以上6メートル未満	70	13
6メートル以上9メートル未満	6	1
9メートル以上		
不 明	1	
合 計	194	25

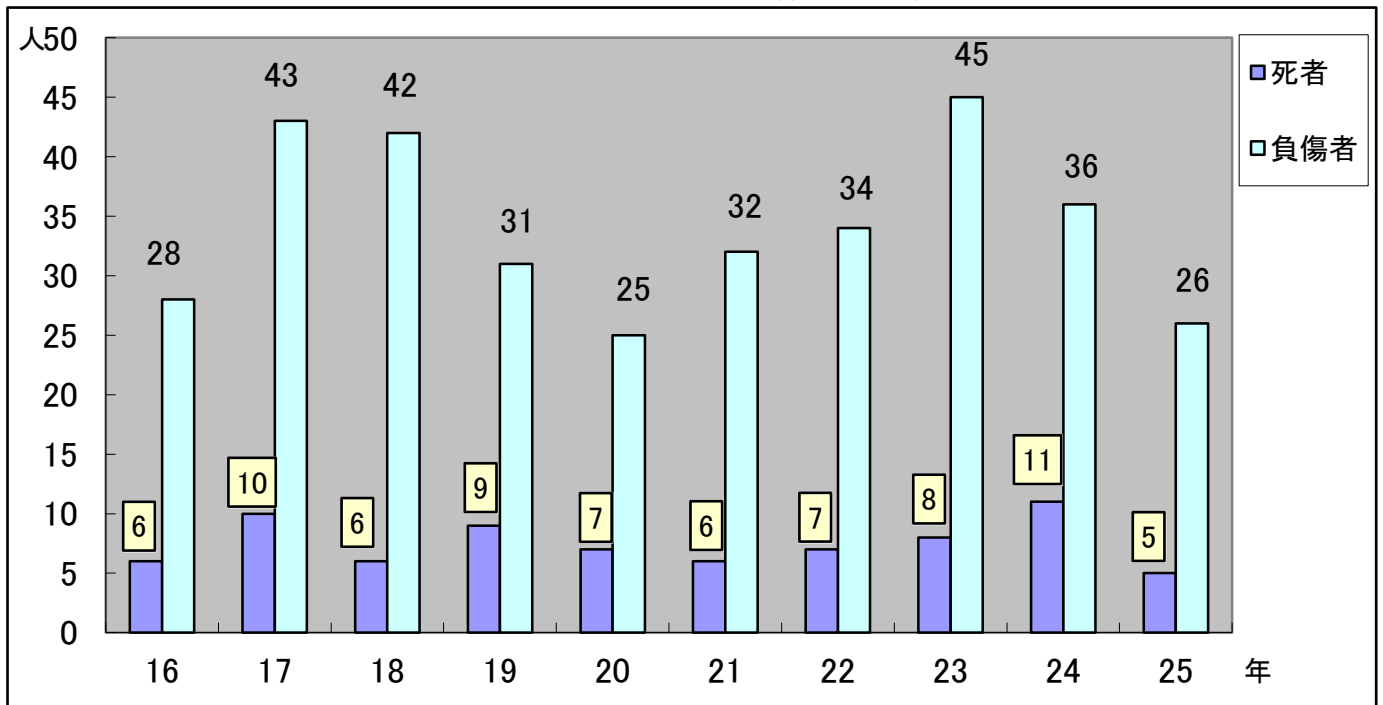
4 降水量・湿度と火災

区分 月別	降 水 量 (ミリ)	平 均 湿 度 (%)	最 小 湿 度 (%)	出 火 件 数 (件)	半焼以上の火災 (件)	焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)
1 月	70.0	65	23	18	3	396	17	23,536
2 月	199.5	67	13	10	2	133	26	5,015
3 月	80.5	69	22	19	2	279	16	7,359
4 月	120.5	65	22	19	1	472		4,054
5 月	54.5	68	22	16	2	178	8	9,962
6 月	426.0	82	49	6		4		354
7 月	16.5	74	32	17	4	390	4	38,742
8 月	93.0	73	35	24	1	227	4	21,206
9 月	343.5	68	28	18	3	283	4	28,070
10 月	154.0	68	24	12	3	397	14	13,242
11 月	114.5	72	22	17	3	612	30	10,184
12 月	105.0	70	29	18	1	188	2	6,568
合 計	1,777.5	-	-	194	25	3,559	125	168,292

死 者 を 生 じ た 火 災

	月	用 途	火元建物 焼損程度	死 者 情 報				住宅用火災警 報器設置有無
				年 齢	性 別	死者の発生した場所	家族状況	
1	1	専用住宅	ぼや	86	女	玄関土間	高齢独居	設置なし
2	1	専用住宅	全焼	83	男	居 室	高齢独居	設置あり
3	8	敷地内		76	女	敷地内		—
4	9	専用住宅	全焼	88	女	寝 室	高齢独居	設置あり
5	11	車庫付き倉庫	全焼	59	男	車内（車庫内）		—

過 去 10 年 間 の 死 傷 者 数



火 災 に よ る 負 傷 者 の 状 況

(単位：人)

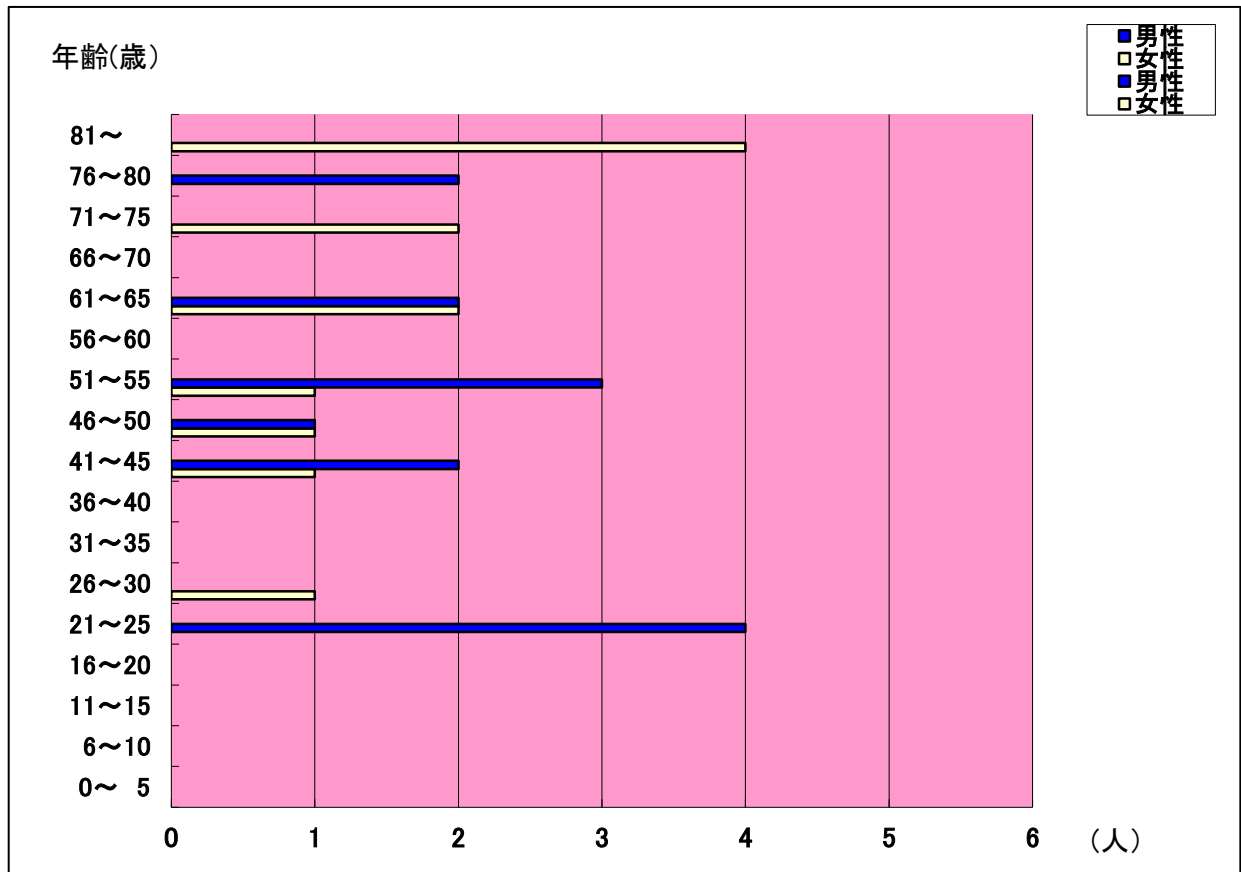
負 傷 区 分		負 傷 者 を 生 じ た 火 災						
		負 傷 程 度	火 災 種 別					
			建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	そ の 他
消 防 吏 員		重 症						
		中 等 症						
		軽 症						
		計						
消 防 団 員		重 症						
		中 等 症						
		軽 症						
		計						
応 急 消 火 義 務 者		重 症	4					
		中 等 症	9					2
		軽 症	7					3
		計	20					5
消 防 協 力 者		重 症						
		中 等 症						
		軽 症						
		計						
そ の 他	自 損	重 症						
		中 等 症						
		軽 症						
		計						
	そ の 他	重 症						
		中 等 症	1					
		軽 症						
		計	1					
合 計		26	21					5

負 傷 者 の 避 難 状 況

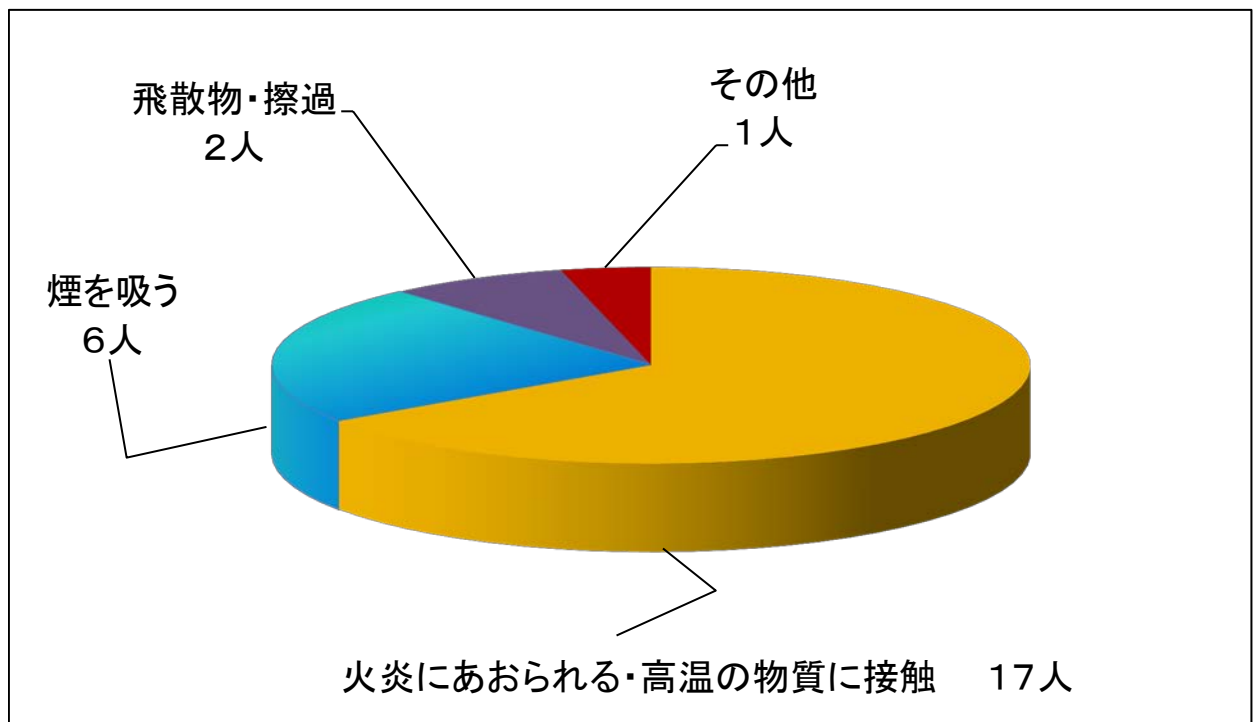
(単位：人)

区 分 性別・年齢		自 力 避 難			消防隊に よる救助	避難の必要なし	その他	合 計
		避 難 施 設	避 難 器 具	その他				
男 性	0 歳 ～ 5 歳							
	6 歳 ～ 64 歳	1		2		8		11
	6 5 歳 以上			1		2		3
女 性	0 歳 ～ 5 歳							
	6 歳 ～ 64 歳			2		4		6
	6 5 歳 以上			2	1	2	1	6
合 計		1		7	1	16	1	26

負傷者の年齢・性別



負傷者の受傷原因



初 期 消 火 実 施 状 況

区 分 器 具 等	実 施 し た (件)		実 施 せ ず (件)
	成 功	不 成 功	
水道水、汲み置き等の水をかけた	40	28	
各 種 消 火 器	19	3	
寝 具 、 衣 類 等 を か け た	7	1	
叩 き 消 し	6	11	
ふ た を 被 せ る			
物 を 投 げ 込 む			
運 び 出 す		1	
そ の 他	13	3	
合 計	85	47	62
	132		
	194		

初 期 消 火 を 実 施 し た 者

消火実施者 区 分	火気取扱者	火元家族	火元関係者	隣人	通行人	付近の者	その他	合計
件 数 (件)	55	17	16	5	8	24	7	132
構 成 比 (%)	42	13	12	4	6	18	5	—

住 宅 用 火 災 警 報 器 の 感 知 に よ る 奏 功 事 例

	月 ・ 日	曜日	時 : 分	発 生 場 所	建 物 用 途	出 火 原 因	焼 損 程 度
1	1月29日	火	9:55	鴨 池 新 町	共同住宅	こんろ火の消し忘れ	非火災
2	2月28日	木	21:01	下荒田三丁目	共同住宅	たばこ火の不始末	ぼ や
3	3月7日	木	10:09	小 原 町	専用住宅	こんろ火の消し忘れ	非火災
4	3月10日	日	17:07	東坂元四丁目	専用住宅	こんろ火の消し忘れ	非火災
5	5月3日	金	10:08	小 野 三 丁 目	専用住宅	こんろ火の消し忘れ	非火災
6	5月13日	月	8:10	喜入中名町	専用住宅	電子レンジの過熱	非火災
7	6月3日	月	10:21	星ヶ峯四丁目	専用住宅	こんろ火の消し忘れ	非火災
8	9月21日	土	6:27	真 砂 町	共同住宅	こんろ火の消し忘れ	ぼ や
9	10月13日	日	9:10	城西一丁目	専用住宅	子 供 の 火 遊 び	ぼ や
10	11月17日	日	8:50	小 山 田 町	専用住宅	こんろ火の消し忘れ	非火災
11	11月19日	火	20:05	紫原一丁目	共同住宅	こんろ火の消し忘れ	非火災

火災原因「こんろ」のうち食用油の過熱着火による火災発生状況

1 出火建物用途・損害状況

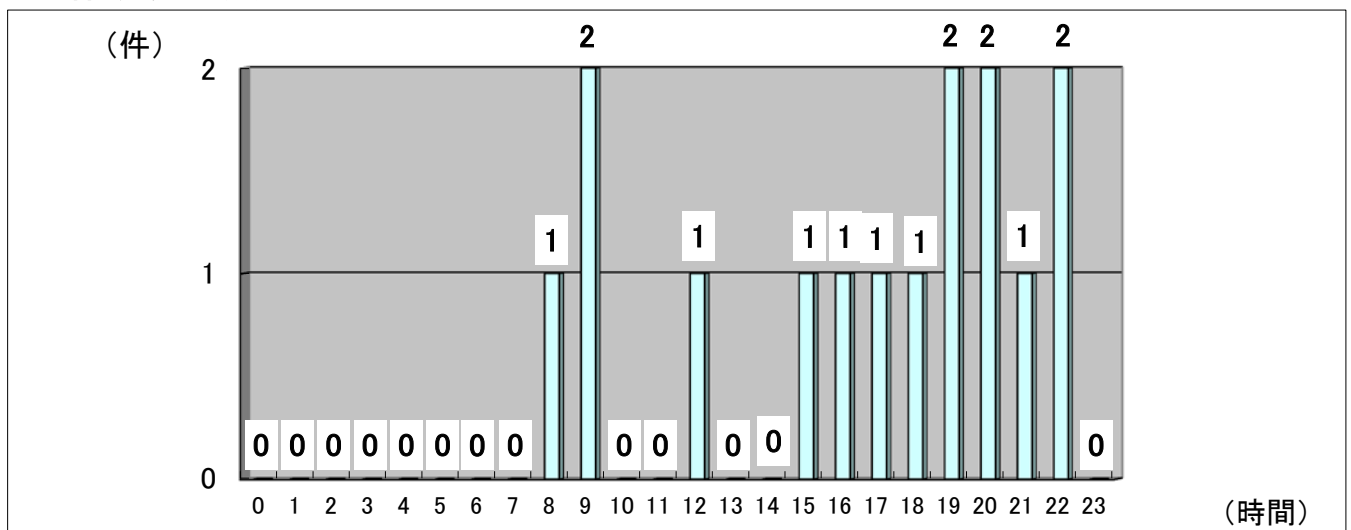
区分 用途	件数 (件)	焼 損 棟 数 (棟)				焼 損 床 面 積 (㎡)	焼 損 表 面 積 (㎡)	り 災 世 帯 (世 帯)			り 災 人 員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損 害 額 (千円)
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			全 損	半 損	小 損				
住 宅	10		1	2	7	50	4	1		10	33		4	9,769
そ の 他	5			2	3	37	6	1		1	2		1	3,278
合 計	15		1	4	10	87	10	2		11	35		5	13,047

2 出火に至った理由・出火者年齢

(単位：件)

年 齢 出 火 に 至 っ た 理 由	年 齢							合 計
	20 歳 未 満	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 以 上	
他の部屋で片づけ雑談等をしていた			1			1		2
他の部屋でテレビを見ていた		1		1				2
他の部屋で子供に世話をしていた				1				1
他の部屋で読書音楽鑑賞をしていた								
トイレに行っていた								
掃除、洗濯等をしていた		1			1		1	3
来客があった			1					1
電話をしていた							1	1
用事で外出した			1					1
こんろを消したつもり、消し忘れ		1						1
間違って別なこんろをつけた								
居眠りをしていた		1						1
屋外で雑用をしていた								
その他		1		1				2
合 計		5	3	3	1	1	2	15

3 時間別発生状況



4 過去10年間の食用油火災の概要

	出火件数 (件) (A)	食用油火災 (件) (B)	(B)/(A) 構成比 (%)	焼損棟数 全・半焼以上 (棟)	焼損床面積 (㎡)	焼損 表面積 (㎡)	全火災損害額 (千円)	損害額 構成比 (%)	死者 (人)	負傷者 (人)
							食用油火災損害額 (千円)			
16年	274	29	10.6	1	81		166,578 8,595	5.2		6
17年	323	36	11.1	2	295		253,338 17,047	6.7		15
18年	272	37	13.6	4	505		207,248 20,377	9.8		7
19年	266	44	16.5	2	185		306,677 6,184	2.0	1	12
20年	206	19	9.2		9	9	171,656 382	0.2		3
21年	249	21	8.4	2	244	4	153,250 8,414	5.5		12
22年	183	29	15.8	4	618	2	163,424 29,093	17.8		11
23年	215	28	13.0	3	318	7	219,689 15,304	7.0		4
24年	197	22	11.2	7	724	13	209,858 49,730	23.7	2	9
25年	194	15	7.7	1	87	10	168,292 13,047	7.8		5
平均	238	28	11.8	3	307	5	202,001 16,817	8.3	0.3	8.4

5 過去10年間の食用油火災の月別発生状況

(単位：件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
16年	1	6	3	3		1	1	1	3	1	5	4	29
17年	6	2	2		6	4	1	2		6	3	4	36
18年	2	1	3	2	5	4	1	3	3	6	4	3	37
19年	3	1	7	1	5	5	1	1	3	8	4	5	44
20年	3		4	1			1	2	3	3	1	1	19
21年	3	2	1	2	1	3	1	3	2	2		1	21
22年	2	3	3	3	4	2	1	2	1	3	5		29
23年	4		2	3	3	1	2	1	2	3	2	5	28
24年	1	2	2	3	1	4	2		2	2	2	1	22
25年	2		1	2	2	2			2		2	2	15
平均	3	2	3	2	3	3	1	2	2	3	3	3	28

本 市 の 主 な 火 災 の 歴 史

年 月 日	時刻	町 名	原 因	棟数 (棟)	世帯数 (世帯)	面積 (㎡)	損害 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	備 考
延宝 6 . 4 . 4	-	下 町	-	2,331	-	-	-	-	-	
〃 8 . 1 . 11	-	平 之	-	3,308	-	-	-	64	-	
元禄 9 . 4 . 23	-	上和泉屋	放 火	1,434	-	-	-	-	-	
〃 16 . 2 . 6	-	加 治 屋	〃	2,008	-	-	-	1	-	
明治 10 . 5 . 5	-	上 町	兵 火	-	-	-	-	-	-	
〃 10 . 6 . 29	-	呉 服	〃	2,000	-	-	-	-	-	
〃 〃	-	市街大半	〃	9,778	-	-	-	-	-	
〃 26 . 3 . 9	10:00	六 日	-	65	-	-	-	-	-	
〃 26 . 3 . 28	10:00	東 千 石	-	92	-	-	-	-	-	
〃 27 . 1 . 24	2:50	金 生	-	572	-	-	-	-	-	
〃 29 . 10 . 30	4:20	仲	-	15	-	-	-	-	-	
〃 30 . 6 . 8	14:00	西 千 石	-	-	-	-	-	1	-	
〃 32 . 1 . 26	14:00	東 千 石	-	33	-	-	-	-	-	
〃 34 . 10 . 23	3:00	〃	-	362	-	-	-	-	3	
〃 35 . 2 . 21	4:40	〃	-	30	-	-	-	-	-	
〃 37 . 10 . 13	3:00	生 産	-	58	-	-	-	-	-	
〃 40 . 10 . 2	4:20	和 泉 屋	-	45	-	-	-	-	-	
〃 43 . 3 . 5	1:40	柳	-	57	-	-	-	-	-	
〃 44 . 9 . 6	5:00	山 之 口	-	96	-	-	-	-	-	
〃 44 . 11 . 9	9:00	船 津	-	45	-	-	-	-	-	
大正 3 . 1 . 12	-	東桜島村	桜島噴火	700	-	-	3,740	53	33	
〃 3 . 5 . 27	0:50	易 居	た き 火	270	-	7,920	-	-	-	
〃 3 . 10 . 21	15:00	山 下	子 供 の 火 遊 び	46	-	-	-	-	1	
〃 6 . 1 . 16	17:15	東 千 石	火鉢の火	150	-	-	350	-	-	
〃 7 . 4 . 5	2:00	加 治 屋	かまどの 火	46	-	-	50	-	-	
〃 8 . 1 . 13	2:00	山 之 口	煙 突 の 過 熱	38	-	5,851	152	-	-	
〃 8 . 9 . 29	0:00	易 居	ローソク の 放 置	120	-	-	500	3	-	

本市の主な火災の歴史(つづき)

年 月 日	時刻	町 名	原 因	棟 数 (棟)	世帯数 (世帯)	面積 (㎡)	損害 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	備 考
大正 10. 2. 20	4:15	春日	放火	38	-	2,178	100	-	-	
〃 11. 1. 30	11:30	東桜島村	いろりの 不始末	450	-	-	600	-	-	
〃 11. 4. 15	21:45	-	放火	2	-	759	-	-	-	(玉江小学校 12教室)
昭和 2. 9. 14	4:00	山之口	炊事火の 不始末	4	-	-	-	1	6	(映画館・帝国館・天文館 市場・丸天市場全焼)
〃 3. 1. 29	夕刻	薬師	不明	-	-	-	-	-	-	(鹿児島高等女子 学校全焼)
〃 3. 1. 30	0:00	東桜島村	提灯の火	93	-	-	-	-	-	
〃 4. 2. 3	早朝	〃	マッチの 投げ捨て	44	-	-	-	-	-	
〃 5. 9. 25	4:00	山之口	たばこ	9	-	-	100	-	-	(天文館市場・丸天市場全 焼)
〃 7. 5. 31	3:15	南林寺	-	16	-	-	29	-	-	(中華料亭住友 等全焼)
〃 9. 8. 7	2:50	郡元	たばこ	(鴨池公会堂全焼)			35	-	-	(師範学校寮)
〃 9. 10. 2	22:00	易居	煙突の 火の粉	28	-	-	100	-	-	
〃 10. 1. 30	10:00	武	たばこ	3	-	4,373	100	-	-	
〃 10. 3. 21	12:10	南林寺	煙突の 過熱	10	-	-	350	-	-	(銀座呉服店)
〃 10. 12. 27	23:30	樋之口	放火	36	-	-	-	-	-	
〃 11. 3. 12	1:30	易居	煙道の 不備	25	-	-	100	-	-	
〃 11. 5. 2	3:00	西千石	放火	-	-	729	15	-	-	(山下小学校)
〃 12. 4. 13	-	塩屋	たばこ	23	-	1,630	22	-	-	
〃 12. 5. 10	1:00	山之口	-	22	-	-	-	-	-	
〃 13. 3. 2	3:20	下荒田	放火	-	-	181	2	-	-	(八幡小学校)
〃 13. 5. 26	2:40	山下	不明	3	-	-	100	-	-	(青年学級校舎)
〃 14. 10. 23	2:50	東千石	たばこ	12	-	-	300	-	-	(劇場中座)
〃 15. 5. 1	5:31	南林寺	こうじ室 保温火	-	-	-	-	-	-	
〃 20. 6. 17	夜半	市街大半	空襲	22,142	-	-	-	2,316	3,500	
〃 24. 9. 19	10:03	小川	放火	58	-	3,993	1,450	-	2	
〃 25. 12. 3	0:30	小川	火鉢	179	185	7,042	70,100	-	14	(小川町大火)

本市の主な火災の歴史(つづき)

年 月 日	時刻	町 名	原 因	棟 数 (棟)	世帯数 (世帯)	面積 (㎡)	損害 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	備 考	
昭和 27. 4. 24	0:15	長田	ラジオの 過熱	65	40	22,730	494,000	－	52	(真砂大火)	
〃 27. 4. 25	3:23	易居	たばこの 吸いがら	90	86	11,537	2,188	－	－		
〃 28. 3. 25	23:08	塩屋	飛火	9	7	1,307	6,780	－	2		
〃 28. 3. 31	14:57	郡元	〃	61	104	2,739	8,043	－	14		
〃 28. 4. 8	1:21	山之口	不明	18	20	2,414	13,287	－	1		
〃 29. 5. 2	3:05	大黒	かまどの 不始末	16	10	1,396	16,180	－	－		
〃 31. 3. 10	1:20	樋之口	放火	1	－	957	29,000	－	7	(甲東中学校)	
〃 32. 2. 18	1:30	小川	かまどの 過熱	10	23	1,092	8,515	13	2	(滑川市場)	
〃 33. 6. 21	4:03	塩屋	たばこの 吸いがら	23	18	1,624	6,230	－	－	(連続放火事件) (昭38. 12. 18 犯人逮捕)	
〃 35. 4. 16	13:18	郡元	育すう器	59	160	5,289	24,407	－	12		(桜岳寮)
〃 35. 4. 18	13:53	鴨池	放火	1	－	15	1	－	－		
(春から秋にかけ、天保山町、上荒田町、下荒田町、鴨池町などで18件)											
〃 36. 3. 23	18:05	山之口	電 気 アイロン	4	14	1,729	7,530	－	2		
〃 36. 10. 2	1:30	郡元	放火の疑い	751	774	19,561	98,194	－	19	(港大火)	
〃 37. 3. 26	22:49	塩屋	不明	9	9	1,303	6,475	－	－	(タンクローリー) (物産会社) (連続放火事件)	
〃 37. 4. 28	17:38	洲崎	たばこ	4	－	1,912	6,050	－	1		
〃 37. 8. 13	8:35	塩屋	ガソリン 引火	－	－	－	2,254	2	1		
〃 38. 7. 31	5:31	西田	不明	7	4	1,087	26,000	1	4		
〃 38. 11. 5	0:25	南林寺	放火	8	8	1,335	15,650	－	1		
(昭和38年11月初旬から12月中旬にかけ、加治屋町、南林寺町、山之口町、樋之口町などで14件) (放火次郎)											
〃 40. 2. 25	15:40	郡元	マッチの 燃えさし	99	123	3,309	75,130	－	7	(新川大火)	
〃 40. 10. 13	10:35	東桜島	不明	54	28	2,261	23,770	－	1	(宮元大火)	
〃 40. 10. 25	21:11	郡元	〃	24	67	998	17,870	－	2	(第二新川大火)	
〃 41. 11. 18	2:50	西千石	〃	1	－	2,117	10,203	－	－	(山下小学校)	
〃 42. 4. 7	11:26	樋之口	子供の 火遊び	8	21	929	19,243	－	22		
〃 43. 2. 18	4:37	甲突	練炭火鉢 不始末	3	3	920	10,260	－	－		
〃 44. 1. 24	4:40	東千石	放火	6	19	1,600	19,820	－	1		

本市の主な火災の歴史(つづき)

年 月 日	時刻	町 名	原 因	棟 数 (棟)	世帯数 (世帯)	面積 (㎡)	損害 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	備 考
昭和 44 . 3 . 4	22:50	武	不明	4	15	805	15,740	-	-	
〃 44 . 3 . 5	20:00	東千石	たき火	6	7	1,087	34,450	-	3	
〃 45 . 10 . 31	1:30	千日	不明	5	4	3,852	59,300	4	9	(天文館)
〃 45 . 11 . 21	3:27	城南	たばこの 投げ捨て	6	10	778	12,711	-	1	
〃 46 . 5 . 18	0:50	小山田	不明	7	-	1,898	7,380	-	1	(小山田小学校)
〃 46 . 9 . 12	3:20	下荒田	たばこの 不始末	4	24	647	14,320	1	2	
〃 47 . 2 . 22	15:35	上本	〃	5	10	373	11,861	1	-	
〃 47 . 10 . 5	18:10	原良	子供の 火遊び	3	20	357	15,555	-	-	
〃 47 . 11 . 26	20:02	柳	石 油 ストーブ	10	14	615	25,049	1	1	(上町市場)
〃 48 . 5 . 27	19:30	名山	不明	10	15	867	24,115	-	-	(名山市場東側)
〃 49 . 1 . 12	14:30	永吉	〃	1	-	30	1,500	3	-	
〃 49 . 6 . 25	22:53	甲突	LP G コンロ	2	-	357	7,180	2	-	
〃 49 . 8 . 11	8:19	草牟田	〃	9	-	767	71,800	-	-	(草牟田市場)
〃 50 . 1 . 1	7:22	下荒田 四丁目	たばこの 不始末	10	-	418	11,100	-	-	
〃 50 . 5 . 22	16:15	上本	石 油 ストーブ	5	-	234	9,980	-	2	
〃 51 . 1 . 8	2:33	南林寺	不明	8	15	443	12,970	2	2	
〃 51 . 8 . 15	18:52	西田	提灯の ローソク	8	11	315	17,555	-	-	
〃 51 . 11 . 5	1:16	樋之口	裸電球が 接触	3	10	382	22,640	-	-	
〃 52 . 1 . 21	3:00	中央	放火の疑い	4	9	435	19,650	-	4	
〃 52 . 8 . 29	1:13	新屋敷	〃	5	9	215	19,740	-	-	
〃 52 . 10 . 10	10:11	上福元	子供の 火遊び	7	10	244	19,520	-	1	
〃 53 . 2 . 15	14:00	上福元	〃	7	4	466	13,850	-	-	
〃 53 . 9 . 19	14:41	清水	コンロの 消し忘れ	5	8	543	21,270	-	1	
〃 54 . 9 . 26	0:37	西千石	不明火	2	-	659	21,135	-	-	
〃 55 . 1 . 10	0:57	谷山塩屋	煙突の過熱	7	4	722	43,960	-	-	
〃 56 . 4 . 21	21:45	七ツ島 一丁目	不明火	-	-	-	472,000	-	-	(カラナアン パット号)
〃 57 . 12 . 3	8:10	中央	〃	7	6	334	37,350	-	-	(西駅一番街 アーケード)

本市の主な火災の歴史(つづき)

年 月 日	時刻	町 名	原 因	棟 数 (棟)	世帯数 (世帯)	面積 (㎡)	損害 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)	備 考
昭和 58. 1. 11	15:45	緑ヶ丘	L P G引火 爆発	3	-	170	14,730	2	-	
〃 58. 12. 28	22:04	郡元	放火	3	7	97	7,940	-	-	(連続放火 事件) (昭 6 2. 6. 1 7 犯 人逮捕)
(他に昭61. 6にかけて郡元・鴨池・紫原などで建物16件、車両5件)										
〃 59. 3. 7	0:02	東千石	不明火	5	3	585	33,130	-	1	(天文館アー ケード)
〃 60. 12. 16	13:42	永吉	照明器具	1	-	1,190	7,000	-	-	(鹿児島刑 務所)
〃 63. 7. 17	10:49	南 栄 二丁目	ガス溶断の 火が内装材 に着火	1	-	936	77,604	-	-	(倉庫)
平成 元. 4. 13	10:57	東開	ガス溶断 の火花が 過熱した	1	-	267	91,340	-	-	(倉庫)
〃 元. 4. 21	21:30	七ツ島 一丁目	金属粉破 片により 塵が発火	-	-	-	18,300	-	-	(金属加工協 同組合) 廃 車約2,000台
〃 元. 10. 26	8:52	新栄	不明火	2	-	1,117	158,184	-	-	(倉庫)
〃 2. 1. 7	22:35	城南	放火	13	16	199	9,432	-	2	(城南町城 南保育園付 近)
〃 2. 3. 1	4:10	三和	ロソクの火	9	6	241	13,680	-	2	(三和町港 地区)
〃 3. 4. 20	5:28	上本	食用油の 過熱着火	3	3	194	32,272	2	3	
〃 3. 11. 13	5:18	南栄 三丁目	粉塵爆発	1	-	-	32,403	-	2	(サイロ)
〃 4. 1. 8	13:57	上福元	子供の 火遊び	6	5	242	13,743	-	1	
〃 4. 6. 2	0:27	柳	炊飯器の サーモスタット 不良	5	5	198	10,767	-	-	
〃 5. 8. 21	14:12	谷山港 三丁目	漏電	1	-	525	127,062	-	-	
〃 6. 5. 13	3:54	小松原 一丁目	放火	1	-	72	3,200	-	-	(連続放火 事件)
(上記火災から2時間以内に6件の連続放火が発生、全半焼 5 棟、部分焼 6 棟、損害額合計49,054千円)										
〃 9. 9. 19	13:02	東開	焼却炉の 飛び火	6	-	779	92,477	-	1	(倉庫)
〃 10. 9. 16	17:40	下福元	不明	4	4	124	20,360	-	-	
〃 10. 11. 17	18:43	上福元	ストーブの 煙突の劣化 破損	3	1	296	20,050	-	-	
〃 11. 10. 10	13:27	千日	不明	4	2	934	24,550	-	-	天文館公園 付近
〃 15. 4. 11	13:27	西別府	不明	爆発損害 140	66	-	15,140	9	5	南国火花爆 発火災

自治体消防発足以後の火災概況

	出火件数 (件)	焼損棟数 ()内は 全・半焼数 (棟)	焼損面積 (㎡)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	死者 (人)	死者発生率	出火率	出火原因第1位	発生件数
昭 23	22	(36)	4,392	27	不 明	0	0.0	1.3	電 気 関 係	4
24	53	(78)	4,933	91	364	0	0.0	2.9	電 気 関 係	15
25	74	(229)	8,685	213	852	0	0.0	3.2	煙 突	26
26	92	(40)	2,696	27	108	1	0.4	3.9	煙 突	26
27	75	(209)	27,492	198	792	2	0.8	3.0	煙 突	17
28	127	(164)	13,279	187	748	0	0.0	4.9	煙 突	43
29	96	(48)	3,607	67	268	2	0.8	3.6	煙 突	28
30	148	(62)	2,482	61	244	2	0.8	5.4	煙 突	23
31	156	(67)	5,696	71	284	2	0.7	5.6	煙 突	31
32	179	(61)	5,954	62	248	13	4.8	6.4	煙 突	32
33	173	(105)	6,198	77	308	2	0.7	6.1	煙 突	28
34	204	(109)	7,521	120	480	1	0.4	7.1	煙 突	29
35	307	(192)	14,468	348	1,392	7	2.4	10.0	放 火 (放 火 の 疑 い を 含 む)	60
36	212	(841)	26,949	865	3,460	5	1.7	7.1	石 油 コ ン ロ	19
37	189	(80)	7,103	78	312	3	1.0	6.3	放 火 (放 火 の 疑 い を 含 む)	24
38	219	178 (85)	8,729	77	309	3	1.0	6.9	放 火 (放 火 の 疑 い を 含 む)	31
39	201	131 (54)	4,827	52	217	2	0.6	6.0	火 あ そ び	17
40	236	391 (259)	12,456	518	1,842	5	1.5	6.9	た ば こ	28
41	203	280 (151)	12,501	396	1,259	1	0.3	6.2	た ば こ	25
42	230	262 (129)	10,943	270	900	7	2.1	6.0	た ば こ	27
43	208	219 (81)	7,013	194	632	0	0.0	5.3	た ば こ	30
44	198	263 (117)	10,942	225	777	7	1.8	5.0	た ば こ	34
45	213	258 (103)	10,214	250	833	12	3.0	5.3	た ば こ ・ 火 あ そ び	19
46	233	248 (89)	8,715	283	851	5	1.2	5.6	た ば こ	28
47	192	219 (69)	5,465	240	719	4	1.0	4.5	た ば こ	27
48	214	242 (102)	6,752	268	736	6	1.4	4.8	た ば こ	31
49	256	243 (103)	6,420	209	681	11	2.5	5.7	た ば こ	32
50	199	177 (77)	6,378	225	620	6	1.3	4.4	こんろ (食用油の過熱着火～22)	29
51	199	168 (76)	6,454	188	568	8	1.7	4.2	た ば こ	23
52	203	166 (79)	5,009	208	617	7	1.5	4.2	こんろ (食用油の過熱着火～26)	39
53	240	231 (61)	4,771	168	538	7	1.5	4.9	こんろ (食用油の過熱着火～24)	37
54	213	193 (62)	5,709	225	664	9	1.9	4.2	こんろ (食用油の過熱着火～37)	42
55	260	241 (92)	7,290	240	713	7	1.4	5.1	こんろ (食用油の過熱着火～30)	40

自治体消防発足以後の火災概況

	出火 件数 (件)	焼損棟数 ()内は 全・半焼数 (棟)	焼損面積 (㎡)	り災世帯 (世帯)	り災人員 (人)	死者 (人)	死者 発生 率	出火 率	出火原因第1位	発生 件数
昭56	238	245 (82)	5,136	251	720	16	3.2	4.6	こんろ (食用油の過熱着火～32)	38
57	233	285 (89)	6,038	220	645	10	2.0	4.5	こんろ (食用油の過熱着火～37)	44
58	200	228 (59)	4,339	183	558	16	3.0	3.8	こんろ (食用油の過熱着火～36)	44
59	232	283 (75)	7,625	233	724	6	1.2	4.5	こんろ (食用油の過熱着火～40)	46
60	214	251 (68)	6,229	210	641	12	2.3	4.0	こんろ (食用油の過熱着火～45)	56
61	227	280 (67)	4,938	238	691	9	1.7	4.3	こんろ (食用油の過熱着火～58)	67
62	194	214 (50)	3,442	172	470	8	1.5	3.7	こんろ (食用油の過熱着火～46)	57
63	202	207 (40)	4,221	189	546	9	1.7	3.8	こんろ (食用油の過熱着火～59)	65
平元	214	241 (53)	6,224	174	509	4	0.8	4.0	こんろ (食用油の過熱着火～45)	53
2	184	216 (60)	3,541	159	470	4	0.8	3.4	こんろ (食用油の過熱着火～50)	58
3	207	214 (49)	5,214	160	471	12	2.3	3.9	こんろ (食用油の過熱着火～39)	49
4	212	209 (40)	2,940	168	466	2	0.4	3.9	こんろ (食用油の過熱着火～43)	48
5	190	191 (38)	3,148	139	385	4	0.7	3.5	こんろ (食用油の過熱着火～39)	42
6	202	237 (59)	5,399	179	495	9	1.7	3.7	こんろ (食用油の過熱着火～31)	44
7	193	214 (41)	3,909	177	469	3	0.6	3.5	こんろ (食用油の過熱着火～42)	51
8	198	234 (58)	6,143	183	536	11	2.0	3.6	こんろ (食用油の過熱着火～33)	38
9	167	178 (38)	3,175	154	414	4	0.7	3.0	こんろ (食用油の過熱着火～32)	41
10	175	174 (37)	3,052	141	353	8	1.5	3.2	こんろ (食用油の過熱着火～30)	40
11	180	179 (40)	3,407	137	320	7	1.3	3.2	こんろ (食用油の過熱着火～30)	41
12	287	216 (33)	2,630	165	459	6	1.1	5.2	こんろ (食用油の過熱着火～39)	60
13	247	160 (24)	2,293	142	359	4	0.7	4.5	こんろ (食用油の過熱着火～39)	52
14	306	188 (24)	2,636	137	355	5	0.9	5.5	こんろ (食用油の過熱着火～50)	66
15	243	206 (24)	4,365	230	511	18	3.2	4.4	こんろ (食用油の過熱着火～29)	50
16	274	191 (31)	2,437	148	381	6	1.0	4.5	こんろ (食用油の過熱着火～29)	47
17	323	240 (50)	4,832	170	409	10	1.6	5.3	た き 火	73
18	272	178 (30)	2,994	149	376	6	1.0	4.5	こんろ (食用油の過熱着火～37)	53
19	266	200 (38)	5,099	158	408	9	1.5	4.4	こんろ (食用油の過熱着火～44)	57
20	206	157 (38)	2,860	115	245	7	1.2	3.4	こんろ (食用油の過熱着火～19)	33
21	249	169 (39)	3,009	146	343	6	1.0	4.1	放 火 (放 火 の 疑 い 含 む)	41
22	183	166 (29)	3,311	179	353	7	1.2	3.1	こんろ (食用油の過熱着火～29)	40
23	215	174 (36)	3,226	124	272	8	1.3	3.5	こんろ (食用油の過熱着火～28)	40
24	197	187 (43)	3,981	136	330	11	1.8	3.2	こんろ (食用油の過熱着火～21)	37
25	194	147 (35)	3,559	100	231	5	0.8	3.2	た き 火	39

消防団



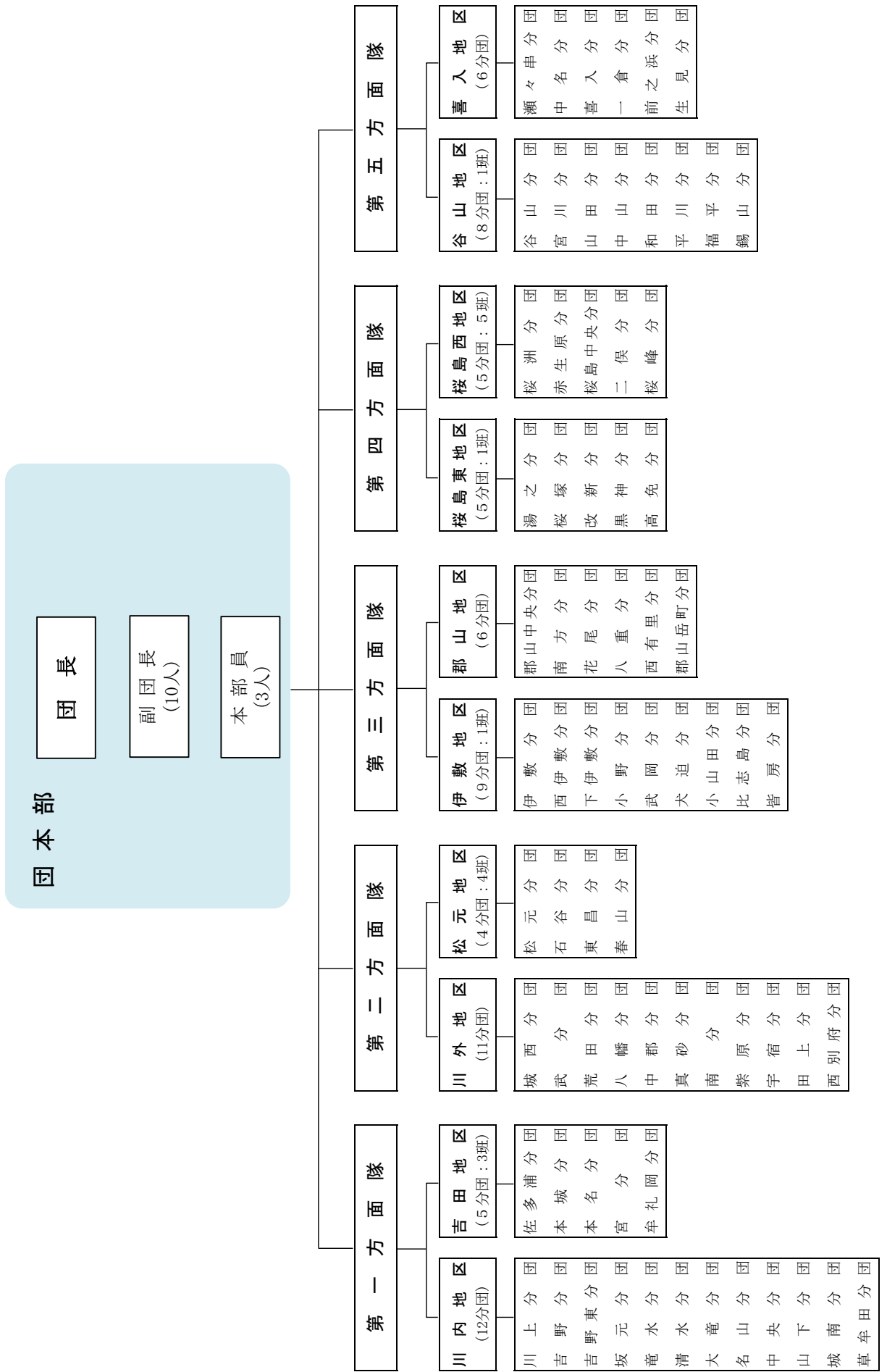
消防団

鹿児島市消防団のあらまし	133
鹿児島市消防団の組織	134
鹿児島市消防団現勢	135
消防団の定員・所轄区域	136～139
報酬及び費用弁償	140
消防団員の入団・退団状況	140
消防団員の年齢	140
消防団員の勤続年数	140
消防団の活動状況	140
公務災害補償の状況	141
退職報償金の支払い状況	141
消防団員被服等貸与状況	141
消防団消防車両等装備一覧	142～145

鹿児島市消防団のあらまし

- 昭和22年4月 ○ 消防団令が交付され、従来の警防団が消防団と改称された。
- 昭和23年8月 ○ この勅令により自治体消防団としての鹿児島市消防団が組織された。
- 初代 消防団長 増田 静 就任 (18分団 672人)
- 昭和24年12月 ○ 第2代 消防団長 久保本吉 就任 (1団17分団 643人)
- 昭和25年10月 ○ 伊敷村及び東桜島村の編入により3消防団29分団に改組
 - ・鹿児島市消防団 (団長－久保本吉 以下－577人)
 - ・鹿児島市伊敷消防団 (団長－保坂与一 以下－206人)
 - ・鹿児島市東桜島消防団 (団長－坂元虎八 以下－105人)
- 昭和29年4月 ○ 3消防団を1団に改組 (団長－久保本吉 29分団5班 672人)
- 昭和42年4月 ○ 谷山市と合併 (団長－久保本吉 40分団5班 875人)
- 昭和48年2月 ○ 第3代 消防団長 濱島藤蔵 就任
- 昭和52年2月 ○ 竜水分団に「竜ヶ水班」、福平分団に「火の河原班」を新設
(1団 40分団 7班 875人)
- 昭和56年1月 ○ 第4代 消防団長 高橋 一 就任
- 昭和56年4月 ○ 第5代 消防団長 米満正治 就任
- 市街地の拡大等により分団の編成替えを実施
 - ・伊敷分団団地班を西伊敷分団へ
 - ・吉野分団坂元班を坂元分団へ
 - ・田上分団西別府班を西別府分団へ
- } 昇格 (1団 43分団 4班 875人)
- 昭和62年4月 ○ 吉野地区の所轄区域の縮小化を図るために、吉野分団所轄区域を分割し吉野東分団
を新設 (1団 44分団 4班 875人)
- 昭和63年12月 ○ 第6代 消防団長 京田朝夫 就任
- 平成4年4月 ○ 第7代 消防団長 中山 巽 就任
- 平成5年4月 ○ 第8代 消防団長 上ノ下重信 就任
- 武岡・明和地区の人口増加に伴い武岡分団を新設
(1団 45分団 4班 890人)
- 平成11年4月 ○ 第9代 消防団長 豊永義夫 就任
- 平成16年11月 ○ 周辺5町 (吉田町・桜島町・喜入町・松元町・郡山町) と合併し、組織の改組を
行う。 (1団 5方面隊 72分団 21班 1,521人)
- 平成18年4月 ○ 組織の再編を行う (1団 5方面隊 71分団 15班 1,521人)
- 平成19年12月 ○ 女性消防団員24人採用
- 平成20年3月 ○ 消防団員協力事業所表示制度導入
- 平成25年4月 ○ 第10代 消防団長 古野満雄 就任

鹿 児 島 市 消 防 団 の 組 織



鹿 児 島 市 消 防 団 現 勢

(平26. 4. 1)

鹿 児 島 市 長

消 防 団 本 部
 消防団長
 副団長(10人)
 本部長(3人)

方 面 隊		第 1 方 面 隊	第 2 方 面 隊	第 3 方 面 隊	第 4 方 面 隊	第 5 方 面 隊	5 方 面 隊
地 区	別	川 内 地 区	川 外 地 区	伊 敷 地 区	郡 山 地 区	桜 島 東 地 区	桜 島 西 地 区
分 団 ・ 班 数		12分団	11分団	9分団・1班	6分団	5分団・1班	5分団・5班
団 員 数 ※1		220人	200人	193人	111人	93人	140人
タ ン ク 車							2台
ポ ン プ 車				1台	2台		1台
ポ ン プ 積 載 車		12台	11台	9台	4台	6台	7台
小 型 ポ ン プ		12台	11台	10台	4台	6台	7台
方 面 隊 別 の 小 計		17分団・3班	15分団・4班	15分団・1班	10分団・6班	14分団・1班	71分団15班
団 員 数		340人	320人	304人	233人	310人	1,507人
タ ン ク 車 数					2台		2台
ポ ン プ 車 数		6台	2台	3台	1台	6台	18台
積 載 車 数		14台	17台	13台	13台	9台	66台
小 型 ポ ン プ		16台	17台	14台	13台	15台	75台

※1の団員数には、女性団員24人を含む。

消防団の定員・所轄区域

鹿児島市消防団(1団71分団15班 1521人)

(平26. 4. 1)

団 長	副 団 長	本 部 員	方 面 隊	地 区 名	分団名 (所在地)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	所 轄 区 域 (町 名)
1	10	3	5	10		71	71	125	307	933	1507	
団 本 部			第一方面隊	川内地区	川上 (川上町 833-5)	1	1	2	6	18	28	岡之原、緑ヶ丘、川上、下田（一部）
					吉野 (吉野町 9046-10)	1	1	2	5	16	25	吉野（一部）、大明丘一丁目～三丁目、下田（一部）
					吉野東 (吉野町 5196-3)	1	1	2	4	10	18	吉野（一部）
					坂元 (東坂元四丁目18-1)	1	1	1	3	9	15	坂元（一部）、下田（一部）、東坂元一丁目～四丁目
					竜水 (吉野町 9993)	1	1	1	3	9	15	吉野（一部）
					清水 (清水町 18-7)	1	1	2	4	10	18	祇園之洲、清水、鼓川、池之上、稲荷、春日、柳、浜(一部)吉野（一部）
					大竜 (小川町 5-4)	1	1	2	4	11	19	坂元(一部)、上竜尾、下竜尾、大竜、冷水長田、浜(一部)、上本、小川、西坂元
					名山 (易居町 10-17)	1	1	1	3	9	15	易居、山下、中、金生、泉、名山、本港新、城山
					中央 (山之口町 11-22)	1	1	1	3	9	15	東千石、住吉、堀江、大黒、呉服、新、船津、千日、山之口
					山下 (西千石町 9-7)	1	1	2	4	10	18	平之、西千石、加治屋、照国
				城南 (南林寺町 15-7)	1	1	1	3	9	15	城南、松原、甲突、新屋敷、樋之口、南林寺、錦江	
				草牟田 (草牟田二丁目1-5)	1	1	2	4	11	19	新照院、草牟田、草牟田一丁目～二丁目、永吉一丁目～三丁目、玉里、城山一丁目～二丁目	
				吉田地区	佐多浦 (西佐多町 269)	1	1	2	6	20	30	東佐多、西佐多、本城(一部)、本名(一部)
					西部班 (西佐多町1863-1)							
					本城 (本城町 1687 - 2)	1	1	2	4	12	20	本城(一部)
					本名 (本名町 1222 - 2)	1	1	2	6	20	30	本名(一部)、宮之浦(一部)
本吉田班 (本名町 3028 - 3)												
都迫班 (本名町 5168 - 1)												
宮 (宮之浦町 1399 - 1)	1	1	2	4	12	20	宮之浦(一部)					
牟礼岡 (牟礼岡3丁目1 - 15)	1	1	2	4	12	20	牟礼岡一丁目～三丁目、宮之浦(一部)					

団	副	本	方	地	分団名	分	副	部	班	団		
	団	部	面	区	(所在地)	団	分				計	所 轄 区 域 (町 名)
長	長	員	隊	名		長	長	長	長	員		
団 												

団 長	副 団 長	本 部 員	方 面 隊	地 区 名	分団名 (所在地)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	所 轄 区 域 (町 名)
団 												

団 長	副 団 長	本 部 員	方 面 隊	地 区 名	分団名 (所在地)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	所 轄 区 域 (町 名)
団 本 部			第 四 方 面 隊	桜島西部地区	桜 洲 (桜島小池町1447-3)	1	1	2	6	18	28	桜島赤水、桜島横山、桜島小池
					赤 水 班 (桜島赤水町1116-2)							
					赤 生 原 (桜島赤生原町178-1)	1	1	2	6	18	28	桜島赤生原、桜島武 (一部)
					武 班 (桜島武町314-1)							
					桜 島 中 央 (桜島藤野町910)	1	1	2	6	18	28	桜島藤野、桜島西道、桜島武 (一部)
					西 道 班 (桜島西道町179)							
					二 俣 (桜島二俣町224-1)	1	1	2	6	18	28	桜島松浦、桜島二俣
					松 浦 班 (桜島松浦町23-1)							
					桜 峰 (桜島白浜町1269)	1	1	2	6	18	28	桜島白浜
					東 白 浜 班 (桜島白浜町963-2)							
			第 五 方 面 隊	谷 山 地 区	谷 山 (上福元町5855-2)	1	1	2	6	20	30	上福元、谷山中央一丁目～八丁目、西谷山一丁目～二丁目、和田一丁目(一部)、東開、下福元(一部)、卸本(一部)、南栄一丁目～三丁目、魚見(一部)、小原、東谷山一丁目～六丁目、小松原一丁目～二丁目、希望ヶ丘、清和一丁目、清和二丁目(一部)
					宮 川 (五ヶ別府町470-2)	1	1	2	4	12	20	五ヶ別府、星ヶ峯五丁目、皇徳寺台四丁目～五丁目
					山 田 (山田町2341-3)	1	1	2	5	16	25	山田、桜ヶ丘一丁目、星ヶ峯一丁目～四丁目、星ヶ峯六丁目、皇徳寺台一丁目～三丁目
					中 山 (中山町1-9)	1	1	2	6	20	30	中山、中山一丁目～二丁目、魚見(一部)、桜ヶ丘二丁目～六丁目、自由ヶ丘一丁目～二丁目、東谷山七丁目、清和二丁目(一部)
					和 田 (坂之上三丁目21-32)	1	1	2	4	12	20	和田一丁目(一部)、和田二丁目～和田三丁目、慈眼寺、錦江台一丁目～三丁目、坂之上一丁目～五丁目、坂之上六丁目(一部)、坂之上七丁目(一部)、坂之上八丁目(一部)、下福元(一部)、卸本(一部)、南栄四丁目～六丁目、谷山港一丁目～三丁目
					平 川 (平川町3450-4)	1	1	2	5	16	25	平川(一部)
					福 平 (下福元町8032-6)	1	1	2	6	20	30	下福元(一部)、光山一丁目～二丁目、坂之上六丁目(一部)、坂之上七丁目(一部)、坂之上八丁目(一部)、七ツ島一丁目～二丁目、平川(一部)
					火 の 河 原 班 (平川町6220)							
					錫 山 (下福元町11544-1)	1	1	1	3	9	15	下福元(一部)
				喜入地区	瀬 々 串 (喜入瀬々串町3021-6)	1	1	2	4	12	20	喜入瀬々串
					中 名 (喜入中名町1112-1)	1	1	2	4	12	20	喜入中名
					喜 入 (喜入町7096)	1	1	2	4	12	20	喜入
					一 倉 (喜入一倉町5325-19)	1	1	1	3	9	15	喜入一倉
					前 之 浜 (喜入前之浜町7086-1)	1	1	2	4	12	20	喜入前之浜
					生 見 (喜入生見町1345-18)	1	1	2	4	12	20	喜入生見

報 酬 及 び 費 用 弁 償

(平26.4.1)

階 級	報 酬	費 用 弁 償	
団長	(年額) 86,300円	(1) 水火災の場合1回につき	6,400円
副団長	(") 68,800円	(2) 警戒の場合1回につき	6,400円
分団長	(") 62,200円	(3) 訓練の場合1回につき	6,400円
副分団長	(") 40,700円	(4) ばや及び軽微な作業一回につき	3,200円
部長	(") 38,700円		
班長	(") 37,700円		
団員	(") 36,700円		
分団の庶務従事者	(月額) 3,200円		
消防車の運転 整備担当者	(") 3,000円		

消 防 団 員 の 入 団 ・ 退 団 状 況

(平成25年度)

年 齢	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	計 平均年齢
入 団 者	0	9	11	20	17	9	11	2	3	0	82人 35.9歳
退 団 者	0	1	2	7	10	12	7	3	8	35	85人 51.9歳
退 団 者 勤続年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上				計 平均勤続年数
人 員	16	15	12	7	9	7	19				85人 17年

消 防 団 員 の 年 齢

(平26.4.1)

年 齢	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	計 平均年齢
人 員	0	19	45	138	194	172	191	172	216	339	1,486人 48.9歳

消 防 団 員 の 勤 続 年 数

(平26.4.1)

勤続年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計 平均勤続年数
人 員	320	332	201	180	154	114	185	1,486人 14年

消 防 団 の 活 動 状 況

(平成25年度)

	火 災		風水害・救助作業		演 習 ・ 訓 練	
	建 物	そ の 他	風 水 害	救助作業	演 習	訓 練
出場 件数	93 件	9 件	3 件	9 件	68 件	110 件
出場 分団	238 分団	10 分団	9 分団	20 分団	214 分団	1030 分団
出場 人員	1,948 人	63 人	66 人	160 人	1,726 人	13,385 人

研 修 ・ そ の 他					
項 目	回数	人員	項 目	回数	人 員
新入団員研修	2	94	地区幹部会議	4	324
庶務担当者研修	1	71	風 水 害 研 修	5	85
機関担当者研修	1	169	救急関係研修	3	340
団長副団長研修	1	11	救急講習指導	175	455
分団長副分団長研修	2	140	防 火 広 報	25	6,908
部 長 班 長 研 修	2	219	住宅訪問広報	2	2,487
消防団幹部会議	7	207	年 末 警 戒	10	1,498
出場準備作業	204	507	そ の 他	170	1,625

公務災害補償の状況

補償別 区分		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		消防 団員	消防作業 従事者	消防 団員	消防作業 従事者	消防 団員	消防作業 従事者	消防 団員	消防作業 従事者
療	養 補 償		1					2	
休	業 補 償							2	
葬	祭 補 償								
損害 補償	障害補償年金								
	障害補償一時金								
遺族 補償	遺族補償年金	2	3	2	2	2	2	2	2
	遺族補償一時金								

(注1) 遺族補償年金4名のうち、消防作業従事者2名は昭和44年度以降、消防団員2名は平成8年度以降受給している者。

退職報償金の支払い状況

(平成25年度)

支給階級	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計	報償金合計 (千円)
団 長								
副 団 長						1	1	859
分 団 長						3	3	2,397
副 分 団 長						3	3	2,277
部 長				3	3	9	15	8,862
班 長		1	5	3	2		11	3,965
団 員	14	11	3	3	2	3	36	8,659
計	14	12	8	9	7	19	69	27,019

消防団員被服等貸与状況

(平26.4.1)

品 目	数 量	貸 与 期 間	貸 与 区 分
制 服	1	き 損 時 取 替	全 団 員
制 帽	1	〃	〃
盛 夏 服	1	〃	〃
作 業 帽	1	4 年	〃
夏 活 動 服	1	〃	〃
冬 活 動 服	1	6 年	〃
雨 衣	1	き 損 時 取 替	〃
ネ ク タ イ	1	〃	〃
ベ ル ト	1	4年・6年・き損時取替	〃
階 級 章	1	き 損 時 取 替	〃
靴 女性 短靴	1	〃	女 性 団 員
編 上 靴	1	6 年	全 団 員
エ ン ブ レ ム	1	き 損 時 取 替	〃
バ ッ グ	1	〃	女 性 団 員
安 全 帽	—	き 損 時 取 替	分 団 配 置
防 火 帽	—	〃	〃
防 火 衣	—	〃	〃
外 と う	—	〃	〃

消 防 団 消 防 車

No.	分 団（ 班 ） 名	自			動			
		車 両 番 号		車 名	購 入 年 月 日	購 入 価 格 (千円)	積 載 別	定 員 (人)
1	桜島中央（西道班）	鹿児島 88 す 7282	日 野	8. 12. 20	16,377	タンク車	7	
2	赤 生 原	鹿児島 800 す 4555	い す ゞ	25. 2. 26	23,993	タンク車	7	
3	瀬 々 串	鹿児島 88 す 5220	い す ゞ	6. 11. 29	12,051	ポンプ車	10	
4	中 名	鹿児島 88 す 6255	い す ゞ	7. 12. 20	11,937	ポンプ車	10	
5	前 之 浜	鹿児島 88 す 7413	い す ゞ	9. 2. 17	11,330	ポンプ車	10	
6	本 城	鹿児島 88 す 8299	ト ヨ タ	9. 10. 27	----	ポンプ車	7	
7	本名（都迫班）	鹿児島 88 す 8298	ト ヨ タ	9. 10. 27	----	ポンプ車	7	
8	石谷（仁田尾班）	鹿児島 88 す 8488	い す ゞ	9. 12. 19	1,364	ポンプ車	8	
9	佐 多 浦	鹿児島 800 さ 2471	ト ヨ タ	12. 12. 19	----	ポンプ車	7	
10	本名（本吉田班）	鹿児島 800 さ 2470	ト ヨ タ	12. 12. 19	----	ポンプ車	7	
11	郡 山 中 央	鹿児島 800 さ 3574	ト ヨ タ	13. 10. 2	14,837	ポンプ車	8	
12	喜 入	鹿児島 800 さ 5448	い す ゞ	15. 2. 24	14,091	ポンプ車	10	
13	一 倉	鹿児島 800 さ 7858	日 野	17. 2. 23	8,925	ポンプ車	9	
14	南 方	鹿児島 800 す 327	日 野	19. 9. 10	11,025	ポンプ車	9	
15	牟 礼 岡	鹿児島 800 す 2317	い す ゞ	22. 3. 18	13,913	ポンプ車	9	
16	東昌（入佐班）	鹿児島 800 す 3068	い す ゞ	23. 3. 16	15,004	ポンプ車	9	
17	小 山 田	鹿児島 800 す 3636	い す ゞ	24. 1. 10	15,540	ポンプ車	9	
18	本 名	鹿児島 800 す 3637	い す ゞ	24. 1. 10	15,540	ポンプ車	9	
19	桜 峰	鹿児島 800 す 4564	い す ゞ	25. 2. 26	15,330	ポンプ車	9	
20	生 見	鹿児島 800 す 5170	い す ゞ	25. 12. 2	15,855	ポンプ車	9	
21	郡 山 岳 町	鹿児島 88 す 6161	ト ヨ タ	7. 11. 24	3,699	積 載 車	9	
22	湯 之	鹿児島 88 す 6162	ト ヨ タ	7. 11. 27	2,654	積 載 車	10	
23	西 別 府	鹿児島 88 す 6163	ト ヨ タ	7. 11. 27	2,376	積 載 車	10	
24	平 川	鹿児島 88 す 6204	ト ヨ タ	7. 12. 7	2,376	積 載 車	10	
25	紫 原	鹿児島 88 す 6205	ト ヨ タ	7. 12. 7	2,376	積 載 車	10	
26	佐多浦（西部班）	鹿児島 88 す 6502	ト ヨ タ	8. 3. 22	----	積 載 車	9	
27	山 田	鹿児島 88 す 7001	三 菱	8. 9. 26	2,240	積 載 車	10	
28	錫 山	鹿児島 88 す 7002	三 菱	8. 9. 26	2,240	積 載 車	10	
29	皆 房	鹿児島 88 す 7003	三 菱	8. 9. 26	2,240	積 載 車	10	
30	比 志 島	鹿児島 88 す 7004	三 菱	8. 9. 26	2,240	積 載 車	10	
31	西 有 里	鹿児島 88 す 7225	ト ヨ タ	8. 12. 6	3,584	積 載 車	9	
32	二 俣	鹿児島 88 す 8111	ト ヨ タ	9. 9. 11	3,549	積 載 車	9	
33	桜塚（野尻班）	鹿児島 88 す 8125	ト ヨ タ	9. 9. 18	2,331	積 載 車	10	
34	下 伊 敷	鹿児島 88 す 8308	ト ヨ タ	9. 10. 30	2,331	積 載 車	10	
35	大 竜	鹿児島 88 す 8309	ト ヨ タ	9. 10. 30	2,331	積 載 車	10	
36	中 山	鹿児島 88 す 8310	ト ヨ タ	9. 10. 30	2,331	積 載 車	10	
37	田 上	鹿児島 88 す 9574	三 菱	10. 12. 21	2,199	積 載 車	10	
38	真 砂	鹿児島 88 す 9577	三 菱	10. 12. 21	2,199	積 載 車	10	
39	黒 神	鹿児島 88 す 9656	三 菱	11. 1. 22	2,199	積 載 車	10	
40	竜 水	鹿児島 88 す 9658	三 菱	11. 1. 22	2,199	積 載 車	10	
41	二俣（松浦班）	鹿児島 800 さ 427	ト ヨ タ	11. 8. 30	3,990	積 載 車	9	
42	福 平	鹿児島 800 さ 556	三 菱	11. 10. 6	2,199	積 載 車	10	
43	高 免	鹿児島 800 さ 557	三 菱	11. 10. 6	2,199	積 載 車	10	
44	伊 敷	鹿児島 800 さ 558	三 菱	11. 10. 6	2,199	積 載 車	10	
45	荒 田	鹿児島 800 さ 559	三 菱	11. 10. 6	2,199	積 載 車	10	

両 等 装 備 一 覧

(平26. 4. 1)

車				小 型 ポ ン プ				ジェット	チェーンソー	発 電 機	ホ ー ス 数
車両総重量 (kg)	長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)	ポ ン プ 名	級 別	購 入 年 月 日	購入価格 (千 円)	シューター			
7,475	6.61	2.20	2.70	----	----		(2,000L)		1	1	30
7,525	6.21	2.22	2.77	----	----		(1,500L)		1	1	30
4,040	5.66	1.87	2.43	ラビット	B-3	16.11.18	1,134	2	1	1	30
4,040	5.39	1.89	2.41	ラビット	B-3	16.11.18	1,134	2	1	1	30
3,970	5.48	1.88	2.45	ラビット	B-3	16.11.18	1,134	2	1	1	30
3,355	5.35	1.81	2.33	シバウラ	C-1	----	----		1	1	30
3,355	5.35	1.81	2.33	----	----				1	1	30
4,160	5.44	1.88	2.63	----	----				1	1	30
3,535	5.64	1.80	2.27	----	----				1	1	30
3,535	5.64	1.80	2.27	シバウラ	C-1	----	----		1	1	30
4,280	5.21	1.88	2.70	----	----			1	1	2	30
4,260	5.40	1.88	2.45	ラビット	B-3	16.11.18	1,134	2	1	1	30
4,195	5.19	1.88	2.45	ラビット	B-3	16.11.18	1,134	2	1	1	30
4,525	5.48	1.88	2.42	----	----			1	1	1	30
4,645	5.47	1.88	2.54	----	----				1	1	30
4,625	5.45	1.88	2.53	----	----				1	1	30
4,825	5.50	1.88	2.50	トーハツ	C-1	17. 2.21	593	2	1	3	30
4,825	5.50	1.88	2.50	----	----				1	1	30
4,925	5.56	1.88	2.55	----	----				1	1	30
4,755	5.57	1.88	2.49	ラビット	B-3	16.11.18	1,134	2	1	1	30
2,715	4.7	1.69	2.40	ラビット	B-3	23.11.17	1,350	1	1	1	30
2,870	5.05	1.69	2.18	トーハツ	C-1	17. 2.21	593	1	1	2	30
2,800	5.05	1.69	2.15	シバウラ	C-1	21.11. 2	761	2	1	2	25
2,850	5.08	1.69	2.40	シバウラ	C-1	21.11. 2	761	2	1	1	30
2,850	5.08	1.69	2.40	シバウラ	C-1	15. 5.19	593	1	1	1	25
2,775	4.89	1.69	2.20	トーハツ	B-3	20.11.18	1,239		1	1	30
2,850	5.03	1.70	2.19	ラビット	C-1	14. 6. 7	593	2	1	2	30
2,850	5.03	1.70	2.19	シバウラ	C-1	21.11. 2	761	2	1	1	30
2,850	5.03	1.70	2.19	トーハツ	C-1	24.11.16	783	1	1	1	30
2,850	5.03	1.70	2.19	ラビット	C-1	11. 6.14	556	2	1	1	30
2,645	4.72	1.70	2.39	ラビット	B-3	24.11.28	1,365	1	1	1	30
2,585	4.83	1.66	2.08	ラビット	B-3	25.12.19	1,365		1	1	30
2,890	5.10	1.68	2.24	トーハツ	C-1	20.10.30	693		1	1	20
2,810	5.08	1.72	2.16	シバウラ	B-3	18. 2. 8	677	1	1	1	25
2,810	5.08	1.72	2.16	トーハツ	C-1	10. 7.30	556		1	1	25
2,810	5.08	1.72	2.16	ラビット	C-1	25.12.19	782	2	1	2	30
2,750	5.08	1.69	2.22	トーハツ	C-1	20.10.30	693	2	1	1	25
2,750	5.08	1.69	2.22	ラビット	C-1	23.11.17	783		1	1	25
2,680	5.08	1.81	2.22	ラビット	C-1	25.12.19	782	1	1	2	30
2,800	5.08	1.81	2.30	ラビット	C-1	23.11.17	783	1	2	1	30
2,645	5.15	1.70	2.18	ラビット	B-3	11. 8.30	----		1	1	30
2,610	5.05	1.69	2.23	ラビット	C-1	25.12.19	782	2	1	1	30
2,610	5.05	1.69	2.23	シバウラ	C-1	21.11. 2	761	1	1	2	30
2,610	5.05	1.69	2.23	トーハツ	C-1	17. 2.21	593	1	1	1	25
2,610	5.05	1.69	2.23	トーハツ	C-1	24.11.16	783		1	1	25

No.	分 団 (班) 名	自		動					
		車 両 番 号	車 名	購 入 年 月 日	購 入 価 格 (千 円)	積 載	定 員		
46	清水	鹿児島 800 さ 1990	三菱	12. 8. 23	2,199	積 載 車	10		
47	桜塚	鹿児島 800 さ 1991	三菱	12. 8. 23	2,199	積 載 車	10		
48	改新	鹿児島 800 さ 3380	三菱	13. 8. 17	2,195	積 載 車	10		
49	吉野	鹿児島 800 さ 3381	三菱	13. 8. 17	2,195	積 載 車	10		
50	赤生原 (武 班)	鹿児島 800 さ 3496	ト ヨ タ	13. 9. 14	4,095	積 載 車	9		
51	吉野東	鹿児島 800 さ 4794	三菱	14. 8. 30	2,247	積 載 車	10		
52	八幡	鹿児島 800 さ 4795	三菱	14. 8. 30	2,247	積 載 車	10		
53	中央	鹿児島 800 さ 4796	三菱	14. 8. 30	2,247	積 載 車	10		
54	桜島中央	鹿児島 800 さ 7270	ト ヨ タ	16. 8. 24	4,179	積 載 車	9		
55	桜洲 (赤 水 班)	鹿児島 800 さ 8565	ト ヨ タ	17. 11. 22	2,604	積 載 車	10		
56	山下	鹿児島 800 さ 9584	三菱	18. 11. 22	2,698	積 載 車	10		
57	花尾	鹿児島 800 す 699	ト ヨ タ	20. 2. 13	2,885	積 載 車	9		
58	松元	鹿児島 800 す 698	ト ヨ タ	20. 2. 13	2,885	積 載 車	9		
59	春山	鹿児島 800 す 700	ト ヨ タ	20. 2. 13	2,885	積 載 車	9		
60	春山 (四 元 班)	鹿児島 800 す 701	ト ヨ タ	20. 2. 13	2,885	積 載 車	9		
61	名山	鹿児島 800 す 1279	ト ヨ タ	20. 11. 27	2,822	積 載 車	10		
62	谷山	鹿児島 800 す 1276	ト ヨ タ	20. 11. 27	2,822	積 載 車	10		
63	和田	鹿児島 800 す 1278	ト ヨ タ	20. 11. 27	2,822	積 載 車	10		
64	川上	鹿児島 800 す 1277	ト ヨ タ	20. 11. 27	2,822	積 載 車	10		
65	石谷	鹿児島 800 す 1417	ト ヨ タ	21. 2. 3	2,857	積 載 車	9		
66	桜峰 (東 白 浜 班)	鹿児島 800 す 1419	ト ヨ タ	21. 2. 3	2,857	積 載 車	9		
67	宮	鹿児島 800 す 1415	ト ヨ タ	21. 2. 3	2,857	積 載 車	9		
68	東昌	鹿児島 800 す 2216	ト ヨ タ	22. 2. 17	2,971	積 載 車	9		
69	宇宿	鹿児島 800 す 2213	ト ヨ タ	22. 2. 17	2,971	積 載 車	10		
70	犬迫	鹿児島 800 す 2214	ト ヨ タ	22. 2. 17	2,971	積 載 車	10		
71	南	鹿児島 800 す 2212	ト ヨ タ	22. 2. 17	2,971	積 載 車	10		
72	西伊敷	鹿児島 800 す 2215	ト ヨ タ	22. 2. 17	2,971	積 載 車	10		
73	城南	鹿児島 800 す 2211	ト ヨ タ	22. 2. 17	2,971	積 載 車	10		
74	中郡	鹿児島 800 す 3004	ト ヨ タ	23. 2. 23	2,992	積 載 車	10		
75	小野	鹿児島 800 す 3005	ト ヨ タ	23. 2. 23	2,992	積 載 車	10		
76	坂元	鹿児島 800 す 3006	ト ヨ タ	23. 2. 23	2,992	積 載 車	10		
77	松元 (折 尾 班)	鹿児島 800 す 3810	ト ヨ タ	24. 3. 16	3,087	積 載 車	9		
78	武	鹿児島 800 す 4528	ト ヨ タ	25. 2. 19	3,455	積 載 車	10		
79	草牟田	鹿児島 800 す 4527	ト ヨ タ	25. 2. 19	3,455	積 載 車	10		
80	武岡	鹿児島 800 す 5300	ト ヨ タ	26. 2. 19	3,486	積 載 車	10		
71	宮川	鹿児島 800 す 5304	ト ヨ タ	26. 2. 19	3,486	積 載 車	10		
82	城西	鹿児島 800 す 5302	ト ヨ タ	26. 2. 19	3,486	積 載 車	10		
83	桜洲	鹿児島 800 す 5303	ト ヨ タ	26. 2. 19	3,486	積 載 車	9		
84	八重	鹿児島 800 す 5301	ト ヨ タ	26. 2. 19	3,486	積 載 車	9		
85	福平 (火 の 河 原 班)	鹿児島 880 あ 928	三菱	23. 3. 23	1,858	軽 積 載 車	2		
86	皆房 (河 頭 班)	鹿児島 800 あ 1203	三菱	25. 1. 10	1,995	軽 積 載 車	2		
87	団本部	鹿児島 800 さ 9339	ト ヨ タ	18. 8. 18	寄贈4,186相当	指 令 車	8		

車両総重量 (kg)	車			小 型 ポ ン プ				ジェット シューター	チェーンソー	発 電 機	ホ ー ス 数
	長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)	ポ ン プ 名	級 別	購 入 年 月 日	購入価格 (千円)				
2,740	4.99	1.69	2.24	シバウラ	C-1	15. 5. 19	593		1	1	25
2,740	4.99	1.69	2.24	シバウラ	C-1	21. 11. 2	761	1	1	1	30
2,670	4.99	1.69	2.27	ラビット	C-1	12. 7. 31	569	1	1	1	30
2,670	4.99	1.69	2.27	シバウラ	C-1	15. 5. 19	593	2	2	1	30
2,565	4.99	1.69	2.16	ラビット	B-3	13. 9. 14	----		1	1	30
2,730	4.99	1.69	2.25	トーハツ	C-1	13. 7. 12	577	1	2	1	30
2,730	4.99	1.69	2.25	ラビット	C-1	12. 7. 31	569		1	1	25
2,730	4.99	1.69	2.25	トーハツ	C-1	13. 7. 12	577		1	1	25
2,605	4.99	1.71	2.20	ラビット	B-3	16. 8. 26	車両込み		1	1	30
2,770	4.99	1.70	2.16	トーハツ	B-3	20. 11. 18	1,239		1	1	30
2,770	4.98	1.73	2.17	トーハツ	C-1	13. 7. 12	577		1	1	25
2,755	4.99	1.72	2.17	ラビット	B-3	10. 12. 11	1,365		1	1	30
2,755	4.99	1.72	2.17	シバウラ	B-3	19. 10. 30	1,155		1	1	30
2,755	4.99	1.72	2.17	シバウラ	B-3	19. 10. 30	1,155		1	1	30
2,755	4.99	1.72	2.17	シバウラ	B-3	19. 10. 30	1,155		1	1	30
2,720	4.98	1.75	2.17	ラビット	C-1	25. 12. 19	782		1	1	25
2,720	4.98	1.75	2.17	シバウラ	C-1	14. 6. 7	593	2	1	1	30
2,720	4.98	1.75	2.17	ラビット	C-1	14. 6. 7	593	2	1	1	30
2,720	4.98	1.75	2.17	ラビット	C-1	23. 11. 17	783	2	1	1	30
2,735	4.98	1.74	2.17	シバウラ	B-3	19. 10. 30	1,155		1	1	30
2,735	4.98	1.74	2.17	トーハツ	B-3	20. 11. 18	1,239		1	1	30
2,735	4.98	1.74	2.17	トーハツ	B-3	20. 11. 18	1,239		1	1	30
2,745	4.95	1.74	2.16	シバウラ	B-3	19. 10. 30	1,155		1	1	30
2,700	4.95	1.74	2.16	ラビット	C-1	11. 6. 14	556	1	1	1	25
2,700	4.95	1.74	2.16	シバウラ	C-1	21. 11. 2	761	2	1	1	30
2,700	4.95	1.74	2.16	シバウラ	B-3	18. 2. 8	677		1	1	25
2,700	4.95	1.74	2.16	シバウラ	B-3	18. 2. 9	677	1	1	1	25
2,700	4.95	1.74	2.16	トーハツ	C-1	17. 2. 21	593		1	1	25
2,700	4.95	1.74	2.16	トーハツ	C-1	24. 11. 16	783		1	1	25
2,700	4.95	1.74	2.16	シバウラ	C-1	21. 11. 2	761	2	1	1	25
2,700	4.95	1.74	2.16	トーハツ	C-1	20. 10. 30	693	1	2	1	25
2,735	5.13	1.74	2.16	トーハツ	B-3	20. 11. 18	1239		1	1	30
2,750	5.11	1.77	2.40	トーハツ	C-1	24. 11. 16	783		1	1	25
2,750	5.11	1.77	2.40	トーハツ	C-1	10. 7. 30	556		1	1	25
2,750	5.12	1.80	2.44	シバウラ	C-1	21. 11. 2	761		1	1	25
2,750	5.09	1.77	2.44	シバウラ	C-1	15. 5. 19	593	2	1	1	30
2,750	5.13	1.77	2.44	シバウラ	B-3	18. 2. 8	677		1	1	25
2,785	5.12	1.75	2.42	ラビット	B-3	22. 11. 18	1,328		1	1	30
2,785	5.12	1.75	2.42	ラビット	B-3	21. 10. 27	1,250	1	1	1	30
1,140	3.39	1.47	1.99	ラビット	C-1	25. 12. 19	782	1	1	1	20
1,150	3.39	1.47	1.96	シバウラ	C-1	15. 5. 19	593	1	1	1	20
2,390	4.84	1.80	2.09	----	----						

平成26年度全国統一防火標語

もういいかい 火を消すまでは まあだだよ



鹿児島市旗

「太陽国体」前年の昭和46年9月1日「鹿児島市民の連帯感を高め、古い伝統を守り、明日への発展を願う」との意味を込めて制定した。

鹿児島市民歌

原詩 高城 俊男
補詩 鹿児島市民歌制定委員会
作曲 中田 喜直

一、みなみの空に 青空に
きょうも火をふく 桜島

あゝふるさとは ふるさとは
生きるよろこび 歌うまち

鹿児島 鹿児島

ゆたかな 鹿児島

ゆたかな 鹿児島

二、錦江湾に 潮みちて

わかい息吹きの 陽がのぼる

あゝふるさとは ふるさとは

花とみどりの かおるまち

鹿児島 鹿児島

みどりの 鹿児島

みどりの 鹿児島

三、城山に立ち あたらしい

風のゆくえを みつめよう

あゝふるさとは ふるさとは

夢が未来へ ひらくまち

鹿児島 鹿児島

あしたの 鹿児島

あしたの 鹿児島

安心ネットワーク119

市内で発生した火災等の「災害情報」、台風・大雨等の「防災気象情報」及び避難勧告や避難所開設等の「避難情報」をメールで配信すると同時に、鹿児島市消防局ホームページに公開するシステムです。

◎ 安心ネットワーク119配信登録方法

下記のQRコードを読み込むか、登録用メールアドレスを入力して空メールを送信し、数分後に届く登録用URLの添付されたメールから配信情報・受信時間及び地域の設定をお願いします。

※メールが届かない場合は、お使いの携帯電話で「ansin119haisin@kagoshima-fd.jp」を受信できるように設定してください。



または

登録用メールアドレス
ansin119@kagoshima-fd.jp



市内の災害情報は、鹿児島市消防局の公式facebookでもご確認いただけます。

災害状況案内

災害の種別・時間・町名等が自動案内されます。

☎ 0180-999-009

消防年報 (平成26年版)

発行 平成26年7月
編集 鹿児島市消防局 総務課
〒892-0816 鹿児島市山下町15-1
電話099(222)0119